



学力向上検証改善サイクルの確立に向けて

平成30年3月
高知県教育委員会

— 目 次 —

はじめに	
1 調査の概要	1
2 教科に関する調査結果	3
3 教科別調査結果	
教科別調査結果について	8
(1) 小学校国語	9
(2) 小学校算数	14
(3) 小学校理科	19
(4) 中学校国語	22
(5) 中学校社会	27
(6) 中学校数学	32
(7) 中学校理科	37
(8) 中学校外国語（英語）	42
4 調査問題等の活用	
・各教科の指導改善のポイントと授業アイデア例について	47
・小学校国語指導改善のポイント（第4学年）	48
・小学校算数指導改善のポイント（第5学年）	50
・小学校理科指導改善のポイント（第5学年）	52
・中学校国語指導改善のポイント（第2学年）	54
・中学校社会指導改善のポイント（第2学年）	56
・中学校数学指導改善のポイント（第2学年）	58
・中学校理科指導改善のポイント（第2学年）	60
・中学校外国語（英語）指導改善のポイント（第2学年）	62

資料 平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要

1	調査の概要	65
2	教科に関する調査の結果	66
3	各教科に関する学力の状況	69
	〔小学校国語〕	69
	〔小学校算数〕	74
	〔中学校国語〕	79
	〔中学校数学〕	84
4	質問紙調査の結果	89
	〔教育振興基本計画に係る質問項目〕	89
	学校の組織力向上に向けた取り組み	90
	授業改善に向けた組織的・協働的な取り組みの推進	91
	〔学校質問紙と児童生徒質問紙との関連等〕	92
5	質問紙調査結果一覧	100
6	学力調査等を活用した授業づくり	114

はじめに

高知県学力定着状況調査は、全国学力・学習状況調査等の結果から明らかとなった学習課題を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学習内容の充実や指導方法の工夫・改善を行うことを目的に実施しています。また、新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業づくりについてのメッセージを問題に込めております。

今回の調査結果は、平成29年度の全国学力・学習状況調査や平成28年度に実施した高知県学力定着状況調査の結果と同様の傾向にあり、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題の正答率は高くなっている一方、思考力・判断力・表現力を問う問題では苦戦しています。特に、長文の要旨をまとめることや問いの意図を正確に捉えること、あるいは、文章・図表・グラフなど様々な形態による複数の情報を関連付けて考えをまとめ、表現するといった力に課題が見られます。

本報告書には、調査結果とその分析を基に、このような課題の解決を図るための「授業アイデア例」を掲載しています。各学校においては、「なぜ、この問題が十分に解けていないのか」、その要因をしっかりと分析し、授業アイデア例等も参考に授業改善の方向性を全ての教員で話し合っていたいただきたいと思います。そして、教員集団がベクトルを合わせ、「チーム学校」として互いに学び合い、組織的に授業改善に取り組んでいただくことを願います。

県教育委員会としても、学力向上総括専門官や学校経営アドバイザー、また指導主事等の派遣を通して、新学習指導要領に示される「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた各学校の授業改善やチーム力・組織力の向上の取り組みを支援してまいります。

最後に、今回の調査の実施に当たり、御尽力いただいた全ての皆様に心より御礼申し上げます。

平成30年3月 高知県教育委員会

平成29年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を解決する力（思考・判断・表現する力等）の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査への参加状況

◇ 参加学校数 299校

小学校	192校
中学校	105校
義務教育学校（前期課程・後期課程）	2校

◇ 小学校解答児童数

第4学年

国語 5, 173人 算数 5, 174人

第5学年

国語 5, 362人 算数 5, 365人 理科 5, 369人

◇ 中学校解答生徒数

第1学年

国語 4, 275人 社会 4, 273人 数学 4, 271人

理科 4, 267人 外国語（英語） 4, 270人

第2学年

国語 4, 379人 社会 4, 382人 数学 4, 381人

理科 4, 381人 外国語（英語） 4, 380人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

(2) 内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

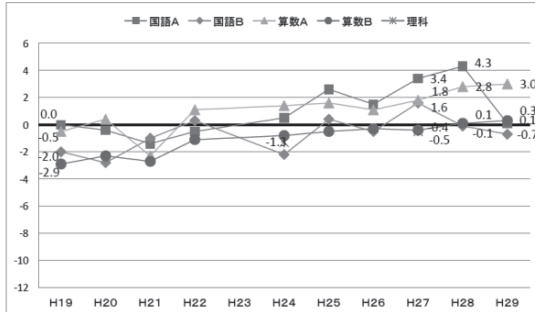
平成30年1月10日（水）



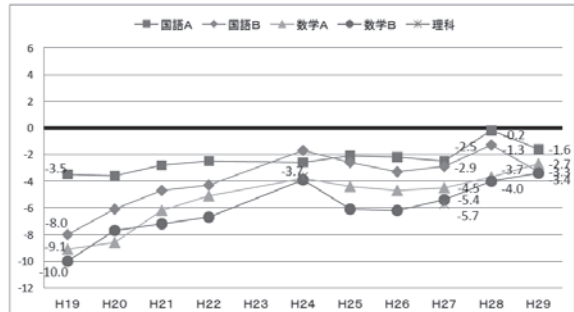
これまでの学力調査結果に見られる本県の学力の状況

I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

小学校



中学校

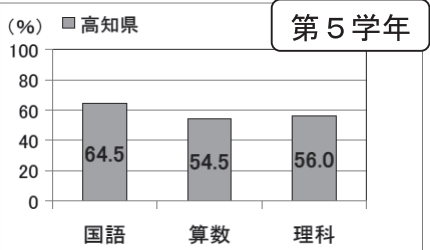
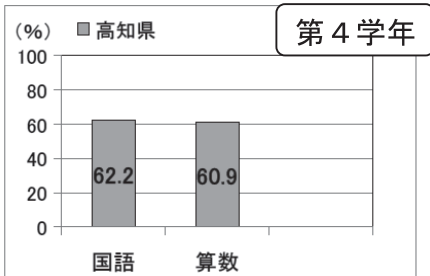


現状

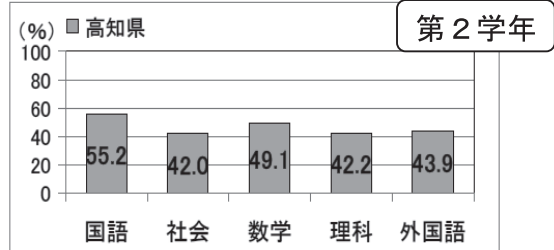
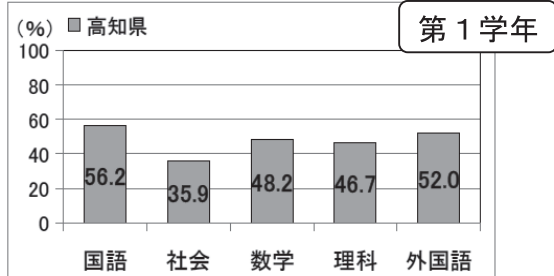
- 算数・数学は小・中学校とも過去最高と、改善が進んでいる。
- 国語については小・中学校とも前年を下回り、特に、これまで強みを見せていた小学校のA問題については大きく落とす結果となっている。また、国語、算数・数学とも主に思考力・判断力・表現力を問うB問題に弱さが見られる点についてもまだ十分な改善が見られていない。

II 高知県学力定着状況調査結果（平成28年度の平均正答率）

小学校調査



中学校調査



現状

- 算数・数学においては、計算力の向上が見られる。また、説明的文章の要旨を読み取る読解力や根拠を明らかにして表現する力についても一定の伸びが見られる。
- 獲得した知識や技能を、日常生活の場面に当てはめて課題の解決方法を考えることや、知識や技能を活用して問題を解決する力、また、論理的に表現する力については、まだ、課題が残る。



2 教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	59.4	36.6	48.1	50.5	68.1
	平成28年度	62.2	59.6	43.0	28.8	81.2
	平成27年度	60.1	56.7	38.6	44.6	69.1
	平成26年度	63.5	62.0	40.9	48.7	75.3
	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成29年度	44.2	46.7	35.0	45.2	46.6
	平成28年度	60.9	64.3	57.3	43.9	62.3
	平成27年度	50.9	46.3	58.3	39.2	50.0
	平成26年度	61.3	69.7	43.7	44.2	63.4
	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	65.6	72.9	49.7	42.1	77.3
	平成28年度	64.5	86.9	33.4	53.5	70.2
	平成27年度	59.0	67.2	24.0	40.6	71.2
	平成26年度	51.8	39.9	31.9	34.0	63.0
	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成29年度	51.4	61.1	35.5	41.8	63.5
	平成28年度	54.5	60.3	43.9	43.5	47.4
	平成27年度	49.6	58.0	34.9	40.3	46.0
	平成26年度	48.3	56.6	52.8	34.7	42.4
	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成29年度	57.1	62.8	58.7	66.5	50.4
	平成28年度	56.0	48.5	55.7	60.3	58.5
	平成27年度	51.8	30.6	55.2	62.4	50.9
	平成26年度	63.0	65.2	48.2	68.8	66.3
	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	59.5	76.1	46.9	45.0	59.8
	平成28年度	56.2	68.1	25.7	43.5	68.1
	平成27年度	59.0	54.0	38.7	58.6	61.1
	平成26年度	58.7	64.6	44.7	45.3	64.1
	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本
社会	平成29年度	32.2	39.5	17.5	22.5	13.3
	平成28年度	35.9	32.5	48.8	37.5	37.9
	平成27年度	37.9	41.1	48.9	23.2	
	平成26年度	42.4	44.0	29.1	49.1	
	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成29年度	53.8	52.5	62.0	52.0	
	平成28年度	48.2	45.7	59.9	50.8	
	平成27年度	50.7	50.6	58.8	47.6	
	平成26年度	49.3	48.8	64.0	46.1	
	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成29年度	29.8	28.6	19.5	36.4	
	平成28年度	46.7	39.9	39.9	52.1	
	平成27年度	38.8	26.5	30.3	49.1	
	平成26年度	45.3	47.6	42.2	46.0	
	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成29年度	45.2	51.6	48.7	33.0
	平成28年度	52.0	65.0	61.9	34.5
	平成27年度	58.4	80.0	58.1	39.1
	平成26年度	64.9	80.8	61.8	52.4
	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成29年度	59.1	58.5	48.3	59.3	59.5
	平成28年度	55.2	65.8	29.0	43.4	65.5
	平成27年度	65.8	78.8	38.0	57.6	67.8
	平成26年度	59.0	79.6	39.4	49.8	60.6
	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成29年度	40.8	46.9	46.2	33.8	32.1
	平成28年度	42.0	42.5	51.4	40.4	30.0
	平成27年度	36.7	41.6	42.0	32.6	30.5
	平成26年度	35.6	45.6	36.0	34.1	24.9
	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

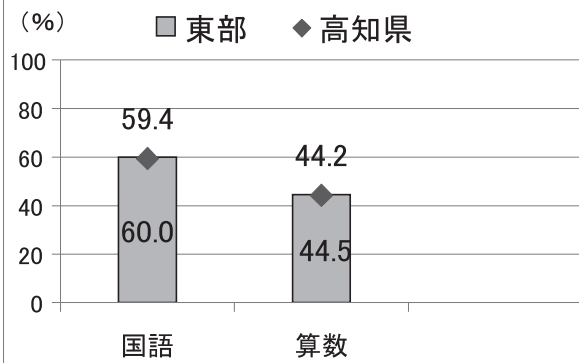
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成29年度	43.6	47.3	31.1	44.6	48.0
	平成28年度	49.1	53.4	52.3	40.5	36.9
	平成27年度	45.3	49.9	34.3	47.4	42.8
	平成26年度	45.1	51.0	39.9	45.4	31.3
	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成29年度	41.7	47.4	40.2	50.8	31.2
	平成28年度	42.2	49.3	40.6	41.4	37.1
	平成27年度	36.9	35.4	36.2	40.5	36.1
	平成26年度	38.0	31.0	40.9	41.6	37.7
	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

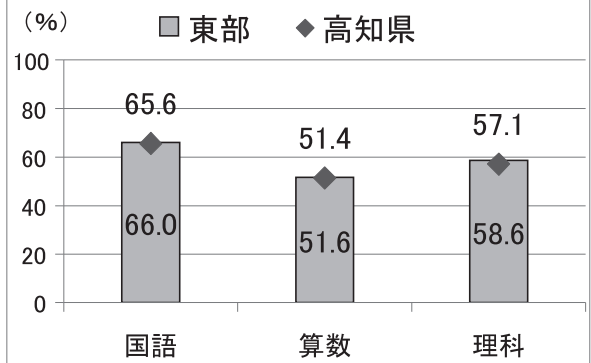
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成29年度	49.6	57.3	53.4	36.7
	平成28年度	43.9	68.0	55.2	15.1
	平成27年度	43.2	65.9	51.1	21.0
	平成26年度	47.8	63.1	58.1	28.8
	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

東部教育事務所

小学校第4学年

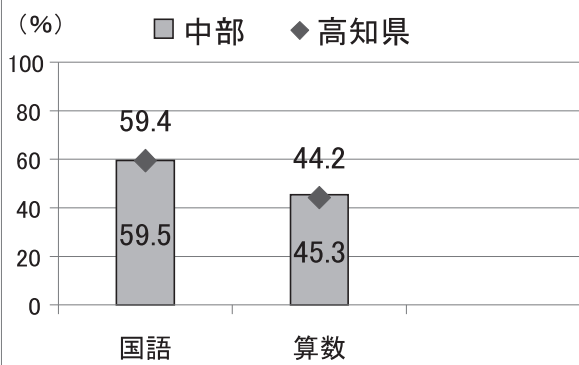


小学校第5学年

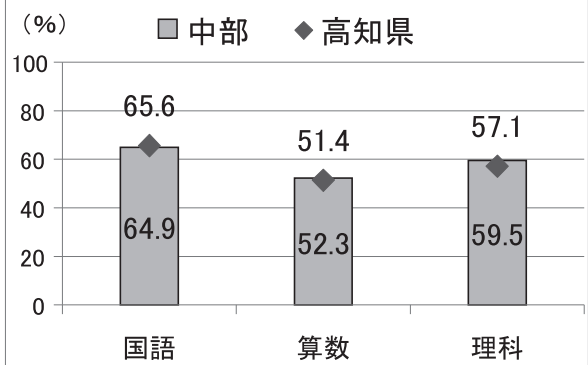


中部教育事務所

小学校第4学年

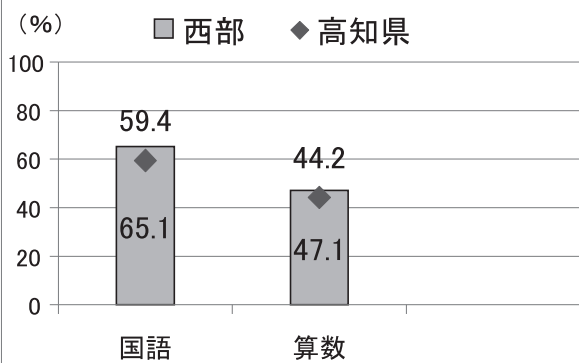


小学校第5学年

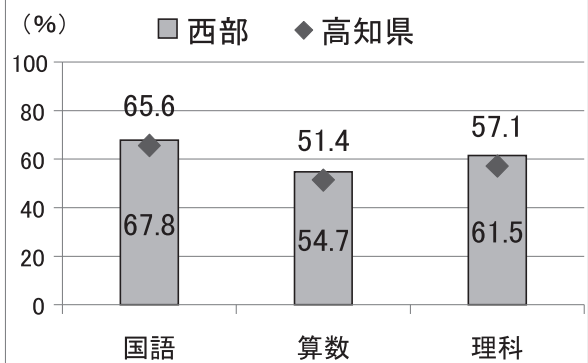


西部教育事務所

小学校第4学年

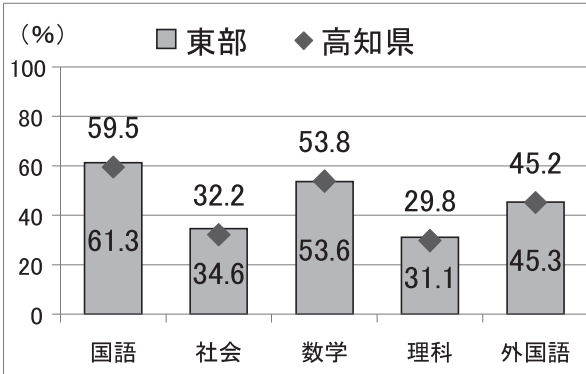


小学校第5学年

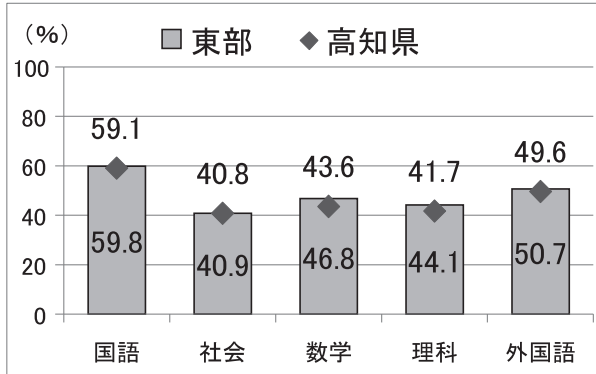


東部教育事務所

中学校第1学年

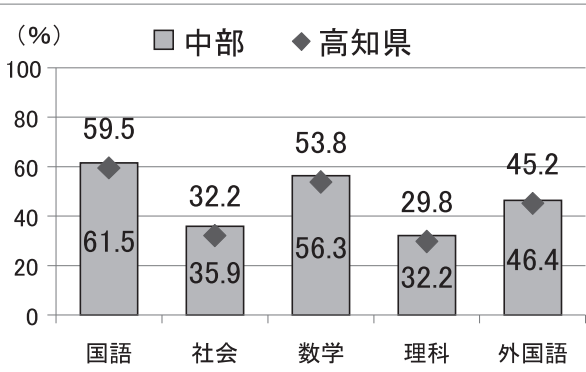


中学校第2学年

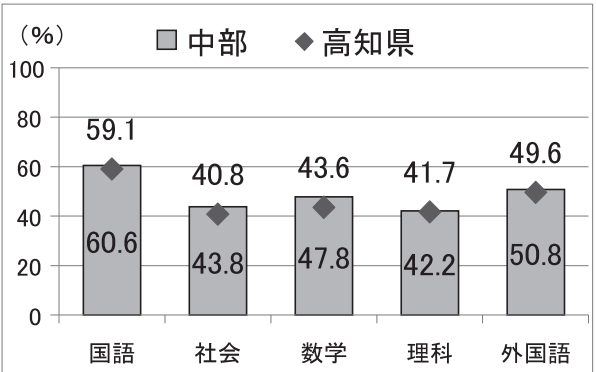


中部教育事務所

中学校第1学年

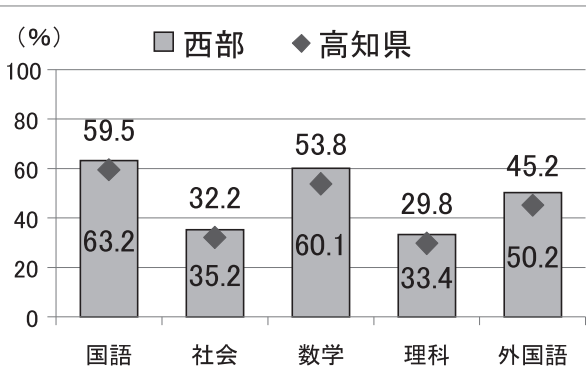


中学校第2学年

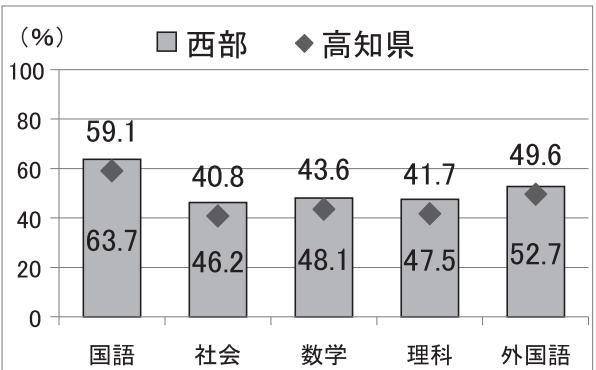


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年



3 教科別調査結果

教科別調査結果について

今回の調査結果における高知県の状況について、各教科の【分類・区分別の状況】、【設問別正答率】、【成果と課題】を示していますので、各学校の分析の参考にしてください。

正答数分布グラフを示しています。

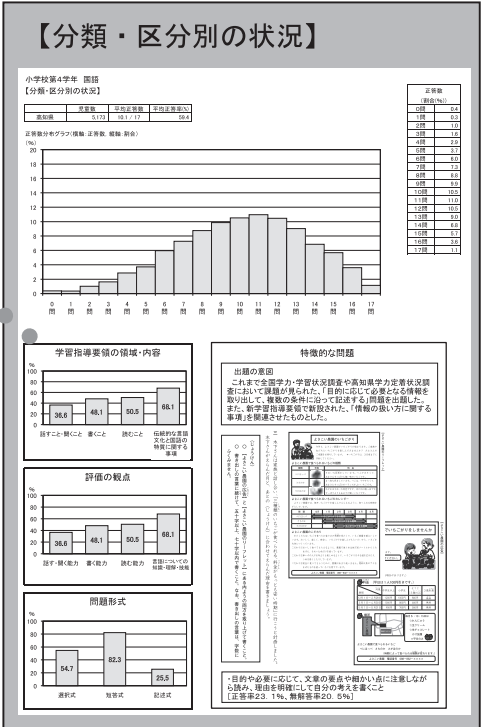
領域・内容、評価の観点、問題形式による平均正答率を示しています。

平均正答数やグラフの形状、他の数値の情報と合わせて分析してください。



【設問別正答率】

学年	教科	設問番号	問題内容	正答率	無解答率	期待正答率	
						標準	目標
小学4	国語	1	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		2	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		3	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		4	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		5	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		6	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		7	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		8	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		9	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		10	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		11	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		12	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		13	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		14	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
		15	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100
16	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
17	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
18	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
19	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
20	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
21	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
22	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
23	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
24	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
25	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
26	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
27	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
28	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
29	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
30	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
31	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
32	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
33	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
34	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
35	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
36	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
37	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
38	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
39	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
40	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
41	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
42	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
43	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
44	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
45	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
46	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
47	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
48	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
49	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
50	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
51	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
52	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
53	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
54	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
55	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
56	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
57	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
58	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
59	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
60	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
61	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
62	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
63	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
64	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
65	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
66	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
67	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
68	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
69	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
70	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
71	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
72	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
73	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
74	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
75	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
76	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
77	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
78	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
79	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
80	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
81	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
82	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
83	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
84	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
85	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
86	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
87	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
88	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
89	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
90	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
91	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
92	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
93	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
94	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
95	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
96	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
97	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
98	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
99	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		
100	漢字を正しく読み取る。	100	0	100	100		



● 設問ごとに、高知県の正答率と無解答率、期待正答率(*)を示しています。

*期待正答率
本調査における各設問は、学習指導要領を踏まえ、すべての児童生徒に身に付けさせたい指導事項を問うものです。その内容、問題形式、これまでの学力調査の結果等をもとに、達成することが期待される割合を期待正答率として示しています。

本年度調査における注目してほしい成果と課題、経年変化による成果と課題を示しています。

		第0学年	
成果	本年度	相当数の児童生徒ができていない問題	経年には、関連のある過去の調査問題を示しています。 (例) H28I1 高知県学力定着状況調査の問題番号 H28A3 全国学力・学習状況調査の問題番号
	経年	課題の改善状況が見られる問題	
課題	本年度	課題が見られる問題	
	経年	依然として課題が見られる問題	

調査結果を受け、指導方法の改善を図る際のポイントを示しています。

【成果と課題】

【小学校国語における成果と課題】

学年	標準	目標	達成率	課題のねらい	成果と課題
1	標準	標準	74.0%	話す・聴くこと	話す・聴くことに関する課題が減少すること
	目標	目標	84.0%	読むこと	読むことに関する課題が減少すること
2	標準	標準	78.0%	話す・聴くこと	話す・聴くことに関する課題が減少すること
	目標	目標	88.0%	読むこと	読むことに関する課題が減少すること
3	標準	標準	40.2%	話す・聴くこと	話す・聴くことに関する課題が減少すること
	目標	目標	57.7%	読むこと	読むことに関する課題が減少すること
4	標準	標準	21.2%	話す・聴くこと	話す・聴くことに関する課題が減少すること
	目標	目標	27.6%	読むこと	読むことに関する課題が減少すること

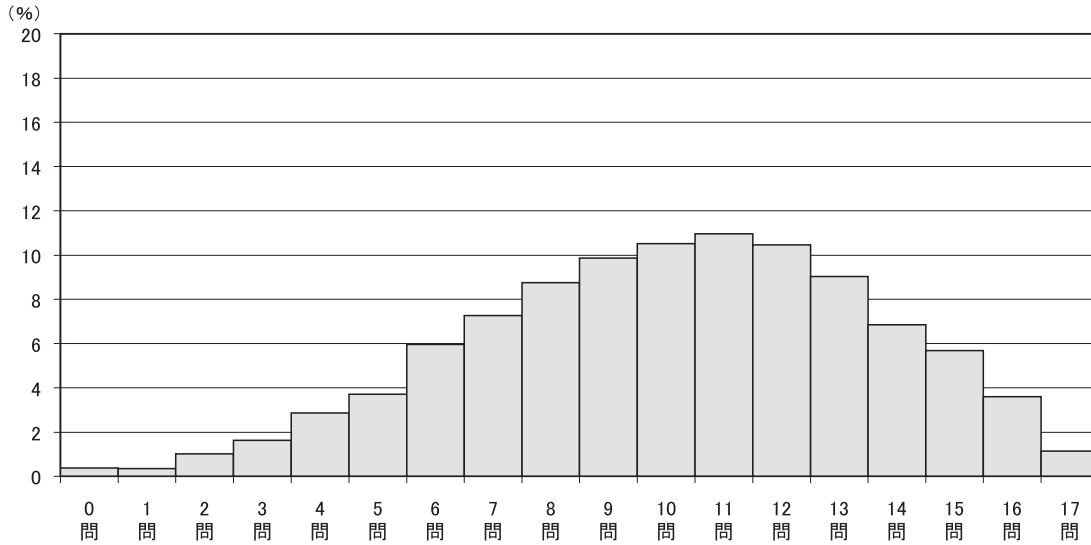
◎既載が「自分の伝えたいこと」や図表やグラフを活用することで、読解力が高まること」を自覚できるよう指導することが必要である。また、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く際には、自分の考えた数値やグラフは、伝えたことと一致している必要がある。そこから読み取ったことを自分の考えで書くことが大切である。その際、伝えた内容や仕方について具体的に「数値のモデル」を書くことが必要である。また、算数や理科の知識や技能を活用した表現も大切である。

◎目的に応じて文章や資料を読み、中心となる語や文を見えたり、必要な情報を取り出したり、事実と意見を区別したりすること、読むことと書くことを複合させた表現が大切である。

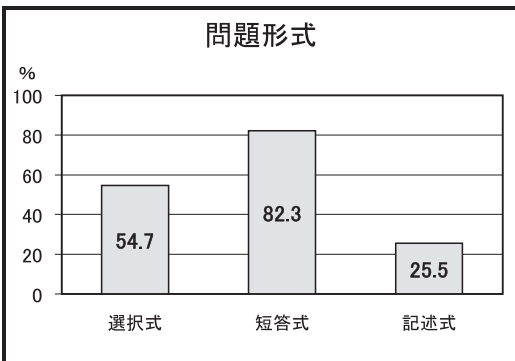
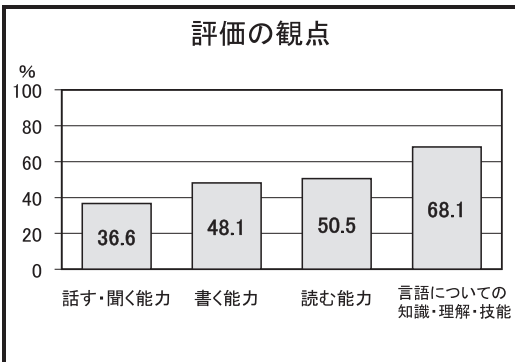
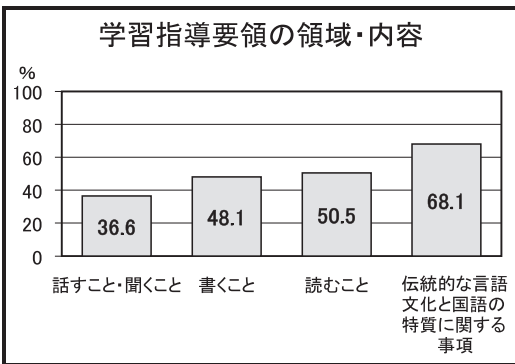
小学校第4学年 国語
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,173	10.1 / 17	59.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	0.3
2問	1.0
3問	1.6
4問	2.9
5問	3.7
6問	6.0
7問	7.3
8問	8.8
9問	9.9
10問	10.5
11問	11.0
12問	10.5
13問	9.0
14問	6.8
15問	5.7
16問	3.6
17問	1.1



特徴的な問題

出題の意図

これまで全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査において課題が見られた、「目的に応じて必要となる情報を取り出して、複数の条件に沿って記述する」問題を出題した。また、新学習指導要領で新設された、「情報の扱い方に関する事項」を関連させたものとした。

三 木下さんは家族と話し合い、「三種類のいちご」に合わせてえらんだ理由を書きました。

（じょうけん）

○ 「よさこい農園の広告」と「よさこい農園のリーフレット」にある内両方の両方を取り上げて書くこと。
○ 書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、七十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくみません。

よさこい農園のいちごがり

今年も、よさこい農園でいちごが採れます。ご家族の方たちがいちごがりを楽しんでみませんか？ みなさんのご意見をお待ちしています。いちごごりは、3日前までに予約してください。

種類	写真	特徴
べにほっぺ		赤いお顔をしています。つぼみが多くて、あまみずみずみずしいです。つぼみ、やわやわで、あまみずみずみずしいです。
さちのか		赤いお顔をしています。肉が厚みがあります。つぼみもたくさんあります。
さけほのか		赤いお顔をしています。肉が厚みがあります。つぼみもたくさんあります。

よさこい農園で食べられるいちごの種類

種類	12月	1月	2月	3月	4月	5月
べにほっぺ	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し
さちのか	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し
さけほのか	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し	採り出し

よさこい農園のこだわり
わたしたちはいちごを育てたお家さまの笑顔を見たくて、いちご農園を選びました。おいしく、楽しく、安全に、いちごがりを楽しんでほしいから、いちごを大切に育てています。
こだわりのいちごを食べてもらえるように、農園で使う水は地下3メートルからくみあげた、きれいな水を使っています。
こだわりのいちごの採り出し期間が長くなるように、いちごが熟するまで大切に育てています。
きれいな水を使っています。
こだわりのいちごを食べてもらうために、農園はより使いません。肥料はあくまで自然のものを使っていきます。

よさこい農園 電話番号 098-832-XXXX

でいちごがりしませんか

ます。
てください。

（※予約が必要です。）

料金額 (平日は1人100円引きです。)	対象	小学生以上	小学生	ようじ (3歳以上)	3歳未満
12月1日～2月28日	1200円	1000円	800円	無料	無料
3月1日～4月30日	1000円	800円	600円	無料	無料
5月1日～5月31日	900円	700円	500円	無料	無料

場所
よさこい農園 (平日のみ)

毎月5・10・15日は
おれんにゅう
お生クリーム
お生チョコレート
お生チョコ
お平日のみ

よさこい農園で食べられるいちご
べにほっぺ さちのか さけほのか
(時期によって食べられる種類が変わります。)

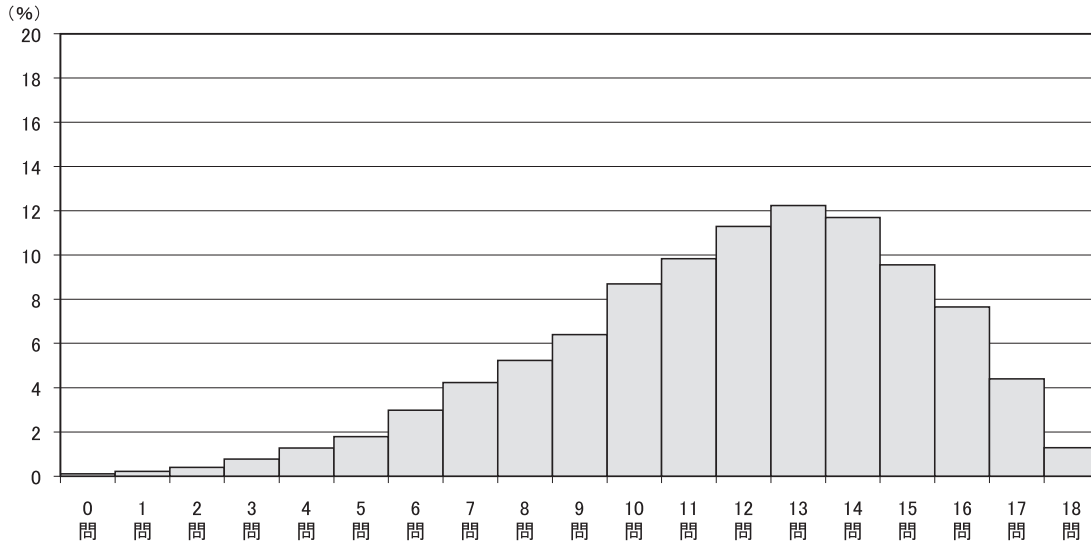
よさこい農園 電話番号 098-832-XXXX

・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を明確にして自分の考えを書くこと
[正答率23.1%、無解答率20.5%]

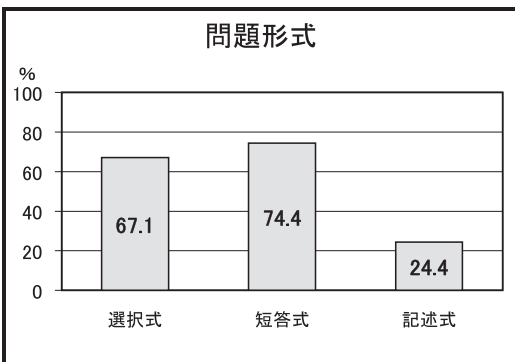
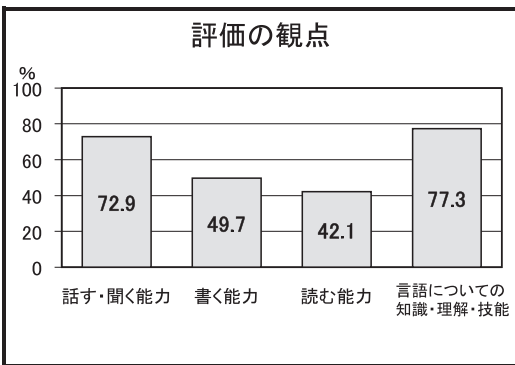
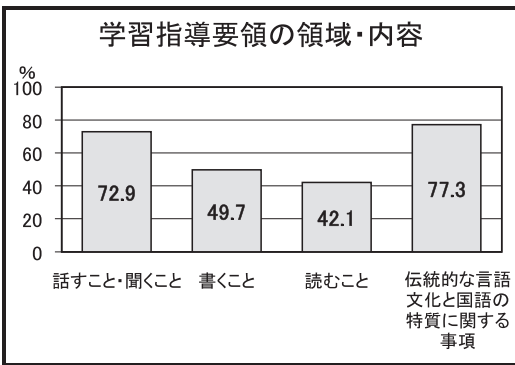
小学校第5学年 国語
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,362	11.8 / 18	65.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.8
4問	1.3
5問	1.8
6問	3.0
7問	4.2
8問	5.2
9問	6.4
10問	8.7
11問	9.8
12問	11.3
13問	12.2
14問	11.7
15問	9.5
16問	7.6
17問	4.4
18問	1.3



特徴的な問題

出題の意図
平成27年度高知県学力定着状況調査において課題が見られた、「目的に応じて文章や資料を読み、必要な情報を取り出し、意見を記述する」問題を出題した。

生息地の環境を再現した緑豊かなのち動物公園

高知県出身の植物学者・牧野富太郎博士の業績を知ったため、一九五八年に高知県立白土山に開設しました。約10haの園内には、西日本最大の植物園と博士ゆかりの植物園、四季折々三千種が楽しめます。めずらしい熱帯植物が約100種、博士の業績がゆかりの展示も必見です。園内をさんぽくした後には緑に囲まれたレストラやカフェでこのひとときを、オリジナルグッズが充実するショップもおすすめです。

観光と探検と学術的価値の三拍子そろった神祕の宮でん 龍河洞
日本の代表的観光地として知られて、げんそうで神秘的な世界を感じることができます。洞内出口付近に弥生時代の穴居生活の跡があり、特に石炭層に包まれた穴居生活土器は世界的にもめずらしいものです。また、最近開教の「龍河洞」コースはぜひ通るはつと進んで、丸木のほしを登ったり、真の時やみにあうような観望することができます。(事前予約が必要)

【資料1】

○ 「動物が好きな人」、「植物が好きな人」のどちらの人におすすめしているか分かるように書くこと。

○ 【資料1】の中から、目的に応じて一つ選び、その資料からおすすめしたい内容を取り上げて書くこと。

○ 百字以上、百二十字以内で書くこと。なお書き出しの言葉は、字数にふくみません。

三 南さんは、「高知のおすすめスポット」という見出しを考えて、記事Dの部分に、「高知県の観光施設利用者へベスト10」の中から、交流している小学校の友だちが楽しめる場所をおすすめする記事を書くこととしています。あなたなら、どの観光施設の記述を書きましょか。「動物が好きな人」「植物が好きな人」のどちらかを対象に選び（どちらを選んでもかまいません）、あとの条件に合わせて、記事を書きましょ。

【条件】

○ 「動物が好きな人」、「植物が好きな人」のどちらの人におすすめしているか分かるように書くこと。

○ 【資料1】の中から、目的に応じて一つ選び、その資料からおすすめしたい内容を取り上げて書くこと。

○ 百字以上、百二十字以内で書くこと。なお書き出しの言葉は、字数にふくみません。

・書くこととするの中心を明確にし、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること
[正答率27.6%、無解答率22.8%]

【設問別正答率】 小学校調査（第4学年）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題 主として「知識」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)
1	一	(1)	○	漢字を書く(しんぶんがかり)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			(1)ウ(イ)			○	○	80	67.5	2.4	
		(2)	○	漢字を書く(こうてい)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			(1)ウ(イ)			○	○	80	76.9	3.6	
		(3)	○	漢字を読む(好き)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(1)ウ(イ)			○	○	90	92.5	1.8	
		(4)	○	漢字を読む(ご協力)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(1)ウ(イ)			○	○	90	92.8	2.4	
	二	(1)	○	文の主語として適切なものをえらぶ	文の中における主語を捉える			1・2(1)イ(ウ)			○	○	80	54.9	0.8	
		(2)	○	文の型として適切なものをえらぶ	文を構成する主語と述語の照応関係を捉える			(1)イ(ウ)			○	○	80	64.0	0.9	
	三	○	言葉の意味と使い方をとらえ、最もふさわしいものをえらぶ(あつい)	国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する			(1)イ(ウ)			○	○	80	40.2	0.5		
	四	ア	○	「ことわざ」の使い方として最もふさわしいものをえらぶ(馬の耳に念仏)	「ことわざ」の意味と使い方を正しく理解する			(1)ア(イ)			○	○	80	65.7	0.9	
		イ	○	「故事成語」の使い方として最もふさわしいものをえらぶ(以心伝心)	「故事成語」の意味と使い方を正しく理解する			(1)ア(イ)			○	○	80	58.5	0.9	
	五	(1)	○	いらい文の中に書く内ように、助言にそって書き直す	文章の間違いに気づき、常体を敬体に直す			オ			○		70	81.7	3.2	
		(2)	○	いらい文の後付けに必要な、日付、自分の名前、相手の名前のそれぞれの位置について、最もふさわしいものをえらぶ	手紙の形式を理解し、後付けを書く			イ			○	○	70	39.4	1.6	
	六	○	「民話」を読んだあとの意見発表において、親おにがどんな人物であるか正しくとらえている人たちをえらぶ	登場人物の人物像について、複数の叙述を基に捉える			ウ			○	○	70	55.9	2.0		
2	一	アイ	○	クラスでの話し合いの意見に共通する点やちがう点を整理して書く	役わりを果たしながら計画的に話し合うために、共通点や相違点に着目し、出された意見を整理する。			オ				○	60	27.9	14.4	
	二	○	発言のねらいとして、最もふさわしいものをえらぶ	ねらいを明確にして発言する			エ			○		70	45.2	18.5		
3	一	○	広告とリーフレットに共通する情報として、最もふさわしいものをえらぶ	目的に応じて、中心となる語や文を捉える			イ			○	○	70	65.7	5.3		
	二	○	いちごがりの計画のなかで、できないことをえらぶ	目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読む			カ			○	○	70	57.1	7.0		
	三	○	いちごがりに行く月をえらび、その理由を書く	目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を明確にして自分の考えを書く。			ウ	エ		○	○	60	23.1	20.5		

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】 小学校調査（第5学年）

大問	小問	問題番号	主として「活用」に関する問題 主として「知識」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)
1	一	(1)	○	漢字を書く(たいけん学習)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			3・4 (1) ウ(4)			○	○	80	82.3	3.8	
		(2)	○	漢字を書く(心にのこる)	前学年までに配当されている漢字を正しく書く			3・4 (1) ウ(4)			○	○	80	85.6	3.9	
		(3)	○	漢字を読む(応募資格)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(1) ウ(7)			○	○	90	95.8	1.0	
		(4)	○	漢字を読む(限ります)	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む			(1) ウ(7)			○	○	90	93.2	1.6	
	二	(1)	○	「～たり、…たり」という表現に書き直す	複数の事柄を並列の関係で書く		オ	(1) イ(4)			○	○	80	62.6	3.5	
		(2)	○	文の意味のつながりをとらえ、適切でないものを選ぶ	仮定の表現として、適切なものを選ぶ		オ	(1) イ(4)			○	○	80	51.7	0.2	
	三	○	効率よく漢字を調べるための方法として、最もふさわしいものを選ぶ	漢字辞典を使って、効率よく調べる				3・4 (1) イ(4)			○	○	80	84.6	0.2	
	四	(1)	○	敬語の使い方としてふさわしい表現に書き直す(言うとおりに)	相手や場面に応じて、適切に敬語を使うことができる			(1) イ(4)			○	○	80	66.1	4.1	
		(2)	○	敬語の使い方としてふさわしい表現に書き直す(送ってもらいに)	相手や場面に応じて、適切に敬語を使うことができる			(1) イ(4)			○	○	80	73.5	3.6	
	五	(1)	○	インタビューの質問の内容の評価として、最もふさわしいものを選ぶ	目的に応じて、内容や質問の順序を考えた上で、適切な言葉遣いで話す		イ				○	○	70	75.8	0.8	
		(2)	○	質問の意図として、最もふさわしいものを選ぶ	話し手の意図を捉えながら聞き、反応を示すことができる		エ				○	○	70	69.9	1.1	
	六	○	物語を読み、登場人物の心情として当てはまらないものを選ぶ	叙述と関係付けて、登場人物の心情を捉える			エ				○	○	70	56.6	1.2	
2	一	○	〈資料2〉をもとに書いた内容として、最もふさわしいものを選ぶ	グラフを基に、分かったことを的確に書く		エ				○	○	70	74.0	0.5		
	二	○	〈資料3〉をもとに書いた内容として、最もふさわしいものを選ぶ	グラフを基に、分かったことを的確に書く		エ				○	○	70	46.0	0.9		
	三	○	〈資料4〉〈資料5〉から取り上げた内容と自分の考えを関連させて書く	目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書く		エ				○	○	50	21.2	8.8		
3	一	○	新聞のわりつけとして、最もふさわしいものを選ぶ	目的や意図に応じて、新聞の割り付けをする		イ				○	○	70	78.5	3.0		
	二	○	新聞の中で筆者が引用している言葉を書きぬく	目的や意図に応じて、引用して書く		ウ				○	○	60	36.0	16.8		
	三	○	自分が選んだおすすめの場所について、記事を書く	書くこととすることの中心を明確にし、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする		ウ	オ			○	○	50	27.6	22.8		

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校国語における成果と課題】

		第4学年			第5学年		
		課題	問題番号	出題のねらい	課題	問題番号	出題のねらい
成果	本年度				書	②ー 74.0%	グラフを基に、分かったことを的確に書くこと
	経年	書	①五 (1) 81.7% H25⑦二 17.0%	文章の間違いに気付き、常体を敬体に直すこと	伝	①≡ 84.6% H19A④ 県 77.8% 全国 81.2%	漢字辞典を使って、効率よく調べること
課題	本年度	書	③≡ 23.1%	目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を明確にして自分の考えを書くこと →P. 48「小学校国語指導改善のポイント」へ			
	経年	伝	①≡ 40.2% H26A⑧ 県 73.0% 全国 74.3%	国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解すること	伝	①二(2) 51.7% H26A⑥二 県 84.8% 全国 83.1%	仮定の表現として、適切なものを捉えること
		書	①五(2) 39.4% H29A②二 県 41.5% 全国 41.5%	手紙の形式を理解し、後付けを書くこと	書	②≡ 21.2% H28B②二(2) 県 65.0% 全国 64.2%	目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書くこと
		話	②ー 27.9% (完答) H23B①二(1) ア 54.0% イ 32.9%	役割を果たしながら計画的に話し合うために、共通点や相違点に着目し、出された意見を整理すること	書	③≡ 27.6% H27③≡ 21.3%	書こうとすることの中心を明確にし、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること

【領域・内容】 話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

今後さらに重点となる指導改善のポイント

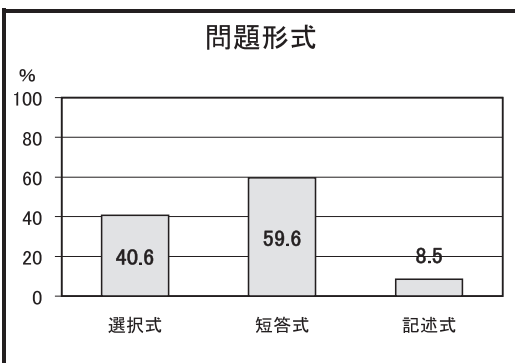
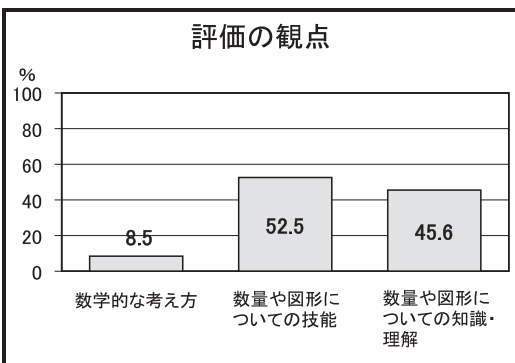
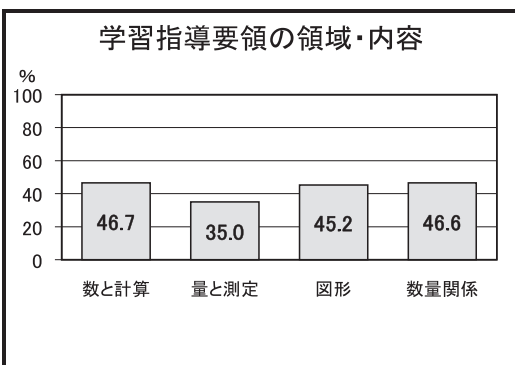
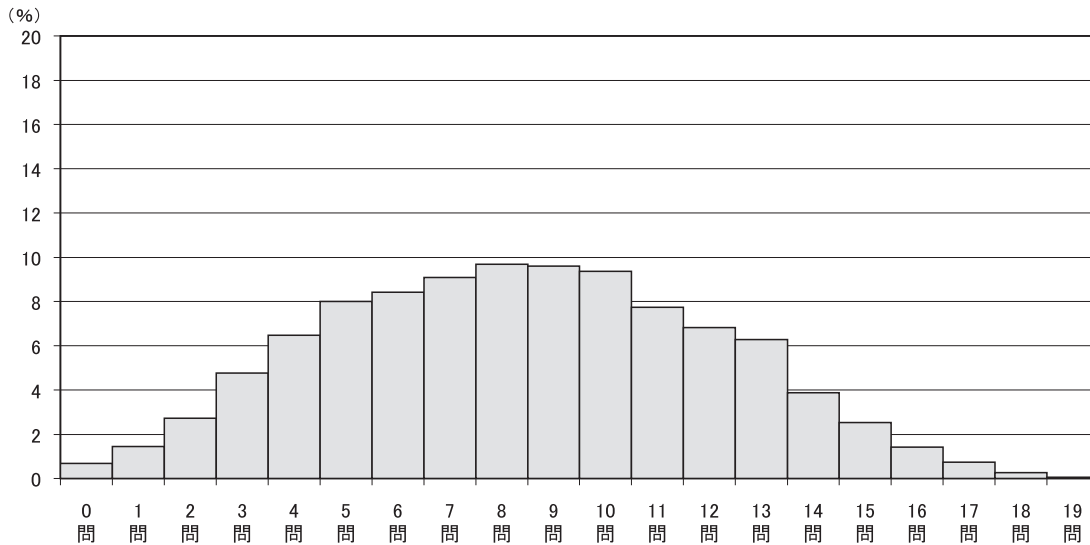
- 児童が「自分の伝えたいことと合う図表やグラフを活用することで、説得力が生まれること」を自覚できるように指導することが必要である。また、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く際には、自分が選んだ図表やグラフは、伝えたいことにあるかを考えさせ、そこから読み取ったことを分かりやすく書かせることが大切である。その際、記述の内容や仕方について具体的（教師のモデル・書くときの観点等）に示し、取り出した複数の情報を関係付ける手順や方法について、丁寧な指導を行うことが必要である。また、算数や社会など他教科と関連させた指導も大切である。
- 目的に応じて文章や資料を読み、中心となる語や文を捉えたり、必要な情報を取り出したり、事実と意見を区別したりするなど、読むことと書くことを複合させた指導が大切である。

小学校第4学年 算数
【分類・区別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,174	8.4 / 19	44.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.7
1問	1.4
2問	2.7
3問	4.8
4問	6.5
5問	8.0
6問	8.4
7問	9.1
8問	9.7
9問	9.6
10問	9.4
11問	7.7
12問	6.8
13問	6.3
14問	3.9
15問	2.5
16問	1.4
17問	0.7
18問	0.3
19問	0.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



特徴的な問題

出題の意図
新学習指導要領において述べられている「二つのグラフを比べ判断したことをもとにグラフを作り替える」という学習活動に関連させた問題を出題した。

13 (2)

月別のアルミかんの重さ(平成28年)

月別のアルミかんの重さ(平成29年)

↓

月別のアルミかんの重さ

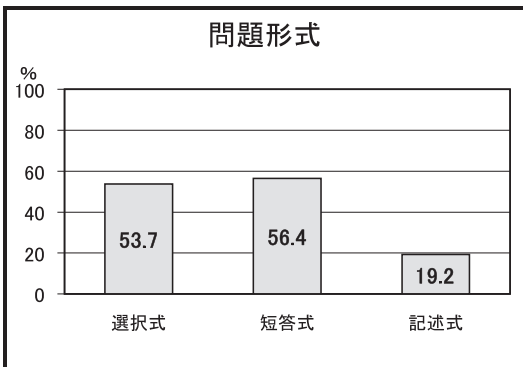
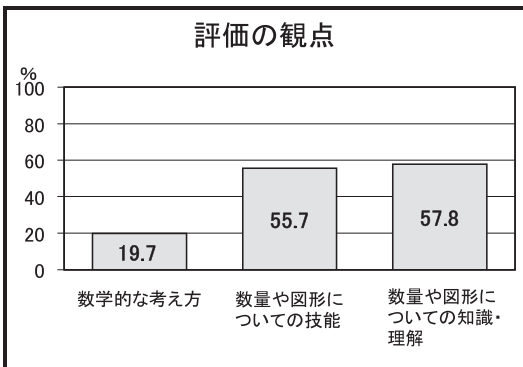
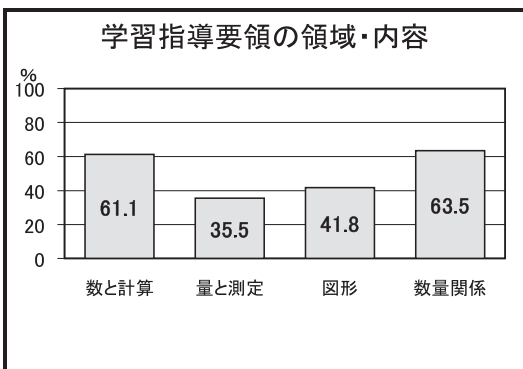
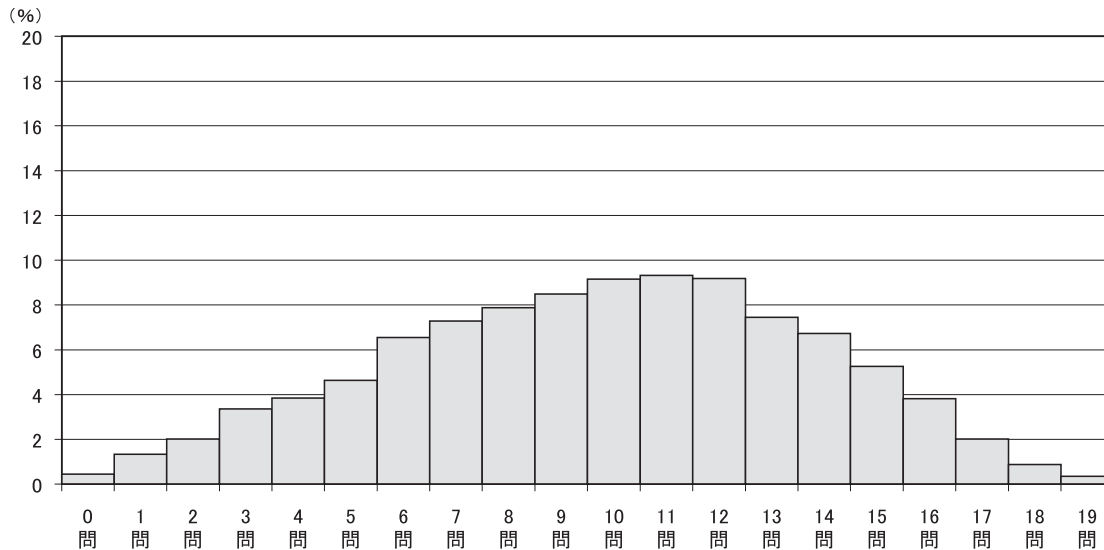
上の折れ線グラフは、19ページの平成28年と平成29年の2つの折れ線グラフを作りかえたグラフです。どのように作りかえたのかを書きましょう。

・変更したグラフの縦軸の目盛りなどを比較し、グラフを作り変えた点を記述すること
[正答率4.2%、無解答率20.3%]

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,365	9.8 / 19	51.4

正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	1.3
2問	2.0
3問	3.4
4問	3.8
5問	4.6
6問	6.5
7問	7.3
8問	7.9
9問	8.5
10問	9.2
11問	9.3
12問	9.2
13問	7.5
14問	6.7
15問	5.3
16問	3.8
17問	2.0
18問	0.9
19問	0.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



特徴的な問題

出題の意図
 これまで全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査において課題が見られた、「高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解する」ことから、その改善状況をみるために出題した。

6 (1) 次に、下の図5のように四角形ABCDを台形ABCDとし、その中にある黒い2つの三角形を合わせた面積と白い三角形の面積を比べます。

図5

下の図のように点Eを辺ADにそって動かしたとき、それぞれの三角形は図6から図8のように変わっていきます。

図6 図7 図8

ゆきこさんの考え方をもとに図5の台形ABCDの中にある黒い2つの三角形を合わせた面積と白い三角形の面積を比べると、どちらの三角形の面積が大きくなりますか。下の1から3までの中から1つ選びましょう。また、その番号を選んだわけを言葉と数を使って書きましょう。

- 1 黒い2つの三角形を合わせた面積のほうが広い。
- 2 白い三角形の面積のほうが広い。
- 3 黒い2つの三角形を合わせた面積と白い三角形の面積は等しい。

・台形の中にできる黒い三角形と白い三角形の面積の大きさを比較し、大小を判断した理由を記述できること
 [正答率8.0%、無解答率4.0%]

【設問別正答率】 小学校調査（第4学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 数学的 数量 数量や図形 についての技能	問題形式			高知県	
							数と計算	量と測定	図形	数量関係		選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)	正答率(%)
1	(1)	○			200cmの黒のテープの長さが白のテープの長さの4倍のとき、2つのテープの関係を正しく表している図をえらび、白のテープの長さを求める式を書く	示された場面における二つの数量関係を図に表し、場面に適した演算を用いることができる	(3)イ		3(2)ア		○	○		60	46.3	0.3
	(2)	○			「 $200 \div 25$ 」の商を「 $400 \div 50$ 」をもとにして計算するとき、あてはまる計算の考え方をえらぶ	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している	(3)アエ				○	○		80	40.5	0.9
	(3)	○			「 $200 \div 90$ 」の商とあまりを「 $20 \div 9$ 」をもとにして計算するとき、あてはまる商とあまりを書く	除法の性質を使った場合の、商と余りの求め方について理解している	(3)ウエ				○		○	80	56.1	1.1
2	(1)	○			450×8600 を計算する	乗法の計算をすることができる	(4)				○		○	80	62.4	1.4
	(2)	○			$60 - 20 \div 4$ を計算する	減法と除法の混合した整数の計算をすることができる			(2)ア		○		○	90	81.6	0.8
3		○			7433000000は1億と1万をいくつあわせた数であるかを書く	数の相対的な大きさについて理解している	(1)ア				○		○	80	61.0	1.0
4		○			$\frac{3}{4}$ mまで色をぬった紙テープにあてはまる図をえらぶ	量分数の意味を理解している	3(6)ア					○	○	80	22.6	0.3
5		○			1600円以内で材料を買うことができるかを見積もるとき、あてはまる計算とその計算のわけをそれぞれえらぶ	目的に合わせた概数を使った見積りの方を理解している	(2)アイウ				○	○		70	57.5	0.5
6	(1)	○			$1000 - (110 + 70) \times 5$ の式をもとに、買った文房具の名前とこ数を書く	示された四則の混合した式の意味を解釈することができる	(4)		(2)ア		○		○	80	60.9	5.4
	(2)	○			ノート9さつの買い方において、「1さつあまっても、10さつまとめて買ったほうが、安く買うことができる」ことが正しいわけをかく	複数の条件設定を比較し、筋道立てて考え、示された判断が正しい理由を説明することができる	(4)				○		○	60	12.7	13.8
7		○			全体の道のりと示された2つの案内板をもとに2つの案内板までの道のりをそれぞれ求める	示された情報を図に当てはめて、必要となる道のりを求めることができる	3(1)ア		2(1)		○		○	70	39.0	4.7
8		○			面積を求める式 $3 \times (9+3)$ の $(9+3)$ の表す長さをえらぶ	凸型の図形の面積の求め方を表す式の中の数量の意味を理解している	(1)イ				○	○		70	55.2	1.7
9		○			二本の直線が交わってできる角の大きさを表す式をえらぶ	二本の直線が交わってできた角の大きさを求めることができる	(2)アイ				○		○	60	10.9	1.7
10		○			平行四辺形の対角線の長さを求める	平行四辺形の対角線の特徴を理解している			(1)イ		○	○		80	71.2	1.8
11	(1)	○			示されたもようをかくために、コンパスの針をさす場所を答える	円の中心について理解している			3(1)ウ		○	○		70	23.8	2.5
	(2)	○			コンパスを使ってひし形をかくとき、使われているひし形の特ちょうをえらぶ	作図に用いられているひし形の性質を理解している			(1)アイ		○	○		70	40.8	3.7
12		○			1本のリボンを重ねずに切るとき、切る回数を口、切り分けられるリボンの本数を○として、口と○の関係を表す式を書く	二つの数量の関係を見出し、口や○を用いた式に表すことができる			(2)ウ		○		○	70	56.5	9.0
13	(1)	○			4つの場所で集めたアルミかんの重さをくらべるグラフとして、あてはまらないグラフをえらぶ	数量の大小や差などが捉えやすいグラフを選択することができる			3(3)ア 4(1)ア		○	○		80	37.7	6.1
	(2)	○			2つの折れ線グラフを作りかえるとき、どのように作りかえたのかを書く	変化したグラフの縦軸の目盛りなどを比較し、グラフを作り変えた点を記述することができる			(1)ア (4)イ		○		○	50	4.2	20.3

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】 小学校調査（第5学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 数量的な考え方 数量や図形についての技能	問題形式 選択式 短答式 記述式	期待正答率(%)	高知県		
							数と計算	量と測定	図形	数量関係				正答率(%)	無解答率(%)	
1	(1)	○			●が0でないとき、●×0.75の積と●の関係について正しいものを選ぶ	乗数が1より小さいとき、積が被乗数より小さくなることを理解している	(3)アイ					○	○	70	59.6	0.4
	(2)	○			80×3.2の計算のしかたを、80×32をもとに考えると、考え方にあてはまる数を書く	乗数が小数である場合の計算を、整数の乗法に直して求める方法を理解している	(3)イウ					○	○	80	83.3	0.5
	(3)	○			1920×3.2+80×3.2=(□)×3.2の□にあてはまる式を書く	小数の乗法においても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している	(3)ウ					○	○	70	51.0	2.6
2	(1)	○			2.8+1.2×7を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(5)イウ 5(3)ウ			4(2)ア		○	○	80	56.7	0.6
	(2)	○			$1\frac{1}{4} - \frac{5}{6}$ を計算する	異分母分数の帯分数と真分数の減法の計算をすることができる	(4)オ					○	○	80	75.8	2.4
3		○			たて18cm、横12cmの長方形のカードをしきつめて正方形を作るとき、いちばん小さい正方形の1辺の長さを選ぶ	最小公倍数について理解している	(1)イ					○	○	90	60.2	0.4
4		○			2つの分数を不等号を用いて表したとき、分子の□にあてはまる数としてもっとも大きな整数を書く	分数の大小を判断することができる	(4)ウエ					○	○	80	41.4	4.6
5		○			2つの部屋のうちどちらがこんでいるのかを単位量あたりの大きさを表した数で比べ、言葉と数を使って書く	単位量当たりの大きさを求める除法の式から、判断した結果の理由を記述することができる	(4)ア					○	○	70	30.5	8.7
6	(1)	○			台形ABCDの中にある2つの黒い三角形を合わせた面積と白い三角形の面積を比べた結果を選び、そのわけを書く	台形の中にできる黒い三角形と白い三角形の面積の大きさを比較し、大小を判断した理由を記述できる	(1)ア					○	○	50	8.0	4.0
	(2)	○			平行四辺形ABCDの中の黒い2つの三角形の面積を求める	長方形ABCDの中の三角形の面積の変化をもとに、示された平行四辺形の中の黒い三角形の面積を求めることができる	(1)ア					○	○	60	38.2	10.3
7		○			5日間の通学時間の記録から2回目を除いた4回分の記録の平均を求める式を選ぶ	場面に応じて、測定値の平均を求める式を判断することができる	(3)ア					○	○	70	65.3	0.6
8	(1)	○			直方体の展開図において、直方体に組み立てたとき、ある面と平行になる面を選ぶ	直方体の展開図に示された面と面が平行になる位置関係を理解している	4(2)アイ					○	○	80	79.1	2.5
	(2)	○			直方体の展開図において、直方体に組み立てたとき、ある面と垂直になる面をすべて選ぶ	直方体の展開図に示された面と面が垂直になる位置関係を理解している	4(2)アイ					○	○	80	69.7	2.9
9		○			三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ	三角形ABCと合同な三角形をかくために必要な条件を理解している	(1)イ					○	○	70	23.9	1.4
10		○			けが調べをまとめた表やグラフから、わかったことがあてはまらないものを選ぶ	二次元表やグラフについて、その特徴や表している事柄を理解している	2(3) 3(3)ア 4(4)イ					○	○	80	56.3	2.7
11	(1)	○			買ったジュースの本数を口本、代金を○円とし、口と○の関係を表に書く	伴って変わる二つの数量の関係を口や○を用いて、式に表すことができる	(1)ア (2)					○	○	70	52.1	4.8
	(2)	○			ジュースの代金がジュースの本数に比例する場合、ジュースの本数が4倍になるとき、それにもなるとジュースの代金は何倍になるかを書く	伴って変わる二つの数量の関係(比例)を表に表したときの変化の特徴を理解している	(1)ア					○	○	90	88.8	4.5
12	(1)	○			図1のえんぴつ立てを作る場合に、あ、いの厚紙がどのような四角形になるかそれぞれ選ぶ	立体図形の見取り図から辺や面のつながりを捉えることができる	4(1)アイ 4(2)アイ					○	○	70	15.4	4.9
	(2)	○			図4のえんぴつ立てを作る場合に、あ、うの四角形が合同な四角形になるように長方形を切る線を書く	平面上にかかれた立体図形や平面図形を基に台形の大きさを考え、作図することができる	4(1)アイ 4(2)アイ 5(1)イ					○	○	60	20.7	23.2

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校算数における成果と課題】

	第4学年			第5学年		
	問題番号	出題のねらい		問題番号	出題のねらい	
成果	本年度	数 2(2) 81.6% 図 10(3) 71.2%	減法と除法の混合した整数の計算をすること 平行四辺形の対角線の特徴を理解すること	図 8(1) 79.1% 数 11(2) 88.8%	直方体の展開図に示された面と面が平行になる位置関係を理解すること 伴って変わる二つの数量の関係(比例)を表に表したときの変化の特徴を理解すること	
	経年	数 12 56.5% H27 6 県 49.5%	二つの数量の関係を見出し、□や○を用いた式に表すことができること	計 1(2) 83.3% H27 1(2) 県 55.9% 数 11(1) 52.1% H27 11(2) 県 36.9%	乗数が小数である場合の計算を、整数の乗法に直して求める方法を理解すること 伴って変わる二つの数量の関係を□や○を用いて、式に表すこと	
課題	本年度	計 1(2) 40.5%	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解すること	計 4 41.4%	分数の大小を判断すること	
		量 6(2) 12.7%	複数の条件設定を比較し、筋道立てて考え、示された判断が正しい理由を説明すること	量 6(1) 8.0%	台形の中にできる黒い三角形と白い三角形の面積の大きさを比較し、大小を判断した理由を記述すること →P.50「小学校算数指導改善のポイント」へ	
		数 9 10.9%	二本の直線が交わってできた角の大きさを求めること	図 6(2) 38.2%	長方形 ABCD 中の三角形の面積の変化をもとに、示された平行四辺形中の黒い三角形の面積を求めること	
		数 13(1) 37.7%	数量の大小や差などが捉えやすいグラフを選択すること	図 12(2) 20.7%	平面上にかかれた立体図形や平面図形を基に台形の大きさを考え、作図すること	
	経年	計 1(1) 46.3% H26 9 イ 県 40.2%	示された場面における二つの数量関係を図に表し、場面に適した演算を用いること	量 5 30.5% H26 11(2) 県 49.8%	単位量当たりの大きさを求める除法の式から、判断した結果の理由を記述すること	
		計 4 22.6% H27 3 県 33.2% 図 11(1) 23.8% H25 7(1) 県 34.9%	量分数の意味を理解すること 円の中心について理解すること	図 9 23.9% H25A 6 県 55.8% 全国 60.7% 図 12(1) 15.4% H27 12(1) 県 49.4%	三角形 ABC と合同な三角形をかくために必要な条件を理解すること 立体図形の見取り図から辺や面のつながりを捉えること	

【領域・内容】計：数と計算、量：量と測定、図：図形、数：数量関係

今後さらに重点となる指導改善のポイント

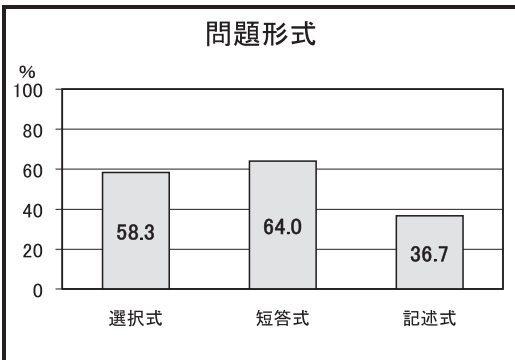
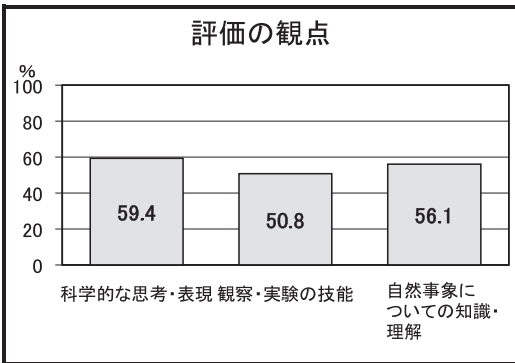
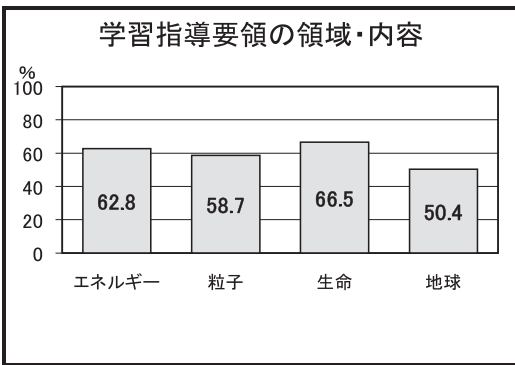
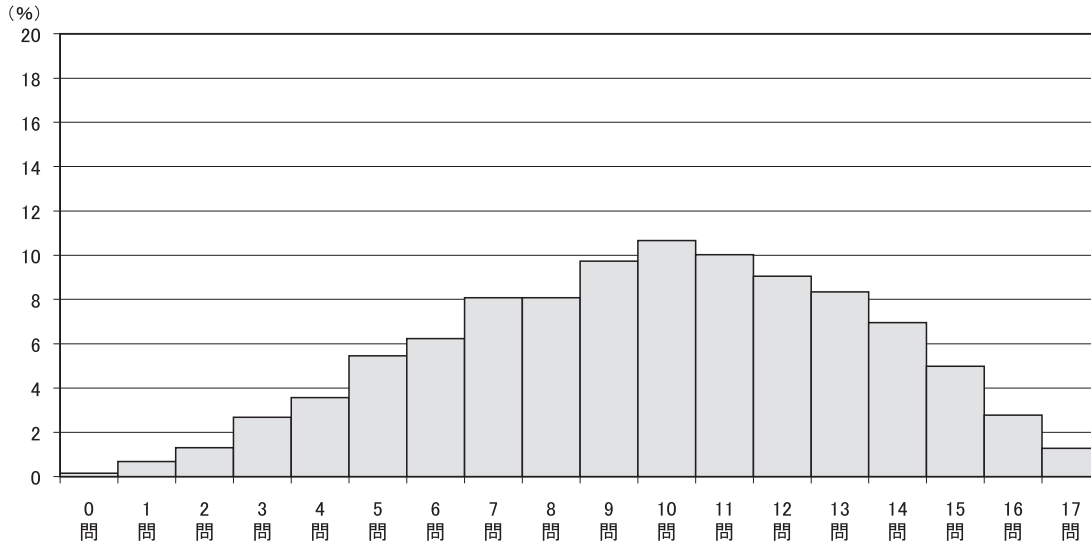
- 分数は、様々な表し方ができる。そのため、常に元の大きさのいくつ分であるかに着目させ、何を表しているのかについて判断し、適切に表現できるように指導することが大切である。
- 図形を構成する要素や図形間の関係に着目させて、図形の構成の仕方について考察させることが大切である。
- 子どもが自ら興味をもった身の回りの事象に対して調査し、それを適切な表やグラフに表して、得られた結果について考察したり、よりよいグラフへと作り替えたりする数学的活動を充実させることが大切である。

小学校第5学年 理科
【分類・区分別の状況】

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,369	9.7 / 17	57.1

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.7
2問	1.3
3問	2.7
4問	3.6
5問	5.5
6問	6.2
7問	8.1
8問	8.1
9問	9.7
10問	10.7
11問	10.0
12問	9.1
13問	8.3
14問	6.9
15問	5.0
16問	2.8
17問	1.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



特徴的な問題

出題の意図
平成27年度全国学力・学習状況調査において、「予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基に自分の考えを改善したりすることに課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

4 (1) しんじさんたちは、予想を確かめるために3本の温度計を、下の図のようにビーカーに入れて実験しようと考えました。

3本の温度計の温度が高くなる順番で確かめることができようだよ。
かずやさん

わたしの予想どおりならば、この方法だとA→C→Bの順に高くなるはずだよ。
まきさん

この方法で実験をした場合、温度計が示す温度が高くなる順番が、まきさんの予想と同じ結果になると考えられる人がいます。それはだれの予想ですか。下の1から3までの中から1つ選びましょう。

- あいりさんの予想
- しんじさんの予想
- かずやさんの予想

まきさん: この方法では、どの予想が正しいか調べることはできないよ。実験の方法を見直さなくてはいいね。

・予想が一致した場合に得られる結果を見通して、水の温まり方についての予想を確かめる実験を構想すること
[正答率54.6%、無解答率0.9%]

【設問別正答率】 小学校調査（第5学年）

問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 科学的な思考・表現	自然事象についての知識・理解	問題形式 選択式 短答式 記述式	期待正答率(%)	高知県	
					エネルギー	粒子	生命	地球					正答率(%)	無解答率(%)
1	(1)	○	ちあきさん、ともさん、ひろしさんが行った実験の結果をもとに、種子の発芽に必要な条件をそれぞれ選ぶ	実験の結果を基に、植物の発芽に必要な条件を考えることができる			(1)イ		○	○	80	70.5	0.0	
	(2)	○	ちあきさんたちが調べた子葉の中にある養分を何と書く	子葉の中に含まれる養分として、デンプンがあることを理解している			(1)ア			○	80	73.8	6.4	
	(3)	○	日光、肥料について条件を変えた実験そう置から、植物の成長に日光が必要かどうかを調べることができる実験そう置の組み合わせを選ぶ	植物の成長に必要な条件を調べる実験について、条件を制御しながら構想できる			(1)ウ		○	○	80	80.8	0.1	
	(4)	○	観察記録をもとに、ホウセンカとヒマワリの両方に、成長するまで日光がよく当たるようにするための種子をまく場所として適切なものを選び、選んだ理由を書く	植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる			(1)ウ	3 (3)ア	○	○	60	41.0	2.1	
2	(1)	○	光の性質をもとに、グラウンドが明るくなった理由に、当てはまる言葉を書く	グラウンドが明るくなった理由について、光の性質(光の反射)を関連付けて考えることができる	3 (3)アイ				○	○	80	84.2	2.2	
	(2)	○	回路に流れる電流の強さ(大きさ)を調べるために、けん流計を正しくつないでいるものを選ぶ	検流計の適切なつなぎ方を身に付けている	4 (3)ア				○	○	80	31.9	0.4	
	(3)	○	実験の結果から、最も電気を起こす働きが大きくなると考えられるソーラーパネルのつけ方を選ぶ	光電池と日光が当たる角の大きさの違いによる当たる光の強さと回路に流れる電流の強さの関係についての規則性を、身の回りにおける光電池が斜めに設置されていることに適用できる	4 (3)イ		3 (3)ア	○	○	80	80.7	0.4		
3	(1)	○	雲が西から東へ動いているとき、午前10時の東西南北の空の様子から、予想される2時間後の天気を選び、選んだ理由を書く	予想される2時間後の天気について、雲の量や動きと天気の変化を関係付けて考えたことを記述できる			(4)ア	○	○	60	32.5	1.1		
	(2)	○	気温の正しい測り方を選ぶ	気温の適切な測り方を身に付けている			4 (3)ア	○	○	80	66.3	0.6		
	(3)	20日 ○	観察記録をもとに、1月20日の気温の変化を表したグラフを選ぶ	天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している			4 (3)ア		○	○	80	53.6	0.7	
	(3)	27日 ○	観察記録をもとに、1月27日の気温の変化を表したグラフを選ぶ	天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している			4 (3)ア		○	○	70	27.2	0.8	
	(4)	○	水が水じょう気となって空気中に出ていくことを表す言葉を書く	水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解している			4 (3)イ		○	○	80	69.8	7.7	
4	(5)	○	部屋のまどガラスの内側に水てきがつく理由に、当てはまる言葉を書く	温度による水の状態変化の規則性を、身の回りで見られる結露の現象に適用できる			4 (3)イ	○	○	70	28.3	8.8		
	(1)	○	水のあたためり方についての予想を確かめる実験で、温度計が示す温度が高くなる順番がまゆさんと同じ結果になると考えられる人を選ぶ	予想が一致した場合に得られる結果を見通して、水の温まり方についての予想を確かめる実験を構想できる		4 (2)イ		○	○	70	54.6	0.9		
	(2)	○	水のあたためり方について、予想を確かめるために見直した実験方法で、かずやさんの予想どおりになった場合に温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ	予想が一致した場合に得られる結果を見通して、水の温まり方についての予想を確かめる実験を構想できる		4 (2)イ		○	○	70	66.3	1.0		
	(3)	○	温度計の目もりを58℃と読むものを選ぶ	温度計の目盛の正しい読み方を身に付けている	3 (3)イ		3 (3)イ	○	○	80	54.3	1.1		
(4)	○	実験の結果から、あたためられた水の動き方は、だれの予想と同じであるかを選ぶ	水の温まり方について、予想と実験の結果を照らし合わせて考えることができる		4 (2)イ			○	○	70	55.1	1.2		

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校理科における成果と課題】

		第5学年	
		問題番号	出題のねらい
成果	本年度	[生] ①(3) 80.8% [工] ②(1) 84.2% [工] ②(3) 80.7% [地]	植物の成長に必要な条件を調べる実験について、条件を制御しながら構想すること グラウンドが明るくなった理由について、光の性質（光の反射）を関連付けて考えること 光電池と日光がつくる角の大きさの違いによる当たる光の強さと回路に流れる電流の強さの関係についての規則性を、身の回りにおける光電池が斜めに設置されていることに適用すること
	経年	[地] ③(4) 69.8% H27 全国④(5) 県 61.1% 全国 58.5%	水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解すること
課題	本年度	[工] ②(2) 31.9%	検流計の適切なつなぎ方を身に付けること
		[地] ③(1) 32.5%	予想される2時間後の天気について、雲の量や動きと天気の変化を関係付けて考えたことを記述すること
		[地] ③(3) 27日 27.2%	天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解すること
	[地] ③(5) 28.3%	温度による水の状態変化の規則性を、身の回りで見られる結露の現象に適用すること	
経年	[生地] ①(4) 41.0% H27 全国②(5) 県 41.8% 全国 44.2% [粒] ④(1) 54.6% H27 全国③(2) 県 51.6% 全国 54.0%	植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述すること 予想が一致した場合に得られる結果を見通して、水の温まり方についての予想を確かめる実験を構想すること →P. 52「小学校理科指導改善のポイント」へ	

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

学習を通して獲得した知識を関係付けながら、実際の自然や日常生活に当てはめて考察することができるようにする指導の充実

○学習した様々な内容と実際の自然の事物・現象との関係に気付くことができるように、知識や経験を日常生活へ適用する場面を意図的に設定することが大切です。

①(4)のように、学校の花壇などで異なる種類の植物を栽培する際には、指導者が栽培場所をはじめから決めるのではなく、学級全体で植物の成長の仕方と日光の当たり方や日陰のつき方を考慮しながら、栽培場所について話し合うなどの機会をもつとよいでしょう。

ポイント2

事実と解釈したことを示して、判断の根拠や理由を説明することができるようにする指導の充実

○考察したことや判断した根拠や理由を説明する際には、観察、実験の結果を基に事実と解釈したことを区別して、両方を示すことがよりの確な説明になることを理解させることが大切です。

○表現したことを振り返り、判断の根拠となる事実を適切に捉えているか、事実を基に解釈した内容は問題と正対しているかなどを確認させましょう。

ポイント3

雲の動きや量、形を観察し、天気の特徴を捉えたり、予想したりすることができるようにする指導の充実

○実際に空を観察する体験を十分に保障し、1日の雲の動きや量を調べ、天気の変化は雲の動きや量と関係していることを捉えることができるようにしましょう。

○普段から気象情報に触れさせるとともに、様々な気象情報について多様な観点から分析して考察させましょう。また、服装の選択や雨具の準備等、日常生活の中の行動に結び付けさせるとよいでしょう。

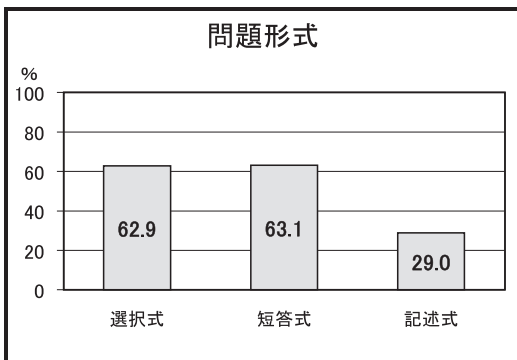
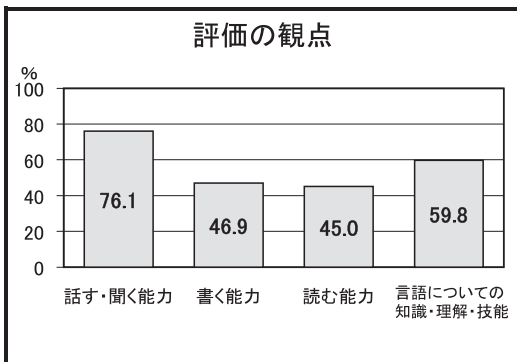
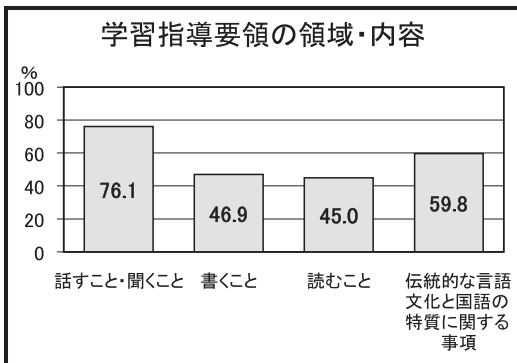
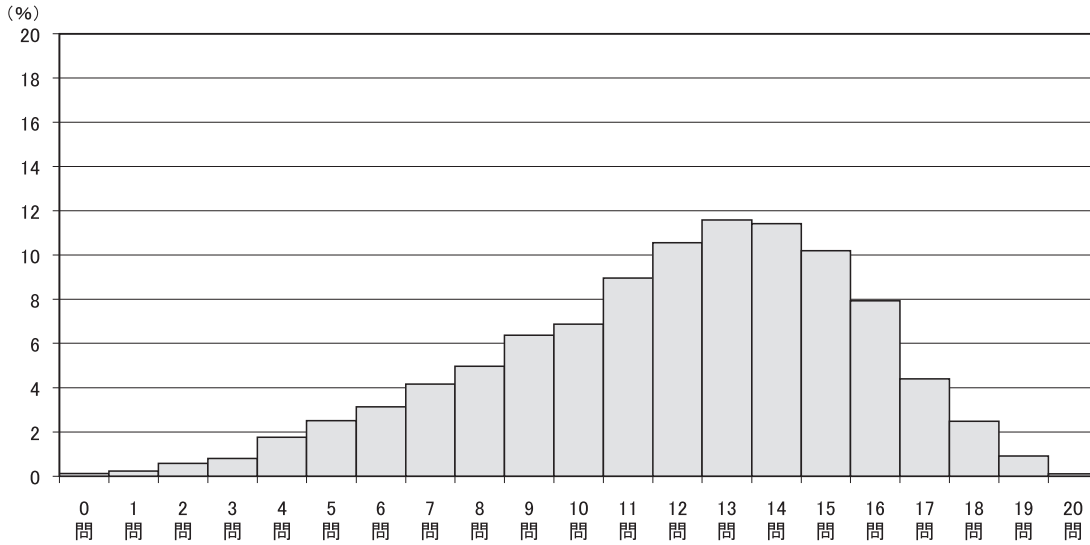
【領域・内容】 [工] : エネルギー、 [粒] : 粒子、 [生] : 生命、 [地] : 地球

中学校第1学年 国語
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,275	11.9 / 20	59.5

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.6
3問	0.8
4問	1.8
5問	2.5
6問	3.1
7問	4.2
8問	5.0
9問	6.4
10問	6.9
11問	9.0
12問	10.5
13問	11.6
14問	11.4
15問	10.2
16問	7.9
17問	4.4
18問	2.5
19問	0.9
20問	0.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



特徴的な問題

出題の意図
平成26年度全国学力・学習状況調査において、「作者の意図、表現の工夫やその効果などについて考えたことを、根拠を明確にして書くことに課題がある」とことから、その改善状況を見るために出題した。

② 城南中学校の生徒会では、地域の小学生に中学校について知ってもらうため、学校紹介のリーフレットを作成することにしました。次は、生徒会が事前に全校生徒を対象にしたアンケートの結果と、それをもとに生徒会のメンバーで話し合った「構想メモ」を作成中の「リーフレットの部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

リーフレットの部

私たちが目指す学校
一人一人がいろいろな場面で活躍できる学校。
人とのつながりを大切にして心を育てる学校。

文武両道
学習にも運動にも熱心な学校です。
授業に励む授業外、放課後に学校に寄り着く活動は自由があります。
部活動にもほとんどの生徒が所属し、活気に溢れています。

団結力
生徒会の仲間がよい学校です。
学年を超えてよく話し合っています。
体育祭は、全校生徒が一人となって取り組む行事の一つで、昔の熱気が伝わります。

交流
① 大塚にやまの学校です。
国語活動や読書会での活動などを行っています。
地域の大人にも大塚図書館、国語館と一緒に活動に必要な力を学ぶことができます。

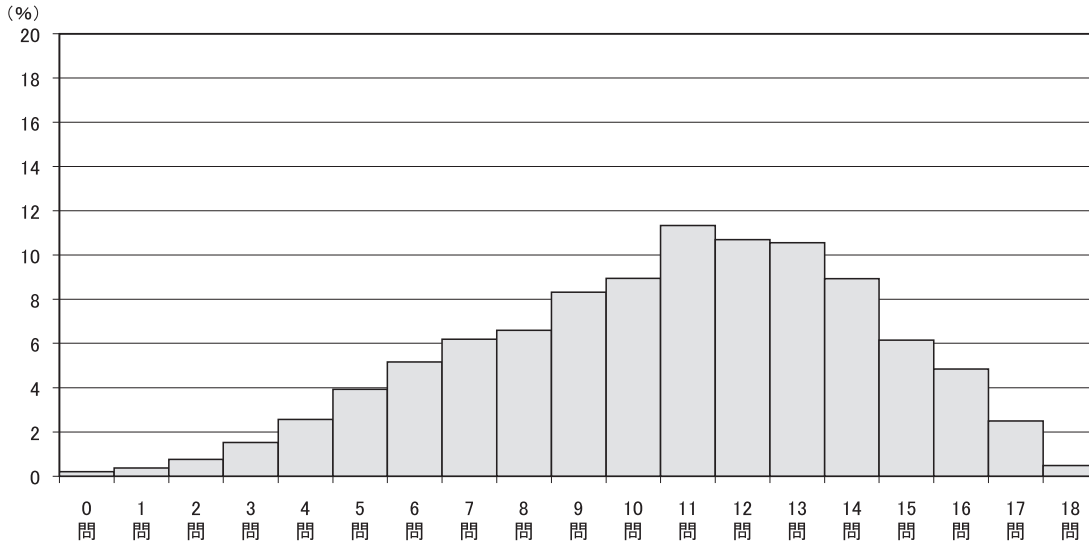
三 生徒会では、「リーフレットの部」の①の部分に書くキヤッチフレーズA、Bを作りました。あなたなら、どちらを選びますが、A、Bから二つ選んだら②のキヤッチフレーズを選んでください。選んだ理由を、あとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二筆で消したり訂正したり書き加えたりしてもかまいません。
(注) キヤッチフレーズの注意をよくよんで工夫した創意を評価します。
(キヤッチフレーズ)
A 仲間とつながり深まる絆は、夢をかなえる第一歩。
B つながろう、深めよう、踏み出そう、夢に向かって。
条件1 「アンケートの結果」「構想メモ」「リーフレットの部」のいずれかの内容と関連させて書くこと。
条件2 キヤッチフレーズの「構想メモ」の中の見解について取り上げ、その効果を具体的に書くこと。
条件3 八十文字以上、百字以内で書くこと。

・文の構成や表現の特徴などについて、自分の考えを根拠を明確にして書くこと
[正答率19.1%、無解答率5.5%]

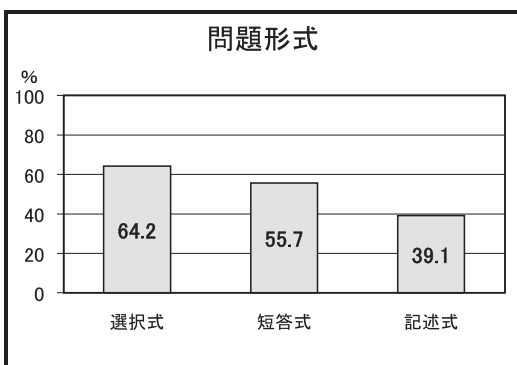
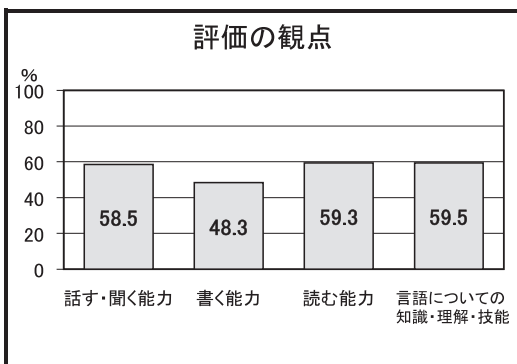
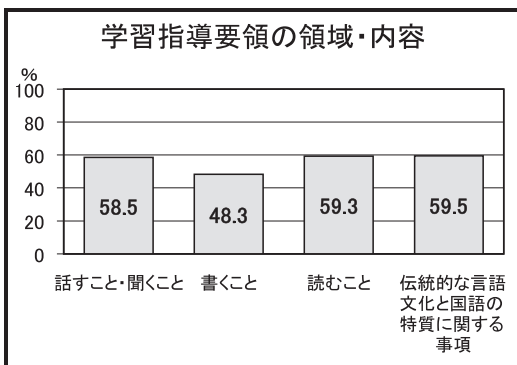
中学校第2学年 国語
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,379	10.6 / 18	59.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.4
2問	0.8
3問	1.5
4問	2.6
5問	3.9
6問	5.2
7問	6.2
8問	6.6
9問	8.3
10問	9.0
11問	11.3
12問	10.7
13問	10.6
14問	8.9
15問	6.1
16問	4.8
17問	2.5
18問	0.5



特徴的な問題

出題の意図
平成27年度全国学力・学習状況調査において、「資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明することに引き続き課題がある」ことから、その改善状況をみるために出題した。

条件1 最初の一文でA、Bのどちらかで「資料」を提示するのがよいと考えるのかを明確にすること。

条件2 「資料」を条件1で考えた位置で提示して、「発案内容」を伝える理由を、聞き手に分かりやすく伝えることとする。

条件3 100字以上、150字以内で書くこと。

【発案内容】

この資料は、地域と連携した取り組みをしている高等学校の数と、その取り組みに参加した高校生のべ人数の変化を示しています。どちらの年々増加していることがわかります。

実際に地域のボランティア活動やイベントの運営に参加している先方は、「地域への貢献」が目的です。『それまで知らなかったことに役立つことができただけ良かった』『それまで知らなかった地域の人たちとつながることができて、もっといろいろな活動をした』と思っている。『出合った人たちの笑顔で、自分が笑顔になれた。元気をたくさんいただいたかな。思えばまた活動に参加するつもり』などで、参加したことが嬉しかった充実感を語られています。

【資料】

地域と連携した取り組みをしている高等学校の数と、参加した生徒のべ人数の変化

年度	高等学校の数	参加した生徒のべ人数
H23	10	100
H24	15	150
H25	20	200
H26	25	250
H27	30	300
H28	35	350

【話し合いの一部】

中村 小松さんが考えた各学校についての紹介内容はいいと思います。

上田 そうだね。でも、紹介資料には何と何と追加したいね。今持っている資料は全部写真だね。これ、タブレットの画面上で見るよりも、紙で見る方がわかりやすい。今持っている資料は全部写真だね。これ、タブレットの画面上で見るよりも、紙で見る方がわかりやすい。今持っている資料は全部写真だね。これ、タブレットの画面上で見るよりも、紙で見る方がわかりやすい。

山下 上田さんの考えはいいね。提示資料の変化を示すグラフを使うと、より分かりやすくなると思う。僕が考えたのは、僕たちの伝えている「地域と連携した活動をしている高等学校」で、高校生活を充実させてみてほしいという想いが伝わるように、話し合いが盛り上がるように。

③ 小松さんのグループは、「地域と連携した活動をしている高等学校というテーマで調べた内容を、二・三年生とその保護者にプレゼンテーションをするために、準備をしています。次は、小松さんが考えた『発表の原案』と発表に使った『資料写真』その他の情報を書いた『メモ』です。これらを読んでもとの問いに答えなさい。

三 次は、『発表の原案』について、小松さんのグループで行った話し合いの一部です。

・資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くこと
[正答率38.4%、無解答率23.1%]

【設問別正答率】 中学校調査（第1学年）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)	正答率(%)
1	一	(1)	○	漢字を書く (土手にソッテ)	文脈に即して漢字を正しく書く			(1) ウ(4)			○	○	80	38.2	21.4	
		(2)	○	漢字を書く (ゴミをシュウシュウ)	文脈に即して漢字を正しく書く			(1) ウ(4)			○	○	80	42.8	12.7	
		(3)	○	漢字を読む (河原にある)	文脈に即して漢字を正しく読む			(1) ウ(4)			○	○	80	73.3	4.1	
		(4)	○	漢字を読む (快く協力)	文脈に即して漢字を正しく読む			(1) ウ(4)			○	○	80	75.4	7.7	
	二	ア	○	適切な語句を選ぶ (彼女は一を聞いて十を知る人物だ。)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			(1) イ(4)			○	○	80	66.7	0.2	
		イ	○	適切な語句を選ぶ (次回の会議は視点を変えて話し合おう。)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			(1) イ(4)			○	○	80	78.8	0.1	
		ウ	○	適切な語句を選ぶ (「優に十万人を超える観客がいた。」の「優に」の意味は余裕のある様子である。)	語句が表している意味を正しく捉える			(1) イ(4)			○	○	80	79.6	0.1	
	三	○	助言を受けて書いた作品から、助言の内容として適切なものを選ぶ	文字の大きさ、配列などについて理解して書く			(2) ア			○	○	80	88.4	0.2		
	四	(1)	○	歴史的仮名づかい「添へて」を現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			(1) ア(4)			○	○	80	73.1	5.8	
		(2)	○	「いとあはれがらせたまひて」の現代語訳をしたものとして適切なものを選ぶ	文章の展開に即して内容を読み取る			ウ			○	○	80	66.7	0.2	
	五	(1)	○	話し合いの方向を捉えた司会者の発言として適切なものを選ぶ	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす			オ			○	○	70	72.5	0.2	
		(2)	○	紙の書籍を利用しない理由をまとめたものとして適切なものを選ぶ	話し手の発言を注意して聞き、考えをまとめる			オ			○	○	70	79.6	0.3	
	六	(1)	○	詩「愛」の第二連の表現技法として適切なものを選ぶ	表現の技法について理解する			(1) イ(4)			○	○	70	22.5	0.7	
		(2)	○	詩「愛」の内容を説明したものとして適切なものを選ぶ	描写に注意して読み、内容を理解する			ウ			○	○	70	53.5	0.5	
	2	一	○	【リーフレットの一部】の作成にあたり、工夫している点として当てはまらないものを選ぶ	文章を分かりやすく工夫して書く			ウ			○	○	70	53.8	0.5	
		二	○	【リーフレットの一部】に記載する言葉を【アンケートの結果】もしくは【構想メモ】から抜き出す	集めた材料を整理し、段落の役割を考えて文章を構成する			イ			○	○	70	76.0	3.7	
		三	○	二つのキャッチフレーズから一つ選び、そのキャッチフレーズを選んだ理由を【アンケート結果】、【構想メモ】、【リーフレットの一部】のいずれかと関連させて書く	文の構成や表現の特徴などについて、自分の考えを根拠を明確にして書く			ウ	エ	(1) イ(4)	○	○	○	50	19.1	5.5
	3	一	○	【パンフレットの一部】の内容を説明したものとして適切なものを選ぶ	資料を読み、要旨を捉える			イ			○	○	70	58.7	0.9	
		二	○	【新聞記事の一部】の構成として適切なものを選ぶ	資料を読んで、構成や展開を捉える			エ			○	○	70	33.4	1.6	
		三	○	給食残食率を減らすためのメッセージを【パンフレットの一部】や【新聞記事の一部】の内容を引用したり、要約したりして書く	資料などから目的に応じて必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く			ウ	カ		○	○	40	38.9	15.0	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】 中学校調査（第2学年）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題	主として「知識」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)	正答率(%)
1	一	(1)	○	漢字を書く (チームをタバねていく)	文脈に即して漢字を正しく書く			(1)ウ(4)			○	○	80	78.8	12.1		
		(2)	○	漢字を読む (統率力)	文脈に即して漢字を正しく読む			(1)ウ(7)			○	○	80	35.6	2.1		
		(3)	○	漢字を読む (費やした努力)	文脈に即して漢字を正しく読む			(1)ウ(7)			○	○	80	80.4	2.6		
		(4)	○	漢字を書く (主を逃さず)	文脈に即して漢字を正しく書く			(1)ウ(4)			○	○	80	23.9	11.6		
	二	ア	○	適切な語句を選ぶ (彼が討論の口火を切った。)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			(1)イ(4)			○	○	80	40.7	0.3		
		イ	○	適切な語句を選ぶ (「毎朝、父は納豆を食べている」の「食べて」と「いる」の分節どうしの関係は補助の関係である。)	文の成分について理解する			1(1)イ(4)			○	○	80	59.2	0.3		
		ウ	○	適切な語句を選ぶ (先日は先生にお世話になった、と父が申しておりました。)	敬語について理解する			(1)イ(7)			○	○	80	75.4	0.1		
	三	○	作品を書き直した際に生かした友人のアドバイスを、当てはまらないものを選ぶ	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書く			(2)ア			○	○	80	72.1	0.2			
	四	(1)	○	歴史的仮名づかい「ありやう」を現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			1(1)ア(7)			○	○	80	60.0	4.9		
		(2)	○	「げに」の現代語訳をしたものとして適切なものを選ぶ	古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像する			(1)ア(4)			○	○	70	68.6	0.2		
	五	(1)	○	意見文の【下書き】に取り入れなかった【メモ】を選ぶ	多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめる		ア				○	○	70	80.5	0.4		
		(2)	○	意見文の【下書き】に一文を付け加える際のアドバイスを、適切なものを選ぶ	書いた文章についてアドバイスを基に、自分の文章を見直す		オ				○	○	70	34.4	0.3		
2	一	○	登場人物の人物像について適切なものを選ぶ	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1ウ			○	○	70	86.3	0.4			
	二	○	【資料の一部】からは分かるが、【あらすじ】や【文章】だけでは分からない内容を選ぶ	目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ			○	○	70	51.9	0.7			
	三	○	読み方を選択し、なぜそのように読むのかを、本文等を根拠にジョン・マンの気持ちを想像して書く	文章に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く			1ウ	エ			○	○	50	39.8	9.2		
3	一	○	聞き手に対する工夫として適切なものを選ぶ	相手の反応を踏まえながら話す		1イ				○	○	70	64.4	1.6			
	二	○	【メモ】の内容を役立てられる場合として適切なものを選ぶ	状況に応じて、資料を活用して話す		ウ				○	○	70	72.8	1.7			
	三	○	【資料】を提示して説明するタイミングを選択し、その理由を聞き手に分かりやすく伝えるうえでどのような効果があるかを踏まえて書く	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く		ウ	1ウ			○	○	40	38.4	23.1			

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校国語における成果と課題】

		第1学年			第2学年		
		問題番号	出題のねらい	問題番号	出題のねらい		
成果	本年度	伝 1三 88.4%	文字の大きさ、配列などについて理解して書くこと	伝 1一(3) 80.4%	文脈に即して漢字を正しく読むこと 費やした努力		
	経年	伝 1四(1) 73.1% H28 1五(1) 県 66.8%	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと	伝 1ニウ 75.4% H28 1三ウ 県 55.7%	敬語について理解すること		
課題	本年度	伝 1一(1) 38.2%	文脈に即して漢字を正しく書くこと 土手に <u>ソ</u> って	伝 1一(2) 35.6%	文脈に即して漢字を正しく読むこと 統率力		
		1一(2) 42.8%	文脈に即して漢字を正しく書くこと ゴミを <u>シュウシュウ</u>	1一(4) 23.9%	文脈に即して漢字を正しく書くこと 主を逃さず		
	経年	伝 1六(1) 22.5% H26 3二 県 44.6%	表現の技法について理解すること	伝 1ニア 40.7% H27A 9三イ 県 52.8% 全国 55.5%	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと 彼が討論の口火を切った。		
		書 2三 19.1% H26B 1三 県 45.3% 全国 48.2%	文の構成や表現の仕方などについて、自分の考えを根拠を明確にして書くこと	書 1五(2) 34.4% H26 1七(2) 県 32.4%	書いた文章についてアドバイスを基に、自分の文章を見直すこと		
読 3二 33.4% H28 2一 県 39.2%		資料を読んで、構成や展開を捉えること	書 2三 39.8% H26B 3三 県 42.4% 全国 46.5%	文章に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと			
	書 3三 38.9% H28B 3三 県 56.6% 全国 57.7%	資料などから目的に応じて必要な情報を読み取り、自分の考えを根拠を明確にして書くこと	話 3三 38.4% H27B 1三 県 52.0% 全国 56.2%	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くこと	→P. 54「中学校国語指導改善のポイント」へ		

【領域・内容】話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

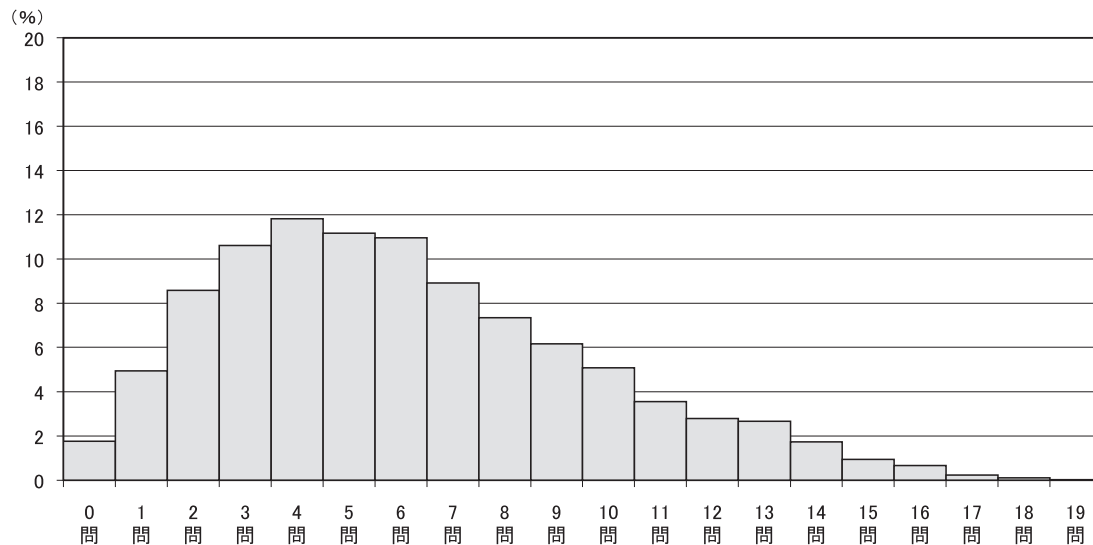
今後さらに重点となる指導改善のポイント

- 語句についての理解を深めるためには、語句の辞書的な意味を基にして、話や文脈の中での意味を捉えることが大切である。語感を磨き語彙を豊かにするためには、語句の意味や用法を具体的な場面と合わせながら学習させることが有効である。
- 表現技法について学習する際には、その名称を確認するとともに、具体的な表現と結び付けて考えることが大切である。意味や用法を指摘しながら、その効果について意見を述べ合う学習活動や幾つかの表現の技法を取り上げて自分の表現に生かす学習活動も考えられる。
- 目的に応じて情報を整理し、自分の考えを伝える際には、なぜそのような考えたのかについて、根拠を明確にして話したり、書いたりすることが大切である。自分の思いや考えを繰り返すだけでは相手に効果的に伝わらない。複数の事例を示したり、どのようなことから考えたのかが分かるように伝えたりすることができるよう、指導することが重要である。

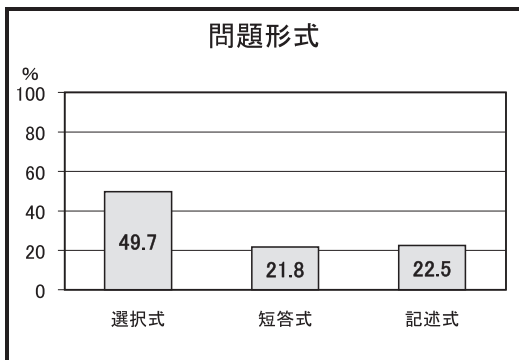
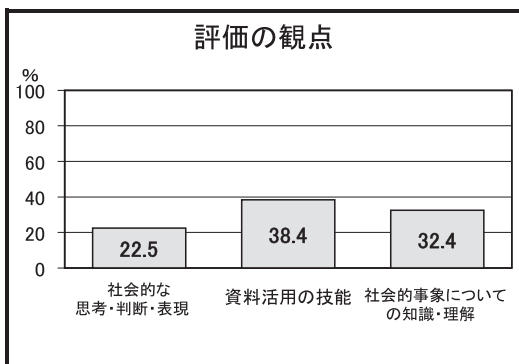
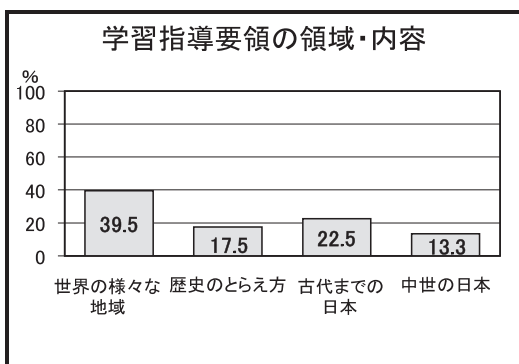
中学校第1学年 社会
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,273	6.1 / 19	32.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	1.8
1問	4.9
2問	8.6
3問	10.6
4問	11.8
5問	11.2
6問	11.0
7問	8.9
8問	7.3
9問	6.2
10問	5.1
11問	3.6
12問	2.8
13問	2.7
14問	1.7
15問	0.9
16問	0.7
17問	0.2
18問	0.1
19問	0.0



特徴的な問題

出題の意図
過去の高知県学力定着状況調査において、「資料から情報を関連付けて書くことに課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

4

(4) アメリカ合衆国の農業は、経営の方法に特徴があると考え、資料を集めました。下の【資料5】は、農場を経営の仕方により「家族の経営」と「企業の経営」の2つに分類し、その割合を比較したものです。【資料5】から読み取れる、企業が経営している農場の特色を、農場数と農地面積および販売額を関連させて書きなさい。

【資料5】アメリカ国内の農業の比較(%)

項目	家族の経営 (%)	企業の経営 (%)
農場数	89.7	10.3
農地面積	66.3	33.7
販売額	52.5	47.5

□ 家族の経営
■ 企業の経営
※ 法人、共同経営、協同組合などを含む。

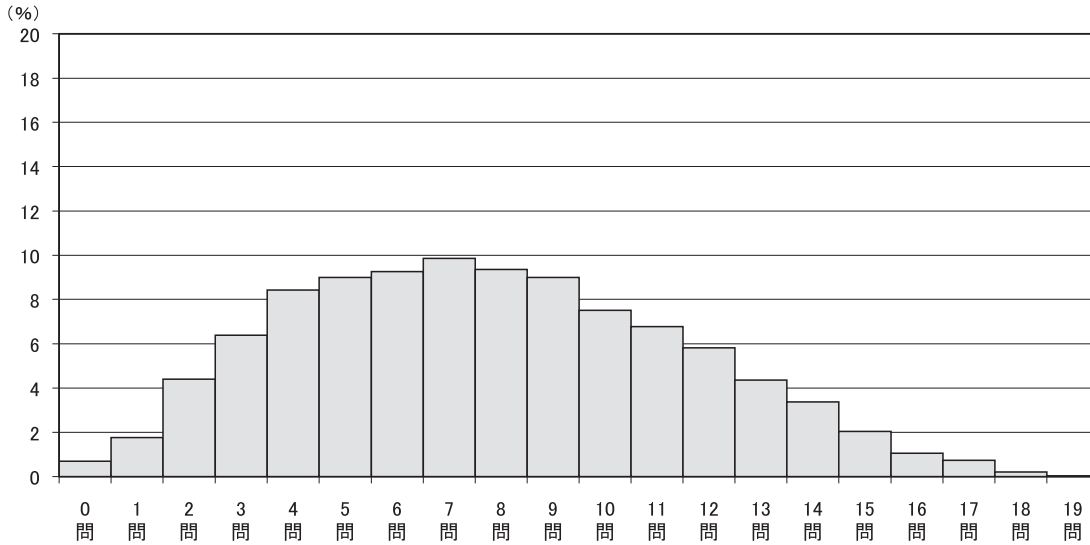
(「米国農務省、農業統計局農業センサス」2002などから作成)

・アメリカ合衆国の企業が経営している農場の特色について説明すること
[正答率15.2%、無解答率28.1%]

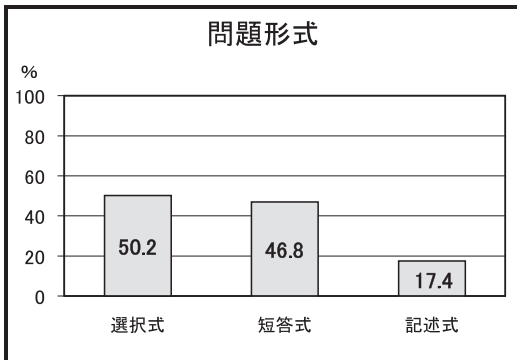
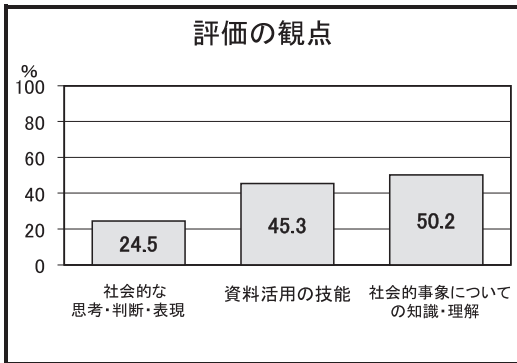
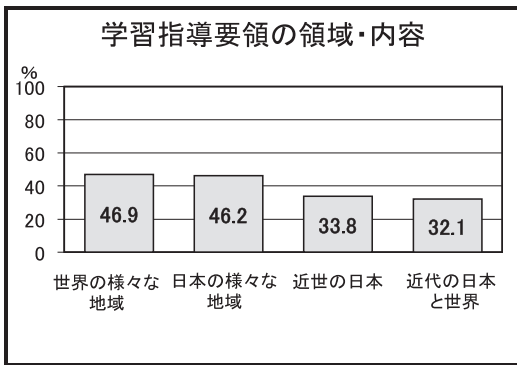
中学校第2学年 社会
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,382	7.8 / 19	40.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.7
1問	1.8
2問	4.4
3問	6.4
4問	8.4
5問	9.0
6問	9.3
7問	9.9
8問	9.4
9問	9.0
10問	7.5
11問	6.8
12問	5.8
13問	4.4
14問	3.4
15問	2.0
16問	1.0
17問	0.7
18問	0.2
19問	0.0



特徴的な問題

出題の意図
過去の高知県学力定着状況調査において、「複数の資料を関連付けて、資料から読み取ったことを基に説明することに課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

2

(2) 山本さんと岩崎さんは、【資料1】から、オーストラリアの最大の貿易相手国が、イギリスから中国や日本などに変わった理由について調べるために【資料2】、【資料3】を集めました。これらの資料から読み取った内容を書きなさい。

【資料1】

オーストラリアから
日本・中国・イギリス・アメリカへの輸出

(単位: 億米ドル)

日本・中国・イギリス・アメリカから
オーストラリアへの輸出

(単位: 億米ドル)

〔オーストラリア外務・貿易省 統計資料〕より作成〕

【資料2】

キャンベラ中心の正距方位図法

メルカトル図法

【資料3】 GDP総額世界10か国

2015年	GDP総額
1	アメリカ 17兆9470億ドル
2	中国 10兆9828億ドル
3	日本 4兆1232億ドル
4	ドイツ 3兆3576億ドル
5	イギリス 2兆8493億ドル
6	フランス 2兆4215億ドル
7	インド 2兆907億ドル
8	イタリア 1兆8157億ドル
9	ブラジル 1兆7725億ドル
10	カナダ 1兆5523億ドル

※GDP(国内総生産)

・オーストラリアがアジア諸国と結び付きを強めた理由を説明すること[正答率37.0%、無解答率14.2%]

【設問別正答率】 中学校調査（第1学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 資料活用の技能 社会的な思考・判断・表現	問題形式 選択式 短答式 記述式	期待正答率（％）	高知県		
							世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本				正答率（％）	無解答率（％）	
1			○		示された大陸と同じ大陸を別の世界地図から選ぶ	世界地図を基に、大陸と海洋の位置関係を読み取ることができる	(1)ア					○	○	80	47.1	0.1
					地図上の地点について緯度、経度を正しく表しているものを選ぶ	地球上の位置を緯度、経度を用いて表すことができる	(1)ア					○	○	90	38.3	0.4
					メルカトル図法の地図ではオーストラリアよりもグリーンランドの方が大きく描かれている理由に当てはまる内容を書く	地図の特色を理解している	(1)ア					○	○	70	13.7	20.8
2			○		資料を参考にして、ラバスの主食を書く	高山気候の人々の生活の様子について理解している	(1)イ					○	○	80	42.2	11.9
					以前の生活と近年の生活の様子についてまとめたレポートを見て、ウランバートルの生活の様子に当てはまる語句を書く	人々の生活の工夫や、伝統生活と現代の変化を読み取ることができる	(1)イ					○	○	70	57.1	9.4
3			○		東南アジアの産業の変化について、資料から読み取れることを述べた文として適切でないものを選ぶ	東南アジアの経済発展について読み取り、アジアの産業発展について捉えることができる	(1)ウ (7)					○	○	60	59.3	0.2
					マレーシアの主要な産業が鉱工業であることを示すために必要な資料として最も適切なものを選ぶ	地域の主要な産業について調べときの資料について理解している	(1)ウ (7)					○	○	60	35.5	0.5
					資料から、東南アジアと日系企業との関係を読み取り、東南アジアへ進出する日系企業数が増加した理由について説明する	東南アジアの多様性と経済発展について読み取り、アジアの地域的特色を説明することができる	(1)ウ (7)					○	○	50	25.1	22.0
4			○		資料から、アメリカ合衆国の移民の名称を選ぶ	アメリカ合衆国の多様な民族について理解している	(1)ウ (1)					○	○	80	65.0	0.5
					アメリカ合衆国の農業の特色について述べた文として適切でないものを選ぶ	アメリカ合衆国の気候と農作物の生産分布の地域的特色を捉えることができる	(1)ウ (1)					○	○	70	48.3	0.7
					資料を参考に、アメリカ合衆国の農業の特色を、日本の農業と比較して説明する	アメリカ合衆国の農業における地域的特色を説明することができる	(1)ウ (1)					○	○	50	27.1	15.7
					資料から、企業が経営している農場の特色を、農場数と農地面積および販売額を関連させて説明する	アメリカ合衆国の企業が経営している農場の特色について説明することができる	(1)ウ (1)					○	○	40	15.2	28.1
5			○		時代区分について書く	年表の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している	(1)ア					○	○	70	8.1	15.0
					中世と近世の時代に共通する点を「政治の実権」という言葉を使って書く	時代の区分に着目して、その移り変わりについて理解している	(1)ア					○	○	70	27.0	18.0
6			○		中国文明の特色として最も適切な文を選ぶ	世界の古代文明について理解している	(2)ア					○	○	80	54.0	0.7
					資料から弥生時代の特色について読み取り、空欄に当てはまる内容を書く	我が国の国家の形成と東アジアの文明の影響について捉えることができる	(2)ア					○	○	70	5.4	9.2
7			○		十七条の憲法と大宝律令について述べた文の空欄に当てはまる語句を書く	我が国が律令国家として形づくられていったことを理解している	(2)イ					○	○	70	7.8	13.2
					聖武天皇が全国に国分寺や国分尼寺を、奈良に東大寺をつくったのはなぜか、時代背景をもとに説明する	仏教の伝来とその影響について説明することができる	(2)ウ					○	○	40	22.7	23.6
8			○		鎌倉幕府と室町幕府のしくみを比較して分かったことをまとめた文の空欄に当てはまる語句を書く	武家政治の特色を捉えることができる	(3)ア					○	○	70	13.3	11.6

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】 中学校調査（第2学年）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題	主として「知識」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 資料活用 社会的な思考・判断・表現	問題形式 選択式 短答式 記述式	期待正答率(%)	高知県	
							世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界				正答率(%)	無解答率(%)
(1)	1		○		地球上で東京の正反対に当たる地点に近い都市を選ぶ	緯度・経度の知識を活用して、対蹠点について捉えることができる	(1)ア				○	○	70	42.7	0.3
					資料をもとに、住居を高床式にする理由についてまとめた文に当てはまる内容を書く	環境条件に合った住居の工夫について読み取ることができる	(1)イ				○	○	70	39.3	6.3
(1)	2		○		オーストラリアの国旗にイギリスの国旗が含まれている理由について空欄に当てはまる適切な語句を書く	オーストラリアとイギリスとのかつての関係について理解している	(1)ウ (ウ)				○	○	80	68.6	2.6
					資料から、オーストラリアの最大の貿易相手国が、イギリスから中国や日本などに変わった理由について説明する	オーストラリアがアジア諸国と結びつきを強めた理由を説明することができる	(1)ウ (ウ)				○	○	40	37.0	14.2
(1)	3		○		日本が1月11日午前9時のとき、1月10日午後6時である地点を、地図中から選ぶ	地図を活用し、世界各地との時差を読み取ることができる	(2)ア				○	○	70	53.9	0.7
					資料をもとに、日本の排他的経済水域の面積の割合が、アメリカ合衆国と比べて大きい理由を、日本とアメリカ合衆国を比較して説明する	海洋に囲まれた日本の国土と領域の特色について捉え、説明することができる	(2)ア				○	○	60	14.1	12.6
(1)	4		○		那覇市の気温と降水量に当てはまるグラフを選ぶ	気温と降水量のグラフから、九州地方の気候の特色を読み取ることができる	(2)ウ (ウ)				○	○	80	74.7	0.4
					九州地方の環境問題に関する資料について述べた文の空欄に当てはまる語句を書く	九州地方の地域的的特色を生かした環境保全の取り組みについて捉えることができる	(2)ウ (ウ)				○	○	70	57.5	5.5
					宮崎県で行われている家畜の排せつ物を利用した発電の事業は、どのようなことに重点を置いているのかを説明する	九州地方の産業と環境保全の取り組みについて考え、九州地方の地域的的特色を説明することができる	(2)ウ (ウ)				○	○	40	19.3	24.7
(1)	5		○		大阪の歴史的發展についてまとめた文の空欄に当てはまる語句の組み合わせを選ぶ	近畿地方の歴史的背景に着目して、地域的的特色を捉えることができる	(2)ウ (ウ)				○	○	80	64.6	0.6
					資料から、阪神工業地帯の課題を踏まえ、大阪を中心とした地域が取り組んでいる内容として適切でないものを選ぶ	近畿地方の産業の立地や歴史的背景を追究することを通して、資料から地域的的特色を考察することができる	(2)ウ (ウ)				○	○	60	39.3	1.1
(1)	6		○		日本に來航したヨーロッパ人が、16世紀中頃から江戸幕府成立以前の日本に与えた影響として当てはまらないものを選ぶ	ヨーロッパ人來航の背景とその影響について理解している	(4)ア				○	○	70	45.8	0.5
					築市令のような政策の目的に当てはまるものを選ぶ	織田信長が行った政策について読み取ることができる	(4)アイ				○	○	70	53.4	0.6
					秀吉の政策によってどのような社会が築かれていったのかをまとめた文の空欄に当てはまる適切な内容を書く	検地や刀持などの政策によって、中世までとは異なる社会が生み出されたことについて捉えることができる	(4)アイ				○	○	60	21.8	10.8
(1)	7		○		江戸時代の政治改革の名称の組み合わせとして適切なものを選ぶ	江戸幕府の政治改革について理解している	(4)エ				○	○	80	43.7	0.8
					田沼意次の政治の特徴と他の3つの改革とのちがいについて、「年貢」、「商工業者」という語句を使って説明する	江戸幕府の政治改革の違いについて説明することができる	(4)エ				○	○	40	4.2	30.4
(1)	8	①	○		資料を参考に、欧米諸国がアジアに進出した理由として適切なものを選ぶ	欧米諸国における市民革命や産業革命を通して、欧米諸国が近代社会を成立させたことを理解している	(5)ア				○	○	70	42.8	1.2
					明治政府の行った政策が人々の生活に与えた影響について適切なものを選ぶ	江戸幕府と明治政府の政策を比較し、違いに着目して考察し、新政府による改革の特色を捉えることができる	(5)イ				○	○	70	40.9	1.6
		②	○		明治政府の目指した「近代化」の目的と、欧米諸国とどのような関係を築こうとしたのかを、「富国強兵」の語句を使って説明する	新政府による改革の特色を考え、欧米諸国とのかわりや社会の近代化などについて説明することができる	(5)イ				○	○	40	12.6	28.3

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校社会における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	世界 4(1) 65.0%	アメリカ合衆国の多様な民族について理解すること	世界 2(1) 68.6%	オーストラリアとイギリスとのかつての関係について理解すること	
	経年	世界 3(1) 59.3% H27 2年 2(1) 県 52.7%	東南アジアの経済発展について読み取り、アジアの産業発展について捉えること	日本 5(1) 64.6% H27 3(2) 県 33.1%	近畿地方の歴史的背景に着目して、地域的特色を捉えること	
課題	本年度	世界 4(3) 27.1%	アメリカ合衆国の農業における地域的特色を説明すること	世界 2(2) 37.0%	オーストラリアがアジア諸国と結びつきを強めた理由を説明すること →P.56「中学校社会指導改善のポイント」へ	
		世界 4(4) 15.2%	アメリカ合衆国の企業が経営している農場の特色について説明すること	日本 4(3) 19.3%	九州地方の産業と環境保全の取り組みについて考え、九州地方の地域的特色を説明すること	
		古代 7(1) 7.8%	我が国が律令国家として形づくられていったことを理解すること	近世 7(2) 4.2%	江戸幕府の政治改革の違いについて説明すること	
		中世 8 13.3%	武家政治の特色を捉えること			
	経年	世界 1(2) 38.3% H28 2年 1(2) 県 16.3%	地図上の位置を緯度・経度を用いて表すこと	世界 1(1) 42.7% H27 1(3) 県 49.7%	緯度・経度の知識を活用して、対蹠点について捉えること	
		世界 1(3) 13.7% H25 1(4) 県 59.8%	地図の特色を理解すること	3(2) 14.1% H26 2(3) 県 45.4%	海洋に囲まれた日本の国土と領域の特色について捉え、説明すること	
		現代 5(1) 8.1% H28 5(1) 県 58.0%	年表の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解すること	近世 6(3) 21.8% H25 6(1)② 県 51.9%	検地や刀狩などの政策によって、中世までとは異なる社会が生まれ出されたことについて捉えること	
		古代 6(2) 5.4% H28 6(1) 県 72.1%	我が国の国家の形成と東アジアの文明の影響について捉えること	近代 8(2)② 12.6% H26 6(4) Z 県 18.7%	新政府による改革の特色を考え、欧米諸国とのかかわりや社会の近代化などについて説明すること	

【領域・内容】 世界：世界の様々な地域、 日本：日本の様々な地域、 歴史：歴史のとらえ方、
古代：古代までの日本、 中世：中世の日本、 近世：近世の日本、 近代：近代の日本と世界

今後さらに重点となる指導改善のポイント

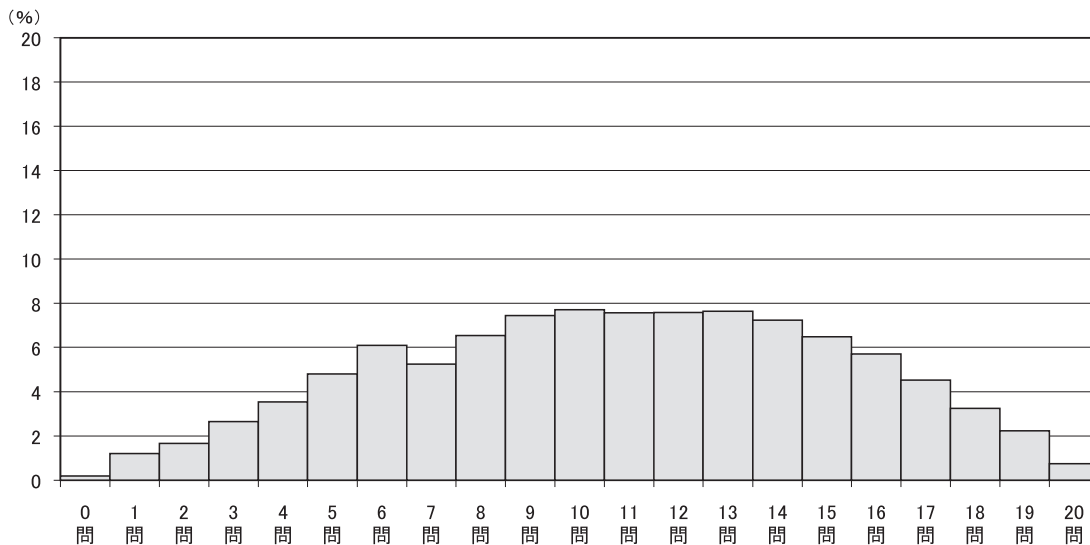
○学習課題を解決する場面を計画的に設定し、社会的事象について資料に基づき特色や相互の関連を考察して、追究した過程や結果を用語・語句などを用いて表現させる指導の充実を図ることが重要である。

○教室で学んだことが実生活でも活用できるよう、相違点など資料から取り出した情報を関連付けて社会的事象の意味や意義を解釈し、自分の考えたことを説明させることが大切である。その際に、他者と交流しながら、他と自分の意見を比較・吟味し、自分が思考・判断したことを説明できるように指導の充実を図ることが大切である。

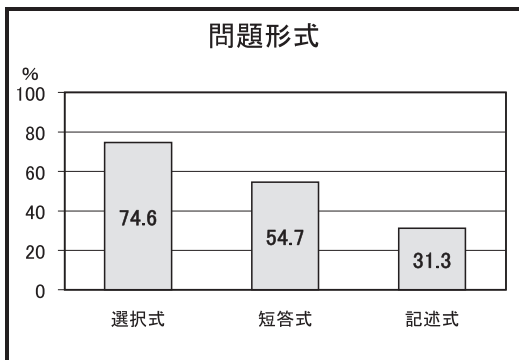
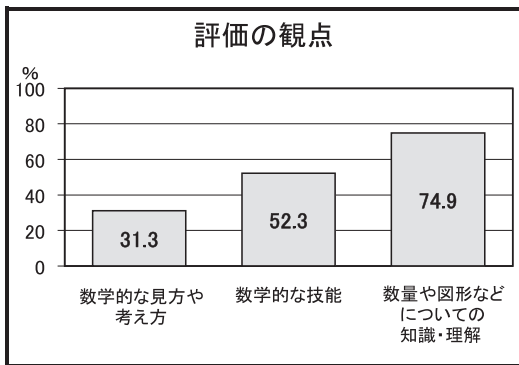
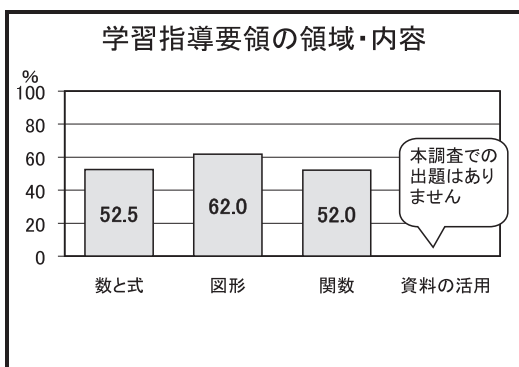
中学校第1学年 数学
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,271	10.8 / 20	53.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	1.2
2問	1.7
3問	2.6
4問	3.5
5問	4.8
6問	6.1
7問	5.2
8問	6.5
9問	7.4
10問	7.7
11問	7.6
12問	7.6
13問	7.6
14問	7.2
15問	6.5
16問	5.7
17問	4.5
18問	3.3
19問	2.2
20問	0.7



特徴的な問題

出題の意図
平成25年度及び平成29年度全国学力・学習状況調査において、「事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することに引き続き課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

3

② 図1のように、マグネットを囲むと、 x 枚の折り紙をはるために必要なマグネットの個数は、 $4+3(x-1)$ という式で表すことができ、その理由は次のように説明できます。

説明

図1

x 枚

マグネットを図1のように囲むと、1つの囲みにマグネットが3個ある。その囲みが $(x-1)$ 個あるので、この囲みで数えたマグネットの個数は、 $3(x-1)$ 個となる。

このとき、左端に囲まれていないマグネットが4個あるので、必要なマグネットの個数は、 $3(x-1)$ より4個多い。

したがって、 x 枚の折り紙を黒板にはるときに、必要なマグネットの個数を表す式は、 $4+3(x-1)$ になる。

図2のように囲み方を変えてみると、 x 枚の折り紙をはるために必要なマグネットの個数は、 $1+3x$ という式で表すことができます。 x 枚の折り紙をはるために必要なマグネットの個数を表す式が $1+3x$ になる理由について、下の説明を完成しなさい。

説明

図2

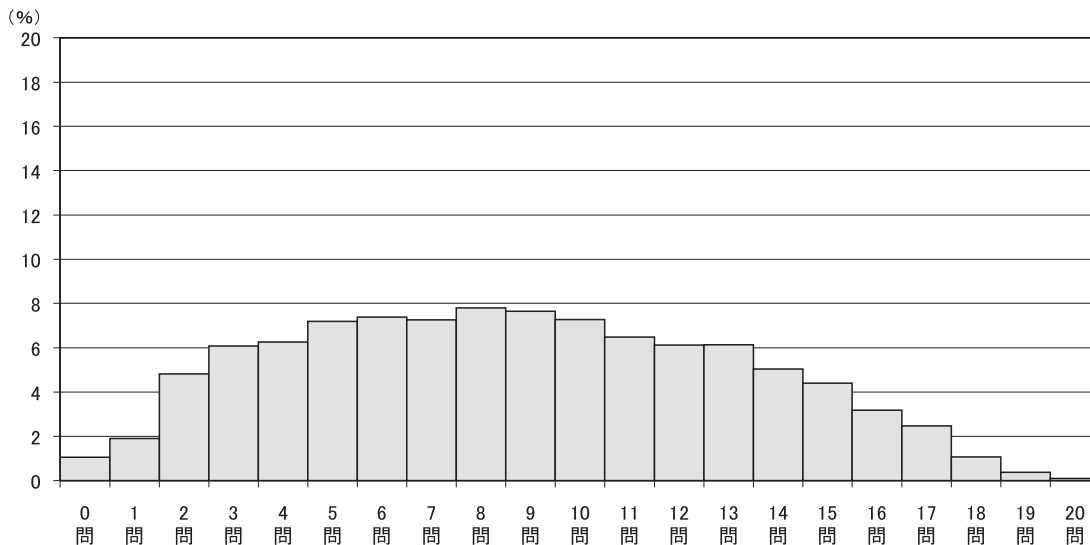
x 枚

・事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること [正答率48.8%、無解答率13.5%]

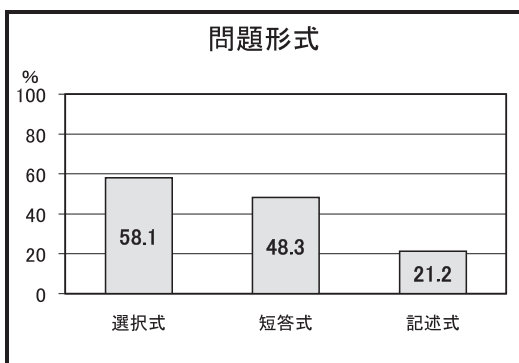
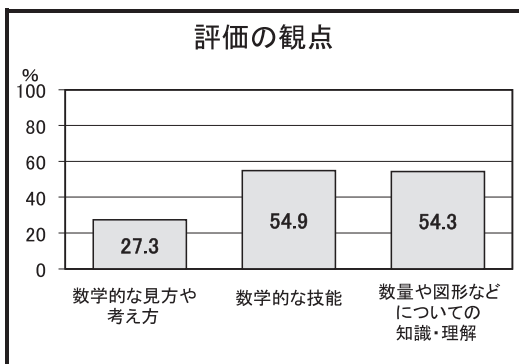
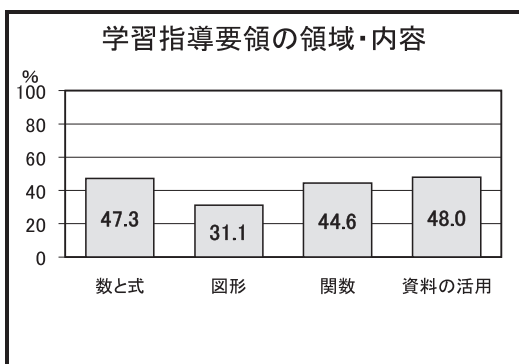
中学校第2学年 数学
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,381	8.7 / 20	43.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	1.0
1問	1.9
2問	4.8
3問	6.1
4問	6.3
5問	7.2
6問	7.4
7問	7.3
8問	7.8
9問	7.6
10問	7.3
11問	6.5
12問	6.1
13問	6.1
14問	5.0
15問	4.4
16問	3.2
17問	2.5
18問	1.1
19問	0.4
20問	0.1



特徴的な問題

出題の意図
 これまでの学力調査等の結果から、「事柄の説明」「方法の説明」「理由の説明」の数学における3種類の記述式の問題の中でも特に課題となっている「方法の説明」を記述する問題を、関数を使って問題解決の方法を見通す場面で出題した。

⑥ 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

ある学校では、2月に特別教室で、学習発表会を行います。
 この季節は室温が低く、人の出入りもあるため、石油ファンヒーターを設置しています。燃料タンクに燃料をいっぱいにしたとき、この石油ファンヒーターをつけてから、 x 分後の残った燃料を y Lとして調べた後の結果を、表に示してまとめ、下のグラフに表しました。

表 石油ファンヒーターをつけている時間と残った燃料の量

石油ファンヒーターをつけている時間(分)	0	10	20	30	40	50
残った燃料の量(L)	22.0	20.8	20.3	18.2	17.9	17.1

時間と残った燃料の量のグラフ

(2) 学習発表会の時間が150分であるとき、この石油ファンヒーターの燃料を燃料タンクいっぱいになると石油ファンヒーターをつけ続けられるかについて考えています。
 グラフにおいて、石油ファンヒーターをつけている時間と残った燃料の量の関係を表す点Aから点Fまでの全ての点が一直線上にあるとみなします。
 このとき、石油ファンヒーターをつけてから150分後の残った燃料の量を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に残った燃料の量を求める必要はありません。

・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること
 [正答率31.4%、無解答率30.5%]

【設問別正答率】 中学校調査（第1学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式	期待正答率(%)	高知県	
							数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解			選択式	短答式
1	(1)	○			$15-5 \times (-3)$ を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる	(1)ウ				○		○		80	67.4	1.5
	(2)	○			4℃より5℃低い気温を求める	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	(1)ア・エ				○		○		90	76.4	1.1
	(3)	○			$(+2) + (-5) = -3$ になる理由を、数直線を使って説明する	負の数の加法が正しい理由を、数直線を使って説明することができる	(1)イ				○		○		60	28.9	5.1
2	(1)	○			$a \div b \times 3$ を計算する	文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すことができる	(2)イ				○		○		60	40.6	3.5
	(2)	○			$x=4$ のときの式 $\frac{12}{x}$ の値を求める	文字に数を代入して式の値を求めることができる	(2)エ				○		○		80	87.4	3.0
	(3)	○			縦が5cmで、横が縦よりa cm長い長方形の面積を、aを用いて表す	数量の関係を文字式に表すことができる	(2)エ				○		○		70	26.6	5.5
3	(1)	○			五枚の正方形の折り紙の4つの角が1か所に重なるように、マグネットを使って黒板にはるときのマグネットの個数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる	(2)ア				○		○		70	69.3	1.5
	(2)	○			x枚の折り紙をはるために必要なマグネットの個数を表す式が $1+3x$ となる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	(2)エ				○		○		50	48.8	13.5
4	(1)	○			一次方程式 $2x+3=-1$ を解くときの、等式の性質を選ぶ	等式の性質と移項の関係を理解している	(3)イ				○	○			80	67.2	0.5
	(2)	○			比例式 $4:6=x:15$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	(3)ウ				○		○		80	73.7	5.8
5	(1)	○			お姉さんが家を出発して太郎さんに追いつくまでの道のりを a m とした図をもとにして、一元一次方程式をつくる	具体的な事象における数量の関係を示した図を基に、一元一次方程式を立式することができる	(3)ウ				○		○		70	15.9	24.0
	(2)	○			太郎さんが高知駅に着くまでには、お姉さんは太郎さんに追いつけない理由を説明する	解が適切でない理由を説明する	(3)ウ				○		○		60	28.0	30.4
6	(1)	○			yがxの関数でないものを選ぶ	関数の意味を理解している	(1)ア				○	○			80	66.3	0.5
	(2)	○			比例 $y = \frac{1}{3}x$ のグラフをかくために、原点以外の点の座標を選ぶ	比例の式からそのグラフ上にある原点以外の点の座標を求めることができる	(1)ウ・エ				○		○		70	28.5	0.7
7	(1)	○			モビールの支点から左のかざりの重さをxg、支点から左端までの棒の長さをy cmとしたとき、xとyの関係を表す	与えられた情報から必要な情報を読み取り、数学的に処理することができる	(1)エ・オ				○		○		80	61.0	9.5
	(2)	○			xとyの関係について正しい関数関係を選ぶ	表を基にして、支点から右のかざりの重さxgと支点から左端までの長さy cmの関係について、正しい記述を選ぶ	(1)エ・オ				○	○			70	69.9	0.7
	(3)	○			支点から左端までの棒の長さが8cmのとき、モビールが釣りあうために支点から左側のかざりの重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	(1)エ・オ				○		○		40	34.5	28.5
8	(1)	○			三角形を対称移動したときの対称軸を選ぶ	図形を対称移動させたとき、図形と対称軸の位置の関係を理解している	(1)イ				○	○			70	87.8	0.8
	(2)	○			平行移動した三角形を選ぶ	平行移動の意味を理解している	(1)イ				○	○			80	82.0	0.9
	(3)	○			正三角形OFAが1回の回転移動によって正三角形ODEに重なるとき、どのような回転移動によって重なるかを説明する	2つの図形の間を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる	(1)イ				○		○		40	16.2	17.9

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】 中学校調査（第2学年）

大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式		高知県	
						数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	期待正答率(%)
1	(1)	○		$3(3x+y) - (5x-4y)$ を計算する	整式の加法・減法の計算ができる	(1)ア				○		○	80	73.2	3.3	
	(2)	○		$V = \frac{1}{3}sh$ を s について解く	具体的な場面で、等式を目的に応じて変形することができる	(1)ウ				○		○	60	48.1	13.4	
	(3)	○		50m走の3回の記録が a 秒、 b 秒、 c 秒のときの、平均値を a, b, c を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる	(1)イ				○		○	80	42.6	9.9	
2	(1)	○		連続する3つの偶数が $-12, -10, -8$ のとき、それらの和が6の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	(1)ウ				○		○	70	38.4	8.9	
	(2)	○		連続する3つの偶数の和が6の倍数になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	(1)イ・ウ				○		○	50	32.3	20.0	
	(3)	○		連続する4つの偶数の和について、4の倍数になること以外に成り立つ事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	(1)イ・ウ				○		○	50	15.0	25.2	
3	(1)	○		連立方程式 $\begin{cases} 5x+7y=3 \\ 2x+3y=1 \end{cases}$ の解が正しいかどうかを確かめているものを選ぶ	連立二元一次方程式の解の意味を理解している	(2)イ				○	○		80	85.8	0.6	
	(2)	○		連立方程式 $\begin{cases} 2x+3y=-5 \\ x+\frac{1}{3}y=3 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	(2)ウ				○		○	80	55.5	16.5	
4	(1)	○		吹奏楽部の生徒数に着目し立式した、二元一次方程式 $8x+20y=32$ が間違っている理由を説明する	問題を解決するために立式された二元一次方程式が間違っている理由を説明することができる	(2)ウ				○		○	50	29.9	23.9	
	(2)	○		連立方程式の解を用いて計算した結果が吹奏楽部の女子の人数であることを指摘することができる	表された式を事象に即して解釈することができる	(2)ウ				○		○	60	52.3	13.9	
5	(1)	○		数量の関係が一次関数になるものを選ぶ	2つの数量の関係が一次関数になることを理解している	(1)ア				○	○		60	39.4	0.9	
	(2)	○		変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している	(1)イ				○	○		60	23.0	1.5	
6	(1)	○		グラフにおいて、40分後に残った燃料が17.9Lであることを表す座標を選ぶ	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	(1)ウ				○	○		90	84.6	0.8	
	(2)	○		石油ファンヒーターをつけてから150分後の残った燃料の量を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	(1)イ・ウ				○		○	40	31.4	30.5	
7	(1)	○		ある1つの角について同位角と錯角の位置にある角を選ぶ	同位角と錯角の意味を理解している	(1)ア				○	○		60	58.8	3.1	
	(2)	○		五角形の内角の和と外角の和、六角形の内角の和と外角の和について、正しいものを選ぶ	多角形の内角の和と外角の和の性質を理解している	(1)イ				○	○		70	46.7	1.0	
8	(1)	○		証明の方針にもとづいて、 $BD=CE$ となることを証明する	筋道を立てて考え、証明することができる	(1)イ・ウ				○		○	40	13.2	25.9	
	(2)	○		二等辺三角形ADEを、頂点Aを中心に回転移動させたときの、辺BDと辺CEの2つの辺の長さの関係を説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる	(2)ウ				○		○	50	5.7	38.1	
9	(1)	○		B選手の走り幅跳びの記録の範囲を求める	範囲の意味を理解している	¹ (1)イ				○	○		90	27.9	12.6	
	(2)	○		示された資料とヒストグラムを比較して読み取る傾向として正しいものを選ぶ	目的に応じて示された資料から傾向を読み取るることができる	¹ (1)イ				○	○		70	68.1	2.6	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校数学における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	問題番号	出題のねらい		問題番号	出題のねらい	
成果	本年度	図 8(1) 87.8%	図形を対象移動させたとき、図形と対称軸の位置の関係を理解すること	図 7(1) 84.6%	与えられた情報から必要な情報を読み取り、数学的に処理すること	
		図 8(2) 82.0%	平行移動の意味を理解すること			
成果	経年	数 2(2) 87.4%	文字に数を代入して式の値を求めること	数 3(1) 85.8%	連立二元一次方程式の解の意味を理解すること	
		H22A 2(3) 県 88.6% 全国 90.3%		H23A 3(3) 県 62.5% 全国 62.5%		
課題	本年度	数 1(3) 28.9%	与えられた式を用いて、問題解決の方法を数学的に説明すること	数 4(1) 29.9%	問題を解決するために立式された二元一次方程式が間違っている理由を説明すること	
		数 2(3) 26.6%	求めた解が適切かどうかを確認する方法を理解すること			
		関 5(1) 15.9%	具体的な事象における数量の関係を示した図を基に、一元一次方程式を立式すること	関 5(2) 23.0%	一次関数の変化の割合の意味を理解すること	
		関 5(2) 28.0%	解が適切でない理由を説明すること			
		関 6(2) 28.5%	比例の式からそのグラフ上にある原点以外の点の座標を求めること			
	経年	数 3(2) 48.8%	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること	数 1(2) 48.1%	具体的な場面で、等式を目的に応じて変形すること	
		H25B 6(3) 県 14.5% 全国 24.1%		H28A 2(4) 県 66.8% 全国 67.9%		
		関 7(3) 34.5%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること	関 2(3) 15.0%	発展的に考え、予想した事柄を説明すること	
		H27B 1(3) 県 10.7% 全国 11.7%		H23B 2(2) 県 62.1%	→P. 58「中学校数学指導改善のポイント」へ	
		関 8(3) 16.2%	2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明すること	関 6(2) 31.4%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること	
	H29B 1(2) 県 13.0% 全国 14.0%		H25B 3(2) 県 15.6% 全国 21.2%			
			関 8(1) 13.2%	筋道を立てて考え、証明すること		
			H28B 4(1) 県 20.3% 全国 29.4%			
			関 8(2) 5.7%	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明すること		
			H28B 4(2) 県 32.7% 全国 37.3%			
			資 9(1) 27.9%	範囲の意味を理解すること		
			H23B 5(1) 県 25.1%			

【領域・内容】数：数と式、図：図形、関：関数、資：資料の活用

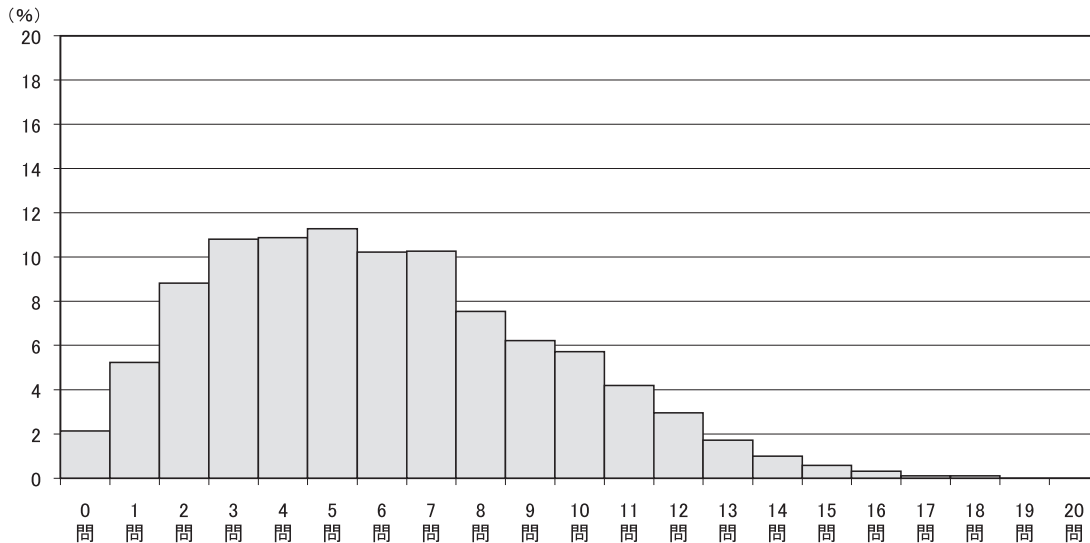
今後さらに重点となる指導改善のポイント

- 授業では、記述することだけを目的とせず、問題を解決することを目的の中心とする。(数学的活動の重視)
- 問題解決と関連して記述する場面を設定するとともに、「事柄・事実」、「方法・手順」、「理由」の3つの説明の中の何を記述させるのかを明確にする。(問題解決の過程で事柄、方法、理由を記述する場面設定)
- 数学的に考える資質・能力を支え、方向付ける「数学的な見方・考え方」の成長を促す授業づくり。(数学的な見方・考え方を働かせる機会を意図的に設定)

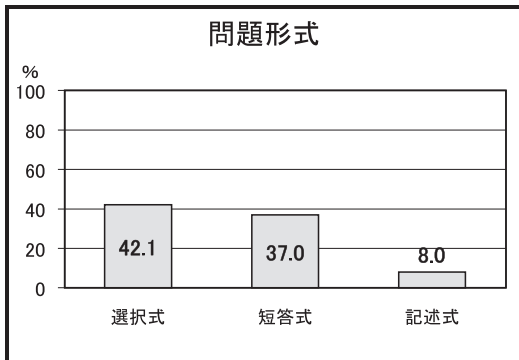
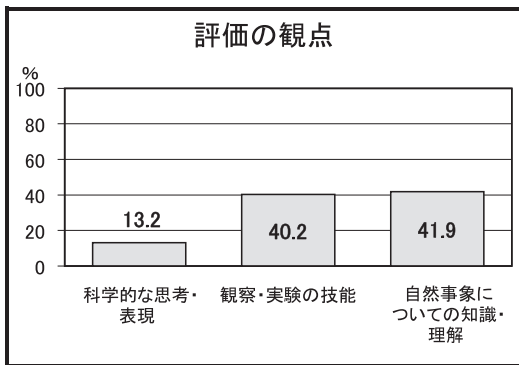
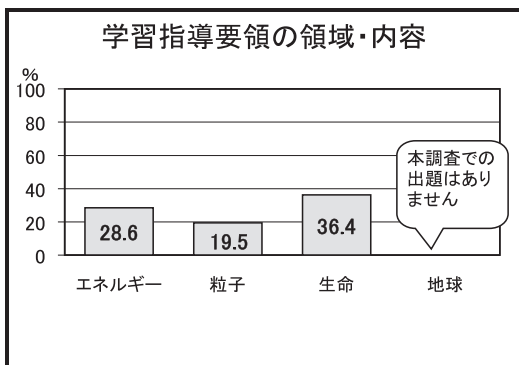
中学校第1学年 理科
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,267	6.0 / 20	29.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	2.1
1問	5.2
2問	8.8
3問	10.8
4問	10.9
5問	11.3
6問	10.2
7問	10.3
8問	7.5
9問	6.2
10問	5.7
11問	4.2
12問	3.0
13問	1.7
14問	1.0
15問	0.6
16問	0.3
17問	0.1
18問	0.1
19問	0.0
20問	0.0



特徴的な問題

出題の意図

平成28年度高知県学力定着状況調査において、「資料を読み取り、分析・解釈したことを説明することに課題が見られた」ことから、その改善状況を見るために出題した。

⑥ 真里さんは、種子をつくらない植物のコケ植物について調べています。真里さんが調べた内容をもとに、次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

真里さんが、ゼニゴケを双眼実体顕微鏡で観察していると、ゼニゴケが乾燥して丸まってしまいました。そこで、乾燥したゼニゴケに水を与えたところ、すぐに元に戻りました。

真里さんは、このこととゼニゴケが乾燥したところであり見かけないことに関係があるのではないかと考え、図書館の資料などを使ってツバキとゼニゴケのからだのつくりを調べました。

【調べたこと】

〈ツバキの葉の断面〉

維管束

〈ゼニゴケの断面〉

(写真: OFO)

〈ツバキの特徴〉

- 葉の外側には、小さな細胞が並んでおり、葉の断面の輪かすが、はっきりとしている。
- 細かな部屋が密集して集まっているところ(維管束)が見られ、根から水を吸収している。

〈ゼニゴケの特徴〉

- ゼニゴケの外側には、大きな細胞が並んでおり、断面の輪かすが、はっきりとしていないところがある。からだの表面には、すき間が多くあいており、水の出入りがしやすい。
- 細かな部屋が密集して集まっているところ(維管束)が見られず、根・茎・葉の区別がない。

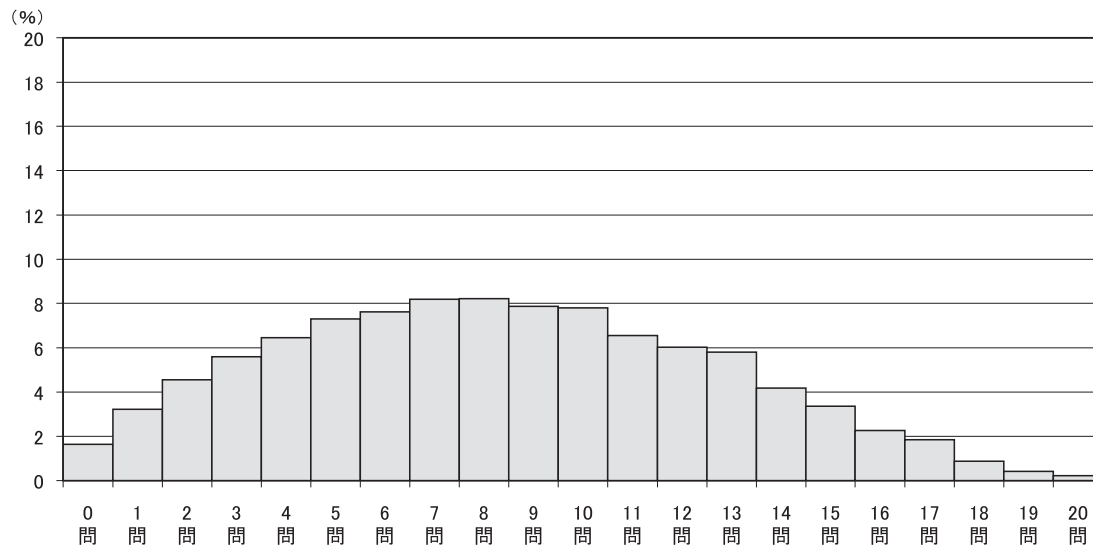
(3) 【調べたこと】の内容をもとに、ゼニゴケが乾燥した場所ではあまり見られない理由を書きなさい。

・種子をつくらない植物の生活場所について、体の特徴を基に説明すること
【正答率15.4%、無解答率13.7%】

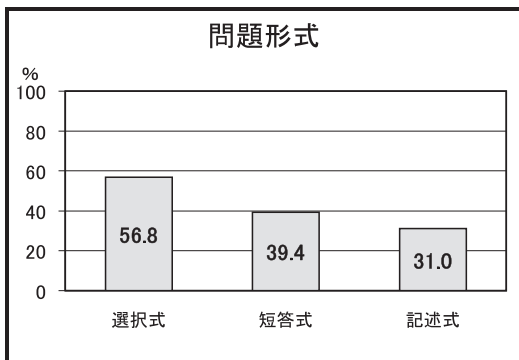
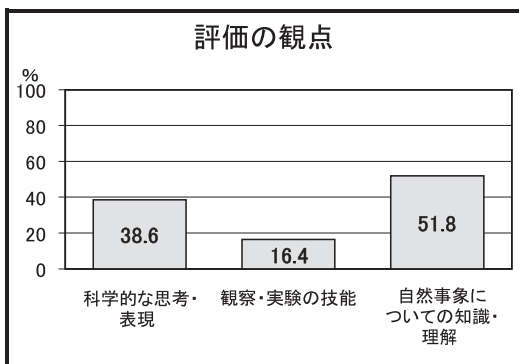
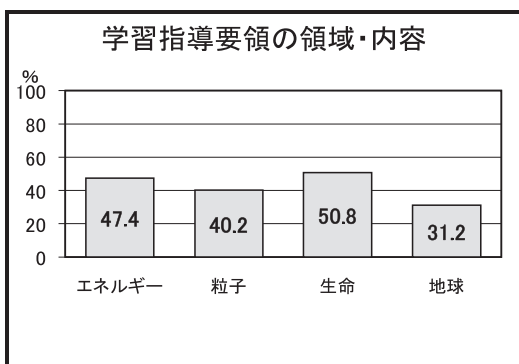
中学校第2学年 理科
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,381	8.3 / 20	41.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	1.6
1問	3.2
2問	4.5
3問	5.6
4問	6.5
5問	7.3
6問	7.6
7問	8.2
8問	8.2
9問	7.9
10問	7.8
11問	6.6
12問	6.0
13問	5.8
14問	4.2
15問	3.4
16問	2.3
17問	1.8
18問	0.9
19問	0.4
20問	0.2



特徴的な問題

出題の意図
平成27年度全国学力・学習状況調査において、「問題を見だし、適切な課題をつくることに課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題した。

4 良太さんは、お母さんが沸騰したお湯でゆで卵をつくっていたのに、卵黄の表面が黒っぽくならないものがあることに気がきました。そこで、良太さんは、【新たな疑問】をもとに【課題2】を設定して、調べました。

レポートの一部

【新たな疑問】
100℃のお湯で25分間加熱すると卵黄の表面が黒っぽくなったが、100℃のお湯でも加熱時間が8分間だと卵黄の表面が黒っぽくならなかった。100℃でゆでると卵黄の表面がすべて黒っぽくなるというわけではないのか。

【課題2】
卵黄の表面が黒っぽくなるのは、()

【方法2】
(省略)

【結果2】

加熱時間(分)	100℃のお湯に入れた卵のようす
10	卵黄の表面が黒っぽくならなかった。
15	卵黄の表面が一部黒っぽくになっていた。
20	卵黄の表面が黒っぽくになっていた。
25	卵黄の表面がさらに黒っぽくになっていた。

(2) 良太さんは、【新たな疑問】から【課題2】を設定して調べたところ、【結果2】のようになりました。【課題2】の()に入る適切な内容を書きなさい。

・化学変化について見いだした問題を基に、適切な課題を設定すること
[正答率40.9%、無解答率11.3%]

【設問別正答率】 中学校調査（第1学年）

大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式	期待正答率(%)	高知県		
						エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解			選択式	短答式	記述式
1	(1)	○		メスシリンダーで水の体積をはかる	実験器具（メスシリンダー）の使い方を身に付けている		(2) ア(7)				○		○	80	29.0	2.4	
	(2)	○		水道管の密度を求める	密度を求めることができる		(2) ア(7)				○		○	60	25.2	17.6	
	(3)	○		質量パーセント濃度70%のエタノール水溶液の密度の大きさについて表したものを選ぶ	体積を求めるために使用した水溶液の密度の大きさを実験結果を基に求めることができる		(2) ア(7)			○		○		70	15.5	2.1	
2	(1)	○		実験結果をもとにデンプンがつくられる場所を選ぶ	ヨウ素デンプン反応の実験結果からデンプンがつくられる場所について適切にまとめることができる						○	○		80	75.0	0.1	
	(2)	○		植物の光合成のはたらきに光が必要であることを確かめるための試験管を2つ選ぶ	光合成に必要な条件を確かめる方法を身に付けている						○	○		80	60.0	0.2	
	(3)	○		アルミニウムはくでおおわれたオオカナダモが入った試験管のBTB溶液の色が、黄色になった理由を書く	植物のはたらきを確かめる実験の結果について、他の実験結果を分析・解釈して説明することができる					○		○		50	6.9	12.1	
3	(1)	○		海水にふくまれる天日塩になる物質の質量パーセント濃度が3%のとき、6kgの天日塩をつくるために必要な海水が何kgかを書く	特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることができる		(2) イ(7)				○		○	70	19.4	13.6	
	(2)	○		溶解度曲線をもとに、食塩と砂糖の混合物から食塩をほとんど溶かすことなく、砂糖を溶かす液体を選び、その理由を書く	溶解度曲線からわかる溶質の質量を根拠に、飽和水溶液の特徴を説明することができる		(2) イ(7)				○		○	50	8.3	6.0	
4	(1)	○		トウモロコシ、ホウセンカの種子が発芽したとき、根に共通して見られる毛のようなものの名称を書く	根・茎・葉のつくりを理解している							○	○	80	59.8	7.1	
	(2)	○		水の通り道の部分をぬりつぶしたホウセンカの茎の断面の模式図として最も適切なものを選ぶ	根・茎・葉のつくりとはたらきを理解している							○	○	80	19.1	0.4	
	(3)	○		アスパラガスの根はトウモロコシ、ホウセンカのどちらの根のつくりと同じになっているかをアスパラガスの特徴を示して書く	複数の植物の根・茎・葉のつくりの特徴を関連付けて、植物を分類することができる					○			○	50	14.0	12.1	
5	(1)	○		光が空気中から水中へ進む場合、入射角が0度のときには、空気と水の境界面でどのように進んでいるのかを実験結果をもとにして書く	光の屈折について、実験結果の記録や整理などの仕方を身に付けている		(1) ア(7)				○		○	80	49.9	8.9	
	(2)	○		光が水中から空気中へ進む場合、入射角がある一定の角度以上になると、屈折した光が空気中に出なくなる現象の名称を書く	全反射について理解している		(1) ア(7)					○	○	80	35.0	20.7	
	(3)	○		カップの中のコインが、水を入れると浮かび上がって見える現象を説明した【わかったこと】のAに入る語句を書く	光の進み方に関する身近な現象を、光の屈折の実験結果から考察し、説明することができる		(1) ア(7)				○			○	50	0.9	29.6
	(4)	○		光の屈折に関係する現象を選ぶ	光に関する身近な現象を、光の進み方と関連させて理解している		(1) ア(7)					○	○	80	41.2	0.8	
6	(1)	○		ゼニゴケが仲間をふやすためにつくる粒の名称を書く	種子をつくらない植物（コケ植物）のふえ方を理解している							○	○	80	54.4	10.1	
	(2)	○		双眼実体顕微鏡の操作の手順の空欄に当てはまる双眼実体顕微鏡の部分の名称を書く	観察器具（双眼実体顕微鏡）の扱い方を身に付けている						○		○	70	23.1	3.7	
	(3)	○		ゼニゴケが乾燥した場所ではあまり見られない理由を【調べたこと】の内容をもとに説明する	種子をつくらない植物の生活場所について、体の特徴を基に説明することができる						○			○	50	15.4	13.7
7	(1)	○		凸レンズによってできる像と凸レンズとの距離についての考察のAとBに当てはまる語句として正しい組み合わせを選ぶ	凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し、規則性を見いだすことができる		(1) ア(7)				○		○	80	42.0	1.4	
	(2)	○		「スクリーンにできる像の大きさ」がろうそくよりも大きくなるのは、「凸レンズとろうそくの距離」がどのようなときか、「凸レンズの焦点距離」という語句を使って説明する	凸レンズによってできる像を調べた実験の結果を基に、スクリーンにうつる像の大きさと焦点距離との間にはどのような関係があるかを説明することができる		(1) ア(7)				○			○	50	2.3	21.4

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】 中学校調査（第2学年）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題 主として「知識」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式		期待正答率(%)	高知県	
						エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式		短答式	記述式
1	(1)	○		地震の大きなゆれの名称を書く	地震の揺れについて理解している				(2) ア(1)		○	○	80	50.1	10.7	
	(2)	○		地震が発生した時刻を書く	地震計の記録を基に、地震の発生した時刻を求められることができる				(2) ア(1)	○		○	60	18.5	3.4	
	(3)	○		大きなゆれの伝わる速さを書く	地震計の記録を基に、地震の揺れの伝わる速さを求められることができる				(2) ア(1)	○		○	60	14.2	27.4	
	(4)	○		小さなゆれが伝わってから大きなゆれが伝わるまでの時間の名称を書く	初期微動継続時間について理解している				(2) ア(1)		○	○	80	53.4	13.7	
	(5)	○		【地震計の記録からわかること】と【緊急地震速報について調べたこと】をもとに、緊急地震速報は、地震によって生じるゆれにどのような特徴があることを利用したものであるかを書く	資料を基に、緊急地震速報のしくみを説明することができる				(2) ア(1)	○		○	50	19.9	20.6	
2	(1)	○		温度を変えて炭酸水素ナトリウムを加熱する実験結果のグラフをもとに、化学変化について読みとれることを選ぶ	グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ることができる			(4) ア(1) ウ(1)	○		○	70	66.8	0.3		
	(2)	○		炭酸水素ナトリウムがなければ二酸化炭素が発生しないことを確かめる実験に使う主な原材料の組み合わせを選ぶ	ある物質が二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を計画することができる			(4) ア(1)	○		○	70	48.8	0.4		
	(3)	○		他者の考えを検討して改善し、実験結果をもとに化学変化の説明として正しいものを選ぶ	他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明することができる			(4) ア(1)	○		○	60	52.9	0.8		
3	(1)	○		骨と筋肉をつなぐ白い固いものの名称を書く	運動器のつくりを理解している			(3) イ(1)		○	○	80	53.4	6.5		
	(2)	○		ひざを曲げるときの筋肉の動きを説明する	膝が動く仕組みを、筋肉と腱、骨とのつながりと関連付けて説明することができる			(3) イ(1)	○		○	70	49.6	6.2		
4	(1)	○		卵黄が黒っぽくなり始める温度を調べるために4つの温度を設定するときの温度を、低い方から順に整数で書く	化学変化を確かめる実験結果を基に温度を再設定し、追実験を計画することができる			(4) イ(1)	○		○	70	24.6	5.4		
	(2)	○		実験結果をもとに、その実験の課題に当てはまる適切な内容を書く	化学変化について見いだした問題を基に、適切な課題を設定することができる			(4) イ(1)	○		○	70	40.9	11.3		
	(3)	○		鉄と硫黄の反応が始まると加熱をやめても反応が続く理由を書く	化学変化による発熱について理解している			(4) イ(1) ロ(1)		○	○	60	9.2	16.3		
	(4)	○		鉄と硫黄の混合物を加熱すると硫化鉄ができるときの化学変化を化学反応式で書く	化学変化を化学反応式で表すことができる			(4) ア(1) イ(1)		○	○	70	38.1	20.7		
5	(1)	○		心臓から全身を通して心臓へもどる血液の流れを何とよいかを書く	心臓を中心とする循環系について理解している			(3) イ(1)		○	○	80	57.0	8.8		
	(2)	○		メダカの尾びれの毛細血管を流れる小さな粒を選ぶ	血液の成分について理解している			(3) イ(1)		○	○	80	78.1	0.5		
	(3)	○		運動をすると呼吸や脈拍の回数が増える理由として考えたことの口の中に当てはまる文を書く	調べたことを基に、動物の生命活動を維持する仕組みについて説明することができる			(3) イ(1)	○		○	50	15.8	15.6		
6	(1)	○		ゴム膜がへこむのは、何という圧力によるものか名称を書く	水圧について理解している			(1) イ(1)		○	○	80	75.6	6.6		
	(2)	○		【仮説】が正しいとき、ゴム膜bと同じへこみ方をするゴム膜をすべて選ぶ	仮説が正しい場合に得られる結果を見通して実験を構想できる			(1) イ(1)	○		○	80	37.7	1.0		
	(3)	○		【結果】のゴム膜のへこみ方を比較し、【仮説】が正しいかどうかを判断しその理由を書く	実験結果を分析・解釈して、水の深さと水圧の関係について仮説が正しいかどうかを説明することができる			(1) イ(1)	○		○	50	28.9	19.4		

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校理科における成果と課題】

	第1学年			第2学年		
	領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	生 2(1) 75.0%	ヨウ素デンプン反応の実験結果からデンプンがつくられる場所について適切にまとめること	生 5(2) 78.1%	血液の成分について理解すること	
				工 6(1) 75.6%	水圧について理解すること	
	経年					
課題	本年度	工 7(2) 2.3%	凸レンズによってできる像を調べた実験の結果を基に、スクリーンにうつる像の大きさと焦点距離との間にはどのような関係があるかを説明すること	工 6(3) 28.9%	実験結果を分析・解釈して、水の深さと水圧の関係について仮説が正しいかどうかを説明すること	
		粒 3(2) 8.3%	溶解度曲線からわかる溶質の質量を根拠に、飽和水溶液の特徴を説明すること	粒 4(1) 24.6%	化学変化を確かめる実験結果を基に温度を再設定し、追実験を計画すること	
		生 2(3) 6.9%	植物のはたらきを確かめる実験の結果について、他の実験結果を分析・解釈して説明すること	4(3) 9.2%	化学変化による発熱について理解すること	
		4(3) 14.0%	複数の植物の根・茎・葉のつくりの特徴を関連付けて、植物を分類すること	生 5(3) 15.8%	調べたことを基に、動物の生命活動を維持する仕組みについて説明すること	
		6(3) 15.4%	種子をつくらない植物の生活場所について、体の特徴を基に説明すること	地 1(3) 14.2%	地震計の記録を基に、地震の揺れの伝わる速さを求めること	
	経年	工 5(2) 35.0%	全反射について理解すること	地 1(2) 18.5%	地震計の記録を基に、地震の発生した時刻を求めること	
		H25 4(4) 県 1.8%		H24 1(6) 県 35.9%		
		5(3) 0.9%	光の進み方に関する身近な現象を、光の屈折の実験結果から考察し、説明すること	粒 4(2) 40.9%	化学変化について見いだした問題を基に、適切な課題を設定すること	
		H25 4(3) ② 県 48.3%		H27 全国 7(3) 県 50.0% 全国 57.3%	→P. 60「中学校理科指導改善のポイント」へ	
		粒 3(1) 19.4%	特定の質量パーセント濃度の水溶液の質量を求めること			
	H27 全国 1(1) 県 39.3% 全国 45.0%					

【領域・内容】 工：エネルギー、粒：粒子、生：生命、地：地球

今後さらに重点となる指導改善のポイント

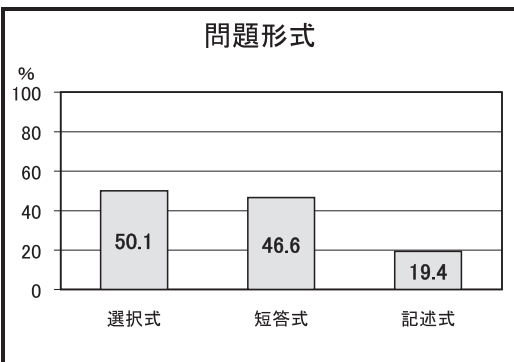
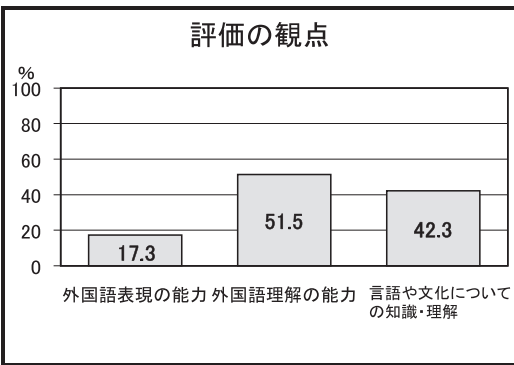
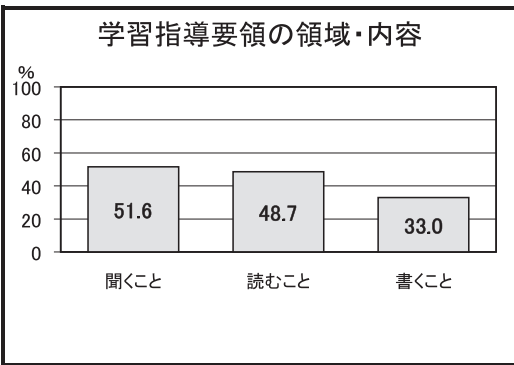
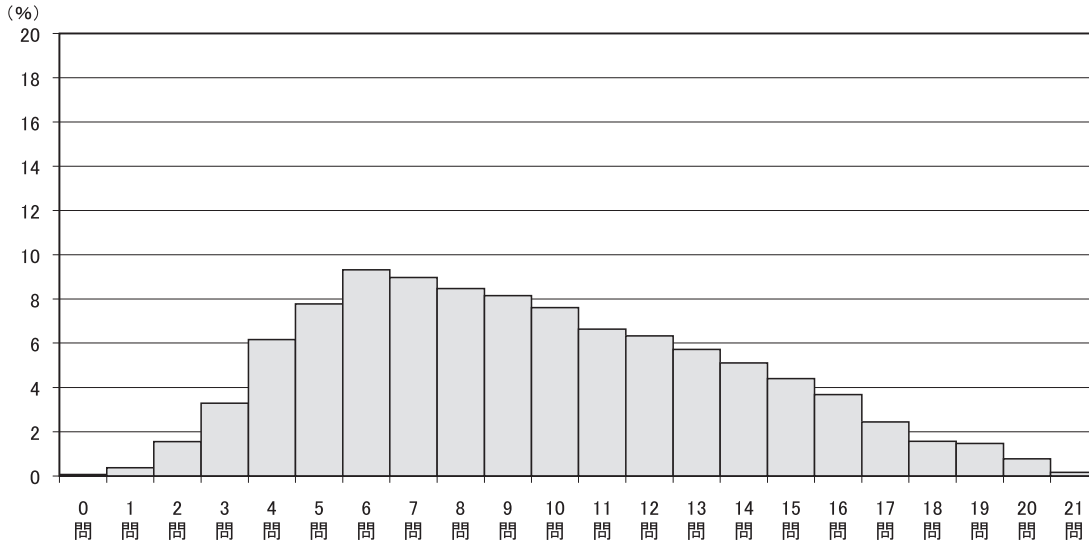
- 生徒が興味をもつような事物・現象を提示し、疑問点について課題を設定し、見通しをもって仮説を立て、検証するための観察・実験の計画を立てることができるよう指導することが重要である。
- 仮説と実験の結果を対応させて整理し、組み合わせたり関連付けたりして、適切に分析して解釈できるように指導することが重要である。また、生徒が説明する際には、根拠を示して事実と考えたことを区別して考察したことを表現させるようにすることが大切である。

【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,270	9.5 / 21	45.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.4
2問	1.5
3問	3.3
4問	6.2
5問	7.8
6問	9.3
7問	9.0
8問	8.5
9問	8.1
10問	7.6
11問	6.6
12問	6.3
13問	5.7
14問	5.1
15問	4.4
16問	3.7
17問	2.4
18問	1.6
19問	1.5
20問	0.8
21問	0.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



特徴的な問題

出題の意図
過去の高知県学力定着状況調査から課題のあった「書くこと」の改善状況を見るために出題した。また、4技能のうち「読むこと」を通して得た知識等を「書くこと」と結び付けた問題である。メモなどに書かれた内容を捉え、自分の考えや気持ちなどが読み手に伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことを測っている。

11 (2) 次は、マキがトムを紹介した「くろしお便り」の【原稿の一部】です。あなたがマキなら、どのような紹介文を書きますか。【メモ】の①から④の内容をもとに、【原稿の一部】を完成させなさい。ただし、英語は3文以上で書くこととします。また、①から④の内容をすべて書かなくてもかまいません。

【メモ】

(トムへの質問)

- ① 出身国 (アメリカ)
- ② 家族 (5人家族、両親と姉2人)
- ③好きな食べ物 (ピザ、シカゴピザが大好き)
- ④ 趣味・特技 (料理)

【原稿の一部】

— Meet Tom! —

This is our new friend, Tom.

Let's talk with Tom!

— Do you know Chicago? —

Chicago is a big city in the State of Illinois. It's famous for a very big pizza.
.....

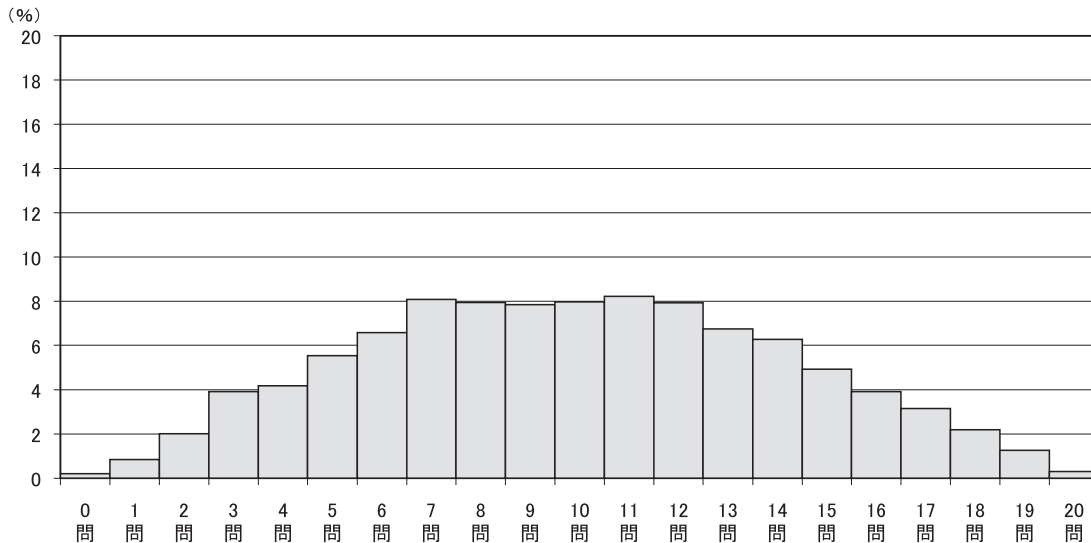
・メモを基に、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと
[正答率19.0%、無解答率17.1%]

中学校第2学年 外国語(英語)

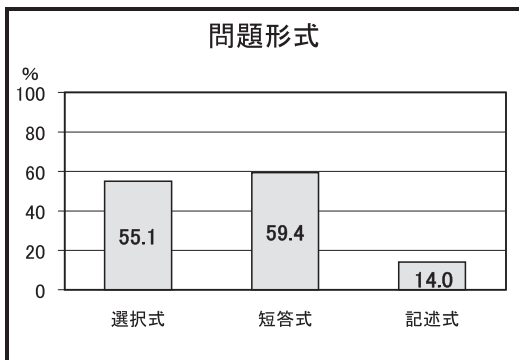
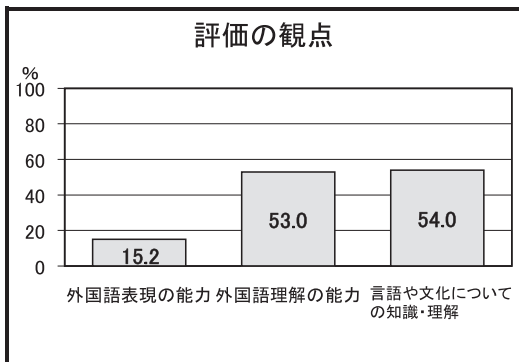
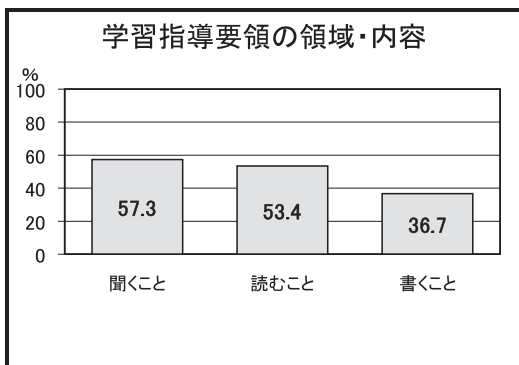
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,380	9.9 / 20	49.6

正答数分布グラフ(横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.8
2問	2.0
3問	3.9
4問	4.2
5問	5.5
6問	6.6
7問	8.1
8問	7.9
9問	7.9
10問	8.0
11問	8.2
12問	7.9
13問	6.7
14問	6.3
15問	4.9
16問	3.9
17問	3.2
18問	2.2
19問	1.3
20問	0.3



特徴的な問題

出題の意図
 新学習指導要領を踏まえ、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする」力を測る問題を出題した。

11 あなたが将来やってみたいことや、つきたい職業は何ですか。1つ取り上げて、なぜそう思うのかその理由を含め、まとまりのある英文を20語以上で書きなさい。英文は2文以上になってもかまいません。ただし、符号(.,?!など)は語数に含めません。

(参考)

・自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと
 [正答率17.9%、無解答率19.7%]

【設問別正答率】 中学校調査（第1学年）

大問	小問	問題番号	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式	期待正答率（％）	高知県	
							聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			選択式	短答式
1	(1)	○			英文（under the desk, on the bed）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)			○	○		90	52.9	0.1	
	(2)	○			英文（August thirteenth）を聞き取り、適切なものを選ぶ	英語（モノローグ）を聞いて、基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取る	(ア)			○	○		90	48.6	0.1	
2	(1)	○			対話を聞いて、適切に応じているもの（I have two brothers.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(ウ)			○	○		80	79.1	0.2	
	(2)	○			対話を聞いて、適切に応じているもの（It's in Kuroshio Park.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(ウ)			○	○		80	33.2	0.4	
3		○			対話の中の＜ He has a soccer ball. She has long hair. ＞を聞き取り、適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)			○	○		70	83.7	0.2	
4	(1)	○			あいさつの中の＜ from Monday to Thursday ＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)			○	○		70	14.3	0.6	
	(2)	○			あいさつの中の（on Saturdays）を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)			○	○		70	49.7	0.5	
5	(1)	○			対話文に入る適切な語句（Where）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている	※			○	○		70	59.2	0.2	
	(2)	○			対話文に入る適切な語句（his）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている	※			○	○		70	39.5	0.1	
	(3)	○			対話文に入る適切な語句（play）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている	※			○	○		70	34.3	0.4	
6	(1)	○			対話の流れを考えて、（ Please come to my house. ）を選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(ウ)			○	○		70	43.4	0.4	
	(2)	○			対話の流れを考えて、（ Who is Taro? ）を選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(ウ)			○	○		70	60.9	0.2	
7		○			ケントが送った電子メールの内容を読んで、その内容として適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)			○	○		70	57.4	0.4	
8		○			予定表の内容を読んで、その内容にあてはまる日本語を選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)			○	○		70	49.2	0.4	
9	(1)	○			＜ Is this your father ＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		80	39.3	1.8	
	(2)	○			＜ I don't practice it ＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		80	31.5	1.7	
	(3)	○			＜ What do you have for ＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		70	68.9	2.0	
10		○			対話文の内容を読み取り、ペンを持っていますかという内容の文を、適切に書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		60	23.6	25.9	
11	(1)	○			インターネットの記事を読んで、その内容として適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)			○	○		70	45.6	0.8	
	(2)	○			マキがトムに質問したメモをもとに、トムを紹介する文を3文以上で書く	メモを基に、文と文のつながりなどに注意して文章を書く	(オ)	○			○		60	19.0	17.1	
12		○			自分の一番好きなものを紹介する文を、まとまりのある15語以上の文で書く	自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く	(オ)	○			○		60	15.7	21.6	

* 読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】 中学校調査（第2学年）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式	期待正答率(%)	高知県	
							聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解			選択式	短答式
1	(1)	○			英文(gets up at six thirty, leaves home for school at seven fifty) を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語(モノローグ)を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)			○	○		90	53.4	0.1	
	(2)	○			英文(twenty students clean their rooms, twelve students wash the dishes, five students cook dinner) を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語(モノローグ)を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)			○	○		80	62.4	0.2	
2	(1)	○			対話を聞いて、適切に responding しているもの(Sure. What time?) を選ぶ	質問や依頼など(ダイアログ)を聞いて適切に答える	(ウ)			○	○		80	72.8	0.2	
	(2)	○			対話を聞いて、適切に responding しているもの(In Hiroshima.) を選ぶ	質問や依頼など(ダイアログ)を聞いて適切に答える	(ウ)			○	○		70	61.2	0.3	
3	(1)	○			対話の中の< my father worked there five years ago > を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)			○	○		70	49.0	0.2	
	(2)	○			対話の中の< it was under the bed > を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)			○	○		70	45.2	0.2	
4	(1)	○			対話文に入る適切な語句(join) を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている	※			○	○		70	51.4	0.3	
	(2)	○			対話文に入る適切な語句(Tell) を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている	※			○	○		70	68.1	0.3	
	(3)	○			対話文に入る適切な語句(because) を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている	※			○	○		70	68.4	0.4	
5		○		対話文を読んで、マット先生とケイコが見ているポスターとして適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)			○	○		70	51.5	0.6		
6		○		対話文を読んで、ビルが日曜日にとった行動の順番として適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(ウ)			○	○		70	12.4	0.4		
7		○		タケシがメモの内容に従ったときの行動として最も適切なものを選ぶ	伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に答える	(エ)			○	○		70	55.3	0.7		
8	(1)	○			< when + 主語 + 動詞 > を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		70	65.7	2.1	
	(2)	○			< 主語 + call + 目的語 > を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		70	57.9	2.6	
	(3)	○			< Why don't you ~ > を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		70	54.5	3.1	
9		○		対話文の内容を読み取り、本を貸してほしいという内容の文を、適切に書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)			○	○		60	11.7	28.8		
10	(1)	○			メールを読んで、ケイトがマリアに伝えた内容として適切なものを選ぶ	話の内容などに対して感想、賛否やその理由を書いたりすることができるよう、書かれた内容や考え方を捉える	(オ)			○	○		70	63.9	0.6	
	(2)	○			インターネットから得た情報を読んで、その内容として適切なものを選ぶ	話の内容などに対して感想、賛否やその理由を書いたりすることができるよう、書かれた内容や考え方を捉える	(オ)			○	○		70	56.1	0.9	
	(3) ①②	○			メールとインターネットから得た情報をもとに、A、Bどちらかのプランを選び、そのプランを選んだ理由を書く	聞いたことや読んだことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする	(ウ)			○	○		60	12.5	31.0	
11		○		自分が将来やってみたいことやつきたい職業について、その理由を含め、まとまりのある20語以上の文で書く	自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書く	(オ)			○	○		60	17.9	19.7		

*読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率
「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率
「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校外国語（英語）における成果と課題】

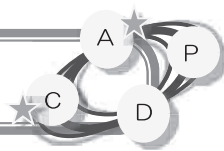
		第1学年		第2学年	
		問題番号	出題のねらい	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	聞 2(1) 79.1%	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて、適切に応じること		
	経年	聞 3 83.7% H28 2(1) 県 19.7% 書 9(3) 68.9% H28 9(2) 県 45.0%	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること 語と語のつながりなどに注意して正しい語順（What を使った疑問文）に並べかえること	聞 2(1) 72.8% H24 2(3) 県 41.9%	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて、適切に応じること
課題	本年度	聞 4(1) 14.3% 書 10 23.6% 12 15.7%	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること 語と語のつながりなどに注意して、対話の流れに合った文を正しく書くこと 自分の一番好きなものを紹介する文を読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して書くこと	書 11 17.9%	自分が将来やってみたいことや将来つきたい職業について、読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して書くこと →P.62「中学校外国語（英語）指導改善のポイント」へ
	経年	書 9(2) 31.5% H28 10(3) 県 41.4% 11(2) 19.0% H28 12 県(1) 7.7% (2) 1.8% (3) 12.1%	語と語のつながりなどに注意して正しい語順（don't を使った否定文）に並べかえること 自分の一番好きなものを紹介する文を読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して書くこと	読 6 12.4% H26 7 県 51.5% 書 9 11.7% H28 11 県 4.9% 10(3) 12.5% H28 9(2)① 県 13.6%	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取ること 語と語のつながりなどに注意して、正しく文を書くこと メールの内容を読み取り、インターネットから得た情報を基に、提案する内容のメールを書くこと

【領域・内容】聞：聞くこと、読：読むこと、書：書くこと

今後さらに重点となる指導改善のポイント

- 「書くこと」の指導については、書く目的・場面・状況に具体性をもたせ、単に1文ごとの意味内容を指示してそれを英語で表現することにとどまらせないことが大切である。文と文につながるの英文を書かせるために、段階的に書く量を増やしたり、文の構成を工夫したりできるように指導する必要がある。
- 家庭学習においては、関心のある事柄や日常的な話題について簡単な対話文を作成したり、手紙や電子メール、説明文などを読んで、自分の感想を書いたり、意見をまとめたりする学習を行うなど、授業と家庭学習を結び付けながら、書く活動を充実させることが必要である。

各教科の指導改善のポイントと授業アイデア例について



今回の調査問題を活用し、今後の指導改善を進めるためのポイントとして、以下の①～④の流れを示しました。また、調査問題の解答類型等からつまづきの状況を把握し、その解決を図るための具体的な事例として、授業アイデア例を示していますので、ぜひ参考にしてください。

①

調査問題の出題のねらいと学習指導要領における領域・内容を記述しています。

②

解答類型別反応率と児童生徒の解答状況から分析した誤答の傾向を記述しています。

③

課題解決を図る授業づくりの参考となるよう、学習指導におけるポイントを記述しています。このことを踏まえて、授業アイデア例を作成しています。

※1単位時間あるいは1単元の指導において、注目・留意していただきたい点を示しています。

④

評価問題などとして活用できる学習シート等を示しています。

◇ 授業アイデア例

各教科における課題が見られる問題を活用し、「学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント」に基づいて作成しています。

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント

授業中に	チェック
1. 子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。	
① 学習指導要領の指導内容に基づいたねらいになっている。	<input type="checkbox"/>
② 児童生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。	<input type="checkbox"/>
2. 学習のねらい・見通しができるように板書を工夫する。	
① 板書計画に基づいた構造的な板書をしている。	<input type="checkbox"/>
② 授業の流れや思考の過程がわかるように工夫している。	<input type="checkbox"/>
3. 自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。	
① 教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。	<input type="checkbox"/>
② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。	<input type="checkbox"/>
4. 話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。	
① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。	<input type="checkbox"/>
5. 学習したことの振り返りの場を設定する。	
① 児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。	<input type="checkbox"/>
② 学習内容に有用感もてる適用問題や評価問題を実施している。	<input type="checkbox"/>
日常的に	チェック
6. 学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。	<input type="checkbox"/>
7. すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。(すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓など)	<input type="checkbox"/>
8. あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。	<input type="checkbox"/>

平成27年10月 高知県教育委員会事務局小中学校課



小学校国語 指導改善のポイント (第4学年)

【課題が見られる設問の例】 問題③三

① 出題のねらい
目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を明確にして自分の考えを書く。

② 学習指導要領における領域・内容
B 書くこと [第3学年及び第4学年]
B 書くこと [第3学年及び第4学年]
C 読むこと [第3学年及び第4学年]
(1) エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり、要約したりすること。

解答類型	反応率(%)	誤答
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 木下さんがえらんだ日を【三月】と書いている。 ② 【よさこい園園の広告】と【よさこい園園のリーフレット】にある内容の両方を取り上げて書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、七十文字以内で書いている。	29.1	○本設問は、「よさこい園園の広告」と「よさこい園園のリーフレット」を読み、複数の条件に合うこと(三種類のいちごが食べられる、料金が最も安い時期)に選んだ日とその理由を書く問題であり、平均的誤答率は23.1%である。
(正答例) (木下さんは、【三月】を選びました。理由は、三種類のいちごを食べられるのは二月と三月だけで、二月と三月の料金をくらべると三月の方が安いからです。)	2.2	○誤答についてみると、範囲外が46.6%、無解答が20.5%となっており、複数の条件に合うこと(三種類のいちごが食べられる)ができていない、問題を読み解けていない解答も多い。
(その他)	7.5	
1 条件①、②、③を満たして解答しているもの	29.1	◎
2 条件①、②を満たし、条件③を満たさずに解答しているもの	2.2	
3 条件①、③を満たし、条件②を満たさずに解答しているもの	7.5	
4 上記以外の解答	46.6	
5 無解答	20.5	

④ 学習指導に当たって

【読むこと】
目的や必要に応じて、文章の内容を的確に押さえ、必要な情報がどこに、どのように書かれているか見つけながら読む力をつける。一問の目的に、どのようなことが必要かなどを明確にした上で、必要な情報がどこに、どのように書かれているか見つけながら読み進める。

【書くこと】
書くこととすることを明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げてまとめる。一字数制限や字数とる文章など、複数の条件に合うよう書く。

⑤ 【学習シート等との関連】

国語学習シート No. 77 「調べたことを書くこと」
国語学習シート No. 84 「調べた結果をまとめること」
国語学習シート No. 124 「一枚のパンフレットをつくらう」

指導のねらい 目的や必要に応じて文章を読み比べ、説明するために必要な情報を選択したり、表現の仕方に着目したりして、伝えたいことを書くことができる。

◇ 授業アイデア例

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しができるように板書を工夫する。

② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。

② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。

② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

① 児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。

② 学習内容に有用感もてる適用問題や評価問題を実施している。

六、学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。

七、すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。(すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓など)

八、あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しができるように板書を工夫する。

② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。

② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。

② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

① 児童生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。

② 学習内容に有用感もてる適用問題や評価問題を実施している。

六、学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。

七、すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。(すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓など)

八、あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

◇ 学習のめあてと言語活動の内容(よさこい園園に遠足に行くために必要なことをフリップにまとめ、校長先生に説明する)を具体的に示し、学習への意欲と見通しをもたせる。

一 校長先生に説明するために必要な情報を考えさせることで、読みの視点をもたせよう。

時期、場所、値段、営業時間は必要だと思う。いちごの種類や味、施設の特長や良さはどんなことだろう？

第二次 広告とリーフレットを読み、校長先生に説明するための情報を取り取る

活動1 広告とリーフレットから、必要な情報を取り取る。

《文章を読むときのポイント》 ※共通点と相違点を軸目

① 必要な情報はどちらに取り上げられている？

② 絵、表などは何を表している？

③ 書かれている事柄の順序は？

④ 説明するために他に必要だとおもった情報は？

・・・など

一 一次の視点を基に、必要な情報がどちらにあるか(両方にあるか、どちらがわかりやすいか)目的意識をもって読ませよう。

活動2 校長先生に説明し、納得していただくためにフリップを作成する。

《発問のポイント(必要な情報を選択させる)》

Q1: 3月の平日に行くことができるか？

Q2: 9年時からいちごが食べられるか？

Q3: 一人700円以内でいちごが食べられるか？

Q4: 3種類のいちごが食べられて、最も安い時期はいつか？

※校長先生に説明するために、必要な情報や文章を考え、フリップを作成する。

一 校長先生を納得させるには、どの情報が効果的かを議論させよう。

校長先生に、安全性を伝えたら効果的だと思う。農薬を使っていないことを伝えよう。

第三次 作成した「フリップ」で校長先生に説明する

活動3 活動2で作成したフリップを使って校長先生に説明し、満足できよさこい園園に行くことができているか、学習を振り返り、自己評価をする。

小学校国語 指導改善のポイント（第4学年）

【課題が見られる設問の例】 問題3三

① 《出題のねらい》

目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を明確にして自分の考えを書く。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 書くこと〔第3学年及び第4学年〕

(1) ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

C 読むこと〔第3学年及び第4学年〕

(1) エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり、要約したりすること。

② 解答類型		反応率(%)	正答
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 木下さんがえらんだ月を【三月】と書いている。 ② 【よさこい農園の広告】と【よさこい農園のリーフレット】にある内容の両方を取り上げて書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、七十字以内で書いている。 (正答例) ・(木下さんは、【三月】を選びました。理由は、)三種類のいちごを食べられるのは二月と三月だけで、二月と三月の料金をくらべると三月の方が安いからです。 (50字)			○本設問は、「よさこい農園の広告」と「よさこい農園のリーフレット」を読み、複数の条件に沿って、「三種類のいちごが食べられる、料金が最も安い時期」に選んだ月とその理由を書く問題であり、平均正答率は23.1%である。 ○誤答についてみると、類型9が46.6%、無解答が20.5%となっており、複数の条件に沿って書くことができていない、問題を読み解けていない解答も多い。 ○こうしたことから、目的や必要に応じて、文章の内容を適切に押さえて必要な情報を選んだり、複数の条件に沿って書いたりすることに課題があると考えられる。
1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	23.1	◎
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	2.2	
3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	7.5	
9	上記以外の解答	46.6	
0	無解答	20.5	

③ 学習指導に当たって

【読むこと】

・目的や必要に応じて、文章の内容を的確に押さえ、必要な情報がどこに、どのように書かれているか見付けながら読む力を付ける。

→何のために、どのようなことが必要かなどを明確にした上で、必要な情報がどこに、どのように書かれているか見付けながら読ませる。

【書くこと】

・書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げてまとめさせる。

→字数制限や根拠とする文章など、複数の条件に沿って書かせる。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート No. 77 「調べたことを書こう」

国語学習シート No. 84 「調べた結果をまとめよう」

国語学習シート No. 124 「一枚パンフレットをつくろう」

◇ 授業アイデア例

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

- ① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

- ② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

【課題解決的な言語活動】

いちごがりに行くために必要なことをフリップにまとめ、説明しよう

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

◇学習のめあてと言語活動の内容（よさこい農園に遠足に行くために必要なことをフリップにまとめ、校長先生に説明する）を具体的に示し、学習への意欲と見通しをもたせる。



→ 校長先生に説明するために必要な情報を考えさせることで、読みの視点をもたせましょう。

時期、場所、値段、営業時間は必要だと思うな。いちごの種類や味、施設の特長や良さはどんなことだろう？



第二次 広告とリーフレットを読み、校長先生に説明するための情報を読み取る

活動1 広告とリーフレットから、必要な情報を読み取る。

《文章を読むときのポイント》 ※共通点と相違点に着目

- ① 必要な情報はどちらに取り上げられているの？
 - ② 絵、表などは何を表しているの？
 - ③ 書かれている事柄の順序は？
 - ④ 説明するために他にもあるとよいと思った情報はあるの？
- ・・・など



→ 一次の視点を基に、必要な情報がどちらにあるか（両方にあるか、どちらがくわしいかなど）目的意識をもって読ませましょう。

活動2 校長先生に説明し、納得していただくためにフリップを作成する。

《発問のポイント（必要な情報を選択させる）》

- Q1：3月の平日に行くことができるか？
- Q2：9時半からいちごがりができるか？
- Q3：一人700円以内でいちごがりができるか？

Q0：3種類のいちごが食べられて、最も安い時期はいつか？
※校長先生に説明するために、必要な情報や文章を考え、フリップを作成する。



→ 校長先生を納得させるには、どの情報が効果的かを議論させましょう。

校長先生に、安全性を伝えたら効果的だと思うな。農薬を使っていないことを伝えてはどうだろう。



第三次 作成した「フリップ」で校長先生に説明する

活動3 活動2で作成したフリップを使って校長先生に説明し、遠足でよさこい農園に行ってよいか評価していただく。学習を振り返り、自己評価をする。

小学校算数 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題6(1)

① 《出題のねらい》

台形の中にできる黒い三角形と白い三角形の面積の大きさを比較し、大小を判断した理由を記述できるかどうかをみる。

①

《学習指導要領における領域・内容》

B 量と測定

(1) 図形の面積を計算によって求めることができるようにする。

ア 三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を考えること。

② 解答類型

(正答の条件)

番号2を選択し、次の(a), (b), (c)の全てを書いている。

(a) 点Eを辺ADの上を動かしたとき、白い三角形と黒い2つの三角形を合わせた面積は変わらないこと

(b) 2つの黒い三角形を1つの黒い三角形(ABD)とみること

(c) 2つの三角形の底辺と高さから、白い三角形の面積が広がることを示す言葉と数

(正答例)

点Eを辺ADの上を動かしても、台形ABCDの中にある白い三角形の底辺と高さは変わらないことから、白い三角形の面積と黒い2つの三角形の面積は変わりません。図8では、黒い三角形は1つの三角形となり、三角形ABDとみることができます。このことから、黒い三角形の辺ADの5cmを底辺とし、白い三角形の辺BCの8cmを底辺としたとき、高さはともに6cmです。だから、底辺の長い白い三角形の面積のほうが広がります。したがって、台形ABCDの黒い2つの三角形を合わせた面積より白い三角形の面積のほうが広がります。

反応率(%)

正答

○本設問は、台形ABCDの中にある2つの黒い三角形を合わせた面積と白い三角形の面積を比べた結果を選び、そのわけを書く問題である。正答率は8.0%である。

○誤答についてみると、類型5が35.5%であり、結果として、白い三角形の面積が広いことは、捉えられているが、長方形の場合の説明の解釈が不十分であることから、台形の中の三角形の面積を比較し大小を判断する根拠として、底辺と高さの関係を活用していないことが考えられる。また、類型7は28.6%であり、台形に変わっても、長方形の面積の比較の説明をそのまま使用している解答が多く見られた。

○黒い2つの三角形を合わせた面積と白い三角形の面積を比較する場合に、計算で求めなくても、図形の構成要素に着目して、合理的に説明することに課題があると考えられる。

1	2 と解答しているもの	(a), (b), (c)の全てを書いているもの	6.3	◎
2		(a)を書いて、(c)において図8の三角形を示しながら書いているもの	1.7	○
3		(a), (b)を書いて、(c)について2つの三角形の面積を比較する根拠として、底辺と高さについて書いているもの	1.7	
4		(c)を書いているもの	14.5	
5		上記以外の解答、または無解答	35.5	
6	1 と解答しているもの	わけの記述は問わない	4.4	
7	3 と解答しているもの		28.6	
9	上記以外の解答		3.2	
0	無解答		4.0	

③

学習指導に当たって

～統一的・発展的な考え方を育てる～

算数科の学習では、図形を観察して見いだした事実を数学的に解釈したり、自分の考えを数学的に表現したり、問題の条件を考察したりすることを通して、筋道を立てて考えたり、統一的・発展的に考えたりできるようにすることが大切である。

例えば、本設問を用いて、四角形を等しい面積に分ける方法を考える際に、面積を求めて判断するのではなく、図形の特徴や性質に着目させ、それらを活用して面積を比較し、判断した理由を説明する活動を取り入れることが考えられる。さらに、長方形から、平行四辺形や台形へと面積を調べる対象を広げ、共通点や相違点について考えることを通して、統一的・発展的に考察する力を育てていくことにつなげることもできる。

【学習シート等との関連】

単元チェック

第5学年 第4回 大問9



指導のねらい 示された長方形の特徴や性質に着目して面積の相等関係を解釈し、それを基に他の四角形を考察し、内部にできる三角形の面積の相等関係において、判断した理由を説明することができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しができるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

①教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

①児童に学んだことやさらに考えたことなどを確認させている。

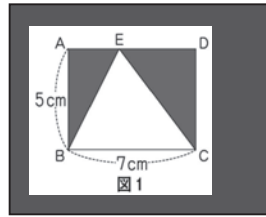
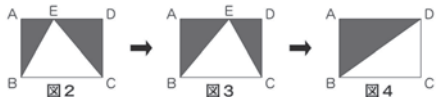


図1の長方形 ABCD 中にある2つの黒い三角形の面積と白い三角形の面積を比べましょう。

辺 AE と辺 ED を底辺としたとき、高さは 5 cm だけど、底辺の長さがわからないから、面積を求められないよ。



点 E を辺 AD にそって動かしたとき、中にできる三角形の底辺や高さはどのように変わるかな。

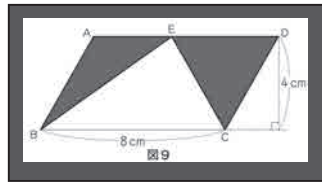
図形を観察・考察し、解決の見通しをもつ

点 E を辺 AD の上を動かしても長方形 ABCD 中の白い三角形の底辺を辺 BC とすると、底辺と高さは変わりません。

長方形は向かい合う辺の長さが等しいことから、図4では、黒い三角形と白い三角形の底辺と高さが等しいので面積が等しいです。

めあて 長方形以外の四角形でも、点 E を動かしたとき、中にできる三角形の面積は等しくなるのかな。

条件を変えた図形を観察し、内部にできる三角形の面積の相等関係を統一的に考える

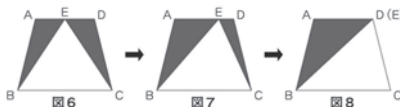
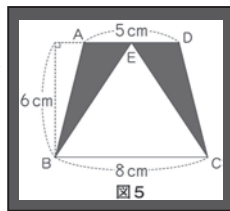


平行四辺形になったことで何が変わったことになりますか。

平行四辺形に変わっても向かい合う辺の長さが等しいから、長方形の時と同じように考えれば比べられそうだ。

平行四辺形の向かい合う辺の長さは等しいから、図6の黒と白の三角形の底辺と高さも等しく、面積も等しいです。

台形の場合は、中にできる三角形の面積が等しくなるのかな。



台形になったら、向かい合う辺の長さがちがうよ。でも、高さは、6 cm だね。

高さは同じだから、図8の白と黒の三角形の底辺の長い方が面積は広がるよ。

面積を求めなくても、底辺と高さから、差を判断できるね。

どんな性質の四角形だったら、中にできる三角形の面積は等しくなるのかな。

等しくなる場合…向かい合う辺が平行で、その長さが等しい四角形（長方形、平行四辺形）
等しくならない場合…向かい合う辺が平行であるけれど、その長さがちがう四角形（台形）
ポイント…2組の辺のどちらかを底辺にしたとき、高さは一定なので、底辺の長さを比べればいい

問題解決の方法を振り返り、学んだことなどを確認する

いろいろな四角形の中にできる2種類の三角形の面積をくらべるとき、四角形の性質を使いながら底辺と高さを見つければ、三角形の面積の大きさがわかります。

評価問題 H25全国学力・学習状況調査算数B3(2)(3)

小学校理科 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題4（1）

① 《出題のねらい》

予想が一致した場合に得られる結果を見通して、水の温まり方についての予想を確かめる実験を構想できるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第4学年 A 物質・エネルギー（2）金属、水、空気と温度

金属、水及び空気を温めたり冷やしたりして、それらの変化の様子を調べ、金属、水及び空気の性質についての考えをもつことができるようにする。

イ 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること。

② 解答類型	反応率 (%)	正答	本設問は、予想が異なるにもかかわらず結果の見通しが同じになると考えられる人物の予想を選ぶもので、正答率は54.6%である。実験方法と照らし合わせ、予想が一致した場合に得られる結果について他者の予想に対する結果の見通しをもつという場面を十分に把握することができなかつたと考えられる。水の温まり方について、熱せられた水の移動の様子を予想し、予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想することに課題があると考えられる。
1 1（あいりさんの予想）と解答しているもの	30.2	◎	
2 2（しんじさんの予想）と解答しているもの	54.6		
3 3（かずやさんの予想）と解答しているもの	14.1		
9 上記以外の解答	0.1		
0 無解答	0.9		

③ 学習指導に当たって

自然の事物・現象への働きかけ

問題の設定

予想や仮説の設定

検証方法の立案

観察・実験の実施

結果の整理

考察

結論の導出

次の問題解決の過程

設問場面

指導のポイント

児童が主体的に問題を解決するためには、問題に対する予想や仮説をしっかり立て、予想や仮説を基に検証するための方法を考え、予想が一致した場合に得られる結果を見通しながら実験を計画することが大切である。

- ◎児童が自分でどのような考え(予想)をもって、どのような方法で、どのような結果が得られたらその考え(予想)を証明できるのかを明確にしたうえで実験を計画できるようにする。
- ◎予想や実験方法を図や絵に表して考えたり、具体的な実験器具を想定したりすることができるようにする。
- ◎予想や結果の見通しについて説明したり、話し合ったりするなどの活動を通して、自分の考えと異なる他者の予想に対しても、結果の見通しをもたせるとともに、予想が異なるにもかかわらず結果の見通しと同じになれば、予想を確かめることができないことに気付き、実験前に実験方法を修正できるようにする。

指導のねらい 水の温まり方についての予想を基に、予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験方法を考えることができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

① 教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

問題：水はどのようにあたたまっていくのだろうか

予想

☆問題に対して予想や仮説をもたせ、図や言葉で表現させるとともに、多様な考えを共有させましょう。

金属みたいに熱せられたところから順に熱が伝わって、水があたたまると思うよ。

あいりさん



紅茶の葉が動いていたので、あたためられた水が、横の方に動いてから上の方に動き、上から順にあたたまると思うよ。

しんじさん



金属と違って水は動くから、あたためられた水が、横の方に動いて、下から順にあたたまると思うよ。

かずやさん



おふろの湯の表面は熱かったけれど、まぜるとぬるくなったな。あたためられた水が、上の方に動いて、上から順にあたたまると思うよ。

まゆさん



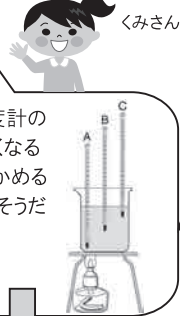
計画

☆結果の見通しをもって予想を確かめるための実験方法を考えると同時に、他者の結果の見通しも捉えさせましょう。

この方法だと私の予想どおりなら、A→B→Cの順に高くなるはずだよ。



くみさん



ぼくの予想どおりなら、A→C→Bの順になるね。



私の予想どおりなら、A→C→Bの順になって、しんじさんと同じになるよ。



ぼくの予想が正しかったら、A→B→Cの順になって、あいりさんと同じになるよ。



3本の温度計の温度が高くなる順番で確かめることができそうだね。

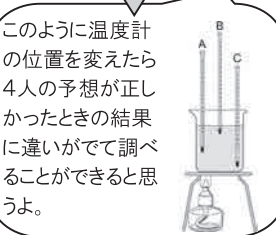
この方法では、どの予想が正しいか確かめることができないよ。実験方法を見直さなくてはいいね。



私の予想なら、A→C→Bの順に高くなるはずだよ。



けいさん



この方法だと、ぼくの予想どおりなら、C→B→Aの順になるよ。



ぼくの予想だと、C→A→Bの順になるね。



私の予想だと、A→B→Cの順になるよ。



この方法なら、どの予想が正しいか確かめることができるね。

☆実験方法を検討し合い、予想が異なるにもかかわらず結果の見通しが同じになるのであれば、予想を確かめることができないことに気付かせ、より妥当な実験方法に改善させましょう。

問題 水はどのようにあたたまっていくのだろうか

予想	実験方法	結果の見通し
あいりさん		A→C→Bの順に高くなる
しんじさん		C→B→Aの順に高くなる
かずやさん		C→A→Bの順に高くなる
まゆさん		A→B→Cの順に高くなる

☆児童の予想を板書したり、自分と同じ考えに名札 □ 等を貼らせたりして、児童がもつ考えを顕在化させましょう。
☆予想、実験方法、結果の見通しを並べて板書することで、自分と他者の考えの違いを明確に捉えたとうえで、自分の予想も他者の予想も検証可能な実験方法を構想させましょう。

問題解決の過程

自然の事物・現象への働きかけ

問題の設定

予想や仮説の設定

検証方法の立案

観察・実験の実施

結果の整理

考察
結論の導出

体験活動 I

言語

体験活動 I

体験活動 II

言語

体験活動 II

中学校国語 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題3三

① 《出題のねらい》

資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

A 話すこと・聞くこと（第2学年）

(1) ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。《話すこと》

B 書くこと（第1学年）

(1) ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。《記述》

② 解答類型

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

① 最初の一文にA、Bのどちらで【資料】を提示して説明するのがよいと考えるのかを明確にして書いている。

② 【資料】を条件1で考えた位置で提示して【発表内容】を伝える理由を、聞き手に分かりやすく伝えるうえでどのような効果があるかを踏まえて、具体的に書いている。

③ 百字以上、百二十字以内で書いている。

※誤字・脱字は評価の対象としない。

(正答例)

・ 私はAで使うとよいと考える。理由は、地域と連携した活動をしている高等学校数や生徒の感想などを先に伝えることで、聞き手はこれからどのような説明がされるのかという見通しをもって聞くことができ、提案に対して興味や関心が高まると考えるからだ。(117字)

・ 私はBで使うとよいと思います。なぜなら、各高等学校の取り組みの説明のあとに参加者が増えていることや参加者の感想を聞いた方が、取り組みのよさや活動から得られる実感と、聞き手への提案内容との関連が明確になり、効果的に伝わると思うからです。(117字)

1 条件①、②、③を満たして解答しているもの

38.4

◎

2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの

2.2

3 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの

18.7

4 条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの

1.4

9 上記以外の解答

16.0

0 無解答

23.1

○本設問は、プレゼンテーションをするために、新たに作成した提示資料をどのタイミングで使用すればよいかを選択し、そのように考えた理由を聞き手に分かりやすく伝えるうえでどのような効果があるかを踏まえて書くものである。正答率は38.4%である。

○誤答についてみると、類型3が18.7%と多く、【資料】を条件1で考えた位置で提示して【発表内容】を伝えると、聞き手に分かりやすく伝えるうえでどのような効果があるか、何が分かりやすくなるのかを具体的に書いていなかったり、【資料】や【発表内容】の説明ばかりを書いていたりする解答がみられた。このことから、資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くことに課題があることが分かる。

③ 学習指導に当たって

スピーチやプレゼンテーションをする際には、話の要点を明らかにし、聞き手の理解を促すために、資料（グラフや表、写真や図表等）や機器を効果的に活用する必要がある。その際、どのような資料を、どのタイミングで提示するのか、事前に使用する目的などを確認して考えることが重要である。また、発表後に、説明した内容や資料を提示したタイミングなどについて、なぜそうしたのかという理由を互いに説明し合い、その効果を確認することも大切である。

資料の効果について考えるためには、一度作成した資料やその使い方について、リハーサルなどを通してお互いにアドバイスを行う中で修正を加えていくことが重要である。その際、なぜそのような修正が必要なのかという理由を根拠を明確にして説明するように指導することが大切である。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート

7 効果的な情報の集め方 12 情報を集めよう
23 要約・要旨 32 調査レポート構想メモ
42 コピーライターになろう

高知県国語指導改善資料集

p. 76～81

「話し手の意図は？聞き上手になろう！」～話の構成や展開に注意して聞き、自分の考えと比較する。

指導のねらい 目的や状況、相手に応じて資料や機器を効果的に活用し、根拠を明確にして自分の考えを伝える。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする

① 教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

① ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。

自分の考えを説明したり、仲間の考えを聞いた際には、なぜそのように考えたのか、理由や根拠が明確であることを意識させましょう。



資料や機器を効果的に用いた「分かりやすく」「説得力があり」「印象に残る」伝え方を相互の交流の中で考えさせることが大切です。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

【国語活動】調べたことを効果的に伝えよう

プレゼンテーションをする

学習の見通しをもつ。

◇学習のねらいや単元全体の流れを確認する。

・学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しをもたせる。

目的（例）：自分たちの調べたことや提案を効果的に伝えるために、各班で設定したテーマについて、プレゼンテーションを行う。

テーマ（例）：地域と連携した活動をしている高等学校について

※テーマを決めるに当たっては、学習状況や生徒の実態に応じて、教科書で学習した内容と関連させたり、社会生活や身近な出来事から伝える必然性がある内容を考えさせたりして設定することも考えられる。

テーマに沿って情報を集める。

◇テーマに沿って、図書館、インターネット、パンフレット等で調べたり、アンケートやインタビューをしたりして、情報を集める。

集めた情報を整理して、話の組み立てを考える。

◇集めた情報を整理して、何の説明を中心にするか、説明の順序をどうするかなど、聞き手を意識した話の組み立てを考える。

・集めた情報を基にして発表の流れをノートに整理する。

整理した内容を基に提示する資料を作成し、リハーサルを行う。

◇リハーサルを行う際には、観点を明確にして行う。

(例) ・資料の内容は適切であったか。

・資料を提示するタイミングや方法は効果的であったか。

発表の際に留意することや、工夫したらよいと思うことを交流する。

◇グループでお互いの考えを交流し、話の組み立てや資料を修正する。

「まっかつかのタルト」がどのようなものか、聞き手にもっと分かるように、写真を提示するタイミングをもっと早くした方がよいと思うよ。なぜなら・・・



提示資料には工夫が必要じゃないかな。今は写真ばかりだから、例えば、地域と連携した活動をしている高等学校数の変化が分かるグラフを使ってみてはどうだろう。そうすれば・・・



僕たちの提案を聞き手に分かりやすく、より効果的に伝えるためには、話す内容とそれに関連する提示資料の順序について、もう一度考えてみてはどうか。例えば・・・



(発表の流れを書いたノートの例)

発表の流れ	その他の情報
■聞き手を見てから話し始める	
1 城南高等学校 「まっかつかのタルト」	※タルトは一個 350 円
★ここで「まっかつかのタルト」の写真を提示する。	
・家庭科部と地元の婦人会が連携して、地域の特産品を使って商品を開発した。	
・「おばさん市」で販売されている人気商品。	
★「まっかつかのタルト」の写真を提示。	
・他の商品の開発も挑戦している。	
2 北山実業高等学校 「休憩所」	

交流で出された意見を受けて、写真を提示するタイミングを変更

プレゼンテーションを行う。

◇観点に基づいてプレゼンテーションを行う。

・聞き手には、観点に基づいて気づいたことをメモしながら聞かせ、質疑応答の際に、意見や感想を述べたり、さらに詳しく知りたい点等を質問したりさせる。

プレゼンテーションを振り返る。

◇プレゼンテーションの後、観点に基づいて振り返り、資料を活用して分かりやすく伝えられたかどうかについて意見を述べ合う。

◇これまでの学習を振り返る。

・今後、国語科や他の教科等において、自分の考えや調べたことを発表する際に、本単元で学んだ効果的な伝え方を活用するよう意識させる。

中学校社会 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2（2）

① 《出題のねらい》
オーストラリアがアジア諸国と結びつきを強めた理由を説明することができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

① [地理的分野]

(1) 世界の様々な地域

ウ 世界の諸地域 (カ) オセアニア

世界の諸地域について、以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。

(内容の取扱い)

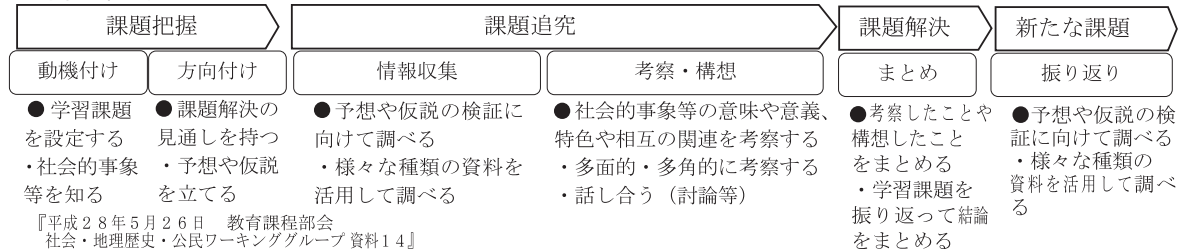
ウ ウについては、州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようにすること。

② 解答類型	反応率(%)	正答	解説
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) イギリスよりも、中国や日本の方がオーストラリアに近いこと。 (b) イギリスよりも中国や日本の方が、GDP上位の国であること。 (正答例) 中国や日本などは、イギリスに比べて、オーストラリアとの距離が近く、GDP上位の国だから。			○本設問の正答率は37.0%であり、無解答率は14.2%である。 ○誤答についてみると、類型9が22.9%であり、資料にある数値や国名を意味なく抜き出したものが多く見られた。類型2は19.6%であり、資料から条件(a)または条件(b)のどちらか一方しか読み取れておらず、解答につながる適切なグラフを選択することができず誤答となったものが見られた。これらのことからオーストラリアが中国や日本と結びつきを強めてきた地域的特色について、根拠を基に説明することに課題があると考えられる。
1 条件(a)、(b)を満たして解答しているもの 例 オーストラリアからの距離は、イギリスより、中国や日本の方が近く、中国や日本はGDP上位の国だから。	37.0	◎	
2 条件(a)を満たし、条件(b)を満たさないで解答しているもの 例 オーストラリアからの距離がイギリスに比べ、中国や日本の方が近いから。	19.6		
3 条件(b)を満たし、条件(a)を満たさないで解答しているもの 例 中国・日本はGDP上位の国にあるため。	6.3		
9 上記以外の解答	22.9		
0 無解答	14.2		

③ 学習指導に当たって

生徒に問題解決におけるプロセスを意識させる指導の工夫

主な学習過程の例



□問題解決的な学習過程の中で、上記の例のように学習活動を充実させる流れを意識して、試行錯誤しながら他者とともに解決を図ったり、追究させたりして、人々の生活の様子を明らかにして、表現させる学習を単元全体を見て計画的に位置付け、継続的に行うことが重要である。

□「様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多角的・多面的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現する能力や態度を育てる」ためには、世界の諸地域の学習において、地球儀、世界地図、衛星画像などを活用し、地理的技能を育成することと、州にかかわる写真なども活用して生徒の生活経験と結び付いた情報を豊かに獲得していく指導の工夫が望まれる。

指導のねらい オーストラリアがアジア諸国と結びつきを強めた理由を説明することができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

課題把握

課題追究

課題解決

新たな課題

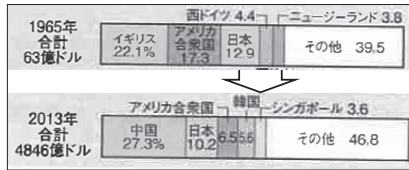
単元を見通した主題を設定し、学習のゴールイメージをもつ

「なぜオセアニアは、ヨーロッパに代わってアジアとの結び付きが強まってきたのか」について多面的・多角的に追究・考察し、地域的特色を適切に表現する。

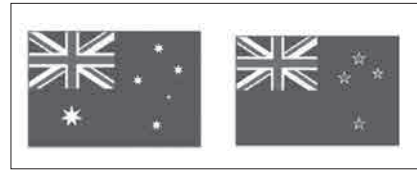
①課題把握 動機付け 方向付け (導入) 資料提示から興味や関心を高める

- ・オーストラリアとニュージーランドの国旗から共通点を見つける。
 - ・オーストラリアの貿易の相手国が、ヨーロッパ中心から、アジア中心に変化している事実をつかませ、なぜ変化したのか疑問をもたせ、明らかにしていく。
- 統計資料〈貿易相手国の変化〉から変化を読み取り、具体的な数値を根拠にして、課題意識を高めさせる。

貿易相手国の変化



国旗から共通点を見つける



学習課題の設定「なぜオーストラリアは、イギリスにかわってアジアとの結び付きを強めたのか。」

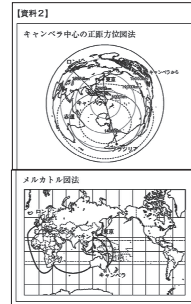
②課題追究 情報収集 考察・構想

- ・問題解決に必要な情報を収集し、複数の視点から解決させ、客観的な根拠に基づいて論理的に自分の考えを書く。

【資料2】の地図を活用し根拠を基にノートに書かせる。既習の地域的特色を捉える視点や方法を活用させる。視点（距離が近い、人口が多い、経済的に豊か）

地図から移動距離の短縮が読み取れる。→輸送時間が短縮されることが言える。

さらに必要な資料は？世界の人口の上位国やアジア経済発展の資料、オーストラリアとアジアとの貿易のグラフ



【資料3】 GDP総額世界上位10ヶ国

順位	国	2015年 GDP総額
1	アメリカ	17兆9470億ドル
2	中国	10兆9828億ドル
3	日本	4兆1232億ドル
4	ドイツ	3兆3576億ドル
5	イギリス	2兆8493億ドル
6	フランス	2兆4215億ドル
7	インド	2兆907億ドル
8	イタリア	1兆8157億ドル
9	ブラジル	1兆7725億ドル
10	カナダ	1兆5523億ドル

※GDP（国内総生産）

各自の考えや意見を交流し、説明や伝え合う活動を取り入れ学び合う

③課題解決 まとめ

- ・考えを明確にして、説得力をもって論理的に伝える。
 - ・各グループの発表を基に学習課題の解答に関連性を踏まえて整理する。
- 発表された内容を、学習課題と照らし合わせ、経済的条件、地理的条件など共通点を見出し書く。

- ・オーストラリア発展のため自国の豊富な資源の輸出先にアジアを選ぶと思う。理由は、アジアは経済発展が著しく資料からGDP総額が世界上位であること、距離が近いことから貿易を行う上で、経費を下げるができるから。

適切な表現のための評価のポイント

位置や分布に着目すると、オセアニア地域とアジアがどのような位置関係にあり、そのことが貿易を行う上でどんな利点があるかを根拠を基に考えることができるようにすること。

経済的条件に着目すると、APECを例に、人口やGDPの大きさから貿易への期待が、高まっていることが、資料から考えられる。というように、主張と根拠が正しく結びついていること。

学んだことを振り返る

④新たな課題 振り返り

- ・ねらいを達成できたか、何を学んだのか、新たな疑問、やってみようこと（主体的な学び・次の学びにつなげる視点など）を書かせる。

・オーストラリアでは、アジア州からの移民が増えているが、移民政策の変化などの政治的な理由についても調べてみたい。

今回の授業につなげること

中学校数学 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2（3）

① 《出題のねらい》

発展的に考え、予想した事柄を説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
 イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。
 ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。

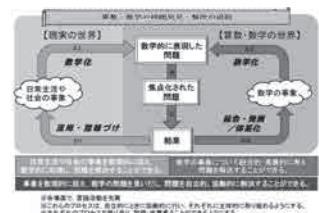
② 解答類型

	反応率 (%)	正答
(正答の条件) 「～は、・・・になる。」という形で、次の(a)、(b)の条件を満たし、成り立つ事柄を記述している。 (a) ～が、「連続する4つの偶数の和」である。 (b) …が、「2番目と3番目の間にある整数の4倍」の数を表したものである。 ・2番目に小さい偶数と3番目に小さい偶数の間の奇数の4倍 ・3番目に大きい偶数と2番目に大きい偶数の間の整数の4倍		○本設問は、全国学力・学習状況調査における「事柄・事実の説明」を位置付けた問題である。正答率は15.0%である。 ○誤答についてみると、類型6の反応率が高く、その中には、「～は」に誤りのあるものや、「～は」の記述がなく「・・・になる」に誤りのあるものが見られた。また、無解答率が25.2%と大変高い。
(正答例) 例 連続する4つの偶数の和は、2番目に小さい偶数と3番目に小さい偶数の間の奇数の4倍 (解答類型1)		○このようなことから、考えるべき前提を明確にすることについての指導が十分でないと考えられる。 ○着目する視点を変えて、4の倍数以外の成り立つ事柄を求めることに課題があるといえる。
1 (a)、(b)の両方を記述しているもの。	1.0	◎
2 (a)の「連続する4つの偶数の和」に関する記述が十分ではなく、(b)の条件を満たして記述しているもの。	0.4	○
3 (a)の「連続する4つの偶数の和」に関する記述がなく、(b)の条件を満たして記述しているもの。	0.1	
4 (a)の条件を満たし、(b)以外に成り立つ事柄を記述しているもの。	9.2	◎
5 上記4で(a)の「連続する4つの偶数の和」に関する記述が十分でなく、(b)以外で成り立つ事柄を記述しているもの。	4.4	○
6 「～は、・・・になる。」という形で、成り立たない事柄を記述しているもの。	17.8	
9 上記以外の解答	41.9	
0 無解答	25.2	

③ 学習指導に当たって

(1) 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する場面を設定する。

目的に応じて的確な数学的な表現（言葉や数、式、図、表、グラフなど）を選択することで、議論の前提を明確にするように、事柄・事実の説明を行い、問題の特徴や本質を捉える活動を仕組むことが重要である。授業において、生徒に予想させる場面では、具体的な数を用いて実際の計算結果などから、帰納的に考えさせたり、類推的に考えさせたりして、生徒自身で問題を見だし表現させることが大切である。



(2) 解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する場面を設定する。

数学的事象についての問題解決の指導に当たっては、解決の過程や結果を振り返ることによる新たな問題の発見を生徒に促すことが大切である。また、得られた解決に関して、「他に分かることがないかを考えること」「問題解決の過程を振り返り、本質的な条件を見だし、それ以外の条件を変えること」「問題の考察範囲自体を拡げること」「類似な事柄の間に共通する性質を見出すこと」等の新しい知識を得る視点を明確にしつつ、さらなる活動を促すことも大切である。

④

【学習シート等との関連】

「全国学力・学習状況調査数学B問題集」

「A」数と式（25年度）2（2）

高知県正答率29.3% 全国正答率38.0%

21	のとき	$21 + 12 = 33$
35	のとき	$35 + 53 = 88$
48	のとき	$48 + 84 = 132$
↓		↓

これらのことから、2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和について、どのようなことが予想できますか。前ページの予想のように、「～は、・・・になる」という形で書きなさい。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

②生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせる

二、学習のねらい・見通しができるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

②考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値づけたりつなげたりする。

(三、四 を繰り返す)

五、学習したことを振り返り統合的にみる場を設定する。

①生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させる。

■連続する3つの偶数の和について、具体的な数を使って予想する。 **予想の場面**

■予想した事柄を表現する。 **前提** **結論**

連続する3つの偶数の和は、6の倍数になる

連続する3つの偶数の和は3の倍数にもなりそうだね。

めあて 予想したことを表現し、それが成り立つことを説明しよう。

〈見通し〉文字を使って、連続する3つの偶数の和を表す。6の倍数であることを説明するためには、 $6 \times (\text{整数})$ となればよい。

■予想した事柄がいつでも成り立つことを、見通しをもって説明する。

n を整数として、連続する3つの偶数のうち、もっとも小さい偶数を $2n$ とすると、連続する3つの偶数は、 $2n$ 、 $2n+2$ 、 $2n+4$ と表される。このとき、それらの和は、 $2n + (2n+2) + (2n+4) = 6n+6 = 6(n+1)$
 $n+1$ は、整数だから、 $6(n+1)$ は6の倍数となる。したがって、連続する3つの偶数の和は、6の倍数になる。

$6n+6 = 3(2n+2)$ とすれば、3の倍数ともいえるよ。

■まとめる。◇予想した事柄を説明するときは、前提と結論を明確にする。
 ◇事柄が正しいことを説明するには、前提を文字を用いて表し、計算した結果が結論を表す式となることを示す。

■問題を発展的に考える。

発展の場面

連続する4つの偶数の和は、何の倍数になるのかな？

■「連続する3つの偶数の和は、6の倍数になる」と考えたような、数学的推論の過程に着目し、新たに予想した事柄を表現する。

連続する4つの偶数の和を、具体的に考えてみよう。

■予想した事柄を表現し、見通しをもって説明する。

連続する4つの偶数の和は、4の倍数となる。

「連続する4つの偶数の和は、2の倍数や4の倍数になる」ことを説明するためには何が言えたらいいのかな？

n を整数として、連続する4つの偶数のうち、もっとも小さい偶数を $2n$ とすると、連続する4つの偶数は、 $2n$ 、 $2n+2$ 、 $2n+4$ 、 $2n+6$ と表される。このとき、それらの和は、 $2n + (2n+2) + (2n+4) + (2n+6) = 8n+12 = 4(2n+3)$
 よって、 $2n+3$ は整数だから、4の倍数といえる。

■ $4(n+3)$ の **4** と **$(2n+3)$** に着目し、これまでの推論の過程を振り返りながら新たな事柄を表現する。

統合の場面

$4(2n+3)$ の $2n+3$ ってどんな意味があるかな？

$2n+3$ だから、 $2n+2$ と $2n+4$ の間の数じゃないかな。

n が整数だから、 $2n+3$ も整数という意味じゃないかな？でも、どんな整数かな？

連続した3つの数の場合、 n に具体的な数を代入してみるとわかると思うよ。

連続する2つの偶数の真ん中の数は、 $2(2n+1)$ の $2n+1$ 。
 連続する3つの偶数の真ん中の数は、 $3(2n+2)$ の $2n+2$ 。
 連続する4つの偶数の真ん中の数は、 $4(2n+3)$ の $2n+3$ 。
 連続する m 個の偶数の数の和は、真ん中の整数の m 倍ともいえるよ。

生徒の振り返り
 ・新しい性質を発見するためには、着目する視点を変えることは大切だな。
 ・ m 個連続する偶数の和は、 m を使うとどんな倍数と表されるかな。

中学校理科 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題4（2）

① 《出題のねらい》

化学変化について、見いだした問題を基に、適切な課題を設定することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第2学年 第1分野（4）化学変化と原子・分子

化学変化についての、観察、実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解させるとともに、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。

イ 化学変化（ア）化合

2種類の物質を化合させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだすとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること及び化学変化は化学反応式で表されることを理解すること。

② 解答類型		反応率(%)	正答	○本設問は、実験結果をもとに、その実験の課題に当てはまる適切な内容を書く問題であり、正答率は40.9%である。 ○誤答についてみると、「加熱する時間に関係する」など、課題を設定する表現になっていない解答類型2が8.7%あった。また、解答類型9では、「100℃でゆでるときか」といった加熱時間について記述がないものや、「時間に関係するか」といった何の時間に関係するのかについて記述がないものが多く見られた。 疑問から適切な課題を設定し、見通しをもって検証実験を行い、問題解決を図ることが十分に行われていないと考えられる。
(正答の条件) 次の(a), (b)を満たして解答している。 (a) 加熱時間に着目して書いている。 (b) 課題を設定する表現となっている。				
(正答例) 加熱時間に関係があるのだろうか。				
1	(a), (b)を満たして解答しているもの	40.9	◎	
2	(a)を満たしているが、(b)を満たさないで解答しているもの	8.7		
9	上記以外の解答	39.0		
0	無解答	11.3		

③ 学習指導に当たって

○自然の事物・現象から問題を見だし、適切に課題づくりができるようにする

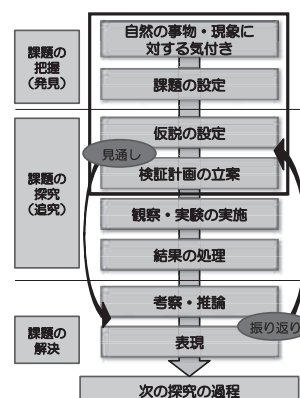
○仮説を設定し、検証する実験を計画できるようにする

理科の授業においては、課題の把握（発見）、課題の探究（追究）、課題の解決という探究の過程を通じた学習活動を行うことが求められています。

生徒が見いだした問題を解決するため、その原因として考えられる要因を挙げるなどして、視点を明確にして課題解決に見通しをもって適切に課題づくりを行う学習場面を設定することが考えられます。例えば、卵黄の表面が黒っぽく変化するのは、何に関係しているのか、加熱する温度や時間など原因として考えられる要因を挙げさせて課題を設定することが考えられます。

また、課題に対して仮説を設定し、仮説を検証するためにどのような条件で実験を行う必要があるのかを考えさせ、実験結果の見通しをもって実験を計画することが考えられます。その際、まず一人一人の考えをノートなどに表した上で、それぞれの生徒が考えた実験の計画をグループで検討して改善するなどし、生徒の思考を整理させ、課題解決に見通しをもたせることが大切です。

探究の過程の例



④ 【学習シート等との関連】

高知県理科思考力問題集
中1-04
化学変化

本設問と関連のある問題 H27 全国学力・学習状況調査[7]（3）

キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたことから見いだした問題を基に、適切な課題を設定することができるかどうかをみる問題

高知県正答率 50.0% 全国正答率 57.3%

指導のねらい

一定量の銅を酸化するとき、酸化銅の質量が変化しなくなることから銅と酸素の質量の関係について問題を見いだして課題を設定し、仮説を立てて実験を計画することができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

- 一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。
- 二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

自然の事物・現象に対する気付き

【前時までの学習】

銅を加熱するとどのようになるだろうか。

<実験> 銅粉0.50gをステンレス皿にのせ、強火で一定時間加熱して質量を測定し、再び加熱して質量を測定する。

- 酸化銅ができ、質量が大きくなるが、どの班もほぼ同じ質量になった。
- 銅の性質は示さなくなる。



<実験>で、どの班も酸化銅の質量がほぼ同じになったよ。

0.50gの銅に反応した酸素の質量は、僕たちの班では、0.12gだったよ。



銅を加熱して酸化銅ができるとき、銅と反応する酸素の質量には限度があるのかな。

どうして酸素の質量は限度以上には増えないのだと思いますか。



POINT

課題の設定

生徒の発言などを基に、銅と反応する酸素の質量の間にはどのような関係があるのかを問うなどして、解決したいことは何か生徒とともに視点を明らかにして課題を設定していきましょう。その際、指導のねらいに応じて、生徒自らが問題を見いだすことができる事象の提示を行い、課題の設定に導くことが重要です。

銅と化合する酸素の質量は、銅の質量を変えると、どのように変化するのだろうか。

仮説の設定

- 三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

仮説を設定する場面では、従属変数である「酸素の質量」を、独立変数である「銅の質量」を明らかにし、この二つの変数を関係付けるようにして、仮説を立てさせましょう。

POINT



銅の質量を0.50gずつ大きくすると、銅と反応する酸素の質量は大きくなるのではないかな。

仮説をもとにして、確かめる実験をそれぞれ計画してみましょう。



POINT

検証計画の立案

- 四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

課題を設定する過程で気付いた要因を条件として整えさせ、条件から変数を設定し、課題、仮説と連動した実験の計画を立てさせましょう。そのとき、まず一人一人の考えをノートなどに表した上で、それぞれの生徒が考えた実験の計画をグループで検討して改善させましょう。生徒の思考を整理し、課題解決に見通しをもたせるようにすることが大切です。



私は、銅の質量を0.2g、0.4g、0.6g、0.8g、1.0gと0.2gずつ大きくしてそれぞれを加熱し、できた酸化銅の質量から銅の質量を引いて酸素の質量を求めようと思います。

私は、銅の質量を2倍、3倍と大きくしていくと、銅と反応する酸素の質量も2倍、3倍になると思うので、銅の質量を0.50g、1.00g、1.50gにして銅を加熱して、酸化銅の酸素の質量を求めます。



- 五、学習したことの振り返りの場を設定する。

観察・実験の実施

生徒が考えた検証計画を確認し、課題が解決できる見通しをもった計画であるかどうかの検討を行い、実験方法を絞り込んでいく。

中学校外国語 指導改善のポイント (第2学年)

【課題が見られる設問の例】 問題 11

① 《出題のねらい》

自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

エ 書くこと (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

② 解答類型		反応率 (%)	正答	○本設問は、自分が将来やってみたいことやつきたい職業について、その理由を含め、まとまりのある20語以上の文で書く問題である。正答率は、17.9%であり、無解答率は19.7%である。 ○誤答についてみると、類型5が12.9%であり、選んだ理由を書くときに助動詞の後に動名詞を置くなど動詞の活用の誤りが多くみられた。また、類型9は39.6%であり、将来やってみたいこととその理由を書いていない解答がみられた。 ○これらのことから、授業では、書く目的を明確にし、簡単な語句や文を用いながら、なぜそのように思うのか自分の考えを書くことに課題があると考えられる。
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 将来やってみたいことやつきたい職業を1つ選んでいる。 (b) (a)で選んだこととその理由について、内容につながりがある文を書いている。 (c) 20語以上で書いている。 ※綴りの誤りが見られるが、伝えたいことを理解する上では影響がないと思われるものは許容とする。				
(正答例) 例 My dream is to be a computer programmer. I have two reasons. First, I like to surf the Internet. Second, I want to make useful websites. So the job is perfect for me. I study math, science, and English very hard to be a good programmer. (46語)				
1	条件(a)、(b)、(c)を満たして解答しているもの	11.8	◎	
2	条件(a)、(c)を満たし、条件(b)について、英文の意味が理解できる軽微な誤りがあるもの	6.1	○	
3	条件(a)、(c)を満たし、条件(b)について、下記の誤りがあるもの ・(a)で選んだことの内容から他の話題に逸れているもの ・(a)で選んだことの理由を明確に書いていないもの	1.5		
4	条件(a)、(c)を満たし、条件(b)について、同一内容の文を反復しているもの	0.9		
5	条件(a)、(c)を満たし、条件(b)について、動詞の活用の誤りなど英文の理解が困難となるような文法上の誤りがあるもの	12.9		
6	条件(a)、(c)を満たし、条件(b)について、語順に誤りがあるもの	0.7		
7	条件(a)、(b)を満たし、条件(c)を満たさずに解答しているもの	6.8		
9	上記以外の解答	39.6		
0	無解答	19.7		

③ 学習指導に当たって

まとまりのある英文を書く力を育成するために

1 書く内容を膨らませ、文の構成を意識できる言語活動を取り入れましょう。

- ・アイデアの膨らませ方は、教科書のモデルを見せるだけではなく、生徒の伝えたい内容を簡単な語句や短い文章で文の構成を示すなど、表現の仕方を教員が実践して見せることが重要です。また、段階的に書かせる量を増やしたり、友だちが書いた文章からまとまりのある英文の書き方に気付かせたりすることも大切です。

2 書く活動だけではなく、他領域と統合した言語活動を仕組みましょう。

- ・伝えたい内容に必要な語彙のインプットを増やすために、「話すこと」の活動の際、会話した内容をノートに書くなどの活動を取り入れることが大切です。

④ 【学習シート等との関連】

英語ライティングシート II重要表現編 2年生 to+動詞の原形、接続詞 if, when, because
 IIIテーマ作文編 2年生 自分の夢を書いてALTや友だちに伝えよう
 高知県語彙検定 KOCHI Core-tan 高知これ単 21級、12級
 高知県中学校英語副読本 Discover Kochi 「Yosakoi」

指導のねらい 身近な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある英文で表現することができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

目的・場面・状況などを設定し、明確化する

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

①考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値付けたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

①生徒に学んだことやさらに考えたことなどを確認させる。

単元のゴール

* 高知の文化について海外からの観光客に紹介する文を書き、パンフレットを作る。
(身近な話題について) (事実や自分の考え、気持ちなどを)

Warm-up

* 本時のねらいにつながるよう、既習の言語材料を用いて会話した内容について分かったことをノートにメモするなどの活動を仕組む。

本時のねらいを確認し、単元ゴールも再度確認する。

* 具体的なモデル文を提示し、まとまりのある英文を書くためのアイデアを示す。
* モデル文から不定詞や接続詞など新出・既習の表現の使い方や意味を確認する。
(例)

Yosakoi is a summer festival in Kochi. It started in 1954, and now we can see Yosakoi everywhere in Japan. ...
A lot of people come to Kochi to join or see it.
At the festival, about 20,000 people dance every year. They perform in teams to get prizes. ...

高知県中学校英語副読本
Discover Kochi
「Yosakoi」より



不定詞を使うことで、目的や理由を表現することができるんだね。高知の文化についてもこの表現を取り入れて書けそうかな。

高知の文化について、伝えたい内容を考える。

* モデル文を参考にし、文の構成に着目させ、なぜその文化を紹介したいのか、理由をマッピングなどを活用して伝えたい内容を整理させる。
* 授業者が生徒となり、生徒の伝えたい内容を簡単な単語や短い文章でモデルを示す。

生徒が伝えたいことをまとまりのある英文で表現するために、既習事項を組み入れながら段階的に書く量を増やすことも大切です。



複数の英文から表現方法や構成の違いに気づき、内容を再構築する。

* 複数の英文を提示し、表現方法などの工夫について比較しながら、友だちの英文から技法を学ばせる。Q&Aなどの場面をもち、英文の内容を再構築させる。
(例) 板書の一部

例 A
Do you know Kochi Castle?
It's... You can go up to the top of the castle and see the whole city from there.
So you can enjoy it.

例 B
Sunday Market is a good place to visit. There are two reasons.
First, you can buy some fresh food... Second, ...

☆参考にしたい表現や構成を、チェックしてみよう。



最初に相手に問いかけたり、So~を使ったりした表現が参考になったよ。

訪ねてほしい場所を書いた後に、その理由を順に挙げる文の構成が分かりやすいね。



まとまりのある英文を書く。

* グループ活動や全体共有で学んだことを生かしながら、英文を推敲させる。

伝えたい内容をどう組み立てるとまとまりのある英文となるのか、交流から構成を工夫することを学んでいます。

* 振り返りでは、できるようになったことを確認し、次の学習への意欲をもたせる。



資料

平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 実施日 平成29年4月18日（火）

(3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学を出題
- ◇ 主として「知識」に関する問題（A）と主として「活用」に関する問題（B）を出題

主として「知識」に関する問題（A）	<ul style="list-style-type: none"> ●身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ●実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など
主として「活用」に関する問題（B）	<ul style="list-style-type: none"> ●知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ●様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施

(4) 県内（公立学校）の参加状況

- ◇ 参加学校数 297校

小学校	190校
中学校	103校
義務教育学校（前期課程・後期課程）	2校
特別支援学校（小・中学部）	2校

- ◇ 小学校解答（回答）児童数

国語A	5,334名	国語B	5,333名
算数A	5,334名	算数B	5,332名
児童質問紙	5,335名		

- ◇ 中学校解答（回答）生徒数

国語A	4,562名	国語B	4,560名
数学A	4,562名	数学B	4,560名
生徒質問紙	4,558名		

2 教科に関する調査の結果

小学校(国語・算数)

	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と 全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	平成29年度	74.9	74.8	0.1	81.6	78.6	3.0
	平成28年度	77.2	72.9	4.3	80.4	77.6	2.8
	平成27年度	73.4	70.0	3.4	77.0	75.2	1.8
	平成26年度	74.4	72.9	1.5	79.2	78.1	1.1
	平成25年度	65.3	62.7	2.6	78.8	77.2	1.6
	平成24年度	82.1 (81.5~82.7)	81.6 (81.4~81.7)	0.5	74.7 (73.9~75.6)	73.3 (73.1~73.5)	1.4
	平成23年度	81.0			82.3		
	平成22年度	82.8 (82.2~83.5)	83.3 (83.2~83.5)	-0.5	75.3 (74.3~76.3)	74.2 (74.0~74.4)	1.1
	平成21年度	68.5	69.9	-1.4	76.4	78.7	-2.3
	平成20年度	65.0	65.4	-0.4	72.6	72.2	0.4
	平成19年度	81.7	81.7	0.0	81.6	82.1	-0.5
B	平成29年度	56.8	57.5	-0.7	46.2	45.9	0.3
	平成28年度	57.7	57.8	-0.1	47.3	47.2	0.1
	平成27年度	67.0	65.4	1.6	44.6	45.0	-0.4
	平成26年度	55.0	55.5	-0.5	57.9	58.2	-0.3
	平成25年度	49.8	49.4	0.4	57.9	58.4	-0.5
	平成24年度	53.4 (52.4~54.3)	55.6 (55.4~55.8)	-2.2	58.1 (57.1~59.1)	58.9 (58.7~59.1)	-0.8
	平成23年度	44.3			46.2		
	平成22年度	78.1 (77.2~79.0)	77.8 (77.7~78.0)	0.3	48.2 (47.2~49.2)	49.3 (49.1~49.5)	-1.1
	平成21年度	49.5	50.5	-1.0	52.1	54.8	-2.7
	平成20年度	47.7	50.5	-2.8	49.3	51.6	-2.3
	平成19年度	60.0	62.0	-2.0	60.7	63.6	-2.9

小学校(理科)

	理科平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
平成27年度	60.3	60.8	-0.5
平成24年度	59.6 (58.8~60.4)	60.9 (60.8~61.1)	-1.3

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。
 ()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。
 ※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。
 ※理科については、平成24年度と平成27年度に実施した調査結果を示している。

中学校(国語・数学)

		国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差
		高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
A	平成29年度	75.8	77.4	-1.6	61.9	64.6	-2.7
	平成28年度	75.4	75.6	-0.2	58.5	62.2	-3.7
	平成27年度	73.3	75.8	-2.5	59.9	64.4	-4.5
	平成26年度	77.2	79.4	-2.2	62.7	67.4	-4.7
	平成25年度	74.3	76.4	-2.1	59.3	63.7	-4.4
	平成24年度	72.5 (71.8~73.1)	75.1 (75.0~75.2)	-2.6	58.3 (57.4~59.2)	62.1 (62.0~62.3)	-3.8
	平成23年度	78.5	/	/	54.3	/	/
	平成22年度	72.6 (72.0~73.3)	75.1 (75.0~75.2)	-2.5	59.5 (58.3~60.7)	64.6 (64.4~64.8)	-5.1
	平成21年度	74.2	77.0	-2.8	56.5	62.7	-6.2
	平成20年度	70.0	73.6	-3.6	54.5	63.1	-8.6
	平成19年度	78.1	81.6	-3.5	62.8	71.9	-9.1
B	平成29年度	68.9	72.2	-3.3	44.7	48.1	-3.4
	平成28年度	65.2	66.5	-1.3	40.1	44.1	-4.0
	平成27年度	62.9	65.8	-2.9	36.2	41.6	-5.4
	平成26年度	47.7	51.0	-3.3	53.6	59.8	-6.2
	平成25年度	64.8	67.4	-2.6	35.4	41.5	-6.1
	平成24年度	61.6 (60.9~62.3)	63.3 (63.2~63.4)	-1.7	45.4 (44.3~46.6)	49.3 (49.2~49.5)	-3.9
	平成23年度	61.0	/	/	45.2	/	/
	平成22年度	61.0 (60.0~62.1)	65.3 (65.1~65.5)	-4.3	36.6 (35.4~37.9)	43.3 (43.1~43.5)	-6.7
	平成21年度	69.8	74.5	-4.7	49.7	56.9	-7.2
	平成20年度	54.7	60.8	-6.1	41.5	49.2	-7.7
	平成19年度	64.0	72.0	-8.0	50.6	60.6	-10.0

中学校(理科)

	理科平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
平成27年度	47.3	53.0	-5.7
平成24年度	47.3 (46.5~48.0)	51.0 (50.9~51.1)	-3.7

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

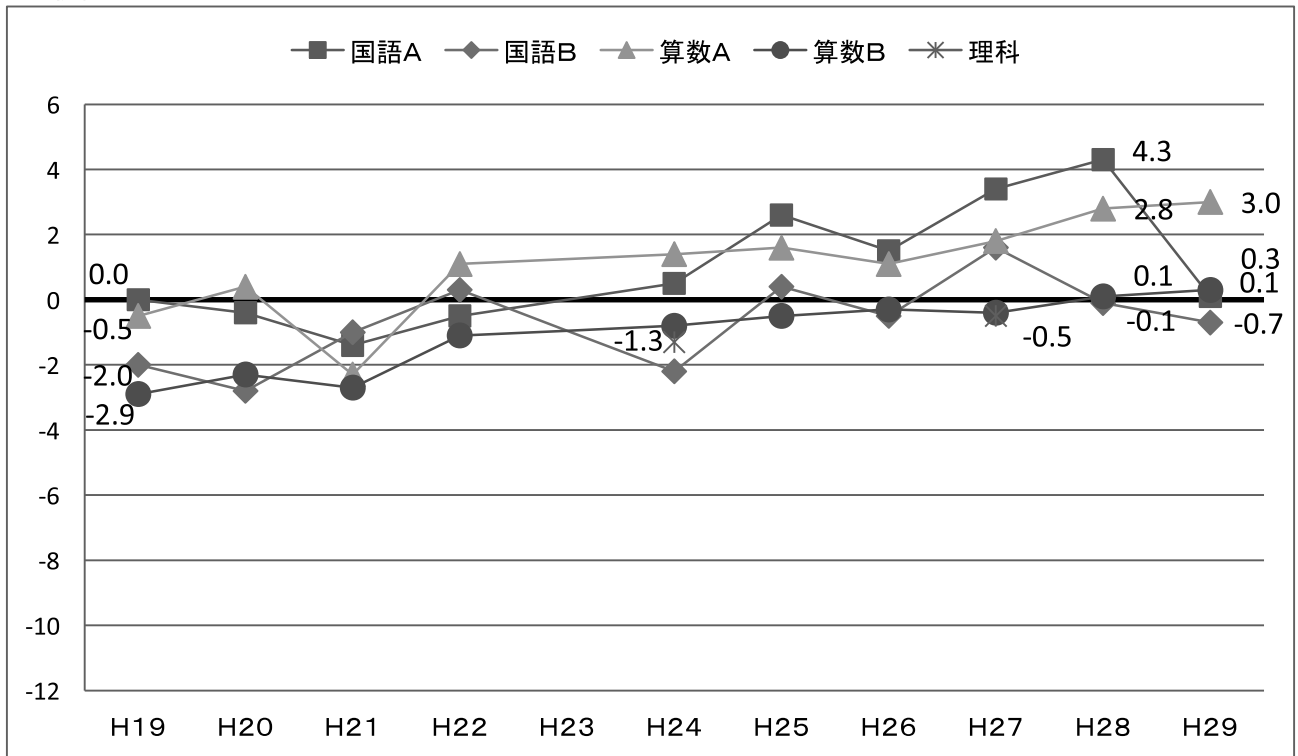
()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

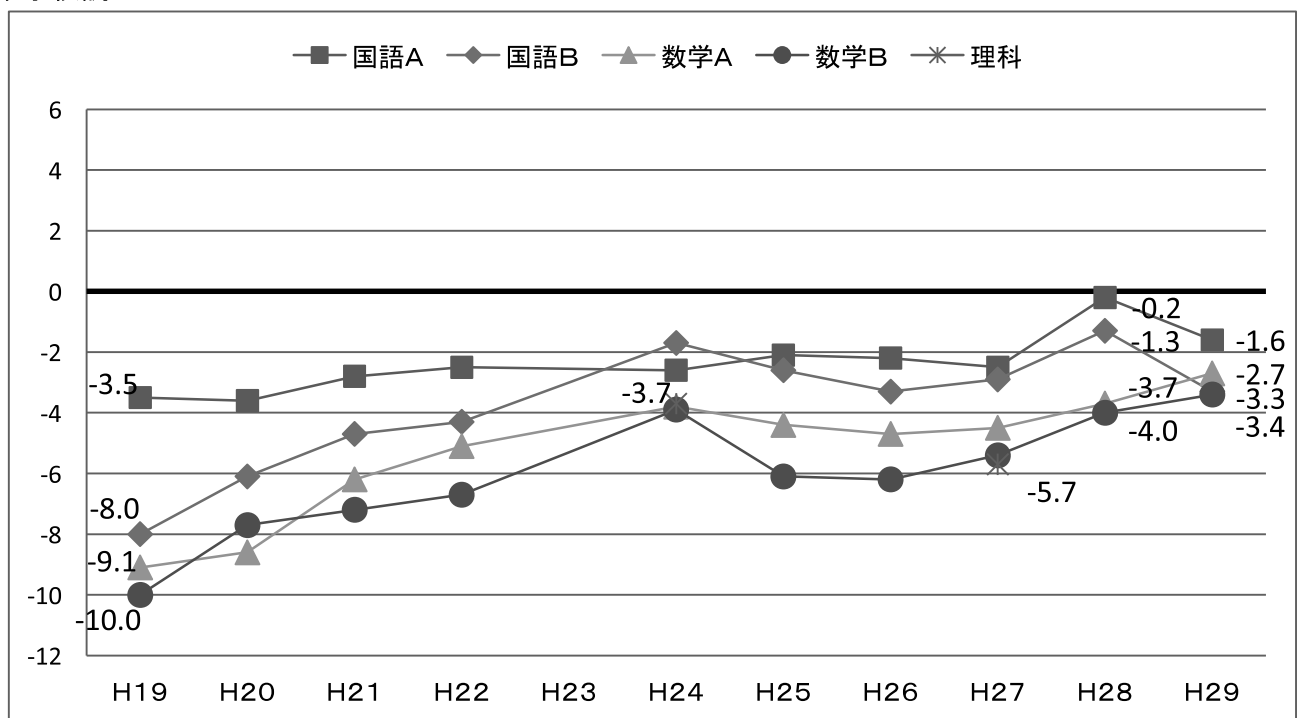
※理科については、平成24年度と平成27年度に実施した調査結果を示している。

[全国平均正答率との差]

小学校調査



中学校調査



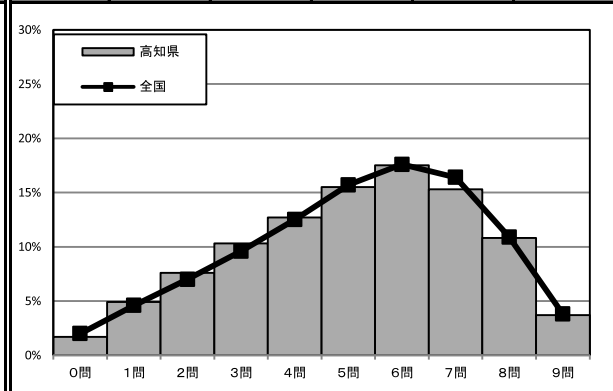
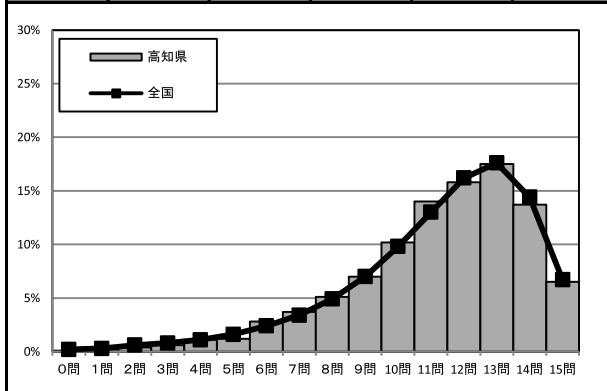
※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。(平成23年度の全国の値はない。)

3 各教科に関する学力の状況

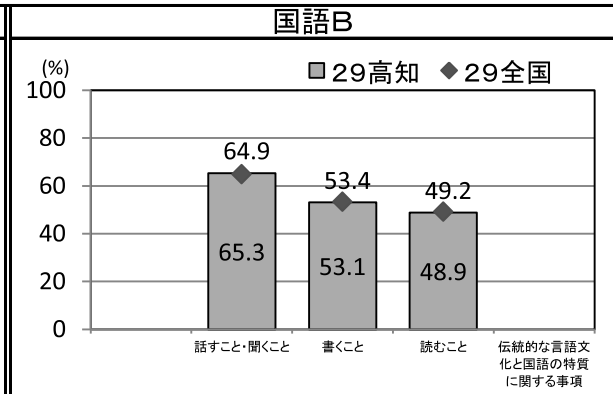
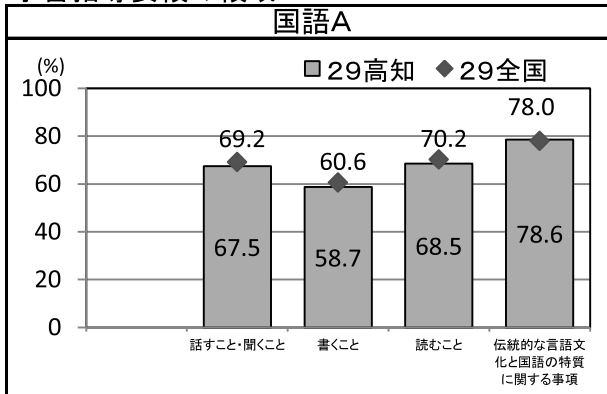
〔小学校国語〕

正答数分布の状況

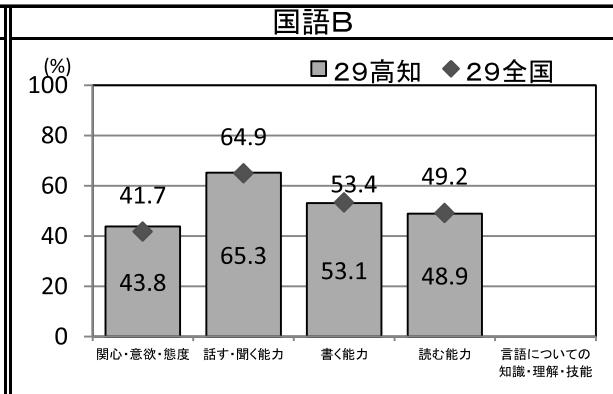
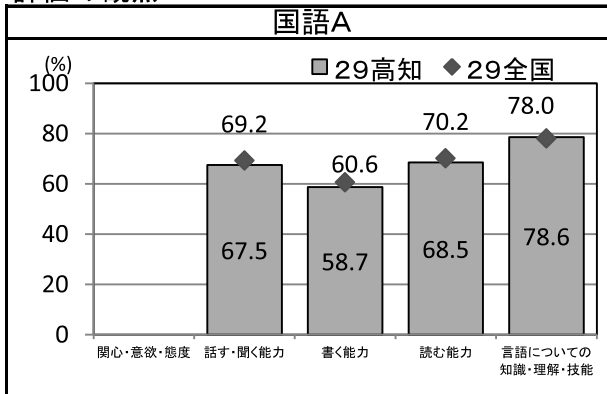
国語A	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	国語B	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	5,334	11.2/15	74.9%	12.0	2.7	高知県	5,333	5.1/9	56.8%	5.0	2.2
全国	999,683	11.2/15	74.8%	12.0	2.8	全国	999,498	5.2/9	57.5%	5.0	2.2



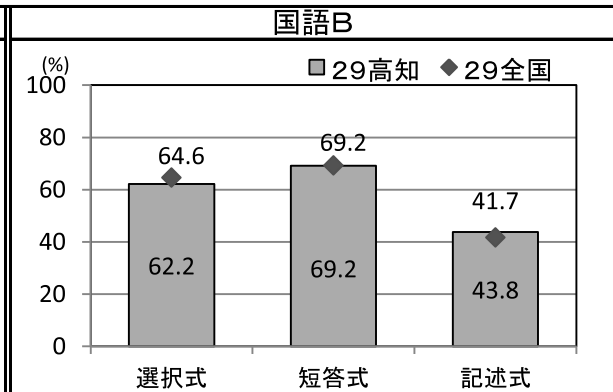
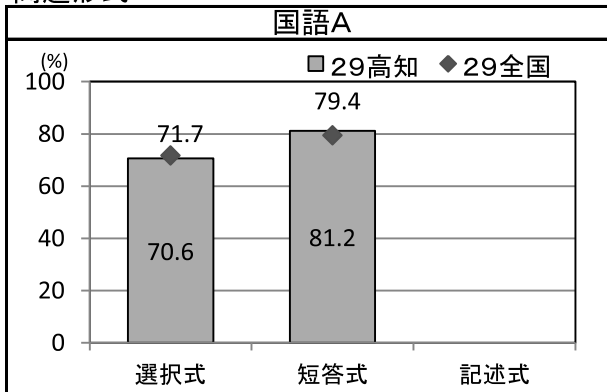
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 小学校国語】

■国語A

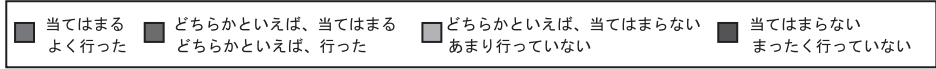
設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1	学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	話	話	選択式	-1.7	67.5	69.2	0.0	0.1
2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	書	書	選択式	-3.8	75.9	79.7	0.0	0.1
2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	書	書	選択式	0.0	41.5	41.5	0.1	0.3
3	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	読	読	選択式	-1.2	73.2	74.4	0.2	0.5
4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	読/伝	読/言	選択式	-2.5	76.9	79.4	0.2	0.5
4二	グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する	読/伝	読/言	選択式	-1.5	55.5	57.0	0.4	0.7
5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（三度目の正直）	伝	言	選択式	0.6	90.6	90.0	0.5	0.8
5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（もちはもち屋）	伝	言	選択式	2.1	85.7	83.6	0.6	1.0
6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	伝	言	選択式	-2.2	68.9	71.1	1.0	1.6
7 (1)	漢字を書く（参加たいしょう）	伝	言	短答式	1.0	43.0	42.0	5.0	10.6
7 (2)	漢字を書く（4年生のきぼう者）	伝	言	短答式	1.1	81.1	80.0	2.1	4.6
7 (3)	漢字を読む（申し込み期限）	伝	言	短答式	1.0	95.5	94.5	1.4	3.0
7 (4)	漢字を読む（事務室前）	伝	言	短答式	1.2	90.0	88.8	1.4	3.0
7 (5)	漢字を書く（箱がおいてあります）	伝	言	短答式	4.2	81.0	76.8	6.2	11.8
7 (6)	漢字を読む（指示）	伝	言	短答式	2.2	96.7	94.5	1.1	2.9

■国語B

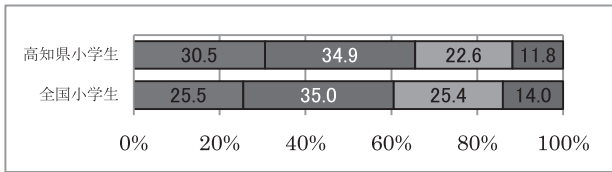
設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する	話	話	選択式	-3.8	73.4	77.2	0.4	0.5
1二	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	話	話	短答式	0.0	69.2	69.2	2.6	3.8
1三	折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く	話/書	読/話/書	記述式	4.9	53.3	48.4	2.1	2.6
2一	【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	書	書	選択式	-4.3	66.5	70.8	0.4	0.7
2二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	書	書	選択式	-3.3	67.6	70.9	2.4	3.2
2三	「水やりに協力してくれる人をば集めます」の[イ]に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	書	読/書	記述式	1.6	34.6	33.0	2.1	2.8
3一	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	読	読	選択式	0.7	76.6	75.9	2.1	2.6
3二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する	読	読	選択式	-1.2	26.8	28.0	2.2	3.2
3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	書/読	読/書/読	記述式	-0.3	43.4	43.7	14.2	19.4

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

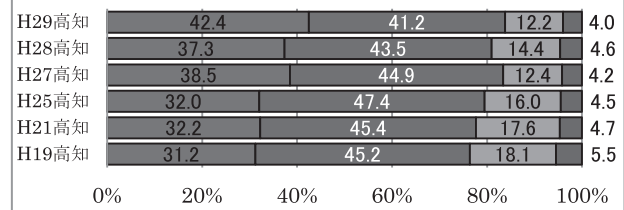
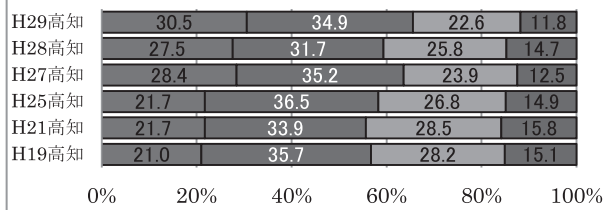
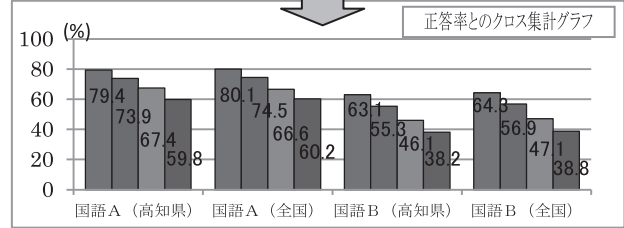
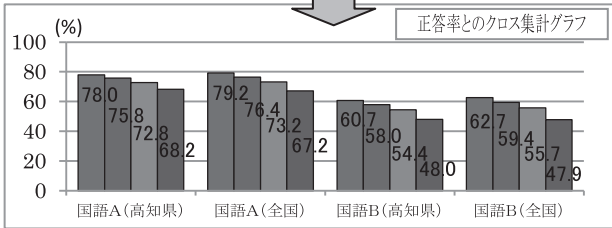
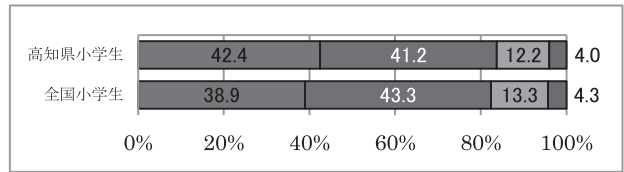
【質問紙の状況】



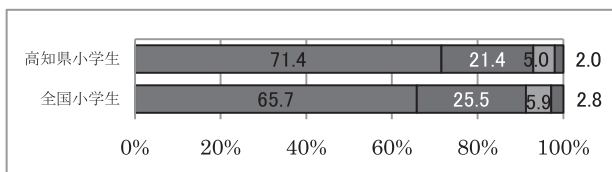
〈児童質問〉 国語の勉強は好きだ



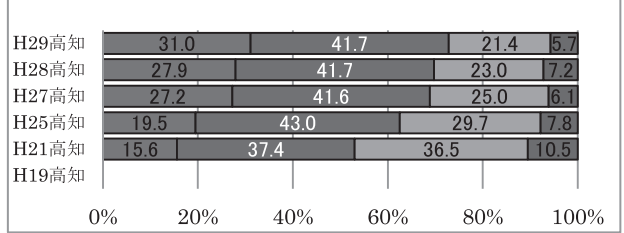
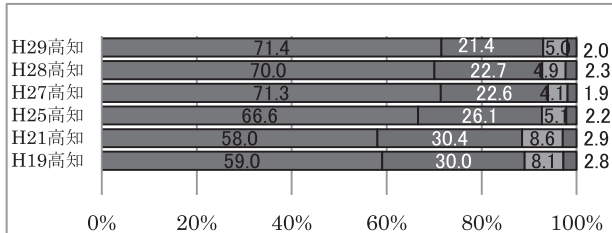
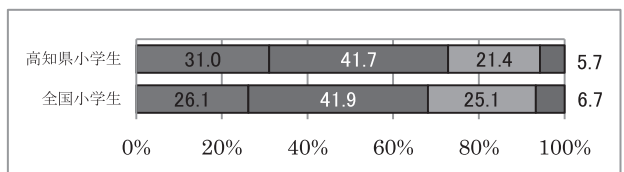
〈児童質問〉 国語の授業の内容はよく分かる



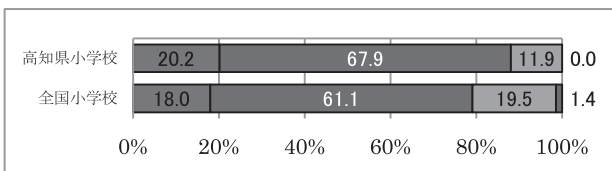
〈児童質問〉 国語の勉強は大切だ



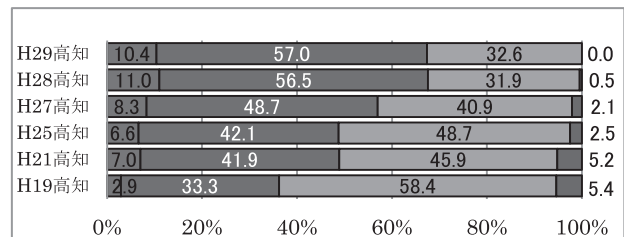
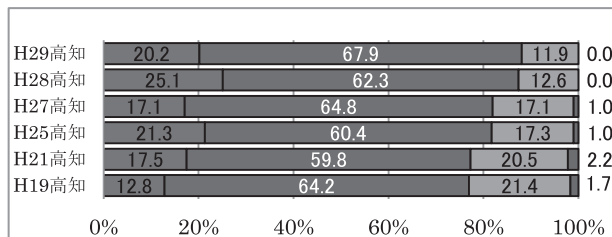
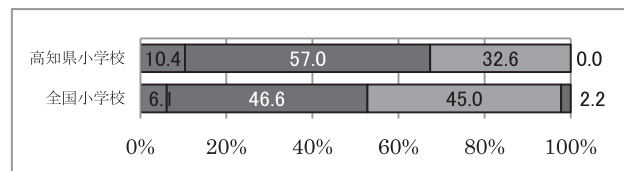
〈児童質問〉 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている



〈学校質問〉 国語の指導として、補充的な学習の指導を行った



〈学校質問〉 国語の指導として、発展的な学習の指導を行った



成果と課題及び指導改善のポイント

成 果

ことわざの意味を理解することや、漢字の読みについては、相当数の児童ができています。また、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることについては、一定の力が身に付いていると思われる。

児童質問紙では、「国語の勉強が好き」「国語の勉強は大切」「国語の授業の内容がよく分かる」と回答している児童の割合が調査開始以来最も高くなっており、国語の学習に対する意欲は高まっていると思われる。

課 題

「話すこと・聞くこと」の領域では、目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話すことに課題がみられ、「書くこと」の領域では、目的や意図に応じ、必要な内容を整理して、協力を依頼する文書を書くことに課題がみられた。また「読むこと」の領域では、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がみられた。

特に「読むこと」の領域において、物語を読み、感想を伝え合う中で、自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題がみられ、授業等で、自分の考えたことが、どのように他者の考えたことと共通していたり相違したりしているのかなどを明らかにしながら、交流する機会を設定することが十分でないと思われる。

同じ叙述を取り上げた場合でも、その叙述をどう解釈しているかは異なることもある。「どこからそう思うの」「〇〇さんの言いたいことはそういうことなの」と相手の考えを理解するために質問するなど、互いに補完し合うことが、自分の考えを広げたり深めたりすることにつながっていくと児童が実感できるよう、児童一人一人が学習活動に必然性をもつことができる授業づくりを意図的に行う必要がある。

- A 2一、 Point 日常生活との関連を図りながら目的や意図に応じ、書く力を高めましょう。
2二

分析結果

2一は、お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する問題です。正答率は75.9%でしたが、全国の平均正答率より3.8ポイント下回っています。

2二は、手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択して書くことができるかどうかをみる問題で、正答率は全国の平均正答率と同じ41.5%でした。

手紙を目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書くことに課題がみられました。また、手紙の構成を理解し、後付けを書くことに依然として課題がみられます。

指導に当たって

依頼状や案内状、礼状など実用的な文章を書くときは、手紙を書く相手や目的を明確にしながらか、書く必要のある事柄を選んだり、構成したりすることができるように指導しましょう。また、手紙を書く学習活動を、国語科のみならず、国語科との関連を図りながら各教科等に意図的、計画的に設定することが大切です。

2

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いていきます。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないような汚れがきれいになったのでびっくりしました。また、これを使わずには時間がかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ウ

ア

イ

B2三

Point

自分の考えを明確に伝えるために、必要な内容を整理して書く指導を充実させましょう。

分析結果

「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」のイに入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く問題で、県の平均正答率は34.6%でした。

水やりが大変な二つの理由を適切に取り上げて書くことができていない解答が多くみられました。

目的や意図に応じ、必要な内容を整理して、協力を依頼する文章を書くことに課題があります。

指導に当たって

読み手に自分の考えが伝わるような文章を書くためには、具体的な事実を基にしたたり、複数の内容を関連付けたりしながら、必要な内容を整理して書くことが大切です。

目的や意図に応じて、取材の内容や方法を工夫し、書く事柄を収集した上で、その中から、具体的な事実と自分の感想、意見などと区別しながら必要な内容を整理して書くことができるように指導を工夫しましょう。

B3二

Point

広がる！深まる！互いのよさに気付く効果的な話合いとなるよう指導を充実させましょう。

分析結果

物語「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおけるア「どこからそう思うの」・イ「田中さんの言いたいことはそういうことでもいいのかな」の発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する問題で、県の平均正答率は26.8%でした。

自分の考えがどの叙述に基づいているか、自分の経験などとどう結び付いているのかを明らかにしながら話し合い、自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題があります。

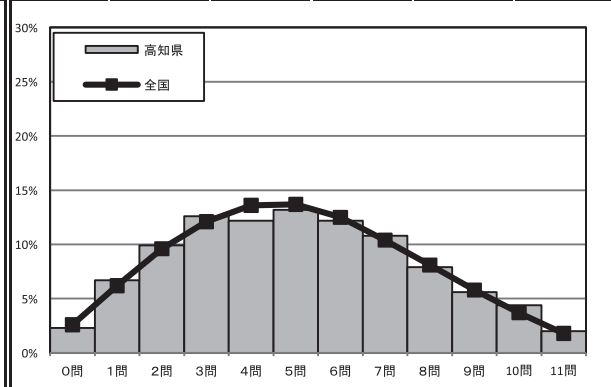
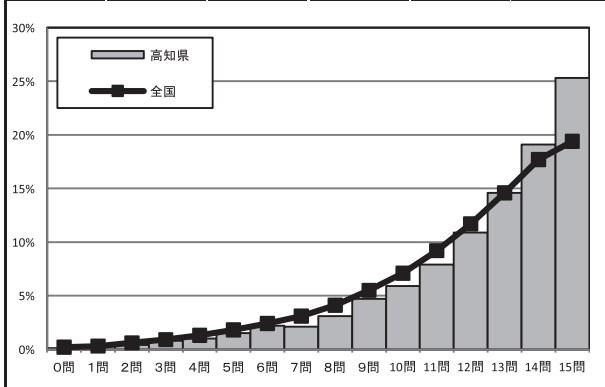
指導に当たって

物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりするときは、どのようなことが共通していたり相違していたりしているのかなどを明らかにしながら交流する機会を意図的に設定しましょう。また、感想がどの叙述に基づいているのか、自分が経験したこと、普段考えていることや関心のあることなどと、どのように結び付いているのかなどを説明することができるよう、指導の充実を図りましょう。

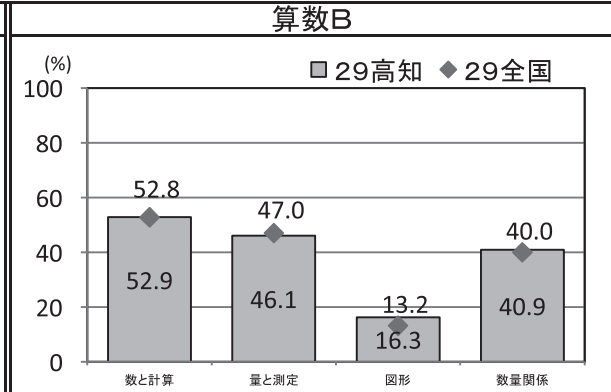
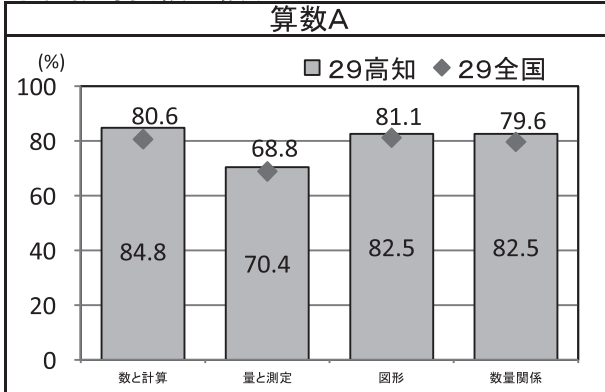
〔小学校算数〕

正答数分布の状況

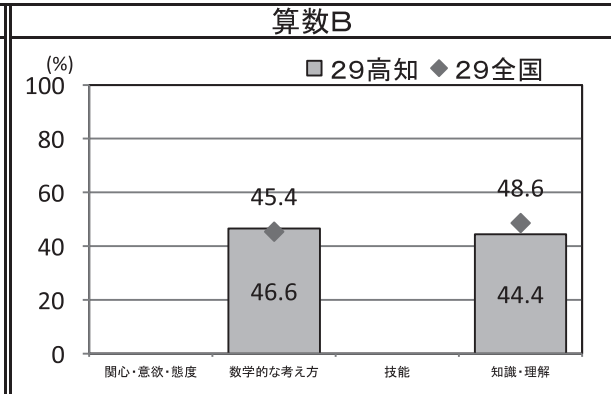
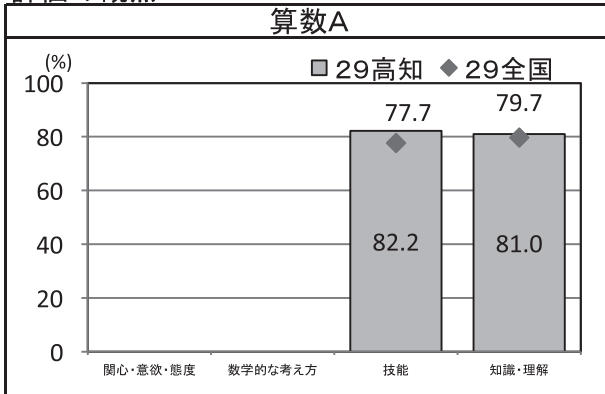
算数A	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	算数B	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	5,334	12.2/15	81.6%	13.0	2.9	高知県	5,332	5.1/11	46.2%	5.0	2.7
全国	999,723	11.8/15	78.6%	13.0	3.1	全国	999,451	5.1/11	45.9%	5.0	2.6



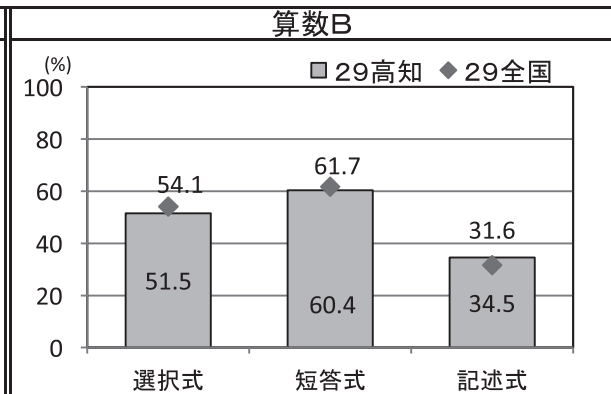
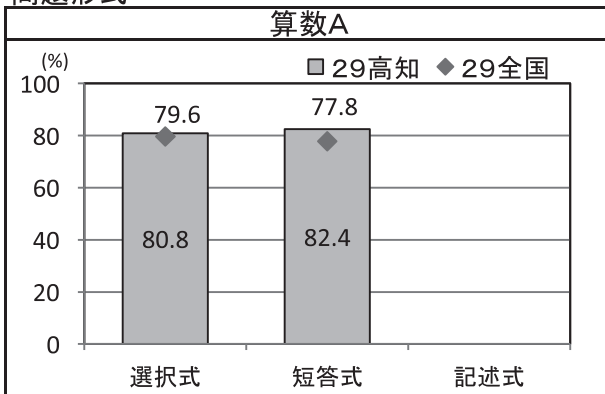
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 小学校算数】

■算数A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	数と計算 数量関係	知	短答式	-0.6	96.3	96.9	0.3	0.4
1(2)	買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	数と計算	知	選択式	5.7	75.6	69.9	0.9	1.8
1(3)	60×0.4を、60×4を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ	数と計算	知	選択式	-1.7	89.3	91.0	0.2	0.7
2(1)	123×52を計算する	数と計算	技	短答式	3.6	88.8	85.2	0.1	0.5
2(2)	10.3+4を計算する	数と計算	技	短答式	5.9	85.6	79.7	0.1	0.4
2(3)	6+0.5×2を計算する	数と計算 数量関係	技	短答式	9.4	76.0	66.6	0.2	0.6
2(4)	5÷9の商を分数で表す	数と計算	技	短答式	11.8	81.0	69.2	1.1	3.9
3	8と12の最小公倍数を求める	数と計算	技	短答式	0.0	86.2	86.2	0.5	1.2
4	重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	量と測定	知	選択式	-1.6	69.1	70.7	0.3	0.6
5	示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ	量と測定	知	選択式	4.8	71.8	67.0	0.5	1.3
6	円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	図形	知	短答式	2.6	78.1	75.5	1.1	2.3
7	立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ	図形	知	選択式	0.2	86.9	86.7	0.6	1.0
8	はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	数量関係	技	選択式	0.1	83.7	83.6	0.7	1.4
9(1)	出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	数量関係	技	選択式	1.3	89.3	88.0	1.3	2.6
9(2)	二次元表の合計欄に入る数を書く	数量関係	技	短答式	4.3	67.1	62.8	2.5	5.1

■算数B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く	数と計算	考	短答式	-1.5	74.5	76.0	1.8	2.0
1(2)	示された考えを基に、54-45の場合で残る部分を図に表す	数と計算	考	短答式	0.0	81.8	81.8	2.6	3.9
1(3)	2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く	数と計算 数量関係	考	記述式	4.0	42.6	38.6	9.7	14.9
2(1)	小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く	数と計算 数量関係	考	記述式	0.3	40.7	40.4	5.6	6.4
2(2)	13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	数と計算	考	短答式	-2.5	24.9	27.4	4.6	6.0
3(1)	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ	量と測定 数量関係	知	選択式	-5.5	62.4	67.9	1.0	1.1
3(2)	仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める	量と測定 数量関係	考	記述式	3.8	29.9	26.1	12.0	12.7
4(1)	示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ	数量関係	考	記述式	3.4	43.2	39.8	4.4	4.8
4(2)	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ	数量関係	知	選択式	-3.0	26.3	29.3	3.9	4.6
5(1)	「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	数量関係	考	選択式	0.7	65.7	65.0	5.0	5.5
5(2)	与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだだけを書く	図形 数量関係	考	記述式	3.1	16.3	13.2	8.1	8.7

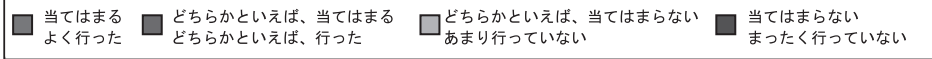
「太字」は、全国正答率より10ポイントをこえて高い正答率

「太字」は、全国正答率より5ポイントをこえて高い正答率

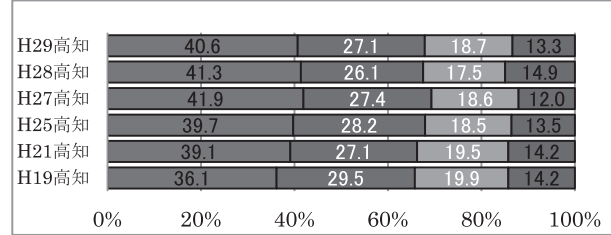
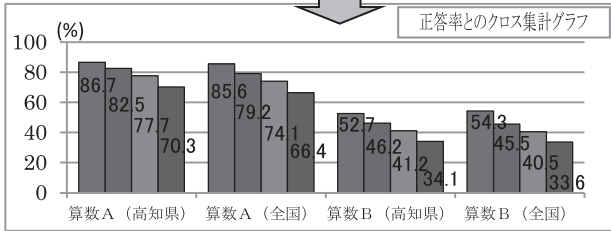
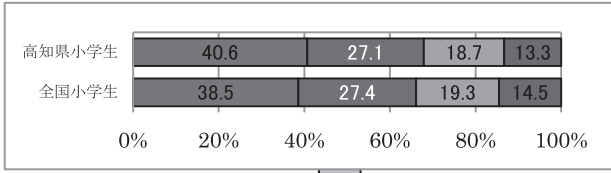
「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

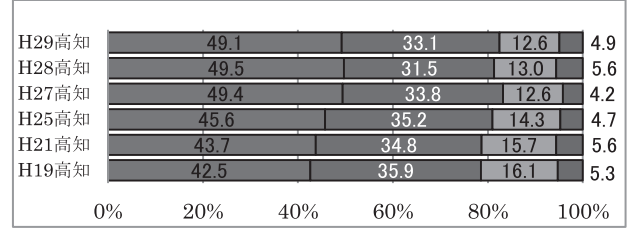
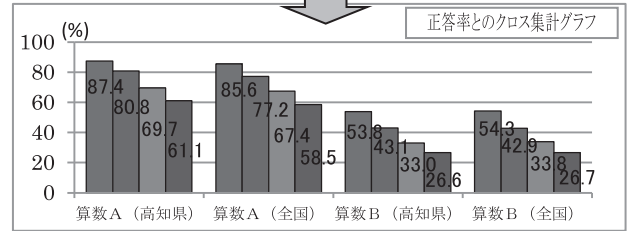
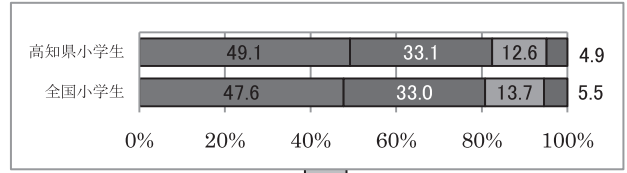
【質問紙の状況】



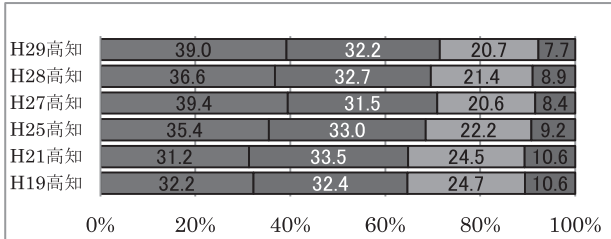
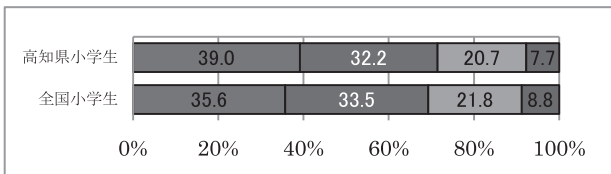
〈児童質問〉 算数の勉強は好きだ



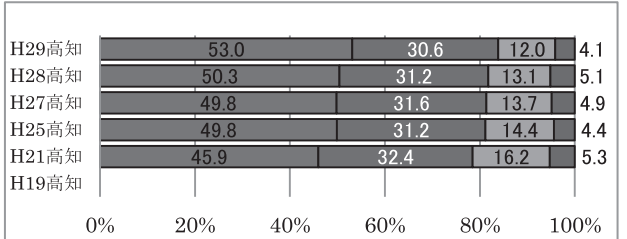
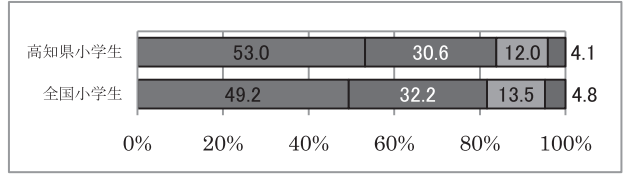
〈児童質問〉 算数の授業の内容はよく分かる



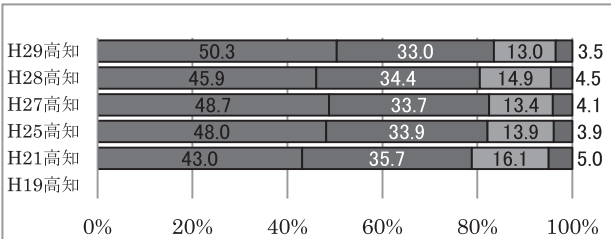
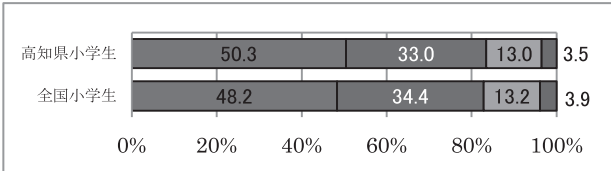
〈児童質問〉 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える



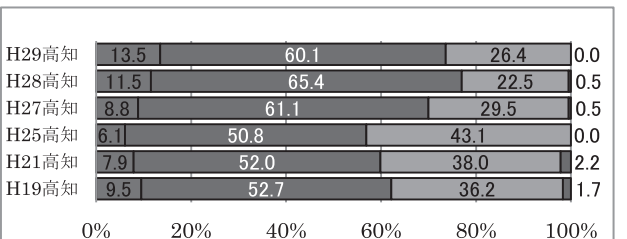
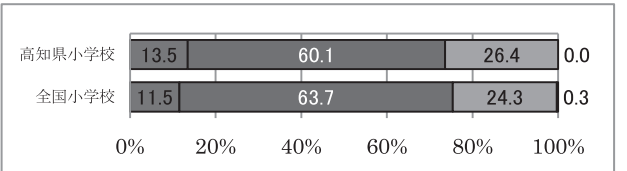
〈児童質問〉 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える



〈児童質問〉 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている



〈教員質問〉 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った



成果

乗法で表すことのできる二つの数量の関係を理解したり、小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解したりすることは相当数の児童ができています。また、立方体の面と面の位置関係を理解することや資料を二次元表に分類整理することにおいても、相当数の児童ができています。

単元テストシステムにおける算数科の単元チェックやフォローアップの問題に取り組み、単元ごとに児童一人一人の定着の状況を把握・分析し、つまづきに対する適切な補足的な学習指導を行うことにより、学習内容の確実な理解につながっていることが考えられる。

課題

A問題では、任意単位による測定について理解することや資料から二次元表の合計欄に入る数を求めることに課題がみられる。質問紙の「算数科で学習したことを普通の生活の中で活用できないか考えますか」について、「当てはまる」の回答が39.0%と低く、量の測定や資料の分類整理の学習が、知識・技能の習得で留まり、知識・技能を活用することが不足していることが一因と考えられる。量の測定や資料の分類整理のよさを理解し、日常の場面や新たな学習に活用していく機会を設定する必要があると考えられる。

B問題では、示された方法や考えを解釈し、問題場面に適用したり、他の場合に適用して解決方法を考え、それらを記述したりすることに課題がみられる。また、身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することにも課題がみられる。これは、データを処理する方法を適切に用いて判断したり、工夫してデータを処理するよさを実感したりする活動や日常生活の事象を、割合や表、グラフを活用して考察する活動が十分でないことが要因として考えられる。

A4

Point

既習の比較や測定方法を活用させ、新たな比較や測定にも、共通する方法が用いられていることを実感的に理解させましょう。

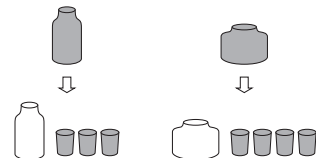
分析結果

算数A4は、任意単位による測定について理解しているかどうかをみる問題です。県の平均正答率は69.1%でした。解答の状況から、かさを測定するために用いられた測定方法を解釈したうえで、他の測定方法がどの測定方法であるか判断したり、他の測定方法との共通点や相違点を判断したりすることに課題があると考えられます。

指導に当たって

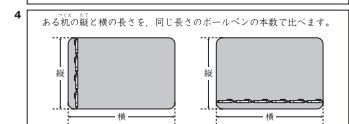
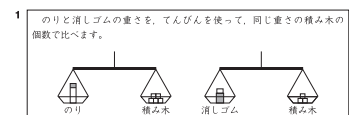
量を測定するときには、測定する量の特徴に着目し、既習の比較や測定方法を振り返り、新たに測定する量の比較や測定に活用しましょう。その際、異なる種類の量の比較や測定の方法について共通点を見だし、統合的に捉えたりする活動が考えられます。また、任意単位の測定では、任意単位の幾つ分という見方で、大きさの違いを明確に表して比べることを実感できるように、系統性を意識した指導を大切にしましょう。

4



この比べ方と同じように、もの重さや長さを同じ大きさのいくつかで比べているものは、右の1から4までの中のどれですか。

2つ選んで、その番号を書きましょう。



B3 (2)

Point

測定値の平均を求める式の数値を、測定値のグラフなどを用いて視覚的に捉えさせ、式の意味を表現させましょう。

分析結果

算数B3(2)は、仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述する問題です。県の平均正答率は、29.9%で、無解答率は、12.0%と最も高くなっています。誤答には、例示のまま7mを基準に記述したものや基準とする数値の差を適切に処理せずに計算している解答がみられました。仮の平均を用いるなど、測定値の平均を工夫して求めることに課題があると考えられます。

指導に当たって

測定値の平均を求めるときには、平均がおおよそどのくらいになるのかを見積もったり、能率的に処理する方法を考える必然性を実感させた上で、工夫して計算したりすることが大切です。また、仮の平均を用いる場合には、結果を表したグラフと式、言葉などを関連付けて、設定した基準と数値が表す意味を説明できるように工夫しましょう。

3

表2 ④の位置に来るまで輪ゴムののばした場合の記録

回数	車が進んだきり
1	7 m 52 cm
2	7 m 31 cm
3	7 m 54 cm
4	7 m 20 cm
5	7 m 43 cm

【かずやさんの平均の求め方】

7mをこえた部分の平均を求めます。
 $(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$
 7mに、求めた平均の40cmをたします。
 車が進んだきりの平均は、7m40cmです。



はるな

7mのかわりに、7m20cmをこえた部分に着目しても、平均を求めることができます。

(2) 7m20cmをこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。

B5 (2)

Point

数量の関係を図に表すことを通して、割合の関係を捉えられるようにしましょう。

分析結果

算数B5(2)は、身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する問題です。算数Bで最も正答率が低く、16.3%でした。誤答には、1円玉の直径と100円玉や500円玉の直径の差を求め、その差と百分率を比較したり、百分率の意味を正しく捉えられなかったりした解答が多く見られました。示された情報と場面から、基準量と比較量、割合の関係を捉えることに課題があると考えられます。

指導に当たって

示された情報と場面から、事柄や数量の関係を判断し、見いだした数量の関係を説明する場を設定し、児童自らが主体的に思考の過程を説明する道具として、図を用いることができるようにすることが大切です。また、図において、基準量と比較量、割合がどれに当たるのかを明確にした上で、図から解釈した演算を説明するなど、思考の過程を数学的に表現できるようにしましょう。

5



最も小さく見えるとき (イメージ)



最も大きく見えるとき (イメージ)

硬貨の種類とその直径

1円玉	100円玉	500円玉
		
20mm	22.6mm	26.5mm

(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は、100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。

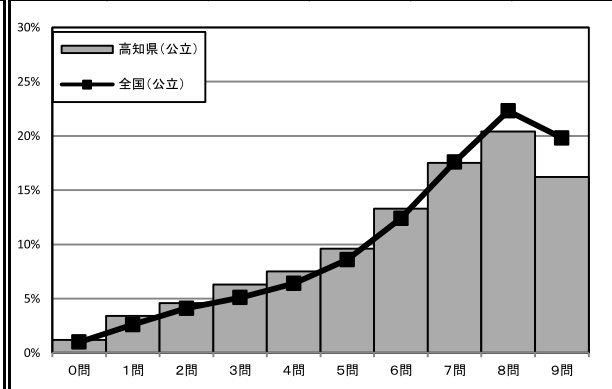
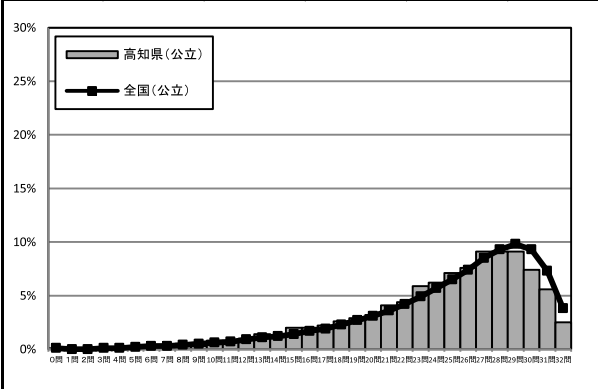
下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。
 また、選んだ硬貨のほうを「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 100円玉
- 2 500円玉

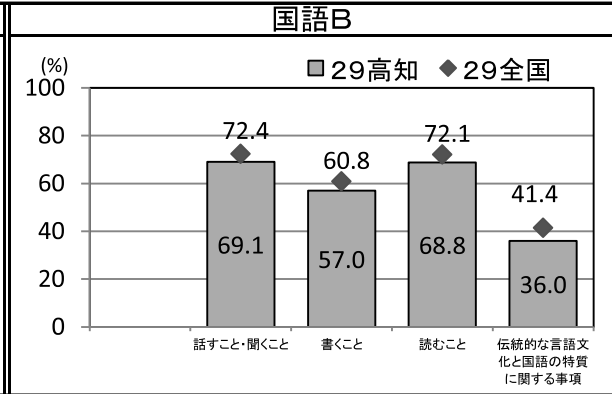
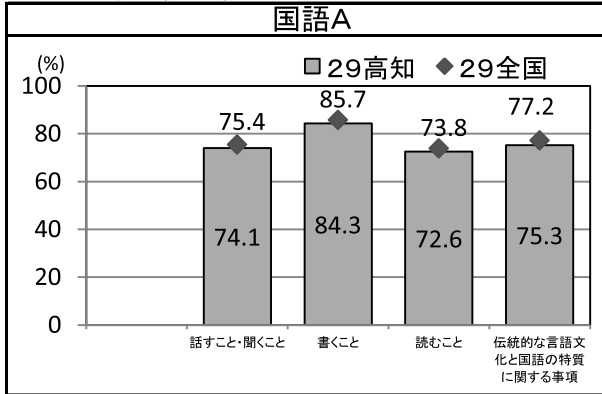
〔中学校国語〕

正答数分布の状況

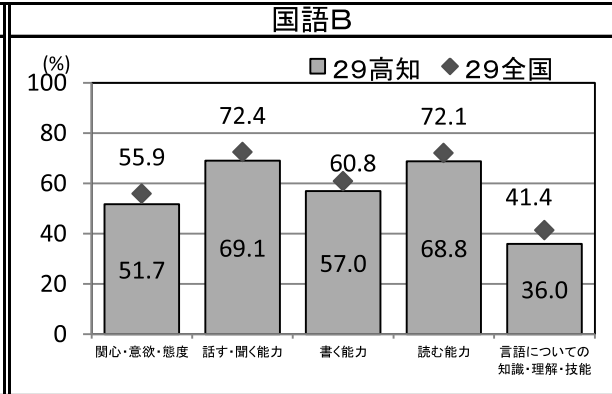
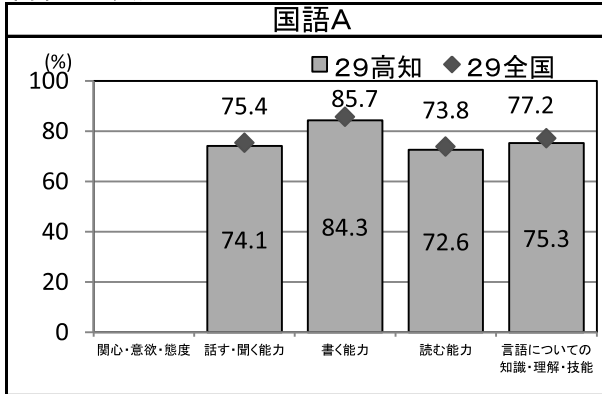
国語A	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	国語B	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,562	24.2/32	75.8%	26.0	5.6	高知県	4,560	6.2/9	68.9%	7.0	2.3
全国	982,511	24.8/32	77.4%	26.0	5.7	全国	982,619	6.5/9	72.2%	7.0	2.3



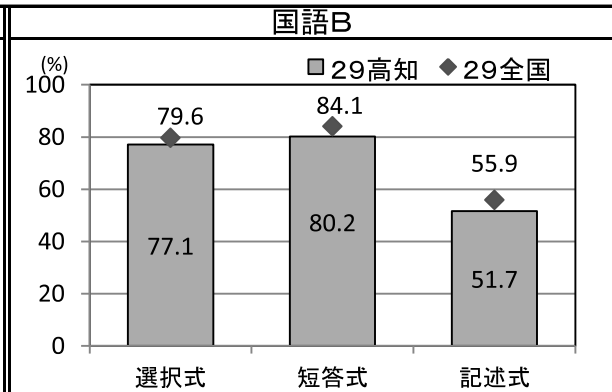
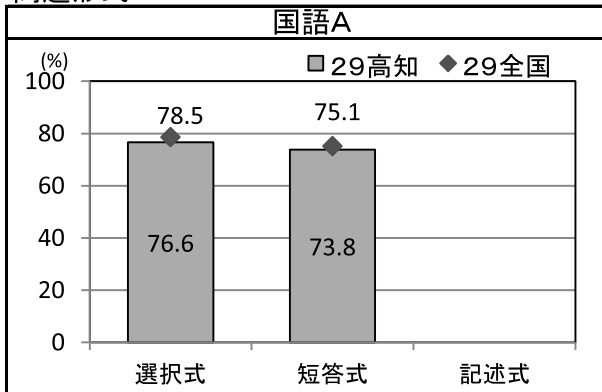
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 中学校国語】

■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する	伝	言	選択式	-2.6	78.8	81.4	0.2	0.1
2一	スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する	話	話	選択式	-0.3	87.5	87.8	0.2	0.1
2二	スピーチの構成を説明したものととして適切なものを選択する	話	話	選択式	0.4	80.0	79.6	0.3	0.3
3一	それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す	書	書	短答式	-0.9	85.1	86.0	3.5	3.3
3二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	書	書	選択式	-1.0	83.3	84.3	0.3	0.2
4一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	読	読	選択式	0.7	81.7	81.0	0.2	0.2
4二	文章について説明したものととして適切なものを選択する	読	読	選択式	-1.7	71.2	72.9	0.3	0.3
5一	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものととして適切なものを選択する	書	書	選択式	-3.1	76.7	79.8	0.3	0.2
5二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	書	書	選択式	-0.5	92.2	92.7	0.2	0.2
6一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	読	読	選択式	-1.1	73.7	74.8	0.3	0.5
6二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する	読	読	選択式	-1.9	58.2	60.1	0.4	0.5
7一	先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	話	話	短答式	-3.5	50.5	54.0	5.0	5.1
7二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	話	話	選択式	-2.1	78.3	80.4	0.5	0.4
8一	詩について説明したものととして適切なものを選択する	読	読	選択式	-1.3	80.6	81.9	0.9	0.6
8二	二人の交流の様子について説明したものととして適切なものを選択する	読	読	選択式	-2.2	70.1	72.3	1.1	0.8
9一1	漢字を書く（組織のキボを大きくする）	伝	言	短答式	-5.9	56.9	62.8	15.1	15.8
9一2	漢字を書く（雨で運動会がエンキになる）	伝	言	短答式	3.9	66.2	62.3	10.0	13.5
9一3	漢字を書く（店をイトナむ）	伝	言	短答式	3.9	89.3	85.4	5.7	8.3
9二1	漢字を読む（覚悟を決める）	伝	言	短答式	0.1	98.8	98.7	0.9	0.9
9二2	漢字を読む（鮮やかな色合い）	伝	言	短答式	-0.1	94.4	94.5	0.9	0.8
9二3	漢字を読む（水が垂れる）	伝	言	短答式	-1.1	93.2	94.3	1.2	1.1
9三ア	適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）	伝	言	選択式	-2.3	74.6	76.9	0.8	0.7
9三イ	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）	伝	言	選択式	-4.1	57.3	61.4	0.7	0.7
9三ウ	適切な敬語を選択する（先生もこの書店をよくご利用になるのですね）	伝	言	選択式	-2.0	83.7	85.7	0.8	0.7
9三エ	適切な語句を選択する（私は映画が大好きです。ただし、映画なら何でも見るわけではありません）	伝	言	選択式	0.0	95.5	95.5	0.7	0.6
9三オ	適切な語句を選択する（チームの勝利を確信する）	伝	言	選択式	-0.5	93.7	94.2	0.7	0.6
9四	言い直した意図として適切なものを選択する	伝	言	選択式	-0.7	90.9	91.6	0.8	0.7
9五	話合いの記録として適切な言葉を考える	伝	言	短答式	-3.9	31.9	35.8	11.4	13.1
9六1	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	伝	言	選択式	-4.6	45.0	49.6	1.2	1.0
9六2	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する	伝	言	選択式	-2.9	60.8	63.7	1.4	1.1
9七1	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（あやしう）	伝	言	短答式	-5.2	72.0	77.2	4.7	3.9
9七2	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	伝	言	選択式	-6.4	72.1	78.5	1.8	1.3

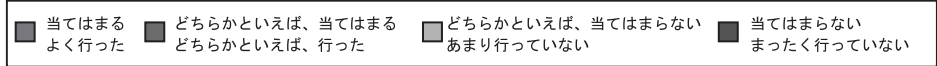
■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	読	読	選択式	-0.7	83.4	84.1	0.2	0.1
1二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	読	読	短答式	-3.9	80.2	84.1	5.8	5.3
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	書/読/伝	関/書/読/言	記述式	-5.4	36.0	41.4	15.4	14.3
2一	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	話	話	選択式	-2.6	82.8	85.4	0.3	0.2
2二	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	話	話	選択式	-3.4	70.8	74.2	0.3	0.3
2三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	話/書	関/話/書	記述式	-3.8	53.8	57.6	7.5	5.8
3一	下書きについての説明として適切なものを選択する	書	書	選択式	-2.6	72.7	75.3	0.6	0.3
3二	太宰治と他の作家との関係を書き直したものととして適切なものを選択する	読	読	選択式	-3.2	75.5	78.7	0.6	0.5
3三	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く	書	関/書	記述式	-3.5	65.3	68.8	10.3	7.4

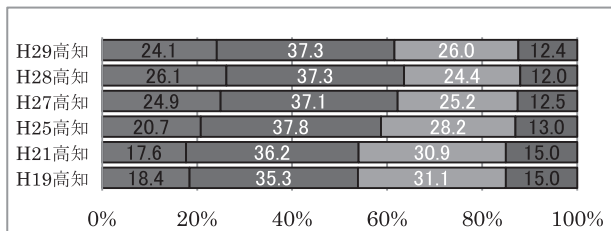
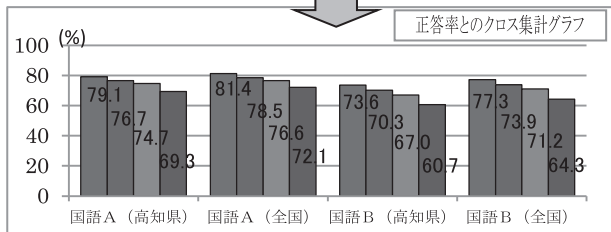
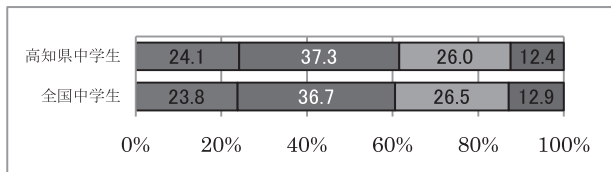
「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

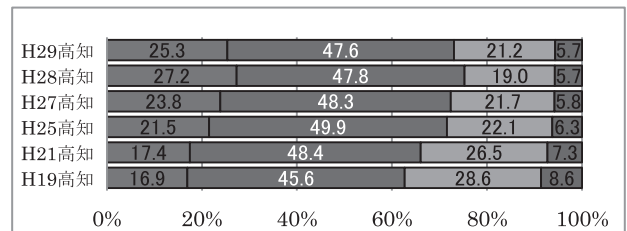
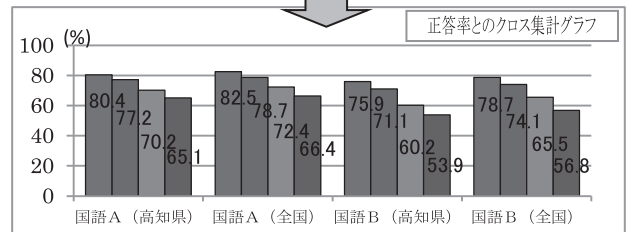
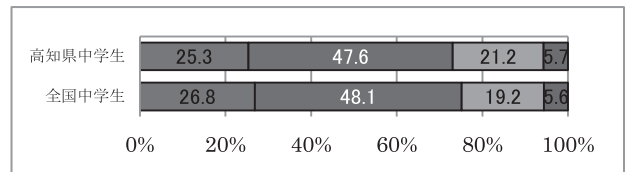
【質問紙の状況】



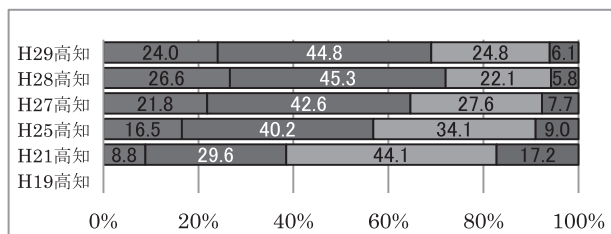
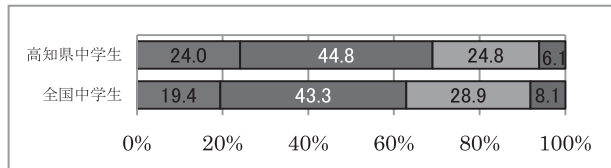
〈生徒質問〉 国語の勉強は好きだ



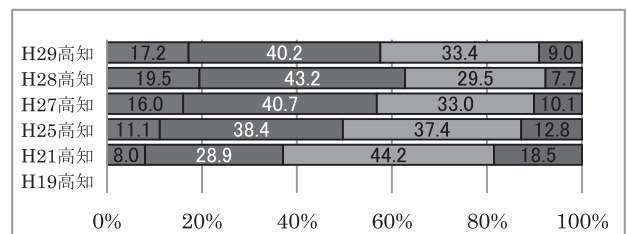
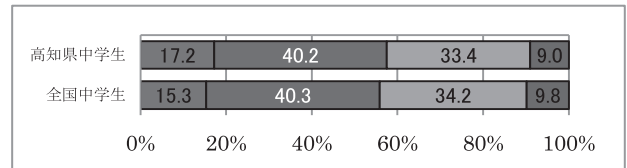
〈生徒質問〉 国語の授業の内容はよく分かる



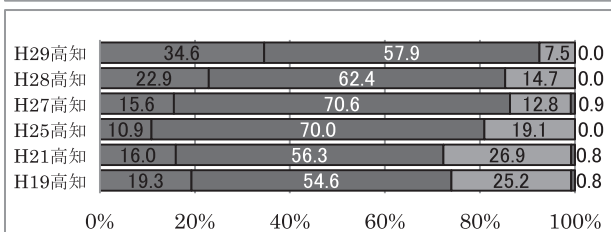
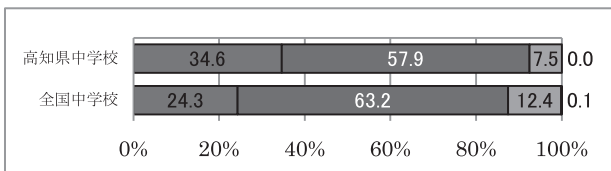
〈生徒質問〉 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている



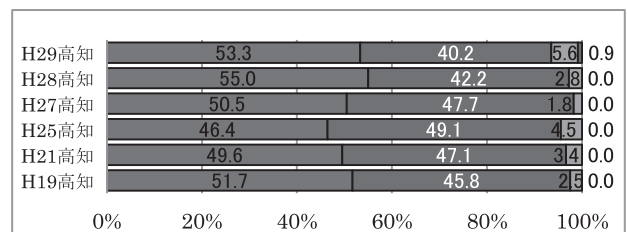
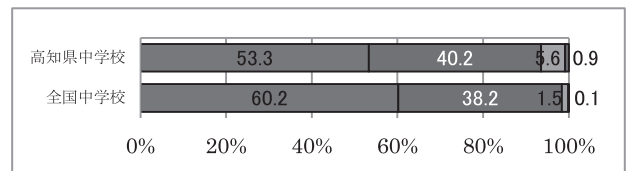
〈生徒質問〉 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している



〈教員質問〉 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った



〈教員質問〉 国語の指導として漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った



成果と課題及び指導改善のポイント

成 果

漢字の読みについては相当数の生徒ができています。また、事実と意見との関係に注意しながら話すことの構成を工夫することや展開、見出しに着目して文章の要旨を捉えることについては一定の力が身に付いている。

学校質問紙調査において、例えば「目的や相手に応じて話したり、聞いたりする授業を行った」という肯定群が昨年度より7.2%上回っているなど、全体的に国語の授業に対する取組は領域を問わず意識して行われている傾向がみられる。

課 題

A問題については、事象や行為などを表す多様な語句について理解することや書写、古典、など【伝統的言語文化と国語の特質に関する事項】について理解することに課題がある。B問題では、表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことに課題がみられる。また、伝えたい事実や事柄について、根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味する点にも依然として課題がある。

どちらも、多様な語句、語彙の指導が不可欠であるが、学校質問紙調査において、国語の指導として漢字・語句など基礎的・基本的な授業を全く行ってないという回答がみられ、指導内容のさらなる見直しが必要である。また、生徒質問紙において「国語の授業の内容がよく分かる」という肯定群が昨年度より2.1%下回っていたり、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを書いている」という肯定群が昨年度より3.1%下回っていたりするなど、各領域についても国語の学習に対して意識の低下がみられた。こうした国語の学習に対する生徒の意欲の低下が十分な成果と結びついていない要因の一つになっていると考えられる。

A9五 Point 多様な語句、語彙指導の充実を図りましょう。

分析結果

話合いの記録として適切な言葉を考える問題です。平均正答率は31.9%、全国の平均正答率より3.9ポイント下回っています。

漢字三文字で解答していても、結論が出ていないという状況や、あとでもう一度話し合うという状況を表わす言葉を適切に書いていない解答が多く見られました。

事象や行為などを表す多様な語句の理解について、場面や状況に応じて適切に使うことに課題があるといえます。

指導に当たって

日常生活や社会生活の中で使われる、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章で用いる語彙を豊かにしようとするのが大切です。話合いなど具体的な場面を想定し、その場の状況に応じた適切な言葉について考える学習活動や、各教科等の学習や読書活動をする中で出会った多様な語句を取り上げるなど、指導の工夫を充実させましょう。

【話し合いの記録】

校内でのあいさつを活発にするための取り組み	
活動内容案	結果
1 標語やポスターの募集と掲示を行う。	可決
2 登校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	<input type="checkbox"/>
3 下校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	否決

五 次は、校内でのあいさつを活発にするための取り組みについての話し合いの記録です。「活動内容案」の「1」については、今回は可決が出なかったため、「あともう一度話し合うことになりました」という結果が示されています。これは、話し合いの過程で、話し合いの目的や相手に応じて話したり、聞いたりする授業を行ったという肯定群が昨年度より7.2%上回っているなど、全体的に国語の授業に対する取組は領域を問わず意識して行われている傾向がみられる。

B1三

Point

根拠を明確にして感じたことや考えたことを書く指導の充実を図りましょう。

分析結果

比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く問題です。県の平均正答率は、36.0%、全国の平均正答率よりも5.4ポイント下回っています。〈心に残った一文〉に【本の一部】から比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書けていなかったり、取り上げた比喩表現について「誰（何）」の「どのような」様子なのかを明確に書いてなかったりする解答が多くみられました。表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことに課題があるといえます。

指導に当たって

文学的な文章を読んで、感じたことや考えたことを書く際には、なぜそのように感じたのか、文章のどこからそのように考えたのかなどについて、根拠を明確にして書くことが大切です。その際、比喩や反復などの表現技法についての知識を生かすなど、これまでの学習を踏まえた指導をすることが重要です。ものの見方や考え方を広げ、自分の考えを書く学習活動の充実を図りましょう。

三 青山さんは、「本の紹介カード」にある「比喩を用いた表現」に着目して、「本の一部」を読み、感じたことや考えたことをあとの『読書の記録』に書いています。あなたなら『読書の記録』の〈心に残った一文〉と『感想』にどのようなことを書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 〈心に残った一文〉は、『本の一部』から、比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くこと。
条件2 〈感想〉は、条件1で取り上げた表現について、「誰・何」の「どのような」様子なのかを明確にした上で、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。



B2三

Point

相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す指導の充実を図りましょう。

分析結果

スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す問題です。平均正答率は53.8%で、全国より3.8ポイント下回っています。

【本の一部】を参考にして、「なぜひざを動かすとういのか」が分かるように書けていない解答が多く、相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことに課題があるといえます。

指導に当たって

スピーチをする際には、自分の伝えたいことが聞き手に対して十分に伝わる内容や表現の仕方になっているかを考えて話を構成し、場の状況や聞き手の様子に応じて話すように指導する必要があります。また、何のために話すのかという目的や、聞き手はその話題についてどのような点に関心があり、どのような情報を持っているかなどの状況によって話し方が変わってくることに留意し、指導の充実を図りましょう。

三 石井さんは、『読書2』を受けて、『スピーチ』の「読書」で「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとういす。」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

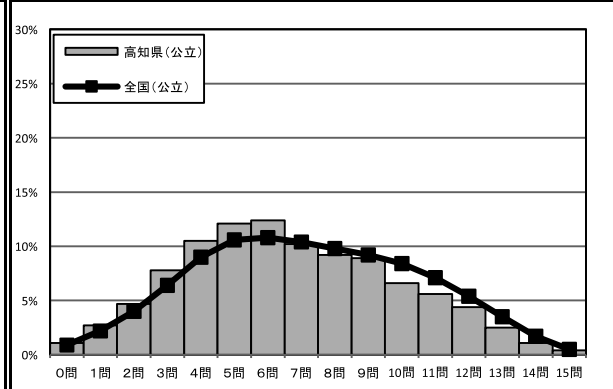
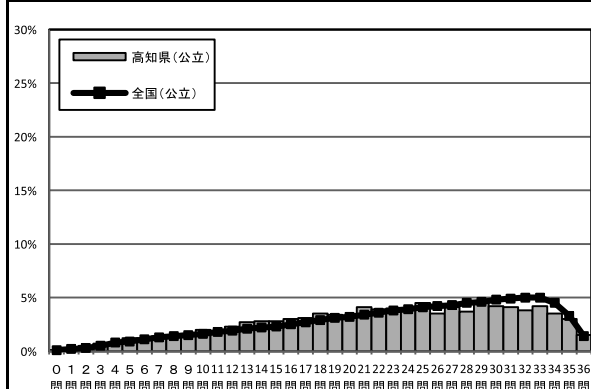
条件1 【本の一部】を参考にして、『読書2』にある「どのようにひざを動かすのか」と「なぜひざを動かすとういのか」が分かるように書くこと。
条件2 「玉を受け止めるときは」に続けて、四十文字以上、八十文字以内で書くこと（解答用紙に書かれていない書き出しの字数を含みません）。

【意見1】
三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとういと思います。
【意見2】
「私がやったようにひざを動かすとうい」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとういのかについても説明してほしいです。

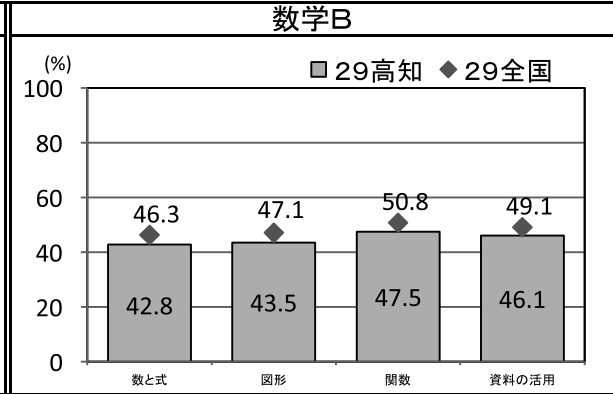
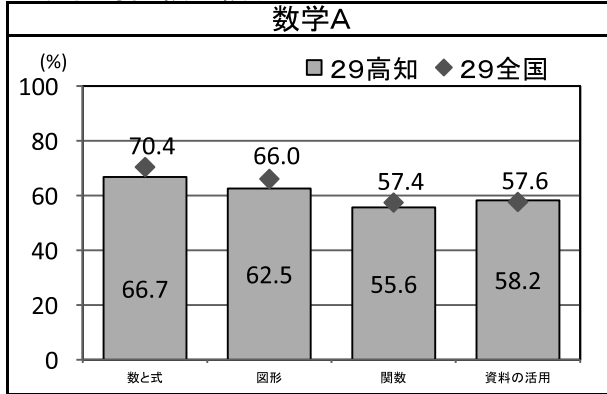
〔中学校数学〕

正答数分布の状況

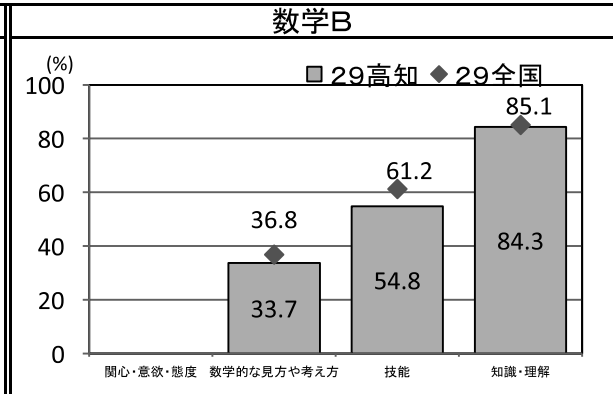
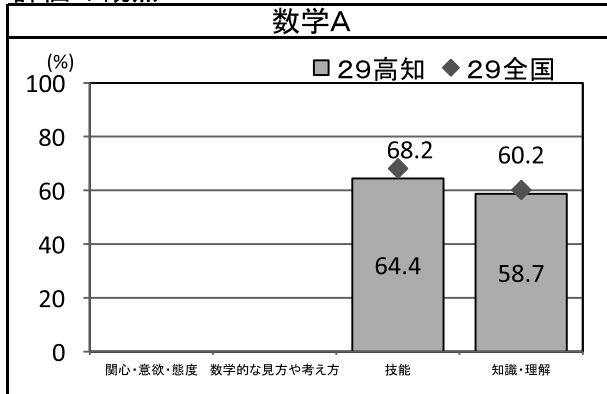
数学A	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	数学B	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,562	22.3/36	61.9%	23.0	8.5	高知県	4,560	6.7/15	44.7%	6.0	3.2
全国	982,811	23.3/36	64.6%	25.0	8.5	全国	982,786	7.2/15	48.1%	7.0	3.3



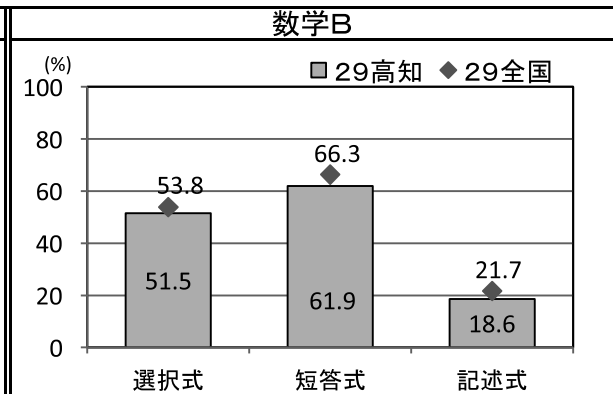
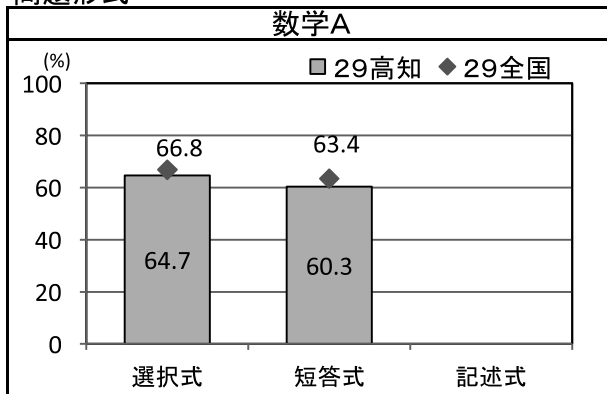
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 中学校数学】

■数学A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	$\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$ を計算する	数と式	技	短答式	-2.7	84.4	87.1	1.7	1.3
1(2)	aとbが負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ	数と式	知	選択式	-4.3	65.0	69.3	0.2	0.2
1(3)	$10-6 \div (-2)$ を計算する	数と式	技	短答式	-1.2	74.4	75.6	1.3	1.1
1(4)	3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す	数と式	知	短答式	-1.5	87.9	89.4	3.3	2.8
2(1)	5mの重さがa gの針金の1mの重さを、aを用いた式で表す	数と式	技	短答式	-5.3	51.0	56.3	7.6	8.1
2(2)	$100-20a=b$ の式が表される場面を選ぶ	数と式	技	選択式	-1.9	73.5	75.4	0.2	0.3
2(3)	$(2x+5y)-(6x-3y)$ を計算する	数と式	技	短答式	-3.7	74.8	78.5	2.0	1.7
2(4)	等式 $x+4y=1$ を yについて解く	数と式	技	短答式	-8.2	47.9	56.1	9.6	8.8
3(1)	一元一次方程式 $4x=7x+15$ を解く	数と式	技	短答式	-3.4	79.3	82.7	7.8	6.4
3(2)	数量の関係を一元一次方程式で表す	数と式	技	短答式	-5.2	47.6	52.8	16.4	16.6
3(3)	$x+y=2$ の解の意味について選ぶ	数と式	知	選択式	0.9	60.5	59.6	0.7	1.0
3(4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} x+y=5 \\ \frac{5}{9} + \frac{2}{3} = 1 \end{cases}$ を解く	数と式	技	短答式	-8.2	54.0	62.2	17.8	14.9
4(1)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	図形	知	選択式	-7.7	59.7	67.4	1.0	1.0
4(2)	△ABCを、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく	図形	技	短答式	1.0	91.6	90.6	3.0	2.5
4(3)	半径が5cm、中心角が120°の扇形の弧の長さを求める	図形	技	短答式	-8.6	22.1	30.7	18.6	19.7
5(1)	直方体において、与えられた辺に平行な面を書く	図形	知	短答式	-4.3	62.7	67.0	3.7	2.9
5(2)	1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ	図形	知	選択式	0.3	90.4	90.1	0.4	0.4
5(3)	立方体の見取図を読み取り、2つの線分の長さの関係について、正しい記述を選ぶ	図形	技	選択式	-2.3	77.9	80.2	0.5	0.6
5(4)	円柱の体積を求める	図形	技	短答式	-4.1	47.7	51.8	10.2	9.7
6(1)	錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	図形	知	選択式	4.0	47.1	43.1	0.4	0.6
6(2)	n角形の1つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を数える	図形	知	選択式	-0.6	68.8	69.4	0.5	0.9
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	図形	知	短答式	-7.4	71.2	78.6	6.9	4.9
7(2)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	図形	知	選択式	-8.4	40.7	49.1	0.7	0.9
8	事柄「∠ABD=∠CBD、∠ADB=∠CDBならば、AB=CBである。」の仮定をすべて書く	図形	技	短答式	-4.7	69.6	74.3	11.5	10.1
9	長方形の縦の長さとの面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数	知	短答式	4.1	24.7	20.6	17.5	20.6
10(1)	比例 $y=4x$ について、xの値が3のときのyの値を求める	関数	技	短答式	-0.9	83.7	84.6	8.2	7.3
10(2)	比例のグラフから式を求める	関数	技	短答式	-5.1	52.0	57.1	11.2	9.6
10(3)	反比例の表から比例定数を求める	関数	知	短答式	-1.3	33.1	34.4	19.6	20.8
11(1)	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、式で表すことができる	関数	技	短答式	-5.9	70.0	75.9	12.3	10.1
11(2)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	関数	知	選択式	-0.5	55.5	56.0	1.4	1.7
12	線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフを基に、2cm燃えるときの時間を選ぶ	関数	技	選択式	-2.9	64.7	67.6	0.9	1.1
13	二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	関数	知	選択式	-2.0	61.0	63.0	1.6	2.2
14(1)	反復横とびの記録の範囲を求める	資料の活用	知	短答式	5.5	34.1	28.6	9.5	9.6
14(2)	6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	資料の活用	技	短答式	2.2	47.7	45.5	13.6	15.0
15(1)	さいころを投げるときに「同様に確からしい」ことについての正しい記述を選ぶ	資料の活用	知	選択式	-1.5	76.5	78.0	1.6	1.8
15(2)	赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める	資料の活用	技	短答式	3.7	74.6	78.3	8.6	7.9

■数学B

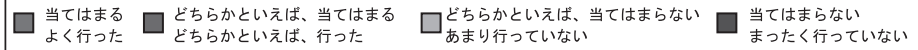
設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率- 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ	図形	考	選択式	-5.4	62.1	67.5	0.2	0.2
1(2)	四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様になるとき、どのような回転移動になるかを説明する	図形	考	記述式	-1.0	13.0	14.0	17.6	17.7
1(3)	与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに、その基となる正三角形の模様を選ぶ	図形	考	選択式	-4.1	48.7	52.8	0.5	0.3
2(1)	六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める	数と式	技	短答式	-3.1	77.3	80.4	1.9	1.3
2(2)	六角形をn個並べて6本ずつ囲んだときに、2回数えているストローをnを用いた式で表す	数と式	考	短答式	-5.8	38.3	44.1	9.4	8.3
2(3)	六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を、 $6+5(n-1)$ という式で求めることができる理由を説明する	数と式	考	記述式	-1.8	12.7	14.5	22.4	23.4
3(1)	与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万mlであったことを表す点を求める	関数	知	短答式	-0.9	89.9	90.8	4.2	3.5
3(2)	与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万mlになるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する	関数	考	記述式	-0.3	18.1	18.4	29.1	33.4
3(3)	与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求める	関数	技	短答式	-8.7	34.5	43.2	17.0	17.5
4(1)	2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	図形	考	記述式	-7.3	36.8	44.1	22.0	20.3
4(2)	∠BADと∠CBEが20°のとき、∠BEAの大きさを求める	図形	技	短答式	-7.5	52.5	60.0	11.9	10.9
4(3)	点Dと点EをBD=CEの関係を保ったまま動かしたとき、∠BFDの大きさについて、正しい記述を選ぶ	図形	考	選択式	3.5	48.0	44.5	0.9	0.9
5(1)	1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める	資料の活用	知	短答式	-0.7	78.6	79.3	6.6	5.9
5(2)	全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間が長い方かどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ	資料の活用	考	選択式	-3.0	47.3	50.3	0.9	0.8
5(3)	「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の活用	考	記述式	-5.3	12.3	17.6	29.8	31.2

「太字」は、全国正答率より5ポイントをこえて高い正答率

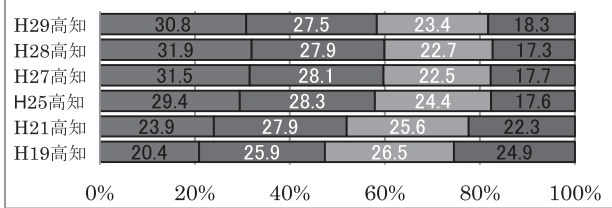
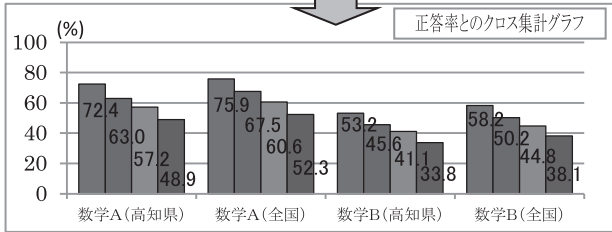
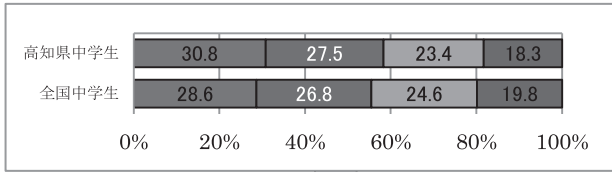
「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

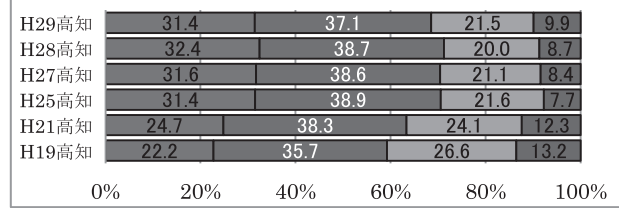
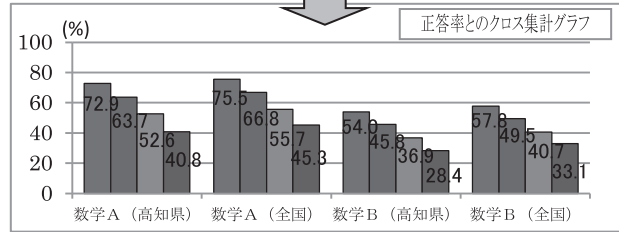
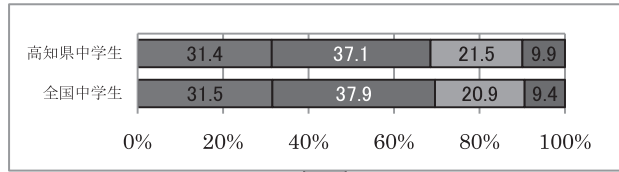
【質問紙の状況】



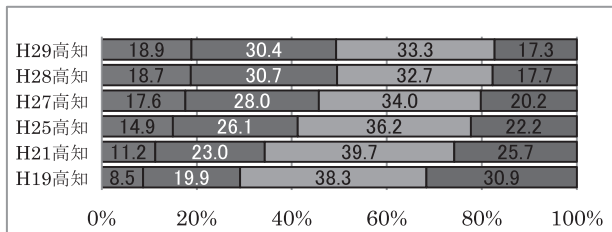
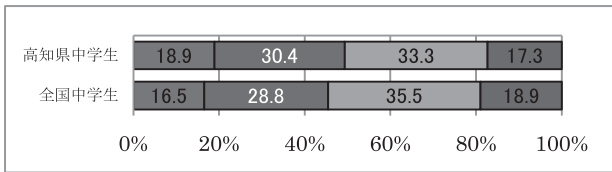
〈生徒質問〉 数学の勉強は好きだ



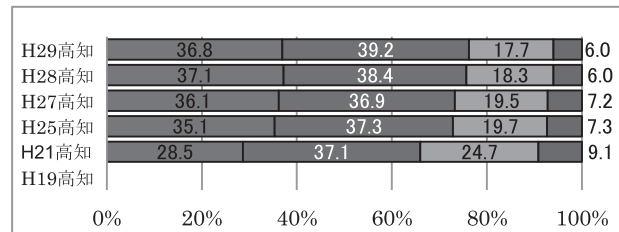
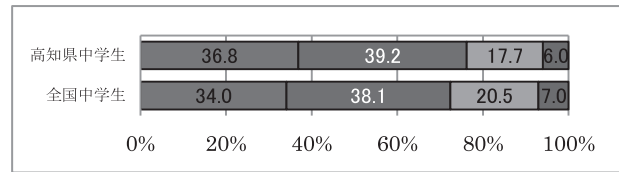
〈生徒質問〉 数学の授業の内容はよく分かる



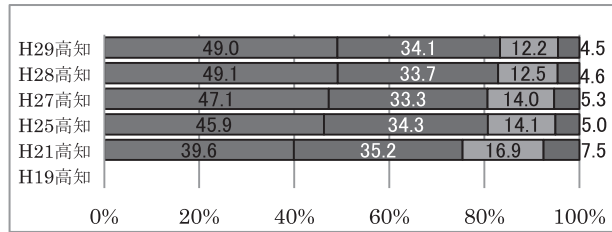
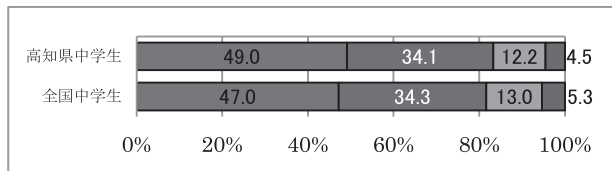
〈生徒質問〉 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える



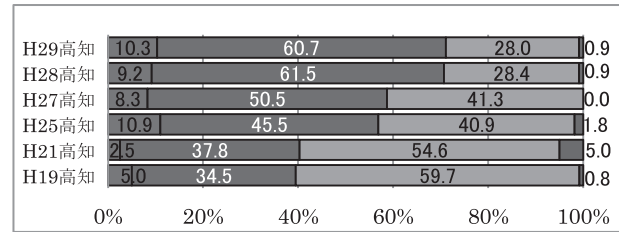
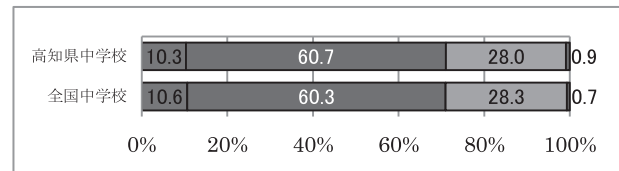
〈生徒質問〉 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている



〈生徒質問〉 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている



〈教員質問〉 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った



成果と課題及び指導改善のポイント

成 果

平面図形の移動や運動の操作を通じて、図形の構成についての理解を深めてきている。領域別にみると、A問題の「資料の活用」が全国正答率を上回り、「関数」についても改善の傾向がみられる。

また、質問紙の状況を見ると、実生活における事象との関連を図った授業作りが進められていることがうかがわれる。

課 題

扇形の弧の長さを求めることが正答率22.1%にみられるように、小学校の学習内容を振り返るとともに、既習事項を活用して、新たな知識・技能を身に付けていくことに課題がみられる。生徒質問紙の状況を見ると、「学習活動が公式やきまりを覚えるだけでなく、その根拠を理解するようにしている」の項目では、肯定的に答えた生徒の割合は全国より高いが、確実な理解につながっていないことが伺える。

記述式問題は、これまでの調査結果の中で最も全国正答率に近づいているものの依然として課題としてあげられる。図形の性質を用いて筋道立てて説明することや事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられる。これらは、記述式の説明について形式的な指導に終始したり、生徒が主体的に具体的な事象の中から問題を見だし解決する活動や、数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動等が不足したりしていることが一因として考えられる。

A4 (3)

Point

扇形の弧の長さや面積とその中心角の大きさの関係に着目することで、比例関係を見だし活用する活動を充実しましょう。

分析結果

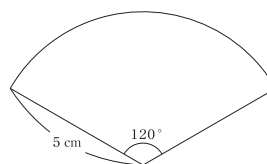
A4(3)は、扇形の弧の長さを求めることができるかどうかをみる問題で、県の平均正答率22.1%、無解答率18.6%、解答類型9は50.4%でした。

扇形を円の一部と捉える関連付けができていない解答が多くみられました。弧の長さや面積がその中心角の大きさと円の関係の理解に課題がみられます。

指導に当たって

円の周の長さや面積の求め方について小学校算数科での学習内容との関連を図り、公式指導に終始することなく、観察、操作や実験などを通して、円と扇形を関連付ける活動を取り入れましょう。その際、扇形の弧の長さや面積がその中心角の大きさに比例することを理解し、扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにしましょう。

(3) 半径が5 cm、中心角が120°のおうぎ形の弧の長さを求めなさい。
ただし、円周率は π とします。



B4 (1) Point 根拠を明らかにして、筋道を立てて考える活動を充実しましょう。

分析結果

B 4 (1)は筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題で県の平均正答率 36.8%、無解答率 22.0%でした。

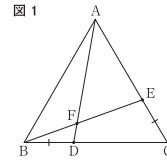
誤答として、根拠に誤りがあったり、仮定として結論を用いたり、仮定とされたいものを用いたりしているものの合計が 13.4%あります。このことから、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見いだしたりすることができず、筋道を立てて考えることに課題があります。

指導に当たって

事柄が成り立つ理由を筋道立てて考え、証明をする場面では、結論を導くためには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えたりする活動を取り入れましょう。

その際、結論から仮定、仮定から結論の両方向から考えて証明していくことも大切にしましょう。

4 下の図1のように、正三角形ABCの辺BC、CA上にBD = CEとなる点D、Eをそれぞれとります。また、線分ADと線分BEの交点をFとします。ただし、点Dは点B、Cと、点Eは点C、Aと重ならないものとします。



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 図1において $\triangle ABD = \triangle BCE$ を示し、それをもとにして、 $\angle BAD = \angle CBE$ であることが証明できます。 $\angle BAD = \angle CBE$ となることの証明を完成しなさい。

証明

$\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ において、

合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BAD = \angle CBE$

B5 (3) Point グラフの形や代表値に着目して、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動を充実しましょう。

分析結果

B 5 (3)は、資料の傾向を的確に捉え判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題で、県の平均正答率12.3%、無解答率 29.8%、解答類型 9 は 52.9%でした。

資料の分布の様子を捉え、根拠を明確にして事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられます。

指導に当たって

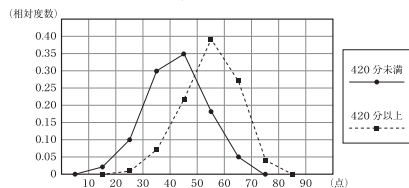
日常生活や社会における問題に対して、収集したデータを整理したグラフの形から分布の特徴を視覚的に捉えたり、代表値を求めて比較したりするなどして問題を解決する過程の中で、資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて判断の理由を説明する活動を充実するようにしましょう。

(3) 若菜さんは、1週間の総運動時間が420分未満と420分以上の女子では、体力テストの合計点に違いがあるのではないかと考えました。そこで、420分未満と420分以上の女子で分けて、体力テストの合計点をまとめた度数分布表をもとに、相対度数を求め、相対度数の度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。

体力テストの合計点の度数分布表

階級(点)	420分未満		420分以上	
	度数(人)	相対度数	度数(人)	相対度数
以上 未満				
10 ~ 20	1	0.02	0	0.00
20 ~ 30	6	0.10	1	0.01
30 ~ 40	18	0.30	6	0.07
40 ~ 50	21	0.35	19	0.22
50 ~ 60	11	0.18	33	0.39
60 ~ 70	3	0.05	23	0.27
70 ~ 80	0	0.00	3	0.04
合計	60	1.00	85	1.00

若菜さんが作った度数分布多角形



若菜さんが作った度数分布多角形から、「1週間の総運動時間が420分以上の女子は、420分未満の女子より体力テストの合計点が高い傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、若菜さんが作った度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

4 質問紙調査の結果

〔教育振興基本計画に係る質問項目〕

学校質問紙

質問項目	小学校の割合			中学校の割合			備考
	高知県	全国	高知県-全国	高知県	全国	高知県-全国	
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした（「よく行っている」と回答）	21.8	26.7	-4.9	32.7	29.9	2.8	全国平均以上
学校支援本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	84.0	88.7	-4.7	76.7	77.4	-0.7	100%
家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体的に挙げながら教える（「よく行っている」と回答）	37.3	41.2	-3.9	30.8	30.6	0.2	全国平均以上
学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っている（「よく行っている」と回答）	32.6	41.6	-9.0	29.0	34.6	-5.6	全国平均以上
言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、（外国語活動、）総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んでいる学校の割合（「よく行っている」と回答）	35.8	37.1	-1.3	41.1	32.5	8.6	全国平均以上
学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している（「よく行っている」と回答）	75.6	62.5	13.1	77.6	56.5	21.1	小：80%以上 中：70%以上
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる（「よく行っている」と回答）	63.2	58.1	5.1	57.9	49.6	8.3	70%以上

児童生徒質問紙

質問項目	小学校の割合			中学校の割合			備考
	高知県	全国	高知県-全国	高知県	全国	高知県-全国	
朝食を毎日食べている	95.3	95.4	-0.1	91.9	93.2	-1.3	小：90%以上 中：85%以上
自分には、よいところがあると思う	80.0	77.9	2.1	71.1	70.7	0.4	全国平均+3p以上
将来の夢や目標を持っている	85.2	85.9	-0.7	73.6	70.5	3.1	全国平均+3p以上
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの勉強時間が30分未満である（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）	9.9	11.3	-1.4	14.1	13.2	0.9	小：6%未満 中：8%未満
平日の授業時間以外に、1日当たり10分以上読書をしている（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）	63.7	63.3	0.4	54.6	51.4	3.2	小：75%以上 中：70%以上
家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校での出来事について話をしますか	74.7	78.1	-3.4	70.0	74.3	-4.3	全国平均以上
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	95.3	94.8	0.5	94.4	94.7	-0.3	全国平均+3p以上
学校のきまりを守っている	92.0	92.6	-0.6	94.9	95.2	-0.3	全国平均+3p以上
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.4	96.1	1.3	93.7	92.8	0.9	全国平均+3p以上
人の役に立つ人間になりたいと思う	94.0	92.5	1.5	93.3	91.9	1.4	全国平均+3p以上
学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う（「当てはまる」と回答）	36.9	29.5	7.4	30.2	23.7	6.5	70%以上
授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う（「当てはまる」と回答）	63.3	58.6	4.7	69.9	53.1	16.8	80%以上
授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う（「当てはまる」と回答）	47.0	40.3	6.7	25.3	40.3	-15.0	80%以上

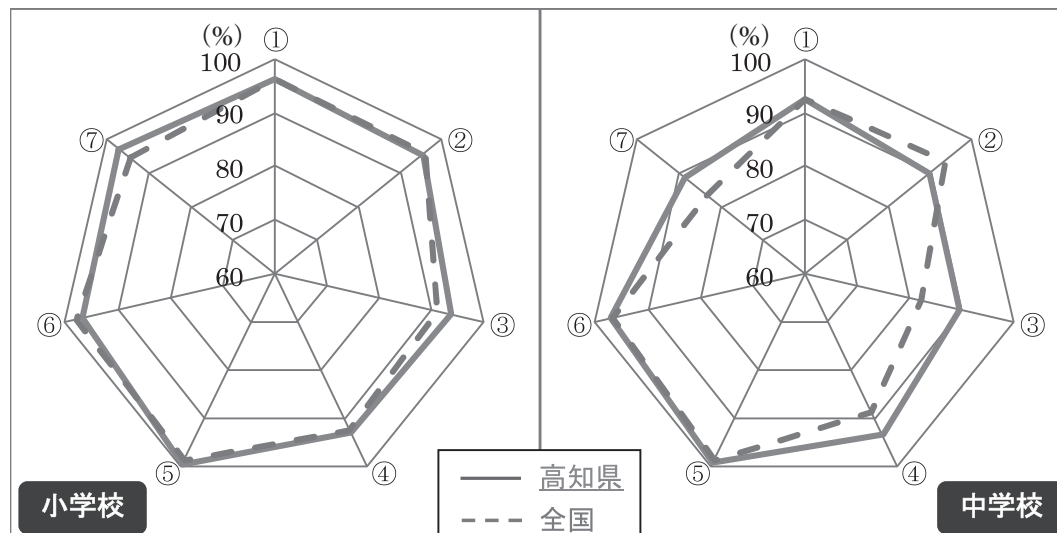
「太字」は、目標値を達成している回答率

「白抜き」は、目標値より3ポイントをこえて低い回答率

学校の組織力向上に向けた取り組み

県では、「第2期高知県教育振興基本計画」に基づき、組織的・協働的に目標の実現や課題の解決に取り組む「チーム学校」の構築を推進しています。各学校においても、「学校経営計画」に基づいて、全教職員が方向性を合わせ、組織的な取り組みを進めていることと思います。

学校質問紙の質問項目のうち、「教職員の取り組み」に分類されている項目について見てみます。



※ 肯定的に回答した割合。ただし、⑦は週に2日以上と回答した割合

教職員の取り組みに関する学校質問紙内容	小学校			中学校		
	H29 高知県	H29 全国	H28 高知県	H29 高知県	H29 全国	H28 高知県
① 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	96.4	96.4	95.8	92.5	92.6	89.0
② 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	95.3	95.8	93.7	89.7	93.8	88.1
③ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	93.8	91.1	93.2	89.8	82.5	88.1
④ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、(外国語活動、)総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	92.8	92.3	90.1	93.4	88.8	91.8
⑤ 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	99.4	98.8	100	99.1	98.4	98.2
⑥ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	96.9	98.0	99.4	97.2	96.6	97.3
⑦ 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	97.4	94.5	94.7	88.8	83.5	78.9

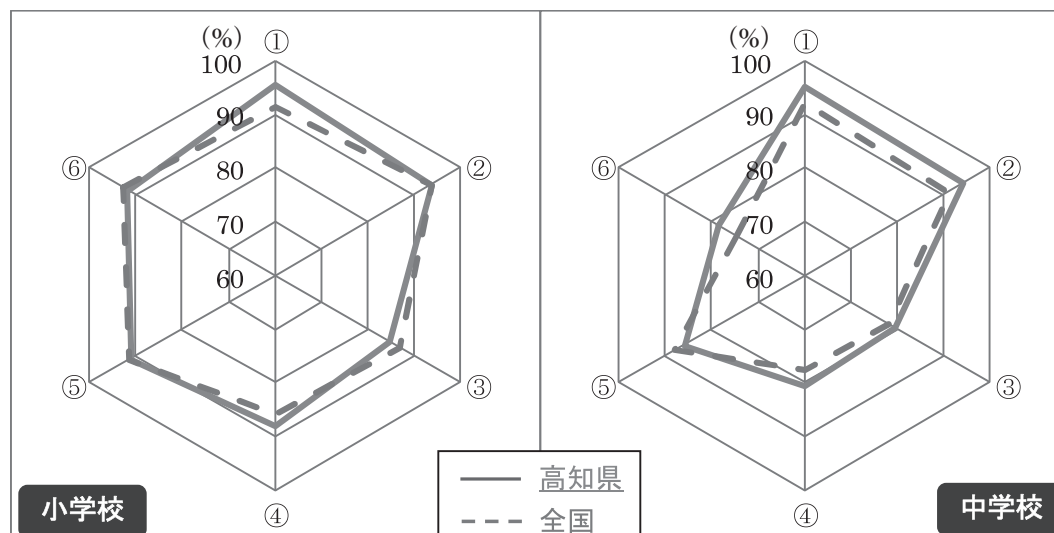
教職員の取り組みの状況を見ると、小学校の肯定群の割合は、全国平均とほぼ同じです。中学校は⑦の「学校長が週に2日以上、校内の授業を見て回っている」割合は、昨年度より10ポイント程度増加し、全国平均を上回りました。

しかし、①、②については、肯定群のうち「よくしている」割合は小・中とも30%程度で、取り組みの質の向上の余地があります。教員がチームを組む体制をつくるだけでなく、その中でお互いに切磋琢磨し、取り組みの質を高める「チーム学校の構築」を進めていきましょう。

授業改善に向けた組織的・協働的な取り組みの推進

各学校には、子どもたちの姿や地域の実情・課題を捉え、各学校が設定する学校教育目標を実現するために、教育課程を編成し、それを適切に実施・評価し、必要に応じて随時改善していくことが求められます。こうした一連のサイクルがいわゆる「カリキュラム・マネジメント」です。

学校質問紙の質問項目のうち、「カリキュラム・マネジメント」に分類されている項目について見てみます。



※ 肯定的に回答した割合。

カリキュラム・マネジメントに関連する 学校質問紙内容	小学校			中学校		
	H29 高知県	H29 全国	H28 高知県	H29 高知県	H29 全国	H28 高知県
① 指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	95.4	91.3	94.7	95.3	92.0	89.0
② 指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか	93.8	93.9	95.8	94.4	91.0	89.0
③ 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	84.5	86.7	84.8	79.5	78.3	77.1
④ 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	88.0	85.8	88.5	80.4	77.5	75.2
⑤ 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	91.1	91.5	88.0	86.0	87.8	89.9
⑥ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	91.7	92.6	82.7	78.5	74.6	70.6

指導計画等の作成状況については、小学校は、⑥が9ポイント上昇し、全国平均とほぼ同じになり、中学校も、⑥のポイントが増加しました。しかし、③では、肯定群の割合が小学校で全国平均よりも低く、中学校で80%に達しておらず、依然として低い状況です。

新学習指導要領においても、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていくことが明記されています。カリキュラム・マネジメントを効果的に進めるためにも上記のすべての取り組みを充実させていきましょう。

〔学校質問紙と児童生徒質問紙との関連等〕

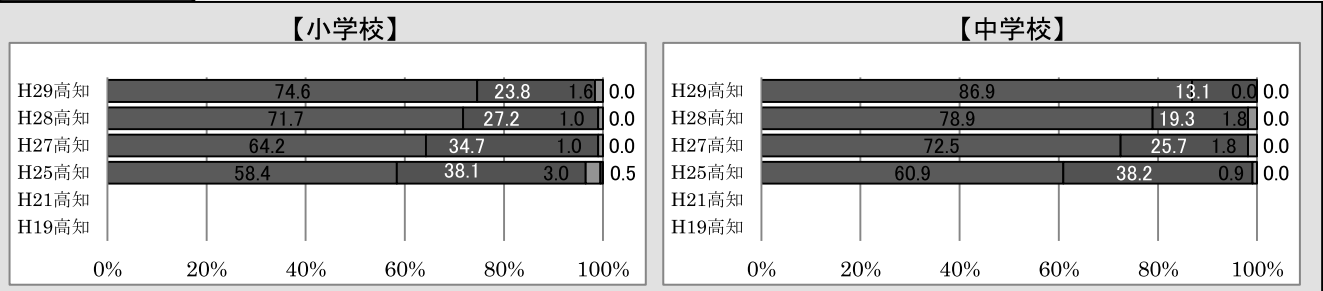
学校質問紙

高知県（経年）に示す年度は、調査初年度（H19）、抽出調査になる前の年度（H21）、悉皆調査再開の年度（H25）、今年度を含む過去3カ年としています。

【授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか】

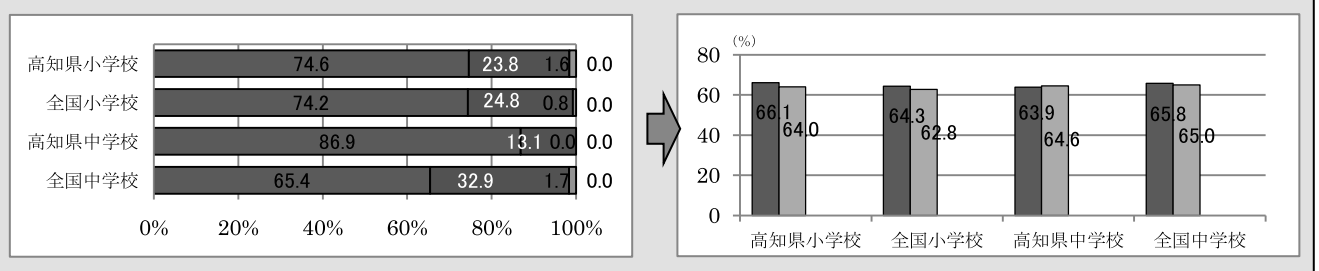
高知県（経年）

よく行った どちらかといえば、行った あまり行っていない 全く行っていない



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関

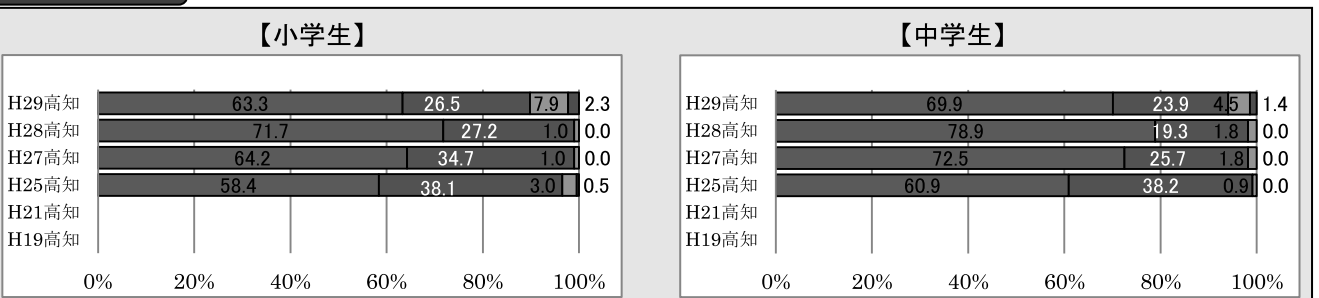


児童生徒質問紙

【授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか】

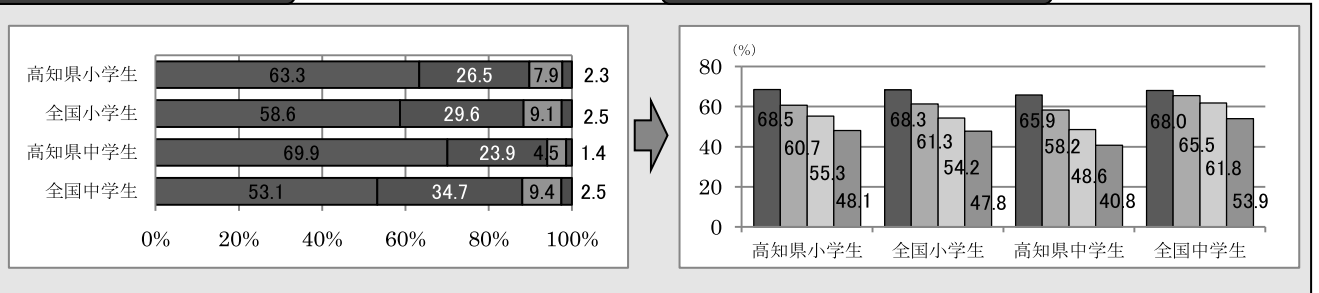
高知県（経年）

当てはまる どちらかといえば、当てはまる どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



学校質問紙

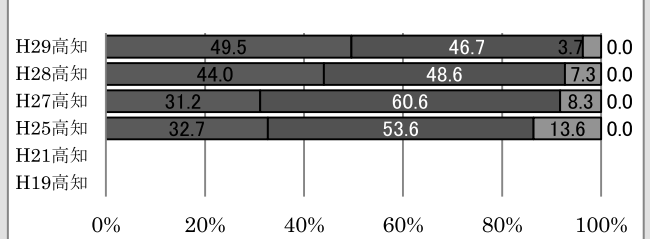
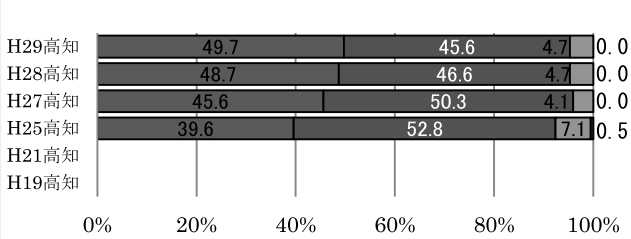
【授業の最後に学習したことを振り返る活動を取り入れましたか】

高知県（経年）

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 全く行っていない

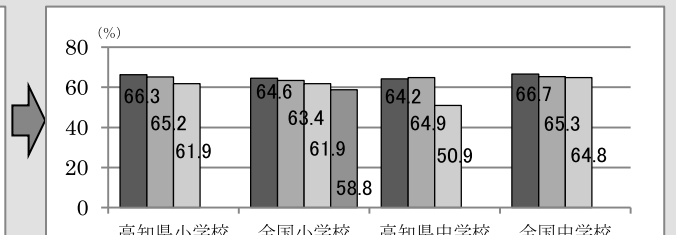
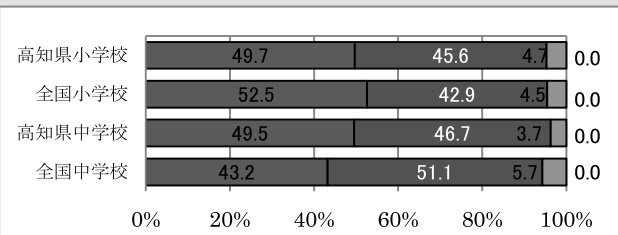
【小学校】

【中学校】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



児童生徒質問紙

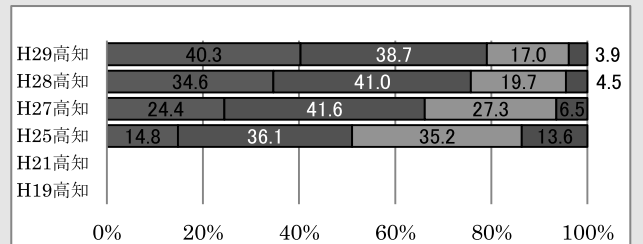
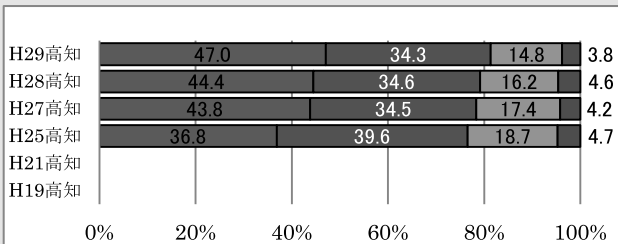
【授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか】

高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

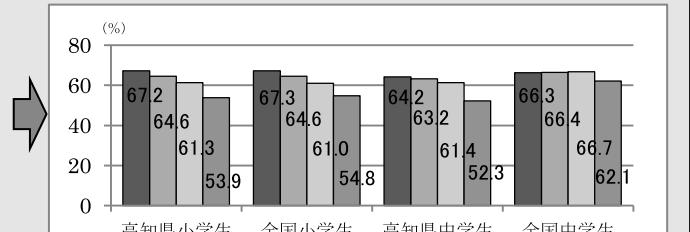
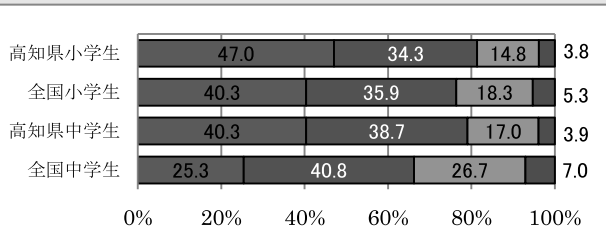
【小学生】

【中学生】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



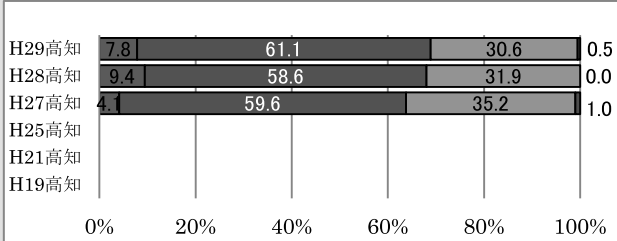
学校質問紙

【児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか】

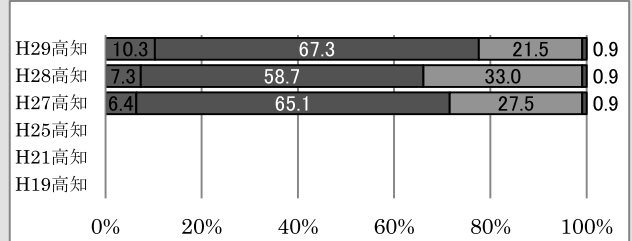
高知県（経年）

■ そのとおりだと思う ■ どちらかといえば、そう思う □ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない

【小学校】

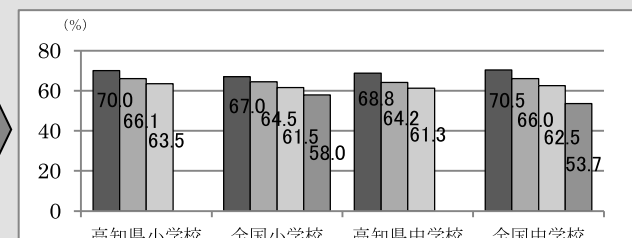
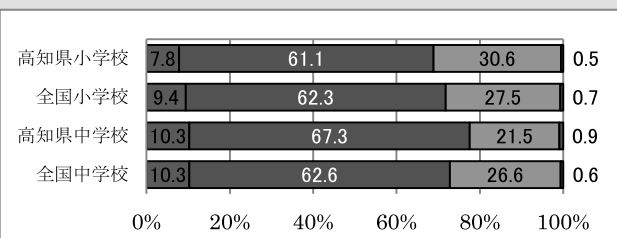


【中学校】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



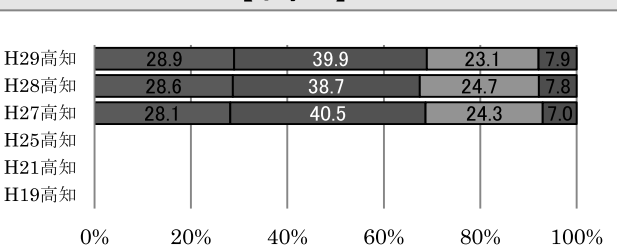
児童生徒質問紙

【学級の友達との間で（生徒の間に）話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか】

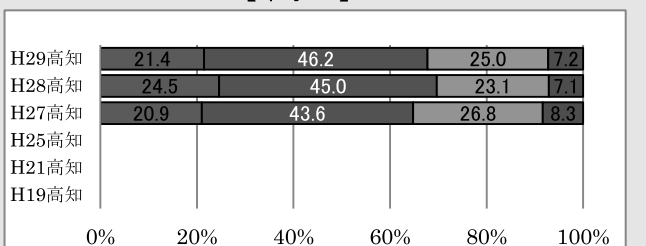
高知県（経年）

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う □ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない

【小学生】

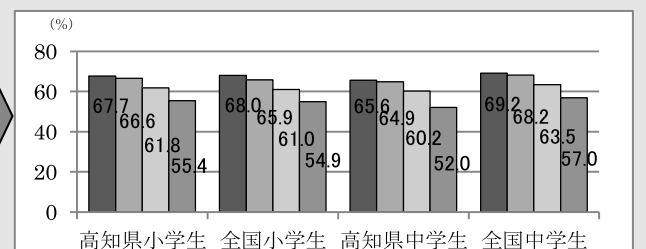
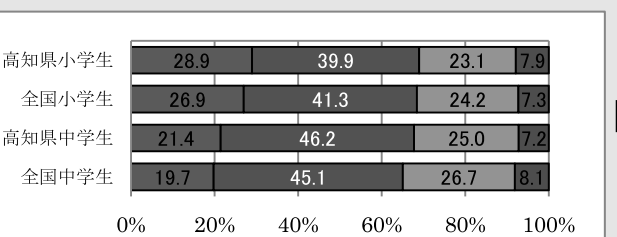


【中学生】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



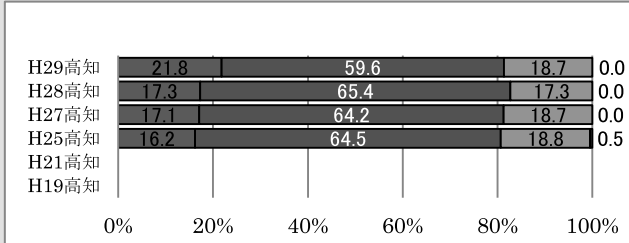
学校質問紙

【総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか】

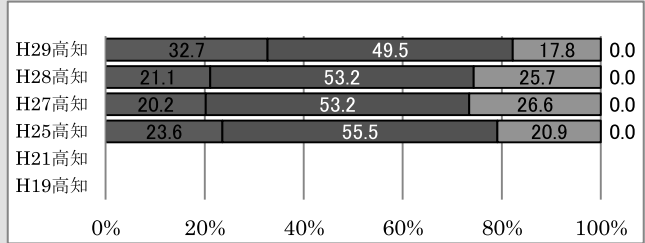
高知県(経年)

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 全く行っていない

【小学校】

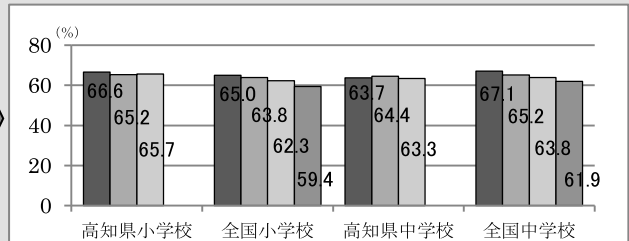
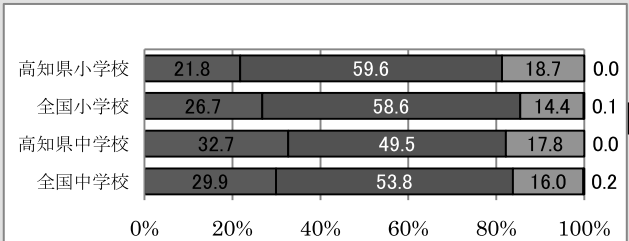


【中学校】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



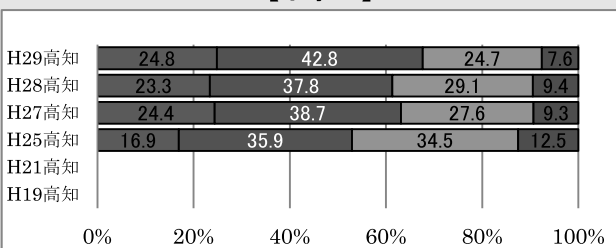
児童生徒質問紙

【「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか】

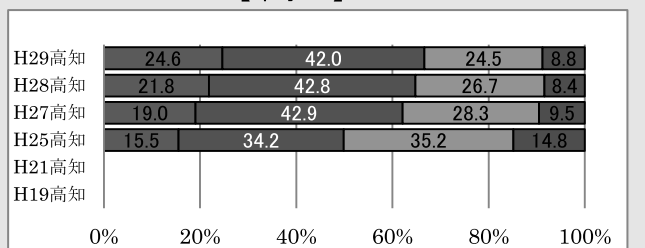
高知県(経年)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

【小学生】

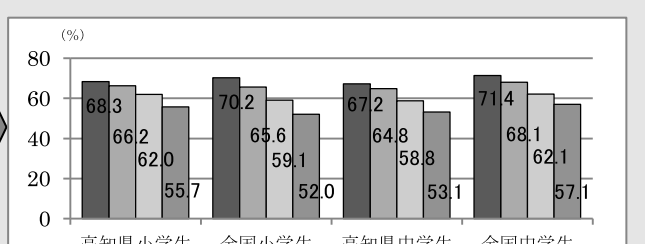
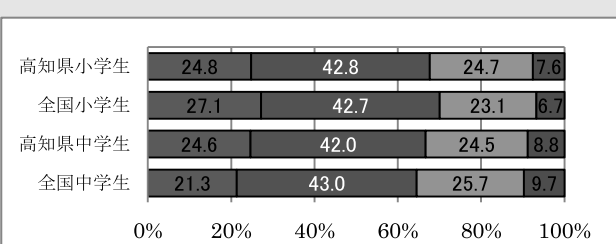


【中学生】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



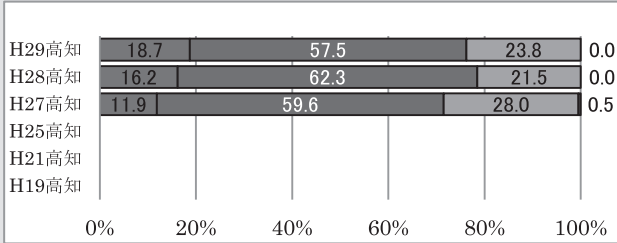
学校質問紙

【授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか】

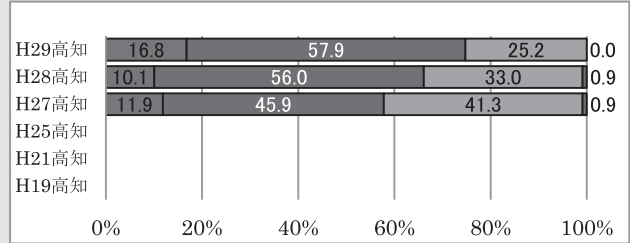
高知県（経年）

■ よく行った ■ どちらかといえば、行った ■ あまり行っていない ■ 全く行っていない

【小学校】

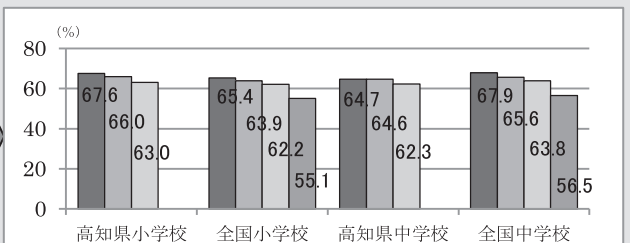
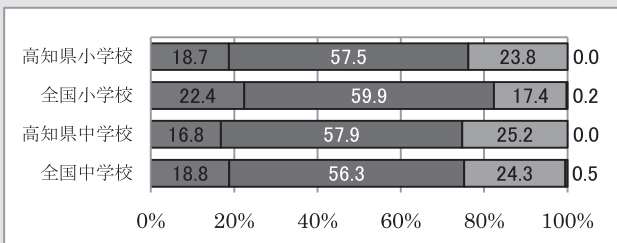


【中学校】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



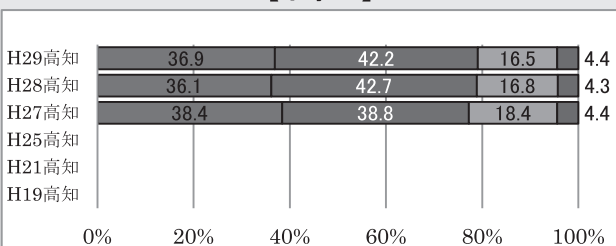
児童生徒質問紙

【授業で、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか】

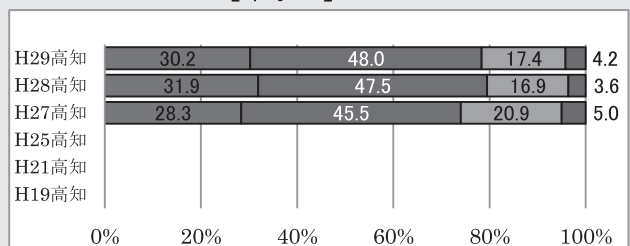
高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

【小学生】

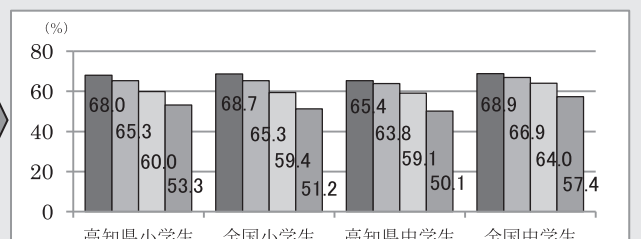
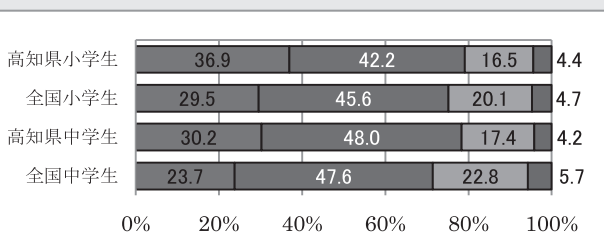


【中学生】



平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



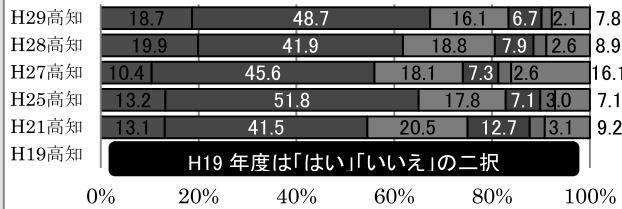
学校質問紙

【放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか】

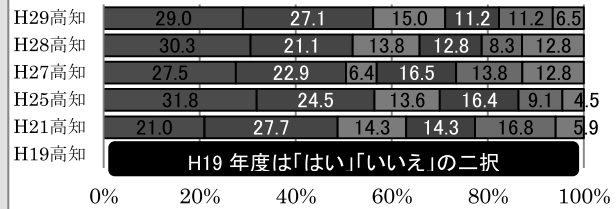
高知県(経年)

■週に4回以上行った ■週に2~3回行った ■週に1回行った ■月に数回程度行った ■年に数回程度行った ■行っていない

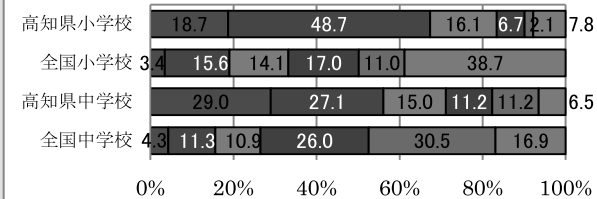
【小学校】



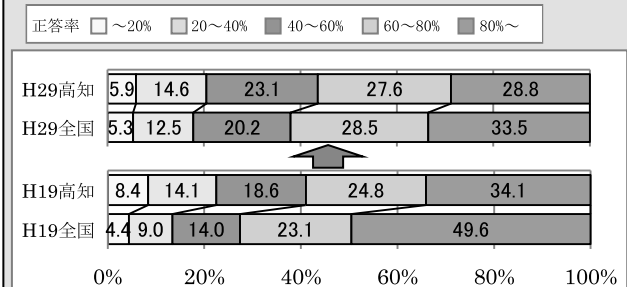
【中学校】



平成29年度調査結果



数学Aにおける正答率分布の変化



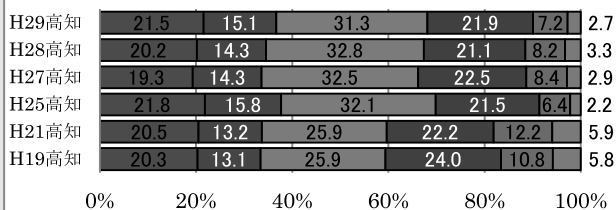
児童生徒質問紙

【学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか】

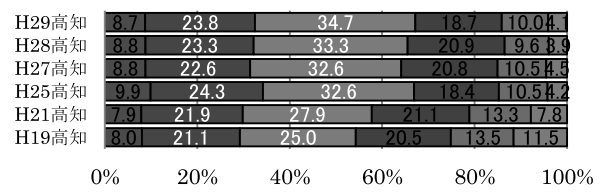
高知県(経年)

■3時間以上 ■2時間以上、3時間より少ない ■1時間以上、2時間より少ない ■30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない ■全くしない

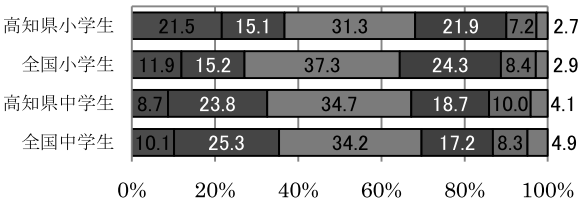
【小学生】



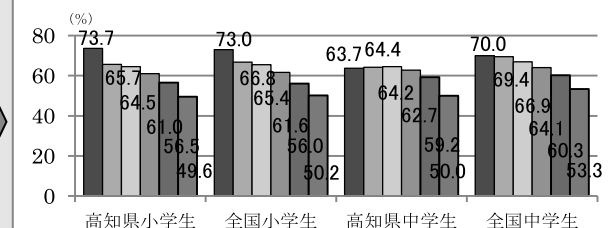
【中学生】



平成29年度調査結果

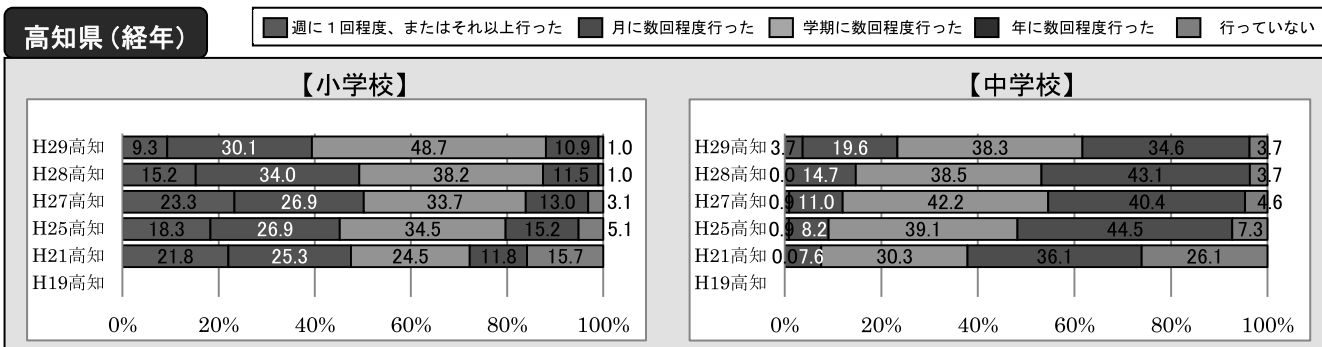


質問項目と正答率との相関



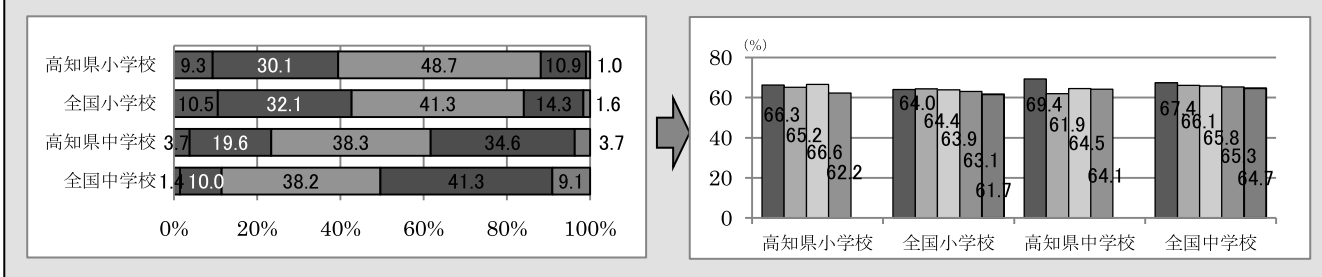
学校質問紙

【図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか】



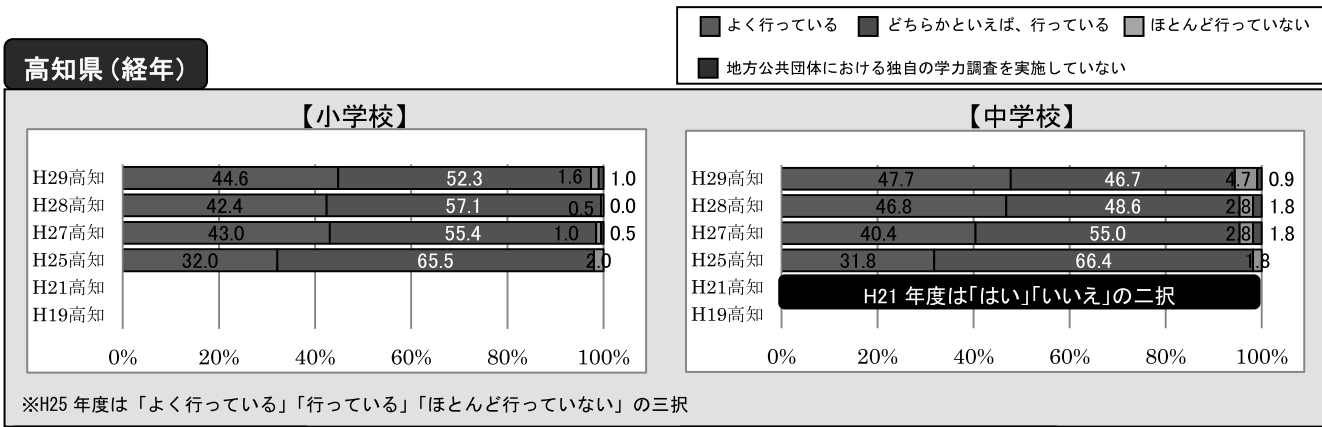
平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



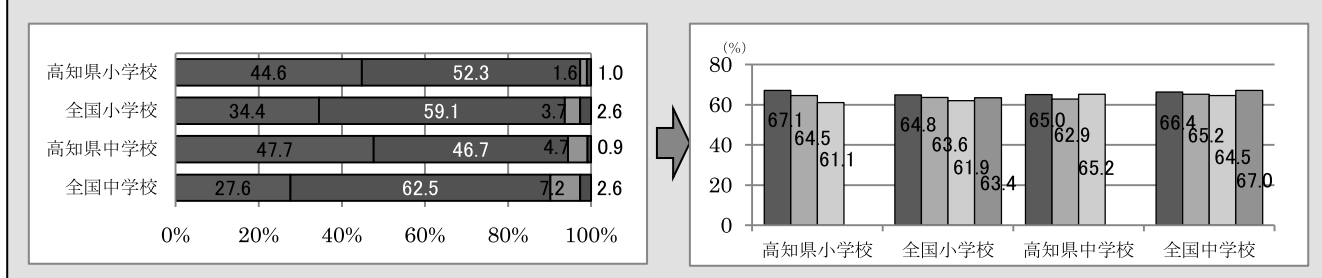
学校質問紙

【全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか】



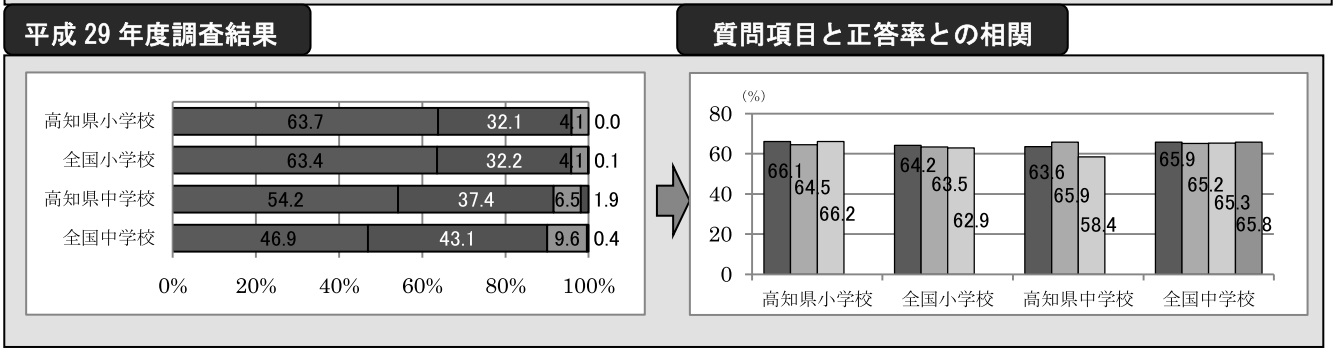
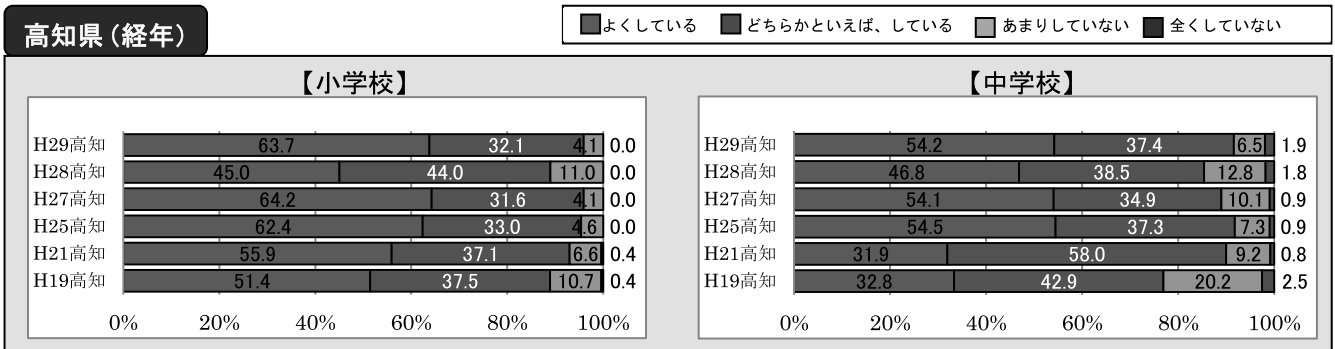
平成 29 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



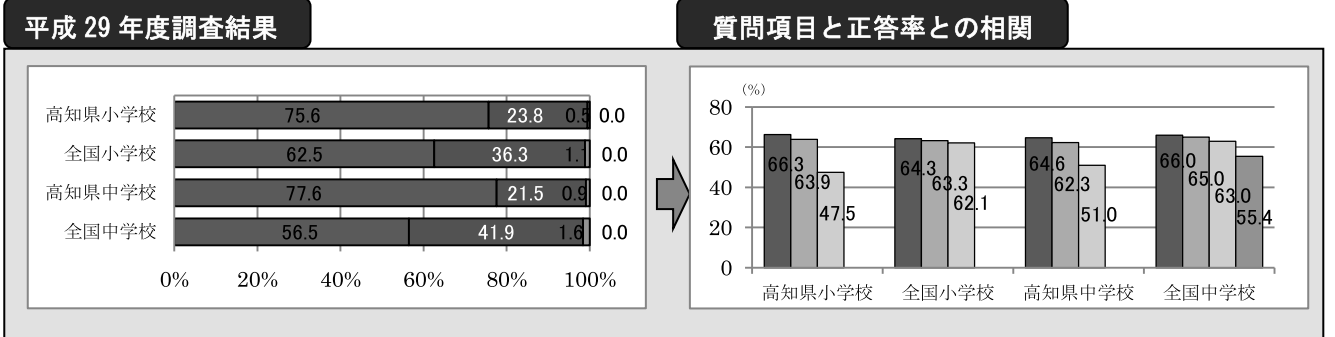
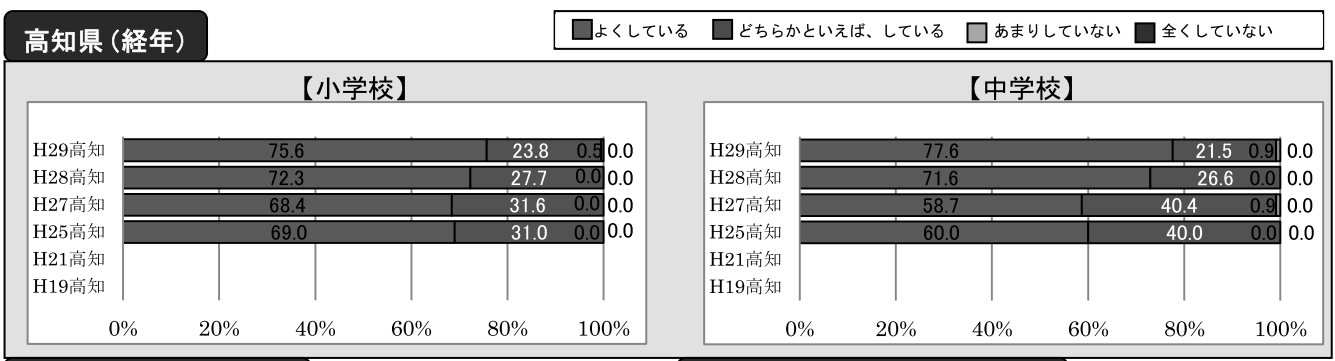
学校質問紙

【模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか】



学校質問紙

【学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか】



5 質問紙調査結果一覧

児童質問紙調査

質問番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(1)	朝食を毎日食べていますか	-0.1	95.3	4.7	95.4	4.6	
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	0.1	79.9	20.1	79.8	20.1	
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	-1.0	90.2	9.6	91.2	8.8	
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	0.5	95.3	4.7	94.8	5.2	
(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	2.1	79.5	20.4	77.4	22.5	
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	2.1	80.0	19.9	77.9	21.9	
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	1.1	53.3	46.6	52.2	47.7	
(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	0.1	94.4	5.7	94.3	5.8	
(9)	友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか	0.2	85.7	14.3	85.5	14.4	
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	-0.7	85.2	14.8	85.9	14.0	
(11)	授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	3.7	86.5	13.4	82.8	17.0	
(24)	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	-3.4	74.7	25.2	78.1	21.7	
(25)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	2.3	51.0	2.9	48.7	3.2	
(26)	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか	-2.9	55.4	44.4	58.3	41.5	
(27)	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか	0.3	50.7	49.1	50.4	49.4	
(28)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	-1.0	95.1	4.7	96.1	3.6	
(29)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	1.2	65.7	34.2	64.5	35.5	
(30)	家で、学校の宿題をしていますか	-0.3	96.6	3.3	96.9	3.1	
(31)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-2.7	38.3	61.5	41.0	58.9	
(32)	家で、学校の授業の復習をしていますか	-3.6	50.2	49.7	53.8	46.0	
(33)	学校に行くのは楽しいと思いますか	-0.4	85.9	14.1	86.3	13.5	
(34)	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか	-0.8	95.6	4.4	96.4	3.6	
(35)	学校で、好きな授業がありますか	-0.9	92.1	7.9	93.0	6.9	
(36)	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	1.2	51.5	48.5	50.3	49.5	
(37)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	0.7	88.5	11.5	87.8	12.1	
(38)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	5.3	91.3	8.5	86.0	13.7	
(39)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	5.5	90.6	9.2	85.1	14.6	

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(40)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	-7.2	55.4	44.5	62.6	37.4	
(41)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	-0.7	63.2	36.8	63.9	36.1	
(42)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	3.1	45.4	54.5	42.3	57.6	
(43)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	-1.2	34.2	27.8	35.4	23.9	
(44)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	0.1	41.2	58.8	41.1	58.9	
(45)	新聞を読んでいますか	4.1	44.3	55.6	40.2	59.6	
(46)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	-2.1	82.5	17.4	84.6	15.4	
(47)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか	0.4	70.8	29.2	70.4	29.5	
(48)	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思っていますか	-0.2	33.4	66.5	33.6	66.2	
(49)	学校のきまりを守っていますか	-0.6	92.0	7.8	92.6	7.3	
(50)	友達との約束を守っていますか	-0.3	96.9	3.0	97.2	2.7	
(51)	人が困っているときは、進んで助けていますか	-0.6	84.7	15.2	85.3	14.6	
(52)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	1.3	97.4	2.6	96.1	3.8	
(53)	人の役に立つ人間になりたいと思っていますか	1.5	94.0	6.0	92.5	7.3	
(54)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-2.2	67.6	32.3	69.8	29.8	
(55)	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	0.6	78.5	21.4	77.9	22.1	
(56)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	2.8	87.5	12.5	84.7	15.2	
(57)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	3.0	87.5	12.4	84.5	15.3	
(58)	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	4.0	79.1	20.9	75.1	24.8	
(59)	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	1.1	79.2	20.7	78.1	21.8	
(60)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	2.3	67.2	32.7	64.9	34.9	
(61)	5年生までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	1.6	89.8	10.2	88.2	11.6	
(62)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	5.1	81.3	18.6	76.2	23.6	
(63)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	1.1	89.8	10.1	88.7	11.1	
(64)	5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	3.6	82.1	17.8	78.5	21.3	
(65)	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	4.6	74.8	24.9	70.2	29.4	
(66)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	2.6	62.1	37.8	59.5	40.3	

質問番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(67)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	1.7	55.4	44.4	53.7	46.2	
(68)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	0.6	68.8	31.0	68.2	31.5	
(69)	国語の勉強は好きですか	4.9	65.4	34.4	60.5	39.4	
(70)	国語の勉強は大切だと思いますか	1.6	92.8	7.0	91.2	8.7	
(71)	国語の授業の内容はよく分かりますか	1.4	83.6	16.2	82.2	17.6	
(72)	読書は好きですか	4.0	78.3	21.4	74.3	25.5	
(73)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	2.9	90.8	9.1	87.9	11.8	
(74)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	4.7	72.7	27.1	68.0	31.8	
(75)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	2.4	65.8	34.0	63.4	36.3	
(76)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	1.9	76.7	23.0	74.8	24.9	
(77)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	5.4	82.6	16.5	77.2	22.0	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合
(78)	算数の勉強は好きですか	1.8	67.7	32.0	65.9	33.8	
(79)	算数の勉強は大切だと思いますか	0.9	92.9	6.9	92.0	7.7	
(80)	算数の授業の内容はよく分かりますか	1.6	82.2	17.5	80.6	19.2	
(81)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	3.6	79.3	20.4	75.7	24.1	
(82)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	3.4	84.5	15.2	81.1	18.6	
(83)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	2.1	71.2	28.4	69.1	30.6	
(84)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	1.6	90.7	8.9	89.1	10.7	
(85)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	2.2	83.6	16.1	81.4	18.3	
(86)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	0.7	83.3	16.5	82.6	17.1	
(87)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	-0.8	85.2	14.6	86.0	13.6	
(88)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	6.5	76.4	22.7	69.9	29.2	肯定群は全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合
(89)	調査問題の解答時間は十分でしたか (国語A)	3.7	90.3	9.3	86.6	12.9	
(90)	調査問題の解答時間は十分でしたか (国語B)	5.0	71.1	28.4	66.1	33.5	
(91)	調査問題の解答時間は十分でしたか (算数A)	3.3	90.4	9.1	87.1	12.4	
(92)	調査問題の解答時間は十分でしたか (算数B)	-0.6	51.9	47.6	52.5	47.0	

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

生徒質問紙調査

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(1)	朝食を毎日食べていますか	-1.3	91.9	8.1	93.2	6.8	
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	1.7	77.3	22.6	75.6	24.3	
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	-0.5	91.9	7.9	92.4	7.5	
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	-0.3	94.4	5.6	94.7	5.3	
(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	1.1	72.1	27.9	71.0	28.9	
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	0.4	71.1	28.7	70.7	29.1	
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	-1.2	49.3	50.6	50.5	49.3	
(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	0.3	94.9	5.0	94.6	5.3	
(9)	友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか	-0.5	87.9	12.1	88.4	11.5	
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	3.1	73.6	26.2	70.5	29.3	
(11)	授業で学んだことを、ほかの学習や普通の生活に生かしていますか	3.5	74.4	25.1	70.9	28.8	
(26)	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	-4.3	70.0	29.9	74.3	25.6	
(27)	携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	-2.1	48.5	8.3	50.6	9.5	
(28)	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか	-6.1	27.9	72.0	34.0	66.0	
(29)	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか	3.8	64.5	35.3	60.7	39.2	
(30)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	-3.3	80.8	18.6	84.1	15.4	
(31)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	4.0	55.5	44.5	51.5	48.4	
(32)	家で、学校の宿題をしていますか	-0.8	88.7	11.2	89.5	10.4	
(33)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-5.4	26.3	73.5	31.7	68.1	
(34)	家で、学校の授業の復習をしていますか	5.2	55.7	44.2	50.5	49.3	
(35)	学校に行くのは楽しいと思いますか	-1.8	79.1	20.8	80.9	19.1	
(36)	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか	-1.0	93.6	6.4	94.6	5.3	
(37)	学校で、好きな授業がありますか	0.1	79.3	20.5	79.2	20.6	
(38)	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	2.4	42.9	56.9	40.5	59.3	
(39)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	-1.2	84.8	15.1	86.0	13.9	
(40)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	3.8	84.2	15.5	80.4	19.4	
(41)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	6.3	81.8	17.7	75.5	24.2	
(42)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	-2.5	39.6	60.3	42.1	57.8	

質問番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(43)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	2.8	62.0	37.9	59.2	40.7	
(44)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	5.3	38.7	61.2	33.4	66.5	
(45)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	1.2	50.9	19.6	49.7	20.9	
(46)	地域の大人（学校や塾・習い事の先生は除きます。）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	0.7	24.3	75.7	23.6	76.3	
(47)	新聞を読んでいますか	0.1	30.5	69.4	30.4	69.5	
(48)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	-2.3	84.4	15.3	86.7	13.0	
(49)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	-2.0	62.3	37.5	64.3	35.5	
(50)	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか	-3.7	29.2	70.7	32.9	66.8	
(51)	学校の規則を守っていますか	-0.3	94.9	5.1	95.2	4.7	
(52)	友達との約束を守っていますか	-0.1	97.3	2.6	97.4	2.5	
(53)	人が困っているときは、進んで助けていますか	-1.1	83.3	16.7	84.4	15.4	
(54)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	0.9	93.7	6.1	92.8	7.1	
(55)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	1.4	93.3	6.6	91.9	7.8	
(56)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	2.3	66.6	33.3	64.3	35.4	
(57)	1、2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	1.4	76.3	23.6	74.9	25.0	
(58)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	-0.1	84.3	15.6	84.4	15.4	
(59)	1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	6.4	88.2	11.6	81.8	18.0	
(60)	1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	6.9	78.2	21.6	71.3	28.5	
(61)	1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	1.7	75.2	24.4	73.5	26.3	
(62)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	4.0	61.9	37.9	57.9	41.9	
(63)	1、2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	6.0	93.8	5.9	87.8	11.9	
(64)	1、2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	12.9	79.0	20.9	66.1	33.7	
(65)	1、2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	8.6	88.9	10.9	80.3	19.5	
(66)	1、2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	7.5	83.5	16.1	76.0	23.8	
(67)	1、2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	5.3	59.0	40.4	53.7	45.8	
(68)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	-0.4	62.1	37.7	62.5	37.3	
(69)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	-0.1	62.7	37.0	62.8	37.0	
(70)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	2.8	67.6	32.2	64.8	34.8	

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(71)	国語の勉強は好きですか	0.9	61.4	38.4	60.5	39.4	
(72)	国語の勉強は大切だと思いますか	0.4	89.2	10.5	88.8	10.9	
(73)	国語の授業の内容はよく分かりますか	-2.0	72.9	26.9	74.9	24.8	
(74)	読書は好きですか	2.6	72.5	27.3	69.9	29.8	
(75)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	3.0	86.3	13.3	83.3	16.4	
(76)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	6.1	68.8	30.9	62.7	37.0	
(77)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	1.8	57.4	42.4	55.6	44.0	
(78)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	0.7	66.6	33.0	65.9	33.7	
(79)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	2.5	74.8	24.5	72.3	26.9	肯定群は、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合
(80)	数学の勉強は好きですか	2.9	58.3	41.7	55.4	44.4	
(81)	数学の勉強は大切だと思いますか	1.7	82.8	17.0	81.1	18.6	
(82)	数学の授業の内容はよく分かりますか	-0.9	68.5	31.4	69.4	30.3	
(83)	数学ができるようになりたいと思いますか	-0.1	91.1	8.7	91.2	8.5	
(84)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	2.2	75.7	24.2	73.5	26.1	
(85)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	4.0	49.3	50.6	45.3	54.4	
(86)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	2.8	75.2	24.5	72.4	27.3	
(87)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	0.3	71.5	28.3	71.2	28.4	
(88)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	3.9	76.0	23.7	72.1	27.5	
(89)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	1.8	83.1	16.7	81.3	18.3	
(90)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	6.8	62.2	36.3	55.4	43.2	肯定群は、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合
(91)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	-2.3	91.7	8.0	94.0	5.6	
(92)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	-3.5	82.8	16.8	86.3	13.3	
(93)	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学A）	-2.0	87.5	12.2	89.5	10.0	
(94)	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学B）	-2.3	74.4	25.3	76.7	22.9	

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

学校質問紙調査（小学校）

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(12)	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	1.1	95.3	4.7	94.2	5.8	
(13)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	3.1	93.8	6.2	90.7	9.2	
(14)	調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか	0.6	90.1	9.8	89.5	10.4	
(15)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	-1.3	76.2	23.8	77.5	22.3	
(16)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	1.9	88.6	11.4	86.7	13.2	
(17)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	-2.8	68.9	31.1	71.7	28.2	
(18)	調査対象学年の児童は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか	3.6	95.4	4.7	91.8	8.0	
(19)	調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	-2.4	60.6	38.3	63.0	36.6	
(22)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	-3.2	39.4	60.6	42.6	57.2	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(23)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	48.4	67.4	32.7	19.0	80.8	肯定群は週に2～3回以上行った割合
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	-1.3	1.6	98.4	2.9	96.9	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(25)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	31.6	59.1	40.4	27.5	72.2	肯定群は延べ5日以上行った割合
(26)	指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	4.1	95.4	4.7	91.3	8.7	
(27)	指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか	-0.1	93.8	6.2	93.9	6.1	
(28)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	-2.2	84.5	15.5	86.7	13.2	
(29)	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	2.2	88.0	11.9	85.8	14.1	
(30)	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	-0.4	91.1	8.8	91.5	8.5	
(31)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	-0.9	91.7	8.3	92.6	7.5	
(32)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか	1.8	93.3	6.7	91.5	8.3	
(33)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	-0.6	98.4	1.6	99.0	0.8	
(34)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	-0.1	95.3	4.7	95.4	4.5	
(35)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	-1.6	91.7	8.3	93.3	6.6	
(36)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をされましたか	-1.7	93.8	6.2	95.5	4.3	
(37)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	1.1	99.4	0.5	98.3	1.6	
(38)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	-1.0	96.4	3.6	97.4	2.4	
(39)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	-3.6	93.8	6.2	97.4	2.6	
(40)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をされましたか	-3.9	81.4	18.7	85.3	14.5	

質問番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(41)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	-6.1	76.2	23.8	82.3	17.6	
(42)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	-4.6	88.0	11.9	92.6	7.3	
(43)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	-0.6	90.6	9.3	91.2	8.7	
(44)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	-2.5	92.2	7.8	94.7	5.2	
(45)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	8.3	84.0	16.1	75.7	24.2	
(46)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	0.1	91.7	8.3	91.6	8.4	
(47)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、道徳の時間において、児童自らが考え、話し合う指導をしましたか	5.3	95.9	4.1	90.6	9.2	
(48)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	-4.5	92.2	7.8	96.7	3.2	
(49)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	-2.5	80.8	19.2	83.3	16.4	
(50)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	6.0	84.5	15.0	78.5	21.1	
(51)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価しましたか	2.1	99.5	0.5	97.4	2.3	
(52)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	-8.3	63.3	36.8	71.6	28.3	
(53)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-5.0	39.9	60.1	44.9	55.0	肯定群は月に1回以上行った割合
(54)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-3.0	52.4	47.7	55.4	44.6	肯定群は月に1回以上行った割合
(55)	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	-0.4	97.9	2.1	98.3	1.4	
(56)	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	0.8	97.4	2.6	96.6	3.1	
(57)	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	-1.1	89.7	10.4	90.8	8.9	
(58)	平成28年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	0.3	90.2	9.8	89.9	9.9	
(59)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	3.4	96.9	2.6	93.5	6.3	
(60)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	-14.8	47.1	52.8	61.9	37.9	否定群は行っていない割合
(61)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	-13.5	41.5	58.5	55.0	44.8	否定群は行っていない割合
(62)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	-19.1	47.1	52.8	66.2	33.5	否定群は行っていない割合
(64)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	9.0	88.1	11.9	79.1	20.9	
(65)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	14.7	67.4	32.6	52.7	47.2	
(66)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	1.1	93.3	6.7	92.2	7.7	

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(67)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	1.9	95.3	4.7	93.4	6.5	
(68)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	-0.8	88.1	11.4	88.9	11.0	
(69)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	0.3	98.4	1.6	98.1	1.7	
(70)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	1.5	94.8	5.2	93.3	6.7	
(71)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	2.5	69.4	30.6	66.9	32.9	
(72)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-1.6	73.6	26.4	75.2	24.6	
(73)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	1.4	98.9	1.0	97.5	2.3	
(74)	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	-2.8	6.2	93.8	9.0	90.8	
(75)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	1.9	93.2	6.7	91.3	8.4	
(76)	前年度までに、近隣等の中学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか	8.7	66.8	33.1	58.1	41.7	
(77)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	4.9	70.5	29.5	65.6	34.2	
(78)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	0.5	51.8	48.2	51.3	48.6	
(79)	平成28年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	14.9	67.9	32.2	53.0	46.7	
(80)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	-1.8	82.4	17.6	84.2	15.8	
(81)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	-12.1	37.8	62.2	49.9	50.1	
(82)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-13.5	34.7	65.3	48.2	51.7	
(83)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	-0.5	75.1	24.9	75.6	24.3	
(84)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	4.7	90.6	9.3	85.9	14.0	
(85)	調査対象学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか(複数回実施した場合は、最も長期のもの)	-3.6	90.6	9.3	94.2	5.8	否定群は行っていない割合
(86)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	28.2	73.6	26.4	45.4	54.6	
(87)	P T Aや地域の人が学校の諸活動(学校の美化、登下校の見守り、学校行事の支援など)にボランティアとして参加してくれますか	0.3	98.9	1.0	98.6	1.3	
(88)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	-4.7	84.0	16.0	88.7	11.3	
(89)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	0.7	98.0	1.6	97.3	2.3	
(90)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	0.4	100.0	0.0	99.6	0.3	
(91)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	1.6	100.0	0.0	98.4	1.4	
(92)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	0.4	100.0	0.0	99.6	0.3	
(93)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	1.4	100.0	0.0	98.6	1.3	
(94)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/算数共通)	-0.6	96.4	3.6	97.0	2.8	

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(95)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数共通）	3.6	93.2	6.7	89.6	10.3	
(96)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数共通）	3.4	86.5	13.5	83.1	16.8	
(97)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数共通）	0.5	92.7	7.3	92.2	7.6	
(98)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	0.3	99.5	0.5	99.2	0.8	
(99)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	6.4	100.0	0.0	93.6	6.4	
(100)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	0.2	95.8	4.1	95.6	4.2	
(101)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	0.2	97.5	2.6	97.3	2.6	
(102)	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	-0.5	85.0	15.0	85.5	14.5	
(103)	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	0.2	76.2	23.8	76.0	23.7	
(104)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	12.2	83.4	16.6	71.2	28.7	肯定群は年間7回以上実施した割合
(105)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	0.0	96.4	3.6	96.4	3.6	
(106)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	-0.5	95.3	4.7	95.8	4.1	
(107)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	2.7	93.8	6.2	91.1	8.9	
(108)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	0.5	92.8	7.3	92.3	7.5	
(109)	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	0.6	99.4	0.5	98.8	1.1	
(110)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	-1.1	96.9	3.1	98.0	1.8	
(111)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	2.9	97.4	2.6	94.5	5.2	肯定群は週に2～3日以上行った割合

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

学校質問紙調査（中学校）

質問番号	質問事項	高知県肯定群 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(12)	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	1.8	93.5	6.5	91.7	8.4	
(13)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	-0.2	94.4	5.6	94.6	5.4	
(14)	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	3.5	97.2	2.8	93.7	6.3	
(15)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	5.4	81.3	18.7	75.9	24.0	
(16)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	5.1	94.4	5.6	89.3	10.6	
(17)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	4.7	77.6	22.4	72.9	27.2	
(18)	調査対象学年の生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか	-0.2	87.9	12.1	88.1	11.9	
(19)	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	7.0	68.2	31.8	61.2	38.8	
(22)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	11.9	23.3	76.6	11.4	88.6	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(23)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	40.5	56.1	43.9	15.6	84.3	肯定群は週に2～3回以上行った割合
(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	-1.8	2.8	97.2	4.6	95.3	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(25)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	28.5	86.0	14.0	57.5	42.3	肯定群は延べ5日以上行った割合
(26)	指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	3.3	95.3	4.7	92.0	8.0	
(27)	指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか	3.4	94.4	5.6	91.0	9.0	
(28)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	1.2	79.5	20.6	78.3	21.6	
(29)	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	2.9	80.4	19.6	77.5	22.5	
(30)	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	-1.8	86.0	14.0	87.8	12.2	
(31)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	3.9	78.5	21.5	74.6	25.4	
(32)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	0.1	89.7	10.3	89.6	10.4	
(33)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	1.7	100.0	0.0	98.3	1.7	
(34)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	1.9	96.2	3.7	94.3	5.7	
(35)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	5.8	96.3	3.7	90.5	9.6	
(36)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	-0.4	93.5	6.5	93.9	6.0	
(37)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	-0.8	96.2	3.7	97.0	2.9	
(38)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	4.1	95.3	4.7	91.2	8.7	
(39)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	2.5	97.1	2.8	94.6	5.3	
(40)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	-1.5	82.2	17.8	83.7	16.2	

質問番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(41)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	-0.4	74.7	25.2	75.1	24.8	
(42)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	1.6	85.1	14.9	83.5	16.5	
(43)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	-4.2	81.3	18.7	85.5	14.5	
(44)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	-3.3	88.8	11.2	92.1	7.9	
(45)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	0.6	98.1	1.9	97.5	2.4	
(46)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	-4.8	82.2	17.7	87.0	12.9	
(47)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか	3.7	93.5	6.5	89.8	10.0	
(48)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	-0.8	97.2	2.8	98.0	2.0	
(49)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	0.5	75.7	24.3	75.2	24.8	
(50)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	1.8	73.8	26.2	72.0	27.8	
(51)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	2.7	98.2	1.9	95.5	4.4	
(52)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	-2.2	61.6	38.3	63.8	36.2	
(53)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	8.4	33.7	66.4	25.3	74.7	肯定群は月に1回以上行った割合
(54)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	0.5	39.3	60.7	38.8	61.2	肯定群は月に1回以上行った割合
(55)	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	1.7	99.0	0.9	97.3	2.5	
(56)	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	3.7	98.1	1.9	94.4	5.5	
(57)	平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	2.0	88.8	11.2	86.8	13.1	
(58)	平成28年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	2.6	86.0	14.0	83.4	16.6	
(59)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	4.3	94.4	5.6	90.1	9.8	
(60)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	-4.3	44.9	55.1	49.2	50.7	否定群は行っていない割合
(61)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	-7.2	36.4	63.6	43.6	56.4	否定群は行っていない割合
(62)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	10.2	69.1	30.8	58.9	41.1	否定群は行っていない割合
(64)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	5.6	87.9	12.1	82.3	17.7	
(65)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	5.5	72.9	27.1	67.4	32.4	
(66)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	5.0	92.5	7.5	87.5	12.5	

学校質問紙調査（中学校）

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(67)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	-0.4	95.3	4.7	95.7	4.2	
(68)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	0.1	90.7	9.3	90.6	9.4	
(69)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	-4.9	93.5	6.5	98.4	1.6	
(70)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	1.6	93.5	6.5	91.9	8.0	
(71)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	1.7	72.9	27.1	71.2	28.7	
(72)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	0.1	71.0	28.9	70.9	29.0	
(73)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	-1.2	95.3	4.7	96.5	3.4	
(74)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	2.6	93.5	6.6	90.9	9.0	
(75)	前年度までに、近隣等の小学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか	10.4	73.8	26.2	63.4	36.6	
(76)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	6.5	81.3	18.7	74.8	25.2	
(77)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	1.6	59.8	40.2	58.2	41.8	
(78)	平成28年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	15.2	72.0	28.0	56.8	43.0	
(79)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	15.2	84.1	15.9	68.9	31.1	
(80)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	-4.3	27.1	72.9	31.4	68.5	
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-3.4	19.7	80.4	23.1	76.8	
(82)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか	9.6	77.6	22.4	68.0	32.0	
(83)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	6.7	85.1	14.9	78.4	21.5	
(84)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	1.1	100.0	0.0	98.9	1.1	
(85)	P T Aや地域の人が学校の諸活動（学校の美化、登下校の見守り、学校行事の支援など）にボランティアとして参加してくれますか	-1.2	96.3	3.7	97.5	2.5	
(86)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	-0.7	76.7	23.4	77.4	22.6	
(87)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	2.6	96.3	3.7	93.7	5.7	
(88)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	5.1	98.1	1.9	93.0	7.1	
(89)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	0.4	95.3	4.7	94.9	5.1	
(90)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	1.6	96.3	3.7	94.7	5.3	
(91)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	0.3	95.4	4.6	95.1	4.9	
(92)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／数学共通）	-3.5	84.1	15.0	87.6	12.4	
(93)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／数学共通）	7.5	89.7	10.3	82.2	17.8	
(94)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／数学共通）	3.1	72.9	27.1	69.8	30.1	

質問 番号	質問事項	高知県肯定群- 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(95)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／数学共通）	1.4	89.7	10.3	88.3	11.6	
(96)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	1.0	99.0	0.9	98.0	2.1	
(97)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	9.7	98.1	1.8	88.4	11.6	
(98)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	1.6	91.6	8.4	90.0	10.0	
(99)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	-1.5	93.5	6.5	95.0	5.1	
(100)	教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	5.4	86.9	13.0	81.5	18.5	
(101)	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	5.2	73.8	26.1	68.6	31.3	
(102)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	32.9	83.1	16.7	50.2	49.8	肯定群は年間7回以上実施した割合
(103)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	-0.1	92.5	7.5	92.6	7.4	
(104)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	-4.1	89.7	10.3	93.8	6.2	
(105)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	7.3	89.8	10.3	82.5	17.4	
(106)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	4.6	93.4	6.5	88.8	11.1	
(107)	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	0.7	99.1	0.9	98.4	1.6	
(108)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	0.6	97.2	2.8	96.6	3.3	
(109)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	5.3	88.8	11.2	83.5	16.5	肯定群は週に2～3日以上行った割合

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

6 学力調査等を活用した授業づくり

新学習指導要領には、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、
(抜粋)

- 児童生徒が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。
- 児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫すること。
- 児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。

とあり、「問題解決的な学習」を取り入れた授業が求められています。

本報告書の92ページから96ページには、学校質問紙と児童生徒質問紙における「問題解決的な学習」を取り入れた授業について関連する項目をあげています。全国の小学校、中学校ともに全ての項目において正答率との間に相関が見られ、今求められる授業に必要な内容であることが分かります。

高知県教育委員会では、平成29年10月に『高知県授業づくり Basic ガイドブックー平成29年度改訂版ー』を作成し、高知県の現状を踏まえ、子どもに確かな学力を授業力向上のための手引き書を作成しています。

子どもが主体的・協働的に学び合い、自ら考え表現しながら学習を進める授業の基礎・基本を示していますので、事例等を参考にしながら、常に目の前の子どもの状況を把握し、付けるべき力の育成や定着を目指した授業づくりを行いましょ。

問題解決的な学習を取り入れた授業を目指す学習過程の例



第2章 付けるべき力の育成を目指した学習指導

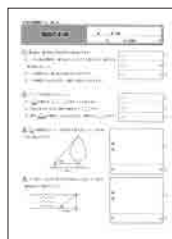
1. 付けるべき力の育成を目指した学習指導の流れ

子どもが主体的・対話的で深い学びに向かうことができる授業づくりを目指し、「単元目標における問題解決的な学習の具体的な授業の流れを下記のように整理しています。学習目標に対するポイントも参考に、授業では、その場々の子ども学習状況に応じた適切な指導や手立てを行っていきましょう。なお、発達障害や教科、授業のねらい等によっては、必ずしもこの流れになるとは限りません。

学習過程	細分化した学習過程	児童・生徒の姿	ポイント	該当ページ
I 見通し	■ 前時の振り返り		<input type="checkbox"/> ノートや掲示物でこれまでの学習を想起させる <input type="checkbox"/> 子どもが振り返りを発表する <input type="checkbox"/> 単元における本時の位置付けを確認する	P 22
	1. 問題の提示		<input type="checkbox"/> 子どもが問いをもてるような問題を提示する <input type="checkbox"/> 難易の仕方を工夫する	P 23
	2. 問いをもつ 問いの共有	本時の学習課題(めあて)をしっかりとつづかみ、課題解決への見通しを立てている。	<input type="checkbox"/> はじめに個人で問題を確認する <input type="checkbox"/> 教科書に記された問いをもつ疑問を言示す <input type="checkbox"/> 全員が解決への見通しを立てられるようにする	P 24 25
II 解決活動	3. 学習課題・めあての設定 ■ 学習の流れの確認		<input type="checkbox"/> ねらいを達成した子どもの姿をイメージする <input type="checkbox"/> 子どもが「何を学ぶのか」を明確に把握できるようにする <input type="checkbox"/> 全員が自力解決の見通しを立てることができているかを確認する	P 26 27
	4. 自力解決	課題解決に向かい、意欲的に取り組み、自分の考えがもてている。	<input type="checkbox"/> 思考の時間を十分確保する <input type="checkbox"/> 考えの根拠や理由を確かめる <input type="checkbox"/> 本時のねらいを確認し、初問指導で個と全体の状況を確認する <input type="checkbox"/> 添削ペンを使って取り、質疑やアドバイスを促す <input type="checkbox"/> 困っている子どもがいる場合は、解決意図を確認する	P 28 29
	5. 集団解決 ■ ペア・グループ活動 ■ 全体での振り返り(考察) ■ 教員の修正	仲間との対話等を通して、自分の考えを高めたり深めたりしている。	<input type="checkbox"/> 聞き手の方を向いて自分の考えを伝え合う <input type="checkbox"/> 友達の見え方を認めたりアドバイスしたりする <input type="checkbox"/> 友達の見え方を認める(自分とは違った考え等) <input type="checkbox"/> 司会者や記録者の役割を決める <input type="checkbox"/> 話し合いの目的と手順を明確に伝える <input type="checkbox"/> ホワイトボードや思考ツールで意見を可視化する <input type="checkbox"/> 発表の仕方や聞き方を指導する <input type="checkbox"/> 子どもの意見を構造化しながら整理する <input type="checkbox"/> 意見の整理や修正を行う	P 30 31 32 33 P 32
III まとめ	6. まとめ(価値の共有)	本時の学習課題(めあて)を達成し、学習内容が定着している。	<input type="checkbox"/> 子どもの意図をまとめる <input type="checkbox"/> キーワードを使ってまとめる <input type="checkbox"/> 本時の学習課題(めあて)との整合性を図る(まとめの書き出しの提案を示しておく)	P 34
IV 振り返り	7. 振り返り(メタ認知)	本時の学習課題(めあて)に対し、自分の学習の振り返りやその意義を確認している。	<input type="checkbox"/> 要点を振り返り振り返らせる <input type="checkbox"/> 全員が「何を学んだのか」認識できるようにする	P 35

『高知県授業づくり Basic ガイドブックー平成29年度改訂版ー』より

高知県教育委員会が作成した学習シート等



算数・数学シート
(小4～中3)



全国学力・学習
状況調査
数学B問題集
(中1～中3)



数学思考力問題集
(中1～中3)



理科思考力問題集
(小5～中3)



国語学習シート
(小1～中3)



高知県読み物
資料集
小学校編
中学校編



高知県語彙検定
KOCHI Core-tan
高知これ単
(中1～中3)



Discover
Kochi
(中1～中3)

学力向上検証改善サイクルの確立に向けて

平成30年3月

発行・編集

高知県教育委員会事務局小中学校課

